

明治十二年六月

下册

威氏循身學

文部省印行

脩身學下冊目次及綱領

葉數

第二部 人ニ對スルノ職分互相交接及仁愛

一

第一區 互相交接 互相交接ノ職分一般ノ道理

ヲ解明シ互相交接ノ職分ヲ類別ス

人間同等トイフコトノ性質  
聖經ノ示教  
此法ハ社會ニモ適用ス  
互相交接ノ職分ノ類別

第一科 人タル人ニ對スル務

三二

公義 正直

公義

一

第一篇 人身ノ自由ヲ論ス

二四

第一章 人身ノ自由ノ性質ヲ論ス

形體ノ自由  
靈智ノ自由  
教法ノ自由  
規則ノ外ニ在ルコト

第二章 人身ノ自由ノ一個人ニ犯サル、者ヲ

三九

論ズ

家僕ノ事件其性質及結果  
自然ノ法ニ於テ此事ノ行ハル、ヲ許サズ  
聖經ニ於テモ亦之ヲ許サズ  
諸聖ノ呪詛  
摩西ノ法  
基督及使徒ノ示教  
主人ノ職務  
奴僕ノ職務

第三章 社會ノ人身ノ自由ヲ害スルコト

八八

形體ノ自由ヲ害スルコト  
靈智ノ自由ヲ害スルコト

第四章 社會教法ノ自由ヲ害スルコト

一〇五

第二篇 所有物ニ就キテノ公義ヲ論ス

一一四

第一章 所有物ノ權理

解義  
所有物ノ權理ノ立ツ所以ノモノ  
所有物ノ權理ヲ得ル所以ノ方法

第二章 一個人所有物ノ權理ヲ害スル方法ヲ

一三一

論ズ

許諾ヲ受ズシテ物ヲ奪フコト第一竊盜第  
二強盜

三

欺キテ得タル許諾ヲ以テ物ヲ奪フコト  
 甲 價直ヲ償ハザルトキニ然リ  
 乙 價直ヲ償フモ其當ヲ失フトキニ然リ  
 一 有形物ヲ以テ價値ヲ償フトキ及永久  
 物ヲ交付スルトキニ然リ  
 買者賣者ノ法  
 二 時ヲ限リテ物ヲ交付スルトキニ然リ  
 金銭ヲ借ルコト  
 他ノ財物ヲ借ルコト  
 危險ノ擔保  
 有形物ヲ以テ價直ヲ償フトキニ然リ  
 主人ト臣僕ノコト  
 本人ト代理者ノコト  
 委員ノ事

第三章 社會ノ所有物ノ權理ヲ害スルヲ論ズ 一七六

第三篇 品行ニ就キテノ公義 一八五

義務ノ性質  
 人ノ道德ノ禁制力ヲ弱ムルニ因テ之ヲ犯  
 ス  
 其邪曲ノ心情ヲ激スルニ因テ之ヲ犯ス

第四篇 名譽ニ就キテノ公義ヲ論ズ 一九九

義務ノ性質  
 惡行ヲ暴露スルコト  
 品行ヲ概論スル不正ナルヲ  
 動作ニ付スルニ邪惡ノ理由ヲ以テスル其  
 當ヲ失フコト  
 譏笑及擬縁  
 他人ノ惡行ヲ著明スベキ職分  
 公設ノ裁判ノ趣意ヲ達スベキ職分  
 善人ヲ保護スル職分及惡人ノヲメニ善ヲ  
 願フコト  
 史家ノ職分  
 出版ノ職分

第一科(續キ) 人タル人ニ對スルノ務 二二七

正直

第一篇 過去ト現在トニ關係スル正直ヲ論ズ 二二八

正直ノ法

其禁スル所ノモノ  
此法ノ必用ナルコト

第二篇 未來ニ就キテノ正直

二四一

約束  
約束ノ志意及義務  
約束ヲ守ラズシテ可ナルトキアリ  
互約

第三篇 誓ヲ論ス

二五五

誓ノ理論  
誓ノ法ニ合フヲ論ス  
誓ノ解明  
誓ノ種類ヲ異ニスルコト

第二科 男女ノ設アルヨリ生スル職分

二六八

第一篇 貞節ノ職分

道德法ノ禁ズル所ノモノ

其命ズル所ノモノ終身結親シテ區別アル  
コト

此事ニ就キテ教法ノ訓戒スル所

第二篇 婚姻ノ法

二七八

結婚約束ノ性質  
此約束ノ賣ムル職分  
貞節  
相愛  
相助

第三篇 父母ノ法

二九一

父子ノ倫  
父母ノ職分  
扶持及保佑  
形體ノ教育  
靈智ノ教育  
道德ノ教育  
父母ノ權理  
教師ノ事

第四篇 子ノ法

三一六

子ノ職分  
順從  
恭敬  
子タルノ愛情  
必用ノ扶助  
子ノ權理  
此權理義務ノ存スル時間  
弟子ノ職分

第三科 人文社會ノ一員タル人ニ對スルノ職分 三三一

第一篇 人文社會ヲ論ス 三三二

第一章 單純社會ヲ論ス 三三三

約束ノ情實  
之ヲ管理スル所以ノ方法  
多數ナル社員ノ權限  
結社ノ存スル時間

第二章 人文社會ヲ論ス 三四四

一個人ノ自然ノ權理  
一個人之ヲ保護スル能ハサルコトアリ  
社會ハ之ヲ保護スル自然ノ具ナリ  
社會ノ權力ニ制限アリ  
一個人ノ社會中ニ有ツ權理  
人文社會ハ自ラ好シテ結成セシ社會ト異ナル有リ  
社會ガ不當ノ意見ヲ懷シコトアリ然ルトキ之ヲ奈何シテ可ナラン  
社會ノ惠福  
社會ノ特段ノ要求

第二篇 社會ノ目途ヲ遂ル所以ノ方法 三六三

政府ノ部分  
政府ノ體裁ハ何レカ最好キヤ

第三篇 政府ノ官吏ノ職分 三七四

立法官ノコト  
司法官ノコト

行法官ノコト

第四篇 市民ノ職分

三八五

一個人タルトキニ  
社會ノ成分タル人員タルトキニ  
約束ヲ害セラレハコトヲ處スル方法

第二區 慈惠

四〇〇

第一篇 慈惠ノ一般ノ義務及區分

慈惠ノ性質其義務タルコトヲ人世ノ理法  
ヨリ証ス  
聖經ヨリ之ヲ証ス

第二篇 不幸人ニ慈惠ヲ行フヲ論ズ

四一六

第一章 身體ノ景況ヨリ生ズル不幸

補濟ノ目的

受者ニ關スル法  
授者ニ關スル法  
濟貧法  
自ラ好テ結成セン社會

第二章 靈智ノ景況ヨリ生ズル不幸

四三〇

第三篇 惡人ニ施スノ仁愛ヲ論ズ

四三九

第四篇 犯罪者ニ施ス仁愛ヲ論ズ

四四六

一個人ノ一個人ニ行フ犯罪  
一個人ノ社會ニ行フ犯罪  
社會ノ社會ニ行フ犯罪  
戰ヲ論ズ

標示

四五七

禽獸ニ對スル職分

○第二部 人ニ對スルノ職分互相交接及仁愛

○第一區 互相交接ノ職分一般ノ道理ヲ解明シ互相交接ノ職

分ヲ類別ス

前編ニ於テ人ノ人ト神トニ對スルノ務ヲ行フコトハ上帝ニ對シテ親愛ヲ盡スベキノ義務ニ因テ勸誘セラル、コトヲ説ケリ今之ヲ解シテ曰凡ソ人ハ人ニ對シテ一ハ自他均シク人類ナルノ故ヲ以テ之ヲ愛シ二ハ在天ノ父ヨリ之ヲ愛スルコトヲ命ゼラレシ故ヲ以テ之ヲ愛スベキノ義務アリ今此義務ノ狀態ヲ示スガ爲メニ淺近解シ易キ一喻ヲ設



クベシ乃家内ノ兒子皆其父母ヲ愛スベキノ義務アリテ其兄弟ニ對シ  
テ一ハ其兄弟タルノ故ニ之ヲ愛シ二ハ之ヲ愛スルコト自他共ニ同一  
ノ父母ニ對スルノ倫ニ因テ勸誘セラル、職分ナルガ故ニ之ヲ愛スベ  
シ

人相對スルノ倫ハ實ニ同等ノ倫ナリ同等トハ稟賦ノ齊シキヲ言ニ非  
ズシテ權理ノ齊シキヲ謂ナリ凡ソ人ハ皆各別ニ責任ヲ負フ者ニシテ  
上帝其好ム所ニ從テ每人ニ增福ノ具ヲ授ケ且彼ヲシテ增福ノ具ヲ修  
好スル時勢ニ處セシメ某ニ與フルニ財用ヲ以シ某ニ賜フニ才智ヲ以  
シ某ニ恵ムニ健康ヲ以シ而シテ之ヲ授クルヤ多少大小又其科ヲ同ク  
セズ是ニ於テカ天下ノ人類每個各様ノ脚色ニシテ一大戲ヲ演スルヲ

見ルベシ然シテ自然ノ利益ニ因テ論ズレバ兩位ノ人モ太異ナリタル  
時勢ニ處シテ生セザル者アルハ罕ナリ

然レドモ他ノ一邊ニ着眼スレバ衆人一モ全然同等ノ時勢ニ處セザル  
者ナシ此一個人人生レ得テ上帝ヨリ受クル所ノ利益ヲ保ツノ權理ヲ有  
スルコト他ノ一個人ト毫モ異ナラズ此說ノ趣意自然ニ公明ニシテ殆  
ド論辨ヲ費ヤスヲ要セズ謂ハユル人皆自己ニ對シテ權理有リト言フ  
ノ理固ヨリ正確ニシテ論辨ヲ藉リテ更ニ之ヲ著明シガタシ此レ自カ  
ラ道德ノ不易ノ定理ナリ

或人ハ則曰人皆均シカラザルノ權理アリ乃甲ハ乙ノ幸福ヲ得ルノ能  
力或ハ方法ヲ禁シテ自己ノ用ニ供スルノ權理アリト是特ニ各人有ツ

所ノ稟賦均シカラザル者ニ基ヅキテ之カ説ヲ爲スニ過ギズ然レドモ之ヲ以テ權理均シカラザルノ理アルヲ証スル能ハザルコト明ナリ譬バ我レ他ヨリ明ナル目アリ是レ其稟賦同カラザルナリ此ヲ以テ我レ他ノ目ヲ挾シ或ハ他ノ權理ヲ妨グ以テ彼レノ天授ノ幸福ヲ奪フノ權理アルヲ証スル能ハザルコト論ヲ待ズ我レ他ヨリ大ナル膂力アリ此亦其稟賦同シカラサルナリ此ヲ以テ我レ他ノ腕ヲ折リ或ハ何等ヲ論セズ他ノ能力ヲ害シテ自己ノ幸福ヲ生ズルノ資トスルノ權理アルヲ証スル能ハザルコト判然タリ

加之或人ノ思想ノ如キハ反對シテ明白ナル矛盾ノ意義ヲ含ム何ナレバ其主張スル所ハ稟賦勝レバ權理モ亦勝ルベシトスルニ在ル故ナリ

今姑ク此説ヲ以テ實ニ然リトセバ某ノ稟賦勝レバ此ニ稱フテ權理亦勝ルベシ故ニ膂力他ニ勝レハ從テ權理亦勝ルコト才智財產勝ルトキハ從テ權理モ亦勝ルニ異ナラザルベシ然ラバ則甲其才智勝ルノ故ヲ以テ乙ノ天授ノ増福ノ具ヲ害シテ以テ自己ノ増福ノ具ヲ進好スルノ權理ヲ占ムレバ乙モ亦其膂力勝ルノ故ヲ以テ甲ヲ犯シテ同權理ヲ占ム丙モ亦其間ニ在リ其財產勝ルノ故ヲ以テ甲乙二者ヲ犯シテ同權理ヲ占ム之ニ繼グ者連續シテ絶エザルニ至ルベシ且各黨派ノ相處スル地位ニ從テ此權理日ニ變ズベシ之ヲ詳言スレハ權理ハ其自然ニ獨擅ナル者ニシテ天下ノ衆人同物ニ獨擅ノ權理ヲ占メ其際ニ我ノ權理全ク他ノ權理ヲ滅スルヲ免レズ須ラク更ニ他ニ着眼シテ人タル者ヲ視

ルベシ

第一 衆人皆同一ノ嗜好情欲ヲ有チ乃外物ニ向テ一同思願ヲ有チ且ツ此思願ヲ遂ルニヨリテ幸福ヲ受ケ快樂ヲ覺ユルノ同一能力ヲ有ツナリ然レトモ衆人皆同一等級ニシテ之ヲ有ツト言ニ非ズ特ニ人皆實ニ之ヲ有チ且彼ノ幸福快樂ハ此嗜好情欲ヲ遂ルヨリ生ズト言ノミ

第二 此嗜好情欲タル全ク此ノミニ就キテ論ズレハ其人ニ賦與セラレ、ノ量太限ナク之ヲ遂グルニ從テ其勢益烈シク其數益多クナルコト常ニシテ財貨ヲ好ミ威力ヲ好ミ耳目ヲ樂マシムルヲ好ミ或ハ其他何事ヲ好ムニ方リ其然ルヲ見ルナリ

第三 然レドモ他人ノ有テル増福ノ具ヲ好クスルガ爲メノ權理ヲ犯

六

サ、ルホトニ我嗜好情欲ヲ遂グルヲ得ヘシ故ニ我レ他ヲ處スルニ誠敬ヲ以シ而シテ吾勤勞節度ニ因テ財産ヲ好ムノ念ヲ快クスルヲ得ベシ毫モ他人ノ有スル知識ヲ得ルノ具ヲ害セズシテ我知識ヲ好ムノ念ヲ遂ルヲ得ベシ又他ノ一方ニ就キテ論ズレバ我レ他人ノ天授ノ増福ノ具ヲ好クスルノ權理ヲ犯シテ我嗜好情欲ヲ快クスルニ足ルノ膂力アリ故ニ今我レ他人ノ財産ヲ奪ヒテ我用ニ供シ以テ吾財貨ヲ好ムノ念ヲ遂グルニ足ルノ膂力アリ我レ名譽ヲ好ムノ念ヲ快クスルガ爲メニ天授ノ辯舌ヲ以テ他人ノ名譽ヲ害スルニ足ルノ膂力アリ我解剖學ノ知識ヲ好ムノ念ヲ遂グルガ爲メニ某人ヲ殺スニ足ルノ膂力アリ此ノ如キノ類千百件ノ多キニ下ラス

七

第四 故ニ人類ノ相對スル所ノ倫左ノ如シ夫レ人皆生レ得テ天授ノ増福ノ具ヲ用井ルコト其最好ク此幸福ヲ増スベシト思フ状態ニ於テスルノ思欲アリ此状態ハ彼レ一己ニテ審定スル者ナリ衆人皆同一思欲ヲ賦與セラレテ其黨類ノ増福ノ具ヲ害セザルベキノ状態ニシテ之ヲ遂グルヲ得ベシ然レドモ亦其黨類ノ天ヨリ受ケシ増福ノ具ヲ犯スベキ状態ニシテ其嗜欲ヲ快クスルニ足ルノ膂力ヲ有ツナリ

第五 此倫アルニ由テ人皆其黨類ノ均シク天ヨリ受ケシ共同ノ權理ヲ害セザル状態ノミニ於テ其自己ノ幸福ヲ求ムベシ乃其嗜欲ヲ快クスルノ膂力ヲ制シテ決シテ他人ノ權理ヲ犯サマラシムベキノ務アリ何ナレバ他ノ状態ニ因テ上帝ノ明白ノ主旨(即萬人共同ノ幸福)ヲ遂

グシムル能ハザレバナリ

此レ人生ノ法タルコト他ノ思考ヨリ示明セララルベシ

第一 此務ヲ行ハザルニ因テ被犯者ノ幸福減却ス然レドモ犯者ノ幸福増加スルニ非ズ之ニ反シテ此務ヲ行フニ因テ人生ノ當ニ受ベキ至大ノ幸福ヲ保ツヲ得何ナレバ之ヲ行フニ因テ人皆上帝ノ賜フ所ノ者ヨリ至大ノ利益ヲ致スガ故ナリ

第二 今此務ノ他ノ規則ヲ假設シ來リ乃人必シモ此ノ如キ確切ニ其黨類ノ權理ヲ害セザルベキノ務ナシト曰者アラバ答テ曰シ苟モ確切ニ此務ヲ行ハザレバ更ニ限界ヲ立ツベキノ所ナシ其少シク之ヲ害スルヲ許シテ大ニ害スルヲ許サマルノ理ナク彼レノ權理ヲ犯スヲ得レ

ハ他ノ權理ヲ犯スコトモ亦得ベキノミ而シテ衆人皆同法ニ服スルガ  
故ニ此道理ニ從テ行ヘバ前文ニ説ク所ノ者ニ均シキ昏昧無智ノ域ニ  
陥ルヲ免レズ乃之ガ爲メニ權理實ニ何タルノ意思ヲ失ヒテ衆人各縱  
ニ相侵害ノ終ニ全部人類ヲノ節制ナキ嗜欲ノ奴隸トナラシムベシ  
第三 若シ甲級ノ人乙級ノ人ヲ遇スルニ此規則ニ從ハザルモ可ナリ  
ト言ハ、則乙級者ハ人即人類ニ非ル所以ヲ指明セザルベカラズ何ナ  
レバ此道理ハ人タル人ニ行ハレザルナクシテ某人苟モ人タレバ皆此  
義務ノ行ハル、所ニ在リテ其保護ヲ受クレバナリ加之假ニ第二等ノ  
者ナシテ實ニ人ニ非ラシムルモ知識アリテ修身ヲ能スル者ナレバ互  
相交接ノ道ニ從テ之ヲ待スベキコト實ニ人タル者ニ於ケルニ異ナラ

ズ故ニ譬バ神使其性人ニ勝ルト雖凡人ノ上帝ヨリ受ケシ増福ノ具ヲ  
犯スベキノ權理ナシ此理ニ依テ論ズレバ等級ノ勝ルヲ以テ人其下等  
ノ修身ヲ能シ知識アル者ニ對シテ此ノ如キ威權ヲ有ツテ得ズ  
最後ニ曰若シ上帝各個人ニ許スニ天授ノ増福ノ具ヲ用井ルノ權ヲ以  
テスルコト實ニ然リトセバ則此ニ一問ヲ設クベシ曰此上帝ノ許可ト  
人ノ私欲私情ト何レカ重キヤ何ナレバ此思考實ニ混淆シテ判定シ難  
キ者ナレバナリ乃上帝ノ許可ト上帝ノ心志ト能ク人ノ情欲ヲ制限ス  
ベキヤ若クハ人ノ情欲能ク此許可ヲ汚シテ上帝ノ心志ヲ侮慢スベキ  
ヤ答テ曰此問ニ就キテ人皆唯一ノ意見ヲ有チ得ルナリ  
次ニ聖經ノ示教スル所ニ依テ互相交接ノ道ヲ講究スベシ

聖經ノ示教ニ曰「隣人ヲ愛スルコト己ノ如クスベシ」此ニ於テ二問ヲ設クベシ曰ク此教命ハ誰ニ附與セラル、ヤ乃隣人ハ果シテ誰ヲ指スヤ曰此教命ノ示ス所果シテ何ゾヤ

第一 第一問ハ救主曾テ撒馬利亞人ノ好譬諭ヲ以テ自答セリ（路加傳福音書第十章第二十五節ヨリ第三十七節ニ至ル）救主説テ曰隣人トハ吾親族若クハ同國人ヲ謂フニ非ズ亦向ニ親懇ヲ受クルニ由テ相連續スル者ヲ謂フニ非ズ而シテ遠方人外國人累世ノ仇讐乃人タル人即凡ソ吾力之ニ對シテ善事ヲ行フベキノ人類ヲ指スナリ凡ソ人ハ皆吾隣人ナリ故ニ人各人ニ對シテ一般ニ己ノ如ク愛セザルヘカラズ

第二 此ノ如ク人ヲ愛スルコト己ノ如クスベキヲ命ズルノ旨意如何

答曰ク此教命ノ含ム所ノ最淺近ナル意義左ノ如シ即上文既ニ上帝其好ム所ニ從テ當然ト認做セシ増福ノ具ヲ人ニ附與シ人各其昌盛ヲ進ルガ爲メニ最善トスル所ニ從テ此増福ノ具ヲ用井ルベキ同等ノ權理ヲ彼ニ附與スルヲ説ケリ且衆人皆曰ク此ノ如クニ之ヲ用井ルヲ好ミ此好欲ヲ遂グルニ非レバ悦バズ而シテ他ヨリ此權理ヲ妨ゲラルレバ其哀痛ヲ覺ユルコト少カラズ其狀態此ノ如キヲ以テ彼レ能ク己ヲ愛スルナリ故ニ今彼モ亦同一狀態ニシテ其隣人ヲ愛スルコトヲ命ゼラル之ヲ詳言スレバ彼レ此教命ニ因テ其隣人ノ上帝ヨリ受ケシ者ヲ外犯ナクシテ用井ルヲ欲スルコト猶吾レ己ニ屬スル者ヲ外犯ナクシテ用井ルヲ欲スルト同ジカルベシ又他人ノ權理ヲ犯サル、ヲ見レバ之

チ哀痛スルコト吾ノ權理ヲ犯サル、ニ同シカルヘキノ務アリ此ニ注意シテ彼レ當ニ他ノ權理ヲ犯スヲ欲セザルコト猶吾權理ヲ犯サル、如クナルヘシ聖書上ニ記セル上帝ノ命ハ余ノ互相交接ノ道ヲ論スル此ノ如キ思考ノ外ニ出デズト確証シ難シト難モ其語中更ニ少キ意義ヲ含得スルニアラズ同一教命ヲ聖書中ノ他所ニ於テ他語ヲ以テ之ヲ説ケリ曰ク何事ヲ論ゼズ人ノ汝ニ之ヲ行フヲ願フ者ハ汝モ亦彼ニ行フベシ何ナレバ此レ法ニシテ豫言ナルガ故ナリ（馬太傳福音書第七章第十二節）此語ヲ以テ前ニ於ル如ク何事ヲ論ゼズ人ノ汝ニ之ヲ行フヲ願フ者ハ汝モ亦彼ニ行フベシト言ヘルコトノ普通ノ務タルヲ示スナリ

此教命ヲ以テ己ニ屬スル權理ヲ辨ズル吾心中ノ知識ニ照シ以テ他人ニ屬スル權理ヲ思索スベキヲ教フルナリ今他人其天授ノ増福ノ具ヲ用弗ルニ於テ我ニ望ムニ上帝ノ許セシ權威ニ對シテ吾注意スルノ謹密ナル如何ヲ以テスルヤヲ知ラント欲セバ先ヅ己ヲ同地位ニ處ラシメテ吾レ天授ノ増福ノ具ヲ用弗ルニ方リ他人ニ望ムニ上帝ノ許セシ權威ニ對シテ其注意スルノ周密ナルコト如何ヲ以テスルヤト之ヲ己ニ反問スベシ後問既ニ判スレバ前問自カラ明ナリ且此教命ノ示ス所一步ノ遠ニ及ビ他人ノ我ニ對スル舉動如何ヲ願ズシテ我先ヅ他人ニ對シテ此ニ示ス如キ舉動ヲ行フベキコトヲ勸誘シ互相交接法ノ許ス所ヨリ多キヲ求ムルヲ禁シ而シテ先ヅ自ラ之ヲ行テ以テ典例ヲ彼ニ

示サシコトヲ教ヘ殊ニ若シ我レ他人ノ此法ヲ犯セシテ咎メテ彼ニ其  
 舉動ヲ改ムルヲ勸勵スル者ハ則更ニ切ニ之ヲ我ニ命ズルナリ且此示  
 教ハ其蘊奧ヲ窮ムレバ吾先ツ我ガ他ニ望ム所ノ心情ヲ彼ニ用井テ吾  
 モ亦之ヲ他ニ要スルノ念アルヲ豫メ禁止スヘシ此示教ノ實ニ公正完  
 美ナルコトハ謹テ類推シテ論スルノ勞ヲ辞セザル者速ニ之ヲ辨了ス  
 ベシ彼レ此示教ノ常ニ患害ヲ未然ニ避除シ且其彼我ヲシテ益善良ニ  
 進マシメ以テ患害侵犯邪惡ヲシテ地ヲ拂テ盡キシムルニ至ルヲ知ル  
 ベシ

第三 此互相交接ノ法ハ社會ト一己トノ別ナク同様ニ奉行スベキ者  
 たり夫レ社會ハ一個人ノ集合ナルガ故ニ之ヲ成ス所ノ一個人ノ權理

ニ外ナルノ權理ヲ有ツヲ得ズ故ニ某ノ一人他ノ一人ヲ害スルヲ以テ  
 不善トスレバ則某ノ二人他ノ二人ヲ害スルモ亦同シク不善トナサ  
 ルベカラス其他ノ數ニ至リテモ亦推シテ知ルベシ加之上帝ノ許ス所  
 ハ社會ト一己トヲ論ゼズシテ其景況ヲ同クシ國民ニ賦與スルニ身體  
 ト知識トノ利益ヲ以シ而シテ其大小多少各等ヲ異ニス然レドモ彼レ  
 天授ノ幸福ヲ進ルニ最良ナリト思フ状態ニ於テ此利益ヲ用井ルベキ  
 同等ノ權理ヲ賦與スルニ至リテハ復彼此ヲ擇マズ  
 故ニ今更ニ論ズル所左ノ如シ

第一 此示教ハ一國民ニ適スルコト猶一個人ニ於ケルガ如シ社會ヲ  
 結ベル人互ニ相交リ若クハ強ノ弱ニ接シ有禮者ノ暴慢者ニ對シ文明



ナル者ノ鄙野ナル者ヲ待シ智者ノ愚者ヲ遇シ朋友ノ朋友ニ於ケル仇敵ノ仇敵ニ於ケルノ論ナク凡ソ人タル者總テ互相交接ノ法ニ因テ他ヲ愛スルコト己ノ如クニシ凡ソ何事ヲ論ゼズ人ノ己ニ施スヲ願フ者ハ亦彼ニ施サマルベカラズ

第二 故ニ亦此示教ハ一國民ト一個人トヲ論ゼズ均シク遵奉スベクシテ某ノ國民ハ他ノ國民ノ權理ヲ犯サマラント欲シテ丁寧謹慎ノ意ヲ表スルコト猶我國民ノ權理ノ爲メニ之ヲ表スルガ如クスベシ加之某ノ國民ハ他ノ國民ニ對シテ如何ナル敬禮節制ヲ著ハサンヤヲ知ント欲セバ彼レノ己ニ表センコトヲ望ム所ノ敬禮節制如何ニ照シテ料知スベキコト猶一個人ノ他ノ一個人ニ於ケルガ如クスベシ且若シ我

レ他ニ權理ヲ害セラル、ヲ苦マバ直ニ他ヲ恨怒セズシテ我レ先ツ十分ニ互相交接ノ道ト誠敬ノ理トヲ行ヒ以テ彼ヲシテ之ニ仿則セシムベシ若シ一國民一個人ノ爲ス所此ノ如クナレバ争鬪ノ原由亡絶スルコト明ニシテ干戈ヲ藉リテ是非曲直ヲ決スルコトノ如キハ古昔鄙野流血ノ時ニ當リテ世俗昏惑ノ餘ニ出ル者トシテ僅ニ記憶ニ存スルニ至ルベシ挑唆、偽計、譎詐等ハ一國民及社會ノ交際ニ於テ不善邪曲タルコト其一個人ノ交際ニ於ケルガ如シ且一國民若クハ黨類ノ指令ヲ受ケテ惡事ヲ行フ者ハ實ニ一個人ノ指令ヲ受ケテ然ル者ト同シク非笑セラル、ヲ免ズ然リ而シテ二者ノ異ナル所他ニアラス他ノ指令ヲ受ケテ詐偽不正ヲ行フ者ハ羞惡ノ心滅セズ其行爲ノ卑劣ナルヲ耻ヂテ罪

惡ノ名ヲ受クルヲ甘ゼズ夫ノ自ヲ詐偽不正ヲ行フ者ニ至リテハ羞惡ノ心既ニ滅シ其大惡無道タルヲ著スベキ卑汚ノ跡アルモ恬トシテ耻ルナキナリ

互相交接ノ法ヨリ生ズル職分ノ類別

互相交接ノ職分別テ三科トス

第一科 人タル人ニ對スル務

第二科 男女ノ設アルヨリ生ズル務

第三科 人文社會ノ設アルヨリ生ズル務

第一科 人タル人ニ對スル務

此務ハ公義ト正直ヲ有ツ

第一 公義 其關係スル所ノ者左ノ如シ

甲 自由

乙 財産

丙 品行

丁 聲譽

第二 正直

甲 過去ト現在ニ屬スル者

乙 未來ニ屬スル者

第二科 男女ノ設アルヨリ生ズル務

此務ノ有ツ所左ノ如シ

丙 父母ノ務ト權理

丁 子ノ務ト權理

第三科 人文社會ノ設アルヨリ生ズル務

甲 人文社會ノ性質

乙 人文社會ノ威權ヲ保ツ方法

丙 政府ノ體裁

丁 官吏ノ務

戊 市民ノ務

○第一科 人タル人ニ對スル務

公義 正直

公義

裁判上ヨリ論ズレバ公義ト云ヘル語ハ人ヲシテ人物ノ品行ト動作ノ善惡邪正ニ從テ賞罰ヲ行ハシムルノ心情ヲ指シ又此賞罰ノ因テ行ハル、所ノ所爲ヲ指スニモ之ヲ用井ル是吾輩公義ヲ行フ裁判官ニ就キテ言フ所ナリ

然レドモ本科ニ於テハ此語更ニ廣キ意義アリテ人ヲシテ他人ノ天授ノ増福ノ具ヲ妨碍セズシテ其之ヲ用井ルニ任セシムルノ心情ヲ指スニ用井ルナリ且此舉動ノ外面ノ所爲ニ著ハル、者ヲ指スニ用井ル所往々之アリ故ニ此ニ人アリテ他人ノ權理ニ對シテ當然ノ注意ヲ表スレバ吾レ之ヲ彼レ公義ヲ以テ行フト云ヒ或ハ何ノ方法ニテモ他ノ權

理ヲ害スレバ之ヲ彼レ公義ヲ以テ行ハズト云ナリ  
 上帝ノ人ニ賜フテ其用非ルニ任セル幸福ヲ得ルノ具ノ至要ナル者左  
 ノ如シ○第一身體第二財産第三品行第四聲譽

第一篇 人身ノ自由ヲ論ズ

第一章 人身ノ自由ノ性質ヲ論ス

衆人皆生得特別ニシテ完全ナル形體ヲ具ヘ能ク己ヲ管制スベキ者タ  
 リ而シテ各其能力ヲ用非ルノ方法宜ニ適シテ上帝ノ望ニ背カザルベ  
 キノ責アリ今人皆身体アリ因テ以テ己ヲシテ百体ノ物品ト交接セシ  
 メ物品ヲ變制シテ其使用ニ供ス又悟性アリ因テ以テ眞實ノ理ヲ明悟  
 シ以テ方法ヲシテ其レニ適スル目的ニ合セシム又情欲ト嗜好アリ因

テ以テ己ヲ勸誘シテ動作ヲ行ハシメ而シテ之ヲ遂グルヨリ其幸福快  
 樂生ズ又良心アリ以テ此嗜好ヲ適宜ニ遂クベキノ制限アルヲ知リ心  
 志アリ以テ其舉動ヲ行フヲ決定ス此數者ハ人性ノ欠ベカラザル者ニ  
 シテ人ノ特別獨立シテ一個人トナリ得ルモ亦之ヲ有ツニ因レリ此一  
 個人社會ヲ結フヲ要スル者アリ而シテ人皆他人ト均シク之ヲ要ス是  
 ニ於テ彼我緊切ニシテ明確ナル互相交接ノ道ヲ守リテ社會ヲ結ブナ  
 リ一個人右ノ能力ヲ用非ルコト上帝ノ命ズル法則ニ從ヘバ上帝モ亦  
 此ヲ以テ彼ヲ視テ無罪ト做ス彼レ此能力ヲ用非ルコト他人ノ天授ノ  
 能力ヲ害セザル方法ニ於テスレバ他人ノ一個タリ或ハ社會タルヲ論  
 ゼズ其之ニ對スルノ所爲侵犯ナラザルガ故ニ無罪ナリト審判セラル

、ナリ此制限ヲ越エズシテ其能力ヲ用弁ル限ニ其黨類ヲ妨碍スル所  
 ナクシテ彼レ其所見ニ從テ之ヲ用弁ルヲ禁ゼラレザルノ權理アリ乃  
 其心志ノ十分ニ窮極シテ道理トナリタル者ニ基ヅキテ所爲ヲ行フノ  
 外更ニ他ヲ要セザルベシ彼レ此制限ヲ守ルト雖モ猶上帝ノ責任ヲ負  
 フ然ルニ彼レ此制限ヲ守レバ更ニ人ノ責任ヲ負フニ非ズ而シテ人モ  
 亦彼レノ責任ヲ負フベキニ非ズ則人自己ニ對シテ權理アルトハ此ノ  
 謂ナリ

第一 今人他人ノ權理ヲ害セザルノ方法ニ依テ其身体ヲ使用スレバ  
 其欲スル所ニ從テコレヲ用弁ルノ權理ヲ全有シテ其往ント欲スル所  
 ニ往キ止ント欲スル所ニ止リテ可ナリ力作ヲ行フモ可ナリ之ヲ廢ス

ルモ亦可ナリ或ハ此事ヲ行ヒ若クハ彼事ヲ行ヒ又ハ二者共ニ行ハザ  
 ルモ不可ナルナシ彼レ他人ノ權理ヲ犯サズシテ其之ヲ有ツニ任セ乃  
 他人ノ天授ノ増福ノ具ヲ使用スルニ任セテ復妨グル所アラザレバ右  
 ノ數事ヲ爲スモ爲サマルモ他人ノ利害損益ニ關セズ

固ヨリ此ノ如ク明確ナル事項ヲ子細ニ檢スルハ殆ト無用ニ属スルニ  
 似タリ然レトモ猶其一層昭明ナルヲ欲スレバ則左ノ思考ヲ設クベシ  
 一個人皆天授ノ心身其他幸福ヲ得ルノ具ヲ使用スルガ爲ニ同等ニシ  
 テ固有ナル權理ヲ保ツコト他ノ一個人ト異ナラザルハ當然ノ定論ナ  
 リ然レドモ今試ニ此一個人ハ他ノ一個人ノ心身其他幸福ヲ得ルノ具  
 ニ關スルノ權理アリ乃甲ハ其心志ニ從テ乙ノ身體等ヲ使用スルノ權

理アリト假想スベシ而シテ其思想ノ如ク實ニ然ルトキハ則亦此レ普通ニ實ニ然ルナリ故ニ甲ハ乙ノ身體等ヲ管制スルノ權理アリ乙ハ丙ヲ管制シ丙ハ丁ヲ管制スルノ權理アリ此ノ如クニシテ止マズ以テ癸ニ至リテ更ニ又甲ノ身體等ヲ管制スルノ權理アリ乃各自ノ心志能ク自己ノ身體才智ノ外ニ他人ノ身體才智ヲ管制スルノ權理アリ夫レ此ノ如キ者ハ或ハ人ノ天性ニ出タル制度ナルヤ抑或ハ現今人生ノ制度ニ於ケル進歩ナルベキヤ之ヲ辨ズルコト難キニアラズ

或曰夫レ他人ノ心志ヲ以テ某人ノ身體ヲ管制セント欲スルモ能ハズ何ナレバ行ハントスルノ心志ナケレバ何事ヲモ行フ能ハズ故ニ人ノ能ク行フ者皆其心志ニ從フガ故ナリ答テ曰此ニ謂ハユル心志ノ語ハ

前條ニ用井タル者ト其意義ヲ異ニセリ凡ソ人其身體ヲ使用スル諸種ノ方法ハ其目前ニ在テ神之ヲ指示ス然ルニ此方法ニ從ハズシテ縱ニ其好ム所ノ者ヲ撰メバ則神禁ニ背クノ罪ヲ免レズ蓋シ吾レ同黨人ノ某事ヲ行フヲ企望シ而シテ之ヲ行ハザレバ加フルニ責罰ヲ以テセントスルニ方リ彼レ之ヲ行ハズシテ他ヲ撰ブハ其禁ズル所ナルハ人皆之ヲ知レリ今某人處スル所ノ實況ハ上帝ノ某ヲ處スル所ノ理法ニ基ツキ來ルノ時勢ナラテ他ノ時勢ノ爲メニ其心志ヲ感動セラレザルノ景況ナリ而シテ自己ノ嗜好ニ從ヒ以テ黨類人ヲシテ其生存ヲ成ス所ノ他ノ景況ニ處セシムル者ハ至大ノ惡虐ヲ犯シテ上帝ノ威權ヲ妄用スルト爲スナリ

或又曰然レドモ此事ニ際シテ一個人社會ノ爲メニ譴責ヲ受クルコトアリ答曰社會ニ於テ譴責ヲ授クルノ權ヲ占ムルニアラザレバ亦然ルコトアルナシ人能ク他人ノ權理ヲ犯サレバ凡ソ事其欲スル所ニ從テ行フ可ナリ其怠惰ニシテ力作セザル者ニ對シテハ自然法ニ出タル諫戒ノ一手段アリ乃其旦夕飢餓ニ及ブベキ是ナリ彼レ若シ此手段アルヲ省ミズシテ寧飢餓スルモ力作セザラント決定スレバ之ヲ奈何スル能ハズ其道路ニ死シテ憫笑セラル、モ自致ス所ニシテ敢テ他人ノ關スル所ニアラズ夫レ互相交接法ニ於テ社會ノ彼レノ自由ヲ害スルヲ許サズ則彼レノ動作ヨリ己ニ及ボス吉凶禍福如何モ亦此法ニ於テ之ヲ社會ニ責メズ吾所見ニ依レバ時トシテ社會ハ窮困依頼スル所ナ

キ者ヲ扶持シ非常ノ災厄ニ罹ル者ヲ救フヲ圖ルコトアリ然レドモ此レ盟約ヲ結整シテ行フ所ノ事ニシテ有志輩皆與盟ノ權理アリ夫レ既ニ盟ニ與カレバ亦其規則ニ遵テ處セザルベカラズ

第二 才智ヲ用井ルニ方リ亦同前ノ思考アルベシ抑余ノ前上ノ論說ヲ以テ是ナリトセバ則之ニ次クニ左ノ件ヲ以テス乃衆人皆其欲スル所ニ從テ前上ニ示シ、制限中ニ於テ其才智ヲ用井ル權理アリ而シテ其欲スル所ノ物ハ其之ヲ欲スルノ方法ニ於テ推考スルヲ得且其推考ヨリ辨明シテ以テ定見ヲ立ルヲ得其立ツル所ノ定見苟モ他人ノ幸福ヲ害スル者ニアラザレバ之ヲ聞クヲ願フ者ニ告示スルヲ得ルナリ若シ此權理ヲ犯セバ前件ニ於ケル者ト同一謬誤ヲ來タスベシ或曰今一

個人此ノ如クスレバ己ヲ過失ニ陷レ以テ爲メニ自己ノ幸福ヲ減ズベシ答曰然リ故ニ事物自然ノ制度ニ出テタル至當罰責ノ設アリ夫ノ過失ヲ以テ習慣ヲ成ス者ハ過失ノ應報タル災害侮慢ヲ己ノ身ニ受ク且此時ニ當リテ社會ハ彼レノ幸福ニ關係スルノ責ナキガ故ニ其一個人ノ獨擅セル幸福ノ器械ヲ使用スルコトニ關涉スベキノ理モ亦敢テ彼レノ幸福ニ關スルノ思考ヨリ導キ來ラザルナリ或又曰然ラハ則社會ハ人ニ對シテ其知識ヲ修好スルヲ求ムルノ權理ナキヤ答曰人皆其欲スル所ノ景況ニ因リ毎ニ神ノ己ヲ處セル民法ニ從テ以テ社會ヲ立テ且社會許ス所ノ自由山ヲ受クルガ爲メニ一個人ヲシテ必幾分か知識ヲ有タシムベク之ヲ成立スルノ權理アリ此ノ如キ社會ヲ立ツルノ

後ハ何人トナク社中ノ一員タル者必社則ニ從ハザルヲ得ズ然レドモ此規則ノ能ク一個人ヲ管制スル者ハ亦其甘ンシテ行ハント約セル者ヲ行ハシムルノ外ハ強フル所アル能ハズ且社會ハ左ノ二件ノ方法ノ孰レニ從フモ此規則ヲ施スコトアリ乃或ハ怠惰ニシテ知識ヲ求ムルヲ勉メザル者アレバ其府民タルノ利益ヲ剝奪シ否ザレバ此利益ヲ每人ニ分與シ且應分ノ知識ヲ有ツヲ勸ムルコトアルナリ此ノ如クスレバ決シテ互相交接ノ道ヲ害セズ何ナレバ衆人皆同一ノ需用ヲナシテ各其同一法ノ他人ニ及ボス結果ヲ以テ十分ナル均價ヲ受クレバナリ若シ一個人其應分ヨリ多キヲ求ムレハ之ヲ公正ト謂ベカラズ且今至當ノ才學有リテ而後ニ得ベキ所ノ權理アリ而シテ他人ヲ妨ズシテ此



才學ヲ有ツ者ニ非レバ此權理ヲ得ル能ハズ彼ノ一個人此權理ヲ有シト欲スルモ若シ之ヲ有ツガ爲メニ必用ナル景況ニ適スルヲ欲セザレバ亦能ハザルナリ且初級ノ普通教育ハ衆人ノ爲メニ欠クヘカラザル者ニシテ各人幼弱ノ時ニ之ヲ受クベシ不幸ニシテ父母其子ニ教育ヲ施ス能ハス或ハ欲セザレバ社會之ヲ説諭シ其子ノ爲メニ教育ヲ設クベキコト固ニ當然タリ

第三 吾レ他人ニ就テ此ノ如キ考論ヲ設クルハ唯其現世ニ處スルノ關係ニ於テスルノミ抑余ノ勉ムル所ノ者ハ一個人敢テ他人ノ權理ヲ妨ゲザレバ最好ク己ノ幸福ヲ增長スベシトスルノ方法乃其欲スル所ニ從テ自己ノ心ト體トヲ用井ルベキノ權理アルヲ示ニアルナリ然レ

ドモ彼レ此制限中ニ於テ其現世ノ幸福ヲ求ムベキノ權利アレバ則最好ク其永遠無疆ノ幸福ヲ増スベシトスルノ方法ヲ以テ心ト體トヲ用井ル權理ノ堅牢ニシテ奪フベカラザルコト願フニ如何ゾヤ加之自己ノ幸福ノ爲メニ天授ノ物ヲ用井テ妨ナキノ權理アレバ則上帝ニ順從シ且當然至貴ノ義務ヲ盡スガ爲メニ亦同物ヲ用井ルヲ禁ゼラレザルヲ得ルノ大ナルコト誠ニ如何ゾヤ是ニ於テカ吾レ正ニ言フアルベシ凡ソ人其隣人ノ權理ヲ犯サハルヲ當然ト視倣セバ其上帝ヲ拜シ或ハ拜セズ拜セント欲スレバ其好ム所ノ方法ニ於テスベキノ權理アリテ其自由ヲ妨ゲラレズ然レドモ自由ニ任セテ弊害ヲ生スルモノハ亦上帝ノ責問ヲ免レザルナリ或曰此ノ如クスレバ自己ノ靈魂ヲ侵害スル

ヲ免レザルベシ答曰此侵害ノ責ハ之ヲ彼レノ一己ニ負フベクシテ社會ノ負フベキ所ニアラズ且教法ハ威力ノ制御ヲ受ケザル心情ノ申ニ在リテ威力ノ制御ヲ受ケル禮貌ノ外ニ在ラザルカ故ニ威力ヲ加ヘテ以テ人神ノ倫ヲ變ズル能ハズ又人致ス所ノ損害ヲ防グ能ハズ然ラハ則威力ヲ加フルハ自然ノ過失ナルコト必セリ

以上ノ所説ヲ括言スルニ凡ソ人其隣人ノ權理ヲ犯サマレハ今トナク後トナク自己ノ幸福快樂ヲ増スベキ方法ヲ以テ體及心ノ能力ヲ用井ル同等ノ權理アリ或ハ同事ニシテ衆人欲スル所ノ方法ヲ以テ體及心ノ力ヲ用井ルノ權理アリ

此法則外ニ在ルコト容易ニ辨明スベシ

第一 第一ニ此法則外ニ在ルコト凡ソ人小兒タル時ニ方リ其父母自然法ニ因テ之ヲ養育スルノ務アリテ子ノ舉動如何ノ責ハ一ニ之ヲ己ニ負ベシ故ニ此責ヲ負フノ間ハ其子ノ舉動ヲ管制スルノ權理アリ又其子ヲシテ社會中ニ適宜ノ地位ヲ占メシムベキノ義務アリテ其子ノ能ク身體ト知識トノ自由ヲ用井ルノ權ヲ獨任セラル、ニ至ルマテハ此義務ヲ辭スルヲ得ズ

第二 父母ハ其子ノ幼時ニ之ヲ翹養セシガ故ニ亦自然法ニ因テ其子ノ年少ノ際或ハ其相當ノ報酬ヲ担任スルニ足ル時ニ於テ之ヲ使役スルノ權理アリ既ニ此報酬ヲ受クレバ則復之ヲ使役スルノ權理ナシ

第三 彼レ當然ト認ムレバ此權理ヲ他人ニ委スルモ亦妨ナシ徒弟ノ

職業ニ從事スル時ノ如キ則然ルナリ然レドモ此權ヲ他人ニ委スルコト已レ自ラ之ヲ有ツノ時限ヨリ永カルベカラズ故ニ之ヲ他人ニ委スルコト其子ノ幼稚タル時限ヨリ過クベカラズ

第四 人或ハ期限アル時間ニ於テ相當ノ價ヲ得テ自己ノ勞力ヲ他人ニ交付スルヲ禁セズ而シテ根原ノ權理ハ仍己ニ在リ故ニ此ノ如クスルモ其權理ヲ害スルニ非ルノ道理ニ基キ以テ交付ノ事行ハル、ナリ然レドモ彼レ其子ニ非ズシテ他人ノ力役ヲ人ニ交付スルノ權理ナシ其子ノ力役ト雖モ上ニ陳ベタル時限外ニ之ヲ交付スルヲ得ズ

亞米利加合衆國獨立ノ布告書ノ初頭ノ文義正ニ余ノ論說ニ符合セリ曰「余輩左ノ道理ヲ以テ明確ナル者ト主張ス夫レ衆人同等ノ成造ヲ

受ケテ造物者ヨリ移轉スベカラザル權理ヲ附與セラレ此權理中ニ生命アリ自由アリ幸福ノ目途アルナリ」所謂同等トハ幸福ヲ得ル具ノ同等ナルヲ言フニ非ズ特ニ人其欲スル所ニ從テ此具ヲ用非ル權理ノ同等ナルヲ言ヘルコト辯ヲ待ズシテ明ナリ

人身ノ自由ニ伴フ状態ニ因テ犯サル第一ハ一個人ニ因リ第二ハ社會ニ因テスルナリ

○第一章 人身ノ自由ノ一個人ニ犯サル、者ヲ論ズ

人身ノ自由ノ一個人ニ犯サル、者最通常ナルハ家僕ノ一項ナリ

家僕ノ一項下二條ノ抗論ニ因リテ認メテ是トナシ得ルナリ其一ニ曰「奴隸ノ一項ハ人類ヲ生成スル一般ノ法ニ因テ許サル」其二ニ曰「造

物者某ノ状態ニ於テ人ニ示スニ一部ノ人類ヲシテ他部人類ノ奴隷ト  
ナラシムルコトヲ以テス

今姑ク此抗論ヲ詳密ニ考究スベシ

第一 其定言スル所此ノ如シ夫レ人ヲ生成スル一ノ律法ニ於テ某ノ  
人物ハ他ノ人物ヲシテ奴隷ノ地位ニ處ラシムルヲ許スナリ自主自由  
ヲ失テ奴隷ノ地位ニ處ル者ハ復自ラ其心身ヲ用井ルノ權理ナク其欲  
スル所ニ往ク能ハズ亦止ル能ハズ己ノ利益若クハ嗜好ノ爲メニ勞力  
シ或ハ止息スル能ハズ而シテ一動一靜必他人ノ心志ニ從フ彼レ産業  
ヲ有ツヲ禁ゼラル、ガ故ニ些子ノ俸金ヲ受ルヲ得ズ誓盟ヲ行フモ人  
之ヲ信ゼズ條約ヲ締バント欲スレバ人之ヲ禁ズ彼レ嫁娶スルヲ得ズ

而シテ其家中ノ倫ハ他人ノ心志ニ順從スル臣妾ノ倫タルニ過ギズ其  
子ヲ有ツノ權利ナクシテ兒子及其父母ハ毎ニ主人ノ欲スル所ニ從テ  
永ク居ヲ異ニセシメラル而シテ主人ハ最好ク其嗜好心志ヲ快クスベ  
キ方法ニ從テ婢僕ヲ使役スルヲ禁ゼラレズ其婦人ヲ嬖シテ枕席ニ侍  
セシムルモ不可ナク其婦人ノ所生ハ主人ノ子ニアラズシテ亦婢僕ナ  
ルガ故ニ主人ハ其母ト共ニ之ヲ獸畜シ善價ヲ求メテ賣ルモ妨ナシ彼  
等之ヲ拒メハ主人擅ニ之ヲ罰シ甚シキハ之ヲ死ニ處スルノ權アリ  
若シ奴僕タル者書ヲ讀ミ熟考スル所アリテ其地位ノ卑屈賤劣ナルヲ  
知レバ頓ニ之ヲ甘ゼザルノ念ヲ生ズベシ故ニ主人己ニ彼ヲ禁シテ自  
ラ其体ヲ用非サラシメバ則亦其心ヲ用井ルノ權ヲモ剝奪シ其己ヲ改

好スルガ爲メニ書ヲ讀ミ或ハ何事ヲ行フヲ禁シ只彼レ全ク識見ナク  
 纔ニ勞力動物ニ過ギズシテ而後ニ方ニ善ク其地位ニ適スト謂フシ而  
 シテ凡ソ事ノ此ノ如キ目的ヲ害スル者ハ一切ニ之ヲ禁スルモ不可ナ  
 ルナシ

蓋シ聖書上ニ亦奴隸ノ神人ニ對スルノ倫ヲ記スルコト詳明ナリ彼レ  
 觀テ以テ知ル所アレバ則其知識ヲ修ムルノ功ヲ奏スルコト右ノ諸事  
 ニ同ジカルベシ加之上帝此ニ在レバ主人ノ威權強大ナル能ハズシテ  
 夫ノ奴隸モ亦其人ニ事ルヨリハ寧上帝ニ從フヘキヲ知り屢好シテ主  
 人ノ命令ヲ聽カザルコトアルベシ是ニ於テ主人ハ婢僕ニ許セシ限量  
 ト方法トニ違ヒテ聖書ヲ讀ミ及教法ノ訓導ヲ受ルヲ禁ジ或ハ認メテ

當然ト做セバ全ク之ヲ禁ズルモ可ナリ又婢僕ノ是レ上帝ノ心志ナリ  
 ト思フ者ニ從ヒテ主人ノ命ヲ奉ゼザルトキハ主人ノ欲スル所ニ任セ  
 テ之ヲ罰スルニ笞杖ヲ以テシ若クハ殺戮ヲ以テスベシ之ヲ約言スル  
 ニ赤黑人ハ白色人ヲシテ己ヲ尊重シテ敢テ犯カサマラシムルノ權理  
 ナ有ツ能ハザラシメシハ是奴隸ヲ使役スル國ノ上等裁判官ノ審定セ  
 シ所ナリ

一ノ某人類アリ他ノ某人類ニ對シテ此ノ如キ非常ノ權力ヲ有テル事  
 蓋シ明ナリ乃某國人亞非利加ニ往キ土人ヲ激シテ交戦セシメ其村落  
 ナ侵シテ放火シ其老弱使用ニ供スル能ハザル者ハ之ヲ殺シ男女トナ  
 ク其強壯ナル者ハ之ヲ執ヘテ海濱ニ驅逐シ以テ賣奴商ニ賣與ス遂ニ

殘酷言フベカラザルノ狀ニテ之ヲ舟載シテ正教國ノ港口ニ送り其能ク航海中ノ痛苦ニ耐ヘテ僅ニ存スル者ハ又盡ク此國ノ住民ニ轉賣シ且彼ノ村落ヲ燒キ其親戚ヲ殺シテ占メタルノ權利ヲ并セテ之ヲ賣與ス蓋シ此權力永世無疆ニ存スル者ニ似タリ故ニ婢妾ノ所生ニ係ル者ハ男タリ女タルノ別ナク白色人ノ兒即チ其主人ノ兒ナリト雖モ亦看テ奴隷ト做スヲ免レズ甚シキニ至リテハ白黑人妄ニ相交通シテ婢妾ノ子其面貌雪白ニシテ毫モ其主人ニ異ナラズト雖モ依然トシテ主僕ノ別尙存ス且其体中ニ黑人種ノ血統幾許ナキモ亦奴隷法ノ管制ヲ脱スル能ハス之ニ教フルニ上帝ノ言語ヲ讀ムヲ以テスル者アレバ輒嚴刑ニ處セラル彼レ産業ヲ有ツ能ハズ給料ヲ受テ自ラ扶持スル能ハズ

人ノ信仰ヲ得ル能ハス且自己ノ妻子ニ對シテ夫タリ父タルノ權ヲ有ツ能ハズ

此權力ハ永久行ハル、者ニ非ルコト固ヨリ論ナシ此權力ノミナラズ吾人ノ家畜ニ對シテ有ツ權力モ常ニ之ヲ用非テ極度ニ至ルヲ得ザルナリ然レドモ律書ヲ見レバ此權力ノ禁セラレズ且許多ノ時事ニ於テ其用非ラル、コト自カラ昭明ニシテ之ヲ用非ルベキ律法上ノ許可存シテ廢セズ而シテ奴隷法ヲ變易セントスル企圖ハ奴隷ヲ有ツ者ノ權利ヲ犯シテ邪曲不正ナル者トシテ禁制セラル、ナリ  
今奴隷ノ事實ヲ說述スル此ノ如ク直白ナルヲ見レバ以テ其事ノ定規ハ至聖至慈ナル造物者ノ心志ニ背クヲ知ルニ足レリ且吾思フニ上帝

ノ寰宇ヲ整治スル其意料ニ於テ唯修身法大ニ他ノ諸物ニ勝ルトナス  
然ルニ奴隸事項ノ基本スル所ノ理ニ於テハ身体ノ力更ニ修身ノ法ニ  
勝ルナリ夫レ吾レ我邪曲ノ方法ニ依テ行得ルノ地位ニ彼ヲ置カント  
欲スルニ方リ彼レ防ク能ハザレバ我レ力ヲ以テ之ヲ爲スヲ得且彼我  
互ニ權力ヲ以テ地位ヲ變ズルヲ得レバ修身法ハ終ニ全ク廢却シ從者  
反テ主長トナリ既ニシテ又今マデ他人ニ對シテ行得タルノ權ヲ失フ  
ヘシ而シテ向ニハ主長タリシ者今ハ則從者トナリテ向ニ他ニ施行セ  
シ處分ヲ彼ヨリ受サルヲ得ズ此ノ如キ定規ノ聖神ノ道德管治ニ適ス  
ルヤ否ヤ其レ必之ヲ辨ズルモノアラシ何ゾ況ンヤ無量慈仁ナル上帝  
ノ設ケタル有智生造物ノ法ニシテ唯普通無盡ノ戰亂ヲ醸スニ足レル

規則アリト思フヤ此ノ如キコト果シテ人生ノ法タレバ吾處ル所ノ景  
況ハ一國民一個人ノ別ナク互ニ死力ヲ極メテ他ニ勝ルヲ競フノ景況  
ニシテ衆人皆其兄弟ヲ役使スルヲ務メ萬邦咸ク其隣邦ヲ征服スルヲ  
務メ而シテ其既ニ服屬スル者ハ再勝テ以テ其失ヒシ者ヲ得ント務ム  
ベシ此ノ如キ法ノ能ク博愛ナル上帝ノ品行ニ適スルヤ吾レ之ヲ知ル  
能ハズ

奴隸事項ヨリ道德禮式ニ及ホス利害如何ヲ熟考スルニ因テ今同上ノ  
定論ヲ設ク夫レ奴隸事項ノ由テ然ラシムル所ニ出デ主僕兩者ノ修身  
上ニ不善ヲ致スヲ免レザル者アリ此事ノ主人タル者ニ於ケルヤ其嗜  
欲ヲ快足スルヲ縱ニシテ節抑補正セザルカ爲メニ其勢之ヲシテ傲慢

憤怒殘酷、自私淫肆ヲ增長セシム其奴隸ニ於ケルヤ專ラ主人ノ心志ニ  
 是レ從フニ慣レシムルガ故ニ其勢之ヲシテ欺詐假托不正及己ヲ舍テ  
 他人ノ嗜欲ヲ快足セシムルヲ好ムノ念ヲ養成スルナリ蓋シ僕隸ヲ使  
 役スル諸國ノ中或ハ此ノ如キ患ヲ免ル所アリ且某人道德ノ理ニ依據  
 シテ此勢ヲ制抑シ以テ此弊害ヲ禦クコト無キニ非ズ亦幸ト謂フヘシ  
 然レドモ奴隸事項ノ由テ然ラシムルノ勢此ノ如クナルコト苟モ理ヲ  
 辨ズル者認テ當然トセザルナシト—マスジエフヘルソンハ奴隸ヲ有  
 テル者ナリシガ曾曰語リテ曰此ノ如キハ奴隸事項ノ明白ニシテ疑ナ  
 キノ勢ナリト

奴隸事項ヨリ邦國ノ財用上ニ及ボス利害モ亦辨シ難カラズ夫レ凡ソ

邦國ハ唯勤勞節儉ニ資シテ財用ヲ増殖シ得ルナリ勞力ニ資シテ財產  
 ヲ増加シ節儉ニ因テ今年ノ福利ハ昨年ヨリ增益スルヲ得國民ノ勤勞  
 節儉益大ニ且遍ケレバ其財用ヲ富殖シ身體ノ幸福ヲ得ルノ具ヲ増ス  
 コト從テ益速ナルベシ之ニ反シテ奴隸事項ハ人ニ強ルニ必勞力スベ  
 キヲ以テセズシテ却テ勞力ヲ視テ鄙事ト做シ因テ勞力者ノ數ヲ減シ  
 テ至少ニ過ギザラシム

且此至少ノ人員ヲシテ己ニ勞力ヲ勸勵スル自然ノ推動物即人心中心ニ  
 アリテ其地位ヲ進好セント欲スルノ念ヲ失ハシメ之ニ代ヘテ至少ノ  
 功用アリ乃至短ニ繼續スル心即道德ノ罪過ヲ辨ズルニ非ズシテ只管  
 罰責ヲ受ケンコトヲ恐怖スルノ心ヲ懷カシム又甲乙二者ヲシテ己ニ



節儉ヲ勸勵スルノ心情ト理由トヲ失ハシメ甲ハ勞力セザルベカラザルニ由テ節用ヲ學バズ乙ハ節儉ヨリ生ズル利益ニ基キテ之ヲ學ブヲ知ラザルナリ故ニ甲ハ昏愚ニヨリテ財貨ヲ揮霍シ乙ハ節儉ヲ行フモ益ナキヲ以テ亦同然リ然ラハ則財本何ニ由テ蓄積セシ假令蓄積スルモ亦速ナル能ハズ

此ノ如キ者ハ奴隸事項ニ在テ免レザルノ勢ナリ抑蓋シ甚豊腴ナラサル國ニ在テ長ク奴隸ヲ扶持スル能ハズ且最初其地味大ニ豊腴ナル所モ第一ノ豊腴ヲ失ヒシ後ニ長ク此人口ヲ扶持スル能ハズ米國最好ノ郡邑中其奴隸ヲ使役スル風ノ行ハル、所ニ在テ須ラク益收穫ヲ増加スベキニ反テ漸ク之ヲ減少セリ故ニ奴隸事項ハ毎ニ舊植民地ヨリ遷

リテ未墾ノ新地方ニ行ハル是蓋シ此地方ニ於テ數百年來草木自然ニ蓄生シ由テ累積シタル豊腴ノ滋味能ク一土壤ヲ成シ許多ノ穀類ヲ生ジテ以テ人生至當ノ法ニ背キタル定規即奴隸事項ヲ言フヲ維持ノ暫時間行ハレシムルナリ抑又奴隸ヲ有テル國ト有タザル國ト殆ド同時ニ植民セシコトアリシニ地味氣候ヲ論スレバ甲國ハ乙國ニ勝レドモ財本ノ累積人民普通ノ知識ノ進歩及地方ノ修養ニ至リテハ乙國大ニ甲國ニ勝レリ二者ノ相異ナル所以他ニアラズ唯奴隸ヲ用非ルト否ラザルトニアリシノミ若シ之ヲ信ゼザル者アレバ請フ假ニ奴隸ヲ有テル國ヲシテ最初ヨリ勉強ナル農夫ノ居トナラシメ各己ノ地ヲ有シ各己ノ手ヲ以テ之ヲ耕耘セシメシナレバ今日ニ於テ其景況如何ト顧慮スベシ

此ノ如キ思考ハ蓋シ以テ造物者ノ心志ヲ人ニ示スニ足ルヘシ且人其兄弟ニ對シテ此ノ如キ權力ヲ行フヲ許スハ造物者ノ意ニ非ルベシ他ノ標點ヨリ明白ニ此事ヲ觀察スルヲ得

第一 凡ソ人ハ必修身法ニ服従スベシ或曰此時ニ當リ我レ人ノ家ヲ燒キ其妻子ヲ殺スニ因リテ彼ニ對シテ何等ノ權理ヲ有チ得ルヤ答曰此所爲ヲ行フニ因テ人ノ地位ヲ變ジ自主ノ人ヲシテ奴隸ノ地位ニ置カシメ且犯者ヲシテ能ク被犯者ヲ制スル權理ヲ有タシムルナクノ反テ神人ノ嚴罰ヲ受クルニ足ラシムルナリ其ノ捕虜者ノ俘虜ヲ他人ニ賣ルヤ彼レ權理ノ並テ賣與スヘキ者ナシ買主モ亦捕虜者ヨリ權理ノ並セ買受スベキ者アラズ捕虜者一ノ權理ヲ有タザレバ買受者モ亦然

ラザルヲ得ズ捕虜者ハ俘虜身上ニ對シテ猶且其權理ヲ有ツ能ハザルコト實ニ此ノ如シ則之ヲ其妻子ノ身上ニ有ツ能ハザルコト固ヨリ論ナシ夫レ人皆自身ニ對シテ權理有リ故ニ人ノ家ヲ燒キ其家族ヲ殺シ若クハ之ヲ殺ス者ニ費勞ヲ償フコトハ決シテ此權理ヲ滅スル能ハズ第二 若シ他人ノ權理ヲ犯スコト人間ノ法ナリトセバ則此レ衆人ノ爲メニ設ケシ法ニシテ人皆之ヲ行フヲ禁ゼズ故ニ力能ク其兄弟ヲ奴使スルヲ得レハ之ヲ爲スモ當然ナルヘシ惟邦モ亦然リ同一方法ヲ以テ他邦ヲ奴隸タラシムベシ而シテ吾レ他日此事ノ必無ヲ保スル能ハズ第三 此人間ノ法ナリトセバ奴隸モ亦之ヲ採用スヘキコト猶他人ノ如ク然ルベシ彼レノ力能ク自主獨立ヲ復スルヲ得レバ之ヲ有ツノ權

理アリ加之彼我地ヲ易ヘ主人ヲシテ一朝奴隷トナラシメンヲ欲スルモ其力能クスレバ亦之ヲ爲スヘキノ權理アリテ同一方法ヲ以テ之ヲ爲スヘシ且彼レ向ニ其家ヲ燒キ其妻子親族ヲ殺シテ奴隷ノ地ニ處セシメラレシ今ニ同一方法ニ依リ他人ヲ劫シテ此地位ニ處セシムル均同ノ權理アリ夫レ吾所見ニ依ルニ此ノ如キ結果ハ皆人ヲ奴使スルヲ以テ人間ノ法ナリト思想スルヨリ生ズルナリ故ニ今斷シテ曰此ノ如キ法ナシ此ノ如キ法ハ神聖博愛ノ造物者ヨリ其創造物ニ賜與セル者ニ非ズ

第二 此ニ更ニ抗論者アリ曰此レ天下衆民ノ均シク用井ル通法ニ非ズ乃特別ニシテ僅ニ一部民族ノ用井ルベキ法ナリ之ヲ詳言スレバ他

人ヲ劫ガシテ奴隷ノ地位ニ處セシムルノ權理ハ唯一部民族ノミノ有ツ所ナリ此抗論ヲ主張スル所以ノ思考左ノ如シ

第一 普通ニ奴使セラル、者所謂黑人ハ人ニ非ズト言ヘリ凡ソ國民ハ赤色ヲ帶フル可ナリ茶褐色ナルモ可ナリ橄欖色黃褐色ナルモ亦可ニシテ皆人タルヲ失ハズ而シテ唯黑色ナル者ハ則人タルヲ得ズ夫レ黑人諸業ニ練達セザルニ非ズ不滅ノ靈魂ナキニ非ズ且基督ニ事ヘテ方正タル徒弟トナリ雖キニ非ズ特ニ黑色ノ面貌アルガ故ニ人タルヲ得ズト云フ今此說ヲ直書スルノミニシテ更ニ論辨ヲ待タズシテ其是非邪正判然タリ

第二 或又曰黑人ハ一種下等ノ人物ニシテ魯鈍教訓スベカラズ僅ニ

平易ノ工業ヲ行フニ堪フル者ノミ故ニ之ヲ奴使スルハ當然ナリ  
之ニ對ルコト左ノ如シ

第一 此說ヲ基本スル所ノ議論ハ皆余ノ取ラザル所ナリ夫レ亞非利  
加人ハ面貌黑色ナリト雖モ亦他ノ野蠻ノ民族ト同等ノ地位ニ居テ均  
シク開化ノ域ニ進ムベキノ才力アリ故ニ向ニ適應ノ教化ヲ得セシメ  
バ其開化ニ進ミシコト他ノ民族ニ異ナラザルベシ

第二 彼レ果シテ開化ノ域ニ入り難シトセバ何ソ奴隸ヲ使役スル諸  
國ニ在テ彼ニ授クルニ初步ノ教育ヲ以テスルコトヲモ禁シテ之ヲ犯  
ス者ヲ處スルニ罰責ヲ以テスルヤ故ニ先ツ彼ヲシテ他人ノ如ク學問  
講習ニ從事スルヲ得セシムト雖モ彼レ終ニ頑愚ノ人類タルヲ免レズ

シテ知識ヲ開明スル能ハザルコトヲ自表スルヲ認ルニ至ルマデハ未  
タ此說ヲ以テ確論トナスベカラズ

第三 假令此說ハ則特ニ然リトスルモ決シテ此ヨリ生スル推論ヲシ  
テ眞確ナラシムル能ハズ然ラバ則高才明達人ニシテ其黨類ナル昏愚  
理解ノ力ナクシテ文明ノ極度ニ上リ難キ者ヲ扱シテ奴使スルヲ得ル  
ハ何ノ權理ニ因ルヤ又開化國ノ野蠻國ヲ扱シテ己ニ服屬セシムルヲ  
得ルハ何ノ權理ニ因ルヤ吾輩ノ三維斯島人ニ於ケル傳道者及教師ヲ  
遣リテ其智ヲ開ラキ其俗ヲ化シ以テ耶穌教ヲ奉ズル社會ノ地位ニ達  
セシムルコト今日ノ如ク然ラシムルヲ爲サズシテ向ニ之ヲ扱シテ奴  
使スルモ以テ當然トナスヤ且日ニ千百群ヲナシテ吾國ニ來舶スル外

國人ノ大概我國民ト雜居スル亞非利加人ニ勝ルコトナキ者ヲ執ヘテ之ヲ役使スルモ以テ罪ナシトスルカ夫不幸無智ニ由リ邪惡ナル者ヲ化シテ吾輩ノ地位ニ遷ラシムルハ人タリ又耶蘇教徒タル吾輩ノ職務ニ非ザルヤサマリタンハ傷害ヲ受テ依賴スル所ナキ行客ヲ以テ奴隷トセシヤ且吾レ貧民ノ家ヲ燒キ其妻子ヲ殺シ此ノ如キ罪惡ノ所爲ニ因テ彼レ及其親族ヲ劫迫シテ永ク苦役スルノ權ヲ要スベキヤ米人ノ遠祖嘗テ歐羅巴ノ文明ニ及バザリシコト太遠クシテ猶現今亞非利加人ノ米人ノ文明ニ及バザルガ如キナリ加之彼等羅馬人ニ虜掠セラレテ其府下ノ奴隷市場ニ賣却セラレ、ヲ免レザリシ爾後耶蘇教ノ化能ク彼等ヲシテ奴隷ノ苦ヲ脱セシメ當時其國ニ文學ノ利益ト教法ノ福

祉ヲ輸送シ以テ今日英國ノ富盛ナル果實ノ種子ヲ下セリ嗚呼吾輩人ヲ遣リ此愚昧ノ黑人ヲ激シテ相殺戮淪胥セシメ其僅ニ生存スル者ヲ捕ヘテ敢テ役使セズ夫ノ逃ルベカラザルノ天怒ヲ畏レテ謹テ遠祖ノ所爲ニ則ルハ豈太善ヲズヤ  
又曰亞非利加人ノ才智ハ米人ニ如カズト雖其相如カザル者能ク吾輩ヲシテ何ノ權威ヲ有タシムルヤ夫レ人固ヨリ其種類ニ從テ天稟モ亦相異ナルベシ此ニ一問アリ此人民ノ一部ヲ局セズ全部ヲ擧ゲテ皆夫至大ノ天稟アル國民ノ奴隷タルガ爲メニ生ズルヤ若シ唯某ノ一部民ノミ他ノ部民ノ奴隷タルガ爲メニ生シタリトセバ那ノ一方ハ主人ニ屬シ此ノ一方ハ奴隷ニ屬スルノ分界線ヲ何地ニ畫スベキヤ夫レ奴

隸目今卑屈不利ノ景況ニ處スト雖有用ノ莊園ヲ管理スルニ至リテハ必シモ主人ニ劣ラズト稱セラル且人類ニ迥絶セル大有力ノ神アリ神ハ其大有力ノ故ヲ以テ能ク人ノ天受ノ幸福ノ方法ヲ害スル權理ヲ占ムルヤ其大有力ナル所以ハ吾輩天啓ヲ繼グ者ヲ治ルガ爲メニ遣ラレシ管治ノ神タルノ故ニ非ズヤ此光榮ナル神ハ則果シテ吾管理者ナリ吾品級遙ニ下等ニ居ルト雖モ彼レ自己ノ幸福ヲ増スガ爲メニ吾ノ幸福ヲ滅スルノ理何ソ曾テ之アララン

第三 最後ニ曰奴隸ノ事項ハ聖書上ニ許セシ所ニシテ此允可ハ蓋シ上帝ノ語ヲ以テ授與セラレタリ故ニ人皆其黨類ヲ奴隸ノ地位ニ陥ル、ノ權理アリトイフ者アリ

第一 或曰亞非利加人種ハ洪水後幾モナク納<sup>ア</sup>亞ノ審判アリテ奴隸トナリテ使役スベキ旨ヲ告示セラレタリ此罵語<sup>即審判ハ豫言ニシテ吾輩之ヲ實行スルヲ許サル、ノミナラズ又之ヲ命ゼラル、ナリ</sup>

余乃駭<sup>ノ</sup>曰奴隸事項ニ就キテ此說ヲ立ツルハ全ク豫言ノ目的タル者ヲ誤解スルヨリ起ルナリ夫レ豫言ハ人ニ示スニ上帝ノ全智ヲ以テスルガ爲メニ未來ニ生ズベキ某事ヲ詔告スル者ニシテ上帝此目的ノ爲メニ豫言者伊賽亞<sup>ヲ</sup>經テ諸種ノ事件ヲ豫言スルコト屢之アリ夫レ上帝未來ノ事ヲ豫言スト雖モ未ダ人ニ許スニ自ラ此事ヲ行フノ權ヲ以テセズ且人モ亦某事行ハルベキノ豫言アルヲ以テ便之ヲ行フベキノ許可トナスヲ得ズ夫ノ基督ノ十字架上ニ釘殺セラル、事ノ如ク豫言

ノ明白ナル者一モ之アルナク且彼ヲ殺セシ者ノ如ク罪惡至大ナリト認メラル、者他ニ之アルナシ使徒彼得告テ曰「汝等上帝ノ定論前知ヲ以テ救ヒシ者(即基督)ヲ毒手ニ拿來リテ十字架上ニ釘殺セリ」ト而シテ猶太徒ノ此事ニ干與スベキコトモ亦豫言セラレタリ且吾是語ヲ聞ケリ曰「彼レ始ヨリ生出セザレバ善カルベシ」

請問フ納亞ノ言ハ稱シテ豫言トイフベキヤ恐ラクハ此レ怒罵人ノ意欲ニ出デタル通常ノ語ニ過ギザルノミ夫レ余聖經ニ納亞ヲ稱シテ豫言者トスル所アルヲ見ズ今姑ク經中ノ文ヲ引ク左ノ如シ

創世記第九章第二十節ヨリ第二十五節ニ至ルニ曰納亞園中ニ葡萄ヲ植エ既ニシテ酒ヲ飲デ沈醉シ衣被ナクシテ幕中ニ臥スカナーンノ父

ハム其父ノ赤裸ナルヲ窺ヒ見外ニ在リテ其二人ノ兄弟ニ語シトキシエムシヤヘス一衣ヲ取り肩ニ掛ケ却行シ往テ其父ノ體ヲ掩ヘリ納亞酒醒ルノ後其少子ノ爲ス所ヲ知り曰「吾レカナーンノ醜惡ニ陥ルヲ願フ彼レ其兄弟ニ對シテ臣ノ臣タルベシ」ト後再ヒ此罵語ヲ復シテカナーンハシエムトシヤヘスノ臣タルベシト言ヘリ

今此罵語ニ就キテ第一ニ考論スル所左ノ如シ

第一 此問題タル納亞ノ語ハ醉臥シテ方ニ纔ニ醒メタル人ノ口ヨリ發スル者ノミ抑聖神ハ他ノ時事ニ於テ上帝ノ心志ヲ示スガ爲メニ此ノ如キ方法ニ依テ心ヲ用井シト曾テ之ナシ故ニ若シ上帝ノ心志ヲ顯明セザレハ此ノ如ク發セシ語ノ豫言ナルヲ信ズル能ハズ

第二 此罵語ハハムニ對シテ發セシニ非ズシテ其子ノカナーンニ對シテ發セシナリ若シ罵語ナシテ何人モ皆奴使スルヲ許スノ意アラシメバ此言僅ニカナーンニ對シテノミ發シ而シテ他人ニ關セス故ニ凡ソ人カナーンノ子孫タルコト明確ナラザル者ハ此言アルガ爲メニ奴隸使役セラルベキニ非ズ假令此言上帝ノ口ニ出タル罵詈ナルモ猶且然リ況ヤ此語ハ特ニシエム及ジャヘスニ關シテ發セシノミニシテ其子孫若クハカナーンノ子孫ニモ說及セザルヲヤ

第三 或曰納亞ノ語ハカナーンニ向テ說クト雖モ其意ハハムヲ指スナリ答テ曰否此レ此ノ如ク說クニ非ズ且納亞未ダ全ク醒ズシテ尙昏睡スルニ非ザルヨリハ其語甲ヲ說キテ意ハ則乙ニ在ルガ如キ錯誤ヲ

ナスノ理ナシ若シ果シテハムヲ指スナリトセバ吾其語ノ實地ニ行ハレシヲ見ルコトナシ乃チハムノ子孫ハ創世記ニ見ユル如ク自主自由ノ人タルコトシエム及ジャヘスノ子孫ニ異ナラス就中アスシリア及イジプトハ昔テイスラエリテス族ノ臣僕タラズシテ更ニ恐ルベキ壓制者タリ加之イスレールハ四百年間イジプトニ服事セリハムノ子孫ハ昔時至大ノ威力アル國民ノ數ニ列スル者少カラズ故ニ余斷シテ曰納亞ノ語ニ基本シテ奴隸事項ノ定則ヲ認メテ公正ト爲スヲ得ズ

第四 或又曰奴隸事項ハ摩西ノ法及新約全書ノ教ノ許ス所ナリ須ラク先ツ摩西ノ法ノ旨趣ヲ考究スベシ

此事ノ爲メニ設クル論說正ニ左ノ如シ曰摩西ハ奴隸事項ノ行ハル、



ヲ禁ゼズ此ニ關スル諸種ノ法ヲ制シ且ヘブリウス徒ノ奴隸ヲ有ツテ  
許セリ抑上帝ノ某時ニ許スモノハ他時ニ在テモ亦之ヲ許スガ故ニ人  
皆今日ニ於テ奴隸ヲ有ツコト上帝ノ意ニ背クナシ須ラク摩西ノ法ヲ  
用非テ以テ之ヲ人ニ許スノ憑據トスベシト今余ノ所見ニ依レバ此說  
ノ如キハ奴隸事項ヲ証明スル所以ノ事實ヲ述ルコト正當ナラズ且此  
事實ニ基本シ來ル推論ヲ確定スル能ハズ

今其事實ヲ記スルコト左ノ如シ摩西ノ法ヲ授與セシ時ニ當リテ奴隸  
事項宇内一般ニ行ハレ爾後數世ヲ經テ猶然リ神命ニ因テ摩西ニ律法  
ヲ設ケラル、人民ハ暴戾無智多欲ニシテ偶像ヲ熱信シ且凡ソ事已ニ  
便ナラズ心ニ快カラザル者アルニ逢ヘバ則摩西ヲ辭シテ埃及ニ歸ラ

ント欲スルノ念大ナリシ抑彼等ガ埃及ヨリ移轉セシ風習ハ弊惡ナリ  
ト難モ摩西直ニ之ヲ禁止セズ且吾救主曰「摩西ノ此ノ如ク彼等ヲ遇  
スル所以ハ其中心頑愚ナレバナリ」ト若シ摩西ヲシテ直ニ盡ク彼等  
ノ有テル風習ヲ禁遏セシムレバ必神跡現ジテ之ヲ制禦スルニ非レバ  
亦其威權ヲ總ヘテ彼等ノ爲メニ拒絶セラル、ヲ免レザルベシ故ニ彼  
レ此風習ノ行ハル、ヲ許シ而シテ其到底廢絶スルニ至ルベキ限度ヲ  
設ケタリ彼レ一己復讎ノ事ニ關シ處置ヲ行フトキニ方リテ其情乃見  
ルベシ蓋シ未ダ明ニ此事ヲ禁ゼザレドモ亦爲メニ遁逸ノ市邑ヲ建テ  
リ且同一方法ヲ以テ妻ヲ去ルコト親ノ子ニ對スルノ權威數婦ヲ娶ル  
コト及其他凡ソ事ヲ處スルニ皆直ニ其惡ヲ禁ゼズト雖モ其ヲシテ到

底行ハレザルニ歸セシムルノ限度ヲ設ケリ概言スレバ摩西ノ法命ハ豫備ノ法命ナル所以ノ理ニ因テ行フナリ此法命未來數世ニ行ハレ而シテ其國民ノナザレスノ耶蘇說教ニ於テ十分ナル知識ヲ發明スルノ備辨ヲナス時ニ至リテ止ムナリ蓋シ吾教主ハ摩西ノ法ヲ視テ已ニ對シテ此倫理アリ者トナセリ今摩西ノ奴隸事項ヲ處スルノ方法正ニ此ノ如シ而シテ彼レ此事項ノ行ハル、ヲ禁ゼズ且奴僕ヲ有ツモ可ナリトスルノ際ニ方リテ奴僕ヲ遇スルノ方法ヲ考定スルコト頗ル詳密トス乃ヘブリウ人ト外國ノ奴僕トノ區別ヲ立テ七年五十年毎ニ奴隸ヲ解放スル法ヲ定メ僕ヲシテ教法ノ事務ヲ行フコト總テ主人ニ同シカラシメ之ニ與フルニ勢皮ヲ割クノ權理ヲ以テシ奴僕ノ責罰ヲ受ケテ

身体ヲ毀ツ者ヲ放解放シ以テ其主人ヲシテ之ヲ厚遇セシメイスレリ一テ族ノ亡奴ヲ捕ヘテ其主人ニ還スヲ禁ゼリ又摩西ノ法ニ某人其子ノ爲メニ奴隸ノ女ヲ娶レバ之ヲ待スルコト其女ニ同シカルベシ且彼レ次妻ヲ娶ルト雖先妻ノ飲食衣服及婚姻ノ具ヲ減省スルヲ得ズ然ルニ此ノ如クセザレバ此妻ヲ解放スベシト定メリ夫ノ金ヲ貸シテ額外ノ息ヲ占ルコト其他ノ諸件凡ソ摩西ノ定メシ法ハ皆此ト同一意趣アリ

第一 今摩西ノ法ニ在テ奴隸事件ヲ許セリトセバ是特ニ其法ノ許ス所ノ奴隸事項ノミヲ許ス者ニシテ其他ノ奴隸事項ヲ許スニ非ズ彼レ奴隸ヲ待遇シ及奴隸ノ權理特許ノ爲メニ定メシ法ノ必行ハル、ノ力

アルハ毫モ夫ノ奴隸ヲ有ツ免許ノ必行ハル、カアルニ異ナラズ彼唯  
特殊ノ制限内ニ在テ奴隸事項ノ行ハル、ヲ許セバ則僅ニ其許セシ奴  
隸事項ノミ其威權ノ禁ゼザル所ニ在ルナリ然シテ此ノ如キ法ヲ以テ  
奴隸事項ヲ處スレバ終ニ一二世ヲ出デズシテ此事項ノ廢滅センコト  
ハ蓋シ衆ノ認知スル所ナリ

書ヲ讀ム者ハ須ラク書中ノ一言一語ノ爲ノニ迷誤セラレザルヲ要ス  
ベシ摩西ノ五經ニ奴隸事項ヲ許スノ文ヲ載セリ然レドモ其許ス所ノ  
者ハ只某種ニ屬スル者ヲ示スコト書上自カラ明白ナリ然ルニ人以為  
ラク我レ吾ガ好ム所ノ法ニ因テ規律ヲ立テ、苟モ奴隸事項ノ定規ト  
名ヅクレバ則摩西ノ許ス所トシ行テ不可ナルナシトス故ニ摩西ノヘ

ブリウ人ニ許スニ奴隸ノ女ヲ贖テ吾妻及其子ノ妻トナシ他妻ヲ娶ル  
ト雖モ此婦人ヲ待スルニ妻ノ禮ヲ以テスルヲ命ゼシ所以ニ基ヅキテ  
吾レ或ハ奴隸ノ女ヲ強姦シ而シテ其女生ム所ノ吾兒及兒ノ愛憐スベ  
キ母ヲ拉シテ市場ニ賣ルモ亦摩西ノ禁ゼザル所ナリトスルニ至ル  
第二 摩西ノ法必不易ノ職分タル者トセバ人漫ニ取捨シテ其宜シク  
奉行スベキ教誡ヲ撰ムヲ得ズ必應ニ彼此ヲ問ハズ皆之ヲ遵奉シ而シ  
テ其法ノ許ス所ノ者ヲ行テ可ナルベシ然ラバ則勢皮ノ割截踰越節シ  
エーリユサルムノ詣拜遁逸ノ市邑安息日ニ方リテ采薪スル者ハ嚴罰  
ニ處スル等ノ法承ク之ヲ奉行スベシ且妻ヲ去リ數婦ヲ娶リ及奴隸事  
項ヲ處スルノ法ヲ以テ今日文明急要ノ根原ニ列スル者トシテ設立ス

ベキナリ

第三 摩西ノ教戒典例ヲ以テ不易ノ職分ナリトセバ則凡事ノ乖背セ  
ル道理ヲ示ス者ハ固ヨリ除却セラルベシ試ニ新約全書ヲ看ルニ舊約  
全書ノ教戒ト異ナル所アルノミナラズ又矛盾齟齬スル者甚多シ加之  
吾教主モ自カラ諸種ノ時事ニ於テ啻ニ摩西ノ法ヲ用非ザルノミナラ  
ズ且直ニ之ニ反スル修身ノ教戒ヲ宣フ其語ニ曰「昔日彼レノ言フ所  
ハ則此ノ如シ」此ニ直接ニシテ分明ナル齟齬アリテ二者其孰レカ捨  
テザルヲ得ズ摩西ノ法及其教戒果シテ不易ノ職分タラバ舊約全書ノ  
教戒宜シク服従スベクシテ教主ノ訓誨ハ全ク無用ニ属スベシ人若シ  
摩西ノ法ヲ以テ不易ノ職分ナリトセバ勢此ノ如キニ至ルヲ免レズ蓋

シ是ニ於テ奴隸事項ノ定規ノヘブリウノ立法者ヨリ助ヲ借リテ維持  
スル能ハザルヲ知ルベシ

第三 最後ニ或又曰奴隸事項ノ定規ハ新約全書ノ教ニ因テ保護セフ  
ルト其主張スル論説左ノ如シ

舊約全書ヲ看ルニ直ニ奴隸事項ヲ禁制スルノ文アルヲ見ズ書中ニ詳  
ニ奴隸ノ職分ヲ講明シ且使徒保羅一奴ヲ其主ニ還セシコトアリ故ニ  
奴隸事項ハ基督及其使徒ノ教訓ニ背カザルナリ

之ヲ駁シテ曰今此論説ヲ許シテ眞確トナス者アルベシト雖モ決シテ  
眞確トナスヲ得ズ新約全書中奴隸事項ヲ禁ゼザルコト(書中ニ人ヲ  
賣買スル者決シテ天國ニ入ルヲ得ズト告示スルノ外ニ)實ニ然リト

雖モ亦此事項ノ早晚ニ全ク滅絶スベキヲ丁寧訓誨シテ我ニ教ラルニ  
 普通仁愛ノ理ヲ以テセリ曰人ノ全類ハ均シク上帝ノ目中ニアリテ互  
 ニ相兄弟タリ曰基督ハ一人ヲ遺漏セズシテ全人類ヲ爲メニ死セリ曰  
 隣人ヲ愛スルコト己ノ如クスベシ曰人各基督ノ人ヲ愛スルヲ學テ邪  
 惡忘恩者モ猶且愛スベキ等是ナリ基督曰「猶吾ガ汝ヲ愛スルカ如ク  
 汝モ亦相愛スベシ」且其極日ノ審決ヲ示シタル説話中ニ人ノ彼ヲ愛  
 スルコトハ唯其兄弟ノ最卑賤ナル者ニ向テ行フノ多少ハ即汝之ヲ吾ニ  
 セリ曰「汝吾兄弟ノ最卑賤ナル者ニ向テ行フノ多少ハ即汝之ヲ吾ニ  
 行フナリ」然レドモ救主ハ猶此ノ如キ職務ハ奴隸事項ト並行ハレズ  
 ノ相容レザルヲ説キ且曰人類各特別一個ニシテ第一ニ上帝ノ責ニ任

ズ各人已ノ言行ヲ上帝ニ申白スベシ一人モ他人ニ職務ヲ責ル能ハズ  
 又禁制ヲ設ル能ハズ一人モ上帝至尊ノ心志ニ背ケル職務ヲ他人ニ委  
 スル能ハズ又室家ノ倫ハ人ノ殊ニ當ニ熟慮スベキガ故ニ基督夫婦ノ  
 倫ヲ説テ曰「上帝ノ交結スル所ノ者人之ヲ斷ツヲ許サズ」而シテ終身  
 交結スル此ノ如キ者ヲ強斷スルハ則永生ノ上帝ノ命ニ背反シテ之ヲ  
 爲スナリ且彼レ人ノ父タル者ハ上帝ノ性質教戒ヲ以テ其子ヲ長育ス  
 ルノ本分ヲ定メリ又遂ニ上帝ハ道德ヲ能スル創造物ノ其心身ノ才力  
 ナ竭盡シテ以テ其職務ニ從事スルヲ欲セリ故ニ創造物ハ此ノ如キ方  
 法ヲ以テ生成スベキノ責アルナリ然レドモ自己ニ對シ權理ヲクシテ  
 已ヲ擅用スルノ力ナク且他人ヲシテ己ヲ尊奉貴重セシムルコト能ハ

ズ一ニ他人ノ心志ニ從テ其心身ヲ管制スル者ハ安ソ能ク此ノ如ク生成スルコトヲ得ンヤ

凡ソ以上ノ事實ニ因テ之ヲ見レバ新約全書中直白ニ奴隸事項ヲ禁ゼズト雖モ亦人ニ示スニ修身ノ教戒ヲ以テシ能ク此ニ信從スレバ奴隸事項ノ遂ニ全ク廢絶センコト疑ナシ蓋シ此レ光榮アル吾救主ノ意志ナルコト固ヨリ知ルベシ且吾救主ノ時ニ方リテ某種ノ奴隸事項アリシハ衆ノ皆知ル所ナリ而ソ上帝ノ聖子蓋シ此定規ヲ見ルヲ喜ビシト想像スレバ亦神聖ヲ冒瀆スルニ類スルヲ免レズ是ニ於テ更ニ一問ヲ生ゼリ曰救主ハ何ゾ奴隸事項ヲ廢スルニ此ノ如キ方法ヲ用井ルヤ彼レ何ゾ直ニ之ヲ禁ジテ天下ノ奴隸畢ク解放スベシト布令セザルヤ

余此ニ答ルニ於テ何カアラン夫レ此事項ノ如キ社會ヲ害スル弊惡ヲ容易ニ除却セント欲セバ唯主僕二者ノ心ヲ變ジ主ニ教フルニ公義ヲ愛シ上帝ヲ畏ルベキヲ以テシ而シテ僕ヲシテ一個人ノ責任ヲ負フベキ相當ノ地位ニ達セシムルニ如クハ莫シ抑救主撰ム所ノ方法ハ奴隸事項ヲシテ容易確實ニ廢絶セシムルノ一法ニ止ル也一時ベカンノ邪教ヲ奉ズル人民中ニ行ハレシ奴隸事項ヲ禁ゼシコトアレドモ是適以テ陋劣ナル戰鬪ヲ醸スニ足ルノ外民心ハ毫モ變ゼズシテ依然舊ノ如シ故ニ一モ有用ノ成功アラザリシ今若シ此ニ反シテ眞ノ修身教戒ヲ施セバ一人ヲ害セズシテ奴隸事項ハ自カラ廢絶シテ主僕共ニ惡ヲ去テ善ニ遷ルコト疑ナキナリ若シ夫レ救主無疆ノ慈愛至睿ノ智慧ヲ有

ナルコトヲ辨明セント欲セバ其仁厚ノ意思ヲ遂ルガ爲メニ此方法ヲ撰ベルヲ見テ以テ之ヲ知ルニ足ルベシ

此ニ人皆注意スベキ件アリ夫レ福音ノ傳宣スルヤ一種民一時間ノ爲メニスルニ非ズシテ全人類全時間ノ爲メニセリ且福音ノ主意タル此ノ如キ惡事ノ特ニ當時ニ滅スルヲ見ルノミニ在ズシテ其永世ニ正ニ然ルヲ見ルニ在リ故ニ福音ヲ作ス者ノ要旨ハ之ヲ世界ノ各部ニ施シ播布周遍ナラザルナク因テ人ノ邪惡ノ情欲ヲ變易克服シ以テ殘害ヲ加ヘズシテ字内ノ人類全ク革化セシムコトヲ欲ス惟此方法以テ福音ノ旨趣即普通道德上ノ革化ヲ遂グルヲ得ベシ何ナレバ若シ福音直ニ惡事ヲ禁シテ惡事ヲ行フ所以ノ理ヲ滅セズ及奴隸事項ノ非法ヲ論駁シ

テ其奴ヲ唆教シテ主ノ壓制ニ抗セシムレバ則主僕忽死力ヲ盡シテ相闘フニ至レバナリ是ニ於テ文明世界到處トシテ廢奴ノ事ニ關シ卑劣ノ爭鬪ヲ醸サマルナク懲殺屠戮惟是レ務メテ復耶蘇ノ何人タルヲ知ラザルニ至ルベシ夫レ此ノ如キ時勢ニ趣クヲ免レザルガ爲メニ福音ノ敢テ奴隸事項ヲ禁ゼザルヲ以テ其之ヲ禁ズルノ意ナシト言フベカラズ且決シテ基督ノ意之ヲ許スニ在リトスルヲ得ズ

便徒此道理ニ因テチ子シミュスノ事ヲ處置セリ嘗テフイレモントイフ者民法ノ許ス所ニ由テチ子シミュスヲ使役スル權アリ使徒保羅此權ヲ犯スナクシテフイレモンノ福音ノ道ニ從テチ子シミュスヲ處スルノ時機ニ逢ハンヲ欲セリ故ニ使徒彼ヲ奴視セズ友視シテ郷里ニ遣

歸シ命ズルニナ子シミユスヲ遇スル使徒ノ如クスベキヲ以テセリ曰  
 「彼レハ吾臍附ナリ汝善ク之ヲ遇スベシ」曰「彼ヲ視ル猶吾ノ如クス  
 ベシ」此後何等ノ職務ヲナ子シミユスニ命セシヤ之ヲ審明センコト  
 難カラズ福音ノ道ニ從フニ因テ奴隸事項ノ至ル所皆廢絶センヲ欲ス  
 ルコト此ノ如キ方法ニ於テスルナリ

人或ハ此ノ如キ說ヲ主張スル者アラン曰新約全書中奴隸ニ適スル舉  
 動ヲ示命スルコト分明ナルニ憑テ奴隸事項ヲ行フモ罪ナシト答曰書  
 中豫議スル所ノ言ニ憑テ以テ此說ノ正確ヲ保セントスルモ決シテ能  
 ハズ書中說ク所ノ如キハ善ヲ以テ惡ニ報イ已テ役スル苛酷ナル者ノ  
 爲メニ哀請シ且我レ人ノ爲メニ面ノ一側ヲ打タルレバ亦一方ヲ傾ケ

テ其打ツニ任スヲ命ス曰此ノ如クスルハ此上帝ノ爲メニ感納セラレ  
 、故ナリト夫レ上帝此ノ如ク示命スルニ方リ決シテ邪曲人ノ彼レノ  
 意ニ背キテ之ヲ行フヲ許サズ上帝曰「復讎ハ吾ニ屬ス故ニ吾再之ヲ  
 行フベシ」故ニ神ノ命ズル所ハ凡ソ臣僕ノ其主ニ服事スルハ猶吾救  
 主基督ノ上帝ニ於ケルガゴトク其道ヲ光榮ニスルガ爲メニ純潔ノ心  
 ヲ以テシ又猶上帝ニ於ケルゴトク職務ヲ行ハントスル善良ノ心志ヲ  
 以テスベキヲ示スナリ然レドモ人此臣僕ノ職務ヲ示教スル所以ノ方  
 法ニ基ヅキ以テ福音ハ則是其奴隸ノ事項ヲ許ス者ナリトスルノ理ア  
 ルナシ此レ猶其王ヲ稱スレバ則之ヲ敬スベシト命ズルニ因テ王  
 者暴虐ヲ縱ニスベシトシ或ハ面ノ一側ヲ打タルレバ亦他ノ一側ヲ傾



テ人ノ打ツニ任スベシト命ゼラル、ヲ以テ惡人他ニ侵害ヲ加ルモ罪  
 ナシトスルノ理ナキガコトシ  
 約言スレバ福音ノ示教スル所ノ舉動ノ理ハ正ニ奴隸事項ノ行ハル、  
 ニ適セズ福音ノ定ムル所ノ倫序及其勸ムル所ノ職分ハ此事項ノ行ハ  
 ル、ヲ容サズ福音ノ此事項ヲ處スル所以ノ方法ハ唯其レヲシテ終ニ  
 全ク滅絶セシムルノ方法タルニ過ギザルノミ且福音ニ於テ奴隸ノ職  
 務ヲ示教スト雖正之ヲ以テ口實トナシ主人其僕ヲ虐使スルヲ許サ、  
 レバ則福音ノ教戒ハ啻敢テ奴隸法ノ行ハル、ヲ許サ、ルノミナラズ  
 又全ク之ヲ禁制スルコト判然タリ  
 此論ヲ終ントスルニ當リ尙一問アリ曰目今奴隸事項ノ行ハル、社會

ニ於テ主人ト奴隸トノ職務何如  
 答曰請フ先ツ主人ノ身上ニ就テ説カシ夫レ前文ニ詳述シタル如ク奴  
 隸法ノ不善ナルコト明ニシテ自然著顯ノ二教法共ニ其行ハル、ヲ許  
 サズ且吾神人ニ對スルノ職務ニ適セザレバ之ヲ廢シテ復行ハザルベ  
 キコト必セリ若シ應ニ何ノ時ニ之ヲ廢スヘキヤト問フ者アレバ吾モ  
 亦將ニ問フ所アラントス人應ニ何ノ時ニ不善ヲ行フヲ止ムベキヤ則  
 彼必對曰ハン速ニ止ムベシ是ニ於テ知ルベシ人不善ヲ我ニ加フレバ  
 我惟彼レ之ヲ止ルノ速ナラザルヲ恐ルコトヲ或又曰速ニ奴隸ヲ廢ス  
 レバ奴隸ノ爲メニ大困害トナリ自ヲ扶持シ自ヲ管理スル能ハザルベ  
 シ答曰請フ事實ニ就キテ其得失如何ヲ察スベシ彼最不便ノ時勢ニ處

リントキモ猶且自己ト主人トヲ扶持セシコトア彼皆給料ヲ得テ工役ヲ執ルヲ欲シ且之ヲ行得ル身体ヲ有テリ故ニ人彼ヲ使役シテ相當ノ給料ヲ與フレバ則彼レ自ラ扶持スルヲ得且之ヲ好ムコト當今千百群ヲ成シテ日ニ米國ニ來ル移住人ニ異ナラズ蓋シ工役ハ往ク所トシテ要用ナラザルナク彼レ相當ノ給報ヲ受テ之ヲ行ハント欲シ此給報彼ナシテ以テ自ラ扶持スルヲ得セシム且彼レ其善良ニシテ幸福ヲ増進スベキ律法ヲ以テ管理保護セラル、ヲ得レバ必法ヲ守リテ治メ易キ良民タルヲ志スベシ此事三四年前ヨリ行ヒタル明白ノ經驗ニ因テ十分ニ確証シ且彼ナシテ自由人タラシメ相當ノ給料ヲ與ヘテ之ヲ使スルノ利益ハ奴隷トナシテ苦役スルニ勝レルコトモ亦確証セリ

曰然レドモ吾國法ニ於テ奴隷ヲ解放スルヲ許サザルベシ若シ解放スレバ彼再奴隷ノ地位ニ歸セシメラルベシ答曰ク此レ或ハ然ラン然レドモ抑此法ヲ作ル者ハ誰ソヤ奴隷ヲ有ツ者ノ自ラ作ル所ニ非ズヤ而シテ彼レ此法ヲ廢スル能ハザルヤ此法ノ不正タルコトヲ知ルト雖モ之ヲ廢スルヲ務メサレバ亦全ク罪ナシトスルヲ得ズ

又曰奴隷解放論ハ吾人太ダ之ヲ嘉ス然レトモ同志者少クシテ奴隷事項ノ立法ヲ禁絶スル能ハザルヲ奈何セント余問曰既ニ十分ニ此事ニ盡力セシヤ能ク公正同等ノ義ヲ奴隷ニ附與シ以テ上帝ノ志ニ從ヒシヤ基督ノ審案前ニ立ツコト吾ニ異ナラザル人類ヲ以テ彼ヲ待セシヤ彼ニ上帝ノ語ヲ讀ムヲ教ヘテ其教戒ニ從フベキ時機ヲ與ヘシヤ加之

公然此邪惡ヲ攻撃スル証據ヲ保有シ且此邪惡ヲ助行セザ律法ヲ變易スルニ盡力セシヤ悉ク此諸件ヲ行フニ非ザレバ吾輩奴隸事項ノ行ハル、ニ與リテ罪アルヲ免ル能ハズ、  
 次ニ奴隸ノ職務モ亦聖書上ニ示明セリ其規則左ノ如シ曰ク我ヲ待スル如何ヲ問ハズ我ノ人ヲ待スルハ須ラク公正親厚ニシテ信實ナラザルベカラズ故ニ奴僕ニ從屬忠實順服ノ務アリ是レ主人ノ固ヨリ已ニ使役スル權アル所以ニ因ルニ非ズ乃チ已ノ上帝ニ對スル職務タル所以ニ因テ當ニ此務ヲ行フベシ凡ソ主人ノ命ズル所奴僕ノ良心ニ於テ之ヲ行フベカラザルヲ知ル者ノ外ハ百事勉行フベシ主人邪曲ヲ行フヲ命ズレバ僕辭シテ從ハザルベシ之ガ爲メニ主人ノ怒ニ觸レ譴責

ヲ受ルモ敢テ顧ミズシテ唯刑罰ノ權ヲ執レル上帝ニ背カザルヲ務ムベシ彼レ道理ニ依テ行フトキハ德行ノ極度ニ達シ而シテ高尚純潔ナル道德上ノ品行ヲ顯ハスヲ得ベシ蓋シ此品行ハ主人ト雖モ此ノ如キ時情ニ處シテ之ヲ得ント欲スルモ全ク能ハザルナリ

故ニ耶蘇教ニ於テハ啻ニ奴隸事項ヲ禁ズルノミナラズ其一タヒ行ハレシ後主僕二者ノ爲メニ平穩利益ヲ以テ全然廢絶シ得ル所以ノ一方法ヲ設ケ正キ道德ノ性情ヲ主僕ノ心中ニ浸入シテ甲ニ教フルニ互相交接ノ職ト普通仁愛ノ務ヲ以テシ乙ニ誨フルニ信奉耐忍順服ノ職務ヲ以テセリ是ニ於テ二者ヲシテ爭亂怨隙ヲ生ゼスシテ互ニ眞ニ道德ノ域ニ進ミ遂ニ再上帝望ム所ノ倫理ヲ以テ相待スルニ至ラシム

衆人皆此事實ヲ省察シテ上帝ノ修身法ヲ記臆シ又此法ヲ保護スル所以ノ確定及此惡事（奴隸事項ナイフ）一タビ行ハル、ノ後ニ之ヲ滅絶スルノ方法ニ注意スレバ必速ニ此惡事ヲ滅セザルベカラザルノ急務ニ任責セラル、ヲ認知スベシ蓋シ想フニ全世界ノ審官之ガ裁判ヲ行フベシ而シテ壓制セラル、者ノ哭聲ヲ聞キ其長ルベキ威徳ヲ以テ之ヲ救済スベシ夫レ不善ノ政府ハ法ニ因テ傷害ヲ行フト雖モ此審官ノ親遇ヲ得ル能ハズ又他ノ一方ヨリ之ヲ言ヘバ不當ノ虐使ヲ受ル者皆其靈魂ヲ以テ眞誠ノ上帝ニ託シ以テ暫ク痛苦ヲ忍ブベシ

○第三章 社會ノ人身ノ自由ヲ害スルコト  
社會ニ於テ一個タル者ノ自由財産及ビ軀體ヲ安ンズルノ具ヲ侵奪ス

ルニ因テ人身ノ自由ヲ害スルコトアリ此レ一個人ノ罪ナクシテ禁錮セラレ或ハ刑罰ヲ受ルトキニ然リ

今此課ヲ始ルニ當リテ先ヅ一格言ヲ揭示シテ曰「人皆自己ニ對シテ權利アリ」之ヲ詳言スレバ他人ノ妨碍ヲ受ズシテ其体ト心トノ能力ヲ用井ル權利アルナリ或曰何處ニ在テ此權利ニ限界ヲ設クベキヤ答テ曰其人間普通ニ用井ラル、マデ之ガ限界ヲ設クルヲ得ズ蓋シ權利アルコト衆人正ニ相同シ故ニ人其黨友ノ受ケシ同權利ヲ侵サマルベキ方法ヲ以テ自己ノ權利ヲ用井ルベシ夫レ天ノ賜フ所ノ者ハ均シク且遍キガ故ニ人唯其嗜好ヲ節制スルニ因テ之ヲ享有スルヲ得而シテ其我ヲ制シテ他人ノ權利ヲ犯サマラシムルノ法ハ亦能ク社會ヲ制シ

テ我權理ヲ犯サマラシム故ニ「汝貪ル勿レ」トイヘル教戒ハ總テ人間自由ノ基礎トナルナリ

然レドモ人ノ情欲嗜好ハ必シモ常ニ良心ノ制御ヲ受ケズ人往々其權カヲ逞クシ以テ他人ノ増福ノ具ヲ奪テ自ラ之ヲ用井ルヲ勉ム戰鬪槍奪、不直、不正、放縱、其他ノ惡事ハ皆此心情ヨリ生ズルナリ蓋シ人ノ惡事ノ此ノ如キ結果ヲナス根原ヲ制限更革スルガ爲メニ天之ニ賜フニ自カラ社會ヲ設クルヲ好ムノ念ヲ以テセリ人類相合シテ一社會ヲ結ベバ其制度未完善ナラズト雖モ速ニ一個人其有ツ權理ノ保護ト其受ル侵害ノ補償ヲ社會ニ依託シ而シテ社會モ亦甘シテ此依託ヲ担当ス此方法アリ此ヲ以テ侵害ヲ行フアレバ恨怒スル被犯人ノ自身ヲ以テセ

ズシテ社會ノ安靜正確ノ審判ニ因テ之ヲ補償ス且一個人己ノ冤恨ヲ復セントスルモ亦前者ノ如ク自己ノ腕力ヲ頼マズシテ社會ノ全力ニ命ジテ之ヲ處セシムルヲ得ルナリ此威權ヲ社會ニ委任スルコト益盛ニシテ社會亦各人ノ權理ヲ保定スルガ爲メニ此威權ヲ皇張スルコト益盛ナレバ社會ノ眞ノ文明ニ進ムコト益盛ナルベシ

是ニ於テ社會ノ眞職正ニ知ルベシ蓋シ其職ハ各自一個人ノ爲メニ其天授ノ權理ヲ保護シ且勉メテ人各自己ニ對シテ權理アリトイヘル格言ヲシテ實地ニ行ハレシムルニ在リ然ルニ社會ハ何等ノ政体ニ由テ設立セシ者モ往々此ノ如キ其當ニ有ツベキ權力ノ限界ニ出ルヲ免レズ一個人社會ニ抵抗シ難キガ故ニ社會ハ其權理其威力ト相均シクシ

テ其好ム所ニ從テ一個人ヲ管制スルモ可ナリト思ヘリ此レ前後相繼  
續シテ無數ノ暴虐壓制行ル、所以ナリ且夫執政者ハ以爲ラク便宜事  
ニ從フノ甚シキハ以テ一個人最愛ノ權理ヲ犯スベシ此レ已ニ許サル  
、ノ權ナリト蓋シ耶蘇教ハ首ニ人皆兄弟タルノ理ヲ示教シ後久シク  
各邦ニ往キ多少ノ勞力ヲ以テ至當ニ一個人ノ權理ヲ愛重スベキ制度  
ヲ立テ而シテ衆民ヲシテ慈惠公正ノ上帝ノ望ム所ノ地位ニ達セシム  
ルヲ勉メリ

社會ニ於テ一個人ノ身ニ屬スル權理ヲ犯スコトアリ

甲 其身体ノ自由等ヲ害スルニ因テ然リ

乙 其罪過ヲ申訴スルニ方リ公明不偏ノ審判ヲ經ズシテ禁獄或ハ

處刑セラル、ニ因テ然リ何ナレバ人其罪アルノ証明ナルニ至ルマデ  
ハ定メテ無罪ト爲ス故ニ此ノ如キ明証ナキニ彼ヲ禁錮シ或ハ困厄ス  
ルハ此レ其無罪ノ時ニ之ヲ禁錮シ或ハ困厄スルナリ然レドモ審斷ヲ  
行フガ爲メニ人ヲ囚ヘテ拘留スルハ此限ニアラズ蓋シ此ノ如クスル  
者ハ刑罰ヲ行フガ爲メニアラズ唯其亡命ヲ禦ガント欲ン公義ヲ行ヒ  
侵犯ヲ補償スルガ爲メニ己ムヲ得ザルノ方法ニ出ルナリ亦不正トイ  
フベカラズ何ナレバ彼レノ身上ニ加フル此ノ如キ權力ハ一個人素ヨ  
リ自他便宜ノ爲メニ社會ニ委任セシ者ナレバナリ

丙 一個人ハ各上ニ類別スル限界ニ從テ其欲スル所ニ往クベキノ  
權理アリ其所屬ノ社會域中ニ在テ何所ニ往キ或ハ何所ヨリ去ルモ妨

ナキニ今彼ヲ某所ニ閉錮シ或ハ其欲スル所ニ從テ某所ニ出入スルヲ禁ズルハ此權理ヲ害スト謂ベシ彼レ向ニ所属ノ社會ニ入ルヤ之ニ入ント欲スルノ心志即之ニ入ル所以ノ理ナリ故ニ今之ヲ去ント欲スレハ此心志即之ヲ去ル所以ノ理ニシテ苟モ邪曲ナルニ非レバ此心志ヲ行フヲ禁スル能ハズ

丁 社會ハ一個人ノ自ヲ工業ヲ擇ミ行フヲ禁シ或ハ凡ソ事其擇ム所ノ者ヲ制止スルニ因テ其所有物ノ權理ヲ害スルコトアリ人皆自己ニ對シテ權理アルガ故ニ若シ其黨友ヲ害セザレバ其諸件ノ力ヲ用井且其欲スル所ニ從テ之ヲ用井ルノ權理アリ  
此一般ノ事件ニ就キテ英國ノマグナカルタ英王ヲ制ノ重大條款ハ左限スル法

ノ記念スベキ語ニ成レリ曰「自主自由ノ人ニ於ケル黨伴ノ律法ノ審判ニ因リ若クハ國法ノ然ラシムルニ非サルノ外ハ壓制スベカラズ」且英米二國共ニ有名ナルハピアスコルプス強捕ヲ止ノ法ヲ設ケテ各人ニ全ク其權理ヲ享有スルヲ得ルコトヲ保證ス此法アリ是ヲ以テ囚人ヨリ審官ニ當然ノ訴狀ヲ陳スルニ方リ其理由アル者ハ審官則監衛者ニ命シテ囚人ヲ面前ニ携ヘ來ラシムベシ且囚人ノ自由ヲ奪テ禁錮スベキニ足ルノ理ナシト認ムレバ之ヲ解放セザルヲ得ズ

乙 社會ニ於テ一個人ノ睿智自由ヲ妨碍スルニ因テ其權理ヲ害スルコトアリ夫レ人他人ノ權理ヲ犯サレバ其欲スル所ノ方法ニ從テ其才智ヲ用井ルノ權理アルコト固ヨリ上文説ク所ノ如シ此ニ更ニ第

一其欲スル所ノ學問ヲ修ムルノ權理アリ第二前上ノ制限ニ從ヘバ其欲スル時ト所トニ己レノ學得セル者ヲ布示スルノ權理アリ

甲 此權理ヲ管治スル社會及政府ニ於テ一個人ノ嗜欲スル學問講究ニ從事スルヲ禁ズルトキニ方リ此權理ヲ害スルナリ

乙 一個人前上ノ制限内ニ於テ其學得セル者ヲ布示シ或ハ辨論ヲ資シテ其說ニ服スル者ノ一人モ多カラシテ欲スルニ方リ政府ニ於テ之ヲ禁ズルトキ此權理ヲ害スルナリ或曰人ノ此ガ爲メニ謬誤ニ陷ルヲ憂ル故ニ政府ノ之ヲ禁ズルヲ可トス答曰此謬誤ニ陷ルハ一個人自ラ致ス所ニシテ彼レ其責ニ任ズ而シテ其隣人ノ任ズル所ニ非ズ故ニ隣人之ニ干涉スルノ權理ナシ或又曰然レドモ人或ハ定メテ社會ニ害

アルノ方法ニ依テ其才智ヲ用井ルコトアリ故ニ社會ニ於テ彼レノ他ニ有害ナルホドニ其才智ヲ用井ルヲ禁ジ或ハ之ヲ罰責スルノ權理ハ幾許アルヤ蓋シ此疑問ヲ辨解スルコト太容易ナラズ姑ク吾所見ニ就キテ答ルコト左ノ如シ

甲 此ニ純乎タル虛偽ノ說ヲ公布スルコト夫ノガリレヲ氏カ地球運動ヲ抗論セシ如キ者アラン此時ニ當テ衆人各之ヲ論破辨駁スルノ方法アリテ皆己ノ爲メニ此說ヲ論駁ス故ニ彼ノ虛偽ハ毫モ衆ヲ害スルヲ得ズ而シテ此ノ論駁更ニ又他人ノ利益トナリテ其ヲシテ亦此說ヲ信ゼサラシムルナリ此際ニ於テ社會ハ此ニ干涉スルヲ要セズ

乙 又某人アリテ虛偽邪惡ノ言ヲ布示シ例ハ是非邪正ノ辨別ヲナ



スハ其原因ナシ財産ノ權理ハ無根ノ談ニ過ギズ已テ管制スルコト無益ニシテ行ハレ難シト示教センニ此レ唯虛偽ナルノミナラズ更ニ邪惡ニシテ終ニ凶害ヲ招クニ至ル然レドモ某人ノ此示教ヲ設クル企圖ハ唯人ノ意思ヲ變ズルニ止ルノ間ハ社會ニ於テ之ヲ禁ズルノ權理ナシ此際此示教ノ虛誕ナルコト昭明セラレ以テ其有害ナルコト論駁セラル、ナリ若シ論說ニ因テ社會ノ意思變ゼラルレバ則律法モ亦爲メニ變ジ而シテ平穩ナル變革行ハルベシ

丙 然レドモ彼レ社會ノ意思ヲ變ゼント謀ルノ外更ニ務テ人ニ其理論ニ因テ行ヒ專ラ是非邪正ノ意思ヲ放除スルヲ勸誘シ且財産ノ權理ヲ認メズシテ人ヲシテ某所ニ在テ其隣人ヲ侵掠スルニ着手セシム

ルコトアラン夫レ此ノ如ク人ニ勸誘セラレテ無法ヲ行フ者ハ固ヨリ相當ノ刑ニ處セラルベシ而シテ勸誘シテ之ヲ行ハシムル者モ亦其罰ノ幾分ヲ受ザルベカラズ何ナレハ彼レ之ヲ勸誘セザレバ此罪惡決シテ行ハレザルベキ故ナリ

丁 罪惡ハ妄ニ人ノ情欲嗜好ヲ勸勵スルヨリ生ズルコト明ナリ例ハ驕奢ヲ誘クノ書籍或ハ邪淫ノ圖畫及凶惡ヲ作スノ傳記等ヲ發兌シテ人ヲ罪惡ニ誘クガ爲メニ其才智ヲ用井レバ社會ニ對シテ罪ヲ犯スコト疑ナクシテ其罪罰ニ當ス

戊 社會タル者ハ權理ヲ以テ委託セラレ而シテ之ヲ守ルベシト担保スレバ則必之ヲ守ルベシ名譽モ亦此權理ノ一ニ居ル今甲某善事ヲ

能シ且之ヲ好ノリト論定セラレシ名譽ノ貴キコト常ニ金錢ニ勝ルナリ而シテ乙某虛言讒謗ヲ以テ此名譽ヲ害スレバ社會當ニ甲ニ左袒シ爲メニ申雪シテ其眞價ヲ失ハザラシメ亦乙ヲシテ讒謗スルモ益ナクシテ甲ノ体面ヲ汚ス能ハザラシムベシ

然レドモ此ニ一難問アリ曰右ノ道理ニ因テ設立セシ社會ハ自由究問ノ進歩ヲ阻碍シ夫公論正説ノ如キモ其勢害ヲ生ズルヲ口實トナシテ自由ニ之ヲ陳白スルヲ禁ズルコトアルヲ免レズ

答曰今一規則アリテ之ヲ妄用スレバ弊害ヲ生ズベシ然レドモ此故ヲ以テ未遽ニ此規則ヲ非斥スルヲ得ズ何ナレバ此ノ如ク非斥セント欲スレバ苟人ノ創設セシ律法制度ハ皆盡ク非斥スベカラザルナク必シ

モ一規則ニ限ラザレバナリ夫レ人性ノ缺點アル現今ノ形勢ニ方リテ某件ノ規則ニ於キテ其弊害ヲ生シ惡事ヲ來ス者ヨリハ其惡事ヲ防禁スルコト大ニシテ功效遙ニ過失ヲ償フ者往々之有リ抑亦無害ノ論説ヲ見テ害アリトナシ爲メニ己ムヲ得ザルニ非ズシテ究問ノ自由ヲ禁制スル者無キニ非ズ然レドモ此ノ如キ弊ヲ禦グ方法アリ左ノ如シ乃此際陪審官ノ裁判ニ因テ保護ヲナサル、ナリ蓋シ陪審官十二人ハ總社申ヨリ撰マレテ審判ニ與カリ殊ニ被告人故アリテ抗論肆辯ヲ許サルレバ彼レ必公平不偏ニ審判スルコト疑ナシ此審官ハ其他人ヲシテ守ラシムル所ノ律法ハ己モ亦之ヲ守ラザルベカラス而シテ彼レ己ノ身ニ属スル自由ヲ害スルヲ欲スベシト想フノ理ナキガ故ニ亦彼レ他

人ノ自由ヲ犯スガ爲メニ己ノ自由ヲ害スルヲ好ムト想フノ理ナシ故ニ其裁判ハ事勢ノ當然ニ於キテ衆ノ認メテ公平不偏トナス審官ノ手ニ委任セラル此ノ如キ裁判ハ道理ヲ辨ズル者固ヨリ之ヲ論駁スルヲ得ズ而シテ廉直者モ亦皆上帝ニ對スル務ノ禁ゼサル者ハ甘ジテ彼レノ裁判ニ服スベシ

今一人モ社會ヲ犯害スル様ニ其才智ヲ用井ル權理ナキハ當然タルガ故ニ某ノ事件ニ處シテ生スル所ノ一問アリ曰甲某ノ才智ヲ用井ル者ハ乙某ヲ害スルナリト告訴スルニ方リ此レ果シテ其害アリヤ且必社會ノ中裁ヲ要スルニ足ルノ害アリヤ答曰十二人協心スルノ裁判ハ一人ノ裁判ヨリ正シキニ似タリ殊ニ其事ニ與カリテ己ヲ利スルノ意ナ

キ十二人ノ裁判ハ己ヲ利シ名ヲ好ミ金錢ヲ欲スルノ念アルヲ免レザル一人ノ裁判ヨリ正シカルベキコト論ナシ夫レ甲某至愛ノ利益ニ關スル事ニ臨ンデ乙某人ニテ其狀件ヲ裁判スルト夫ノ人知ノ認メテ公平不偏ト証明シタル審官ノ彼ニ代ハリテ裁判スルト兩者孰レカ好キヤ固ヨリ智者ヲ待テ而後ニ知ラザルナリ又問曰十二人ノ公平不偏ナル者モ失誤アリテ弊惡ヲ行フヲ免レザルベシト答曰一個偏黨者ノ失誤アリテ弊惡ヲ行フヲ免レザルハ更ニ之ヨリ甚シトス然ラバ則此類裁判法ノ弊害ヲ生スルノ過ニ比スレバ其之ヲ防禁スルノ功大ナリ且人性止ムヲ得ザルノ缺點ヨリ生ズルノ過失ハ法度ニ在ルニ非ズ而シテ其基本タル人性ノ變ズルニ至ルマデハ此過失ヲ除ク能ハザルナリ

余今將ニ此課ヲ終ラントスルニ臨ミ説テ曰蓋シ人身ノ自由ヲ保ツニ  
關シ嚴ニシテ有力ナル職務ノ審官、立法官、陪審者、及告訴スル官吏ノ身  
上ニ在ル有ルナリ蓋シ吾人今日ニ在テ出版ノ自由、究問ノ自由、及人智  
ノ自由ノ禁ヲキナ聞クコト甚多シ此數者皆貴重ノ幸福ニシテ其貴キ  
失フベカラザルニ足ル者ナリ然レドモ禁アルニ因テ以テ自由存シ、禁  
ナゲレバ一自由モ存スル能ハザルコトモ亦注意セザルベカラズ而シ  
テ此事ハ知識ノ自由ト身体ノ自由トニ在テ共ニ實ニ其理アリ今夫レ  
其人ノ善惡ヲ問ハズ一切其爲サント欲スル所ヲ爲スニ任セテ禁ゼザ  
レバ則一身体ノ自由モ保ツコト能ハズ論說モ亦然リ何人ヲ問ハズ其  
欲スル所ノ説ヲ公布スルヲ許サルレバ則一身体ノ自由モ知識ノ自由モ

共ニ保ツ能ハザルナリ

今日ニ方リ出版ヲ禁制スルコトノ自由ヲ害スルヨリハ出版ノ縱濫ニ  
任スノ害アルコト更ニ大ナリ故ニ文官審官皆當ニ社會ノ保護人トナ  
リテ事ヲ處シ世間ノ毀譽ヲ以テ榮辱トセズシテ、シテ人民ノ爲メニ  
其大惡ノ仇敵ヲ防禦スベシ何等休裁ノ政府ヲ論ゼズ出版ノ自由ト出  
板ノ縱濫トヲ辨明セント欲セザルベカラズ然ラザレバ早晚ニ顛滅セ  
ザルヲ得ズ今吾人ハ能ク邪曲廉耻ナキ記者ヲ罵詈スルヲ得故ニ文官  
タル者怯懦ニシテ弊害ヲ禁スルカ爲メニ委任セラレシ權威ヲ用井ル  
ヲ好マザル者ハ亦必吾輩ノ譴責ヲ受ザルヲ得ザルヲ知ルベシ

○第四章 社會教法ノ自由ヲ害スルコト

社會ノ爲メニ教法ノ自由ヲ害セラル、コトアリ

余前文ニ於テ各個人苟其黨類ノ權理ヲ害セザレバ其欲スル所ノ方法ニ依テ造物者ヲ信拜シ以テ其幸福ヲ求ムルノ權理アリト説ケリ此ニ之ヲ詳解シテ曰彼レ已レニ最便益ナリトスル状態ヲ以テ或ハ一個人或ハ結社シテ上帝ヲ信拜シ且他人ノ權理ヲ害セザレバ自ラ眞確ト認メタル意見ヲ公布シ以テ人ヲ誘キテ上帝ニ便益ナリトスル所ノ信拜方法ヲ行フノ自由アリテ其侵害ノ黨友ノ陪審ニ證明セラル、ニアラザレバ此自由ヲ奪フベカラズ

人無罪ノ目的ノ爲メニ或ハ一個ニテ信拜シ或ハ結社シタル黨類ト共ニ信拜スルノ自由アルガ故ニ他人ノ取りテ以テ其心中ノ目的ヲ遂グ

ルヲ得ルノ便利ハ則我モ亦之ヲ取ルヲ禁ゼザルコト猶人ノ然ルゴトシ此事ヲ處スル普通ノ理ハ乃蓋シ人ニ教法ノ念アリ詳言スレバ其上帝ヲ信ズルノ故ヲ以テ人間ノ權理ヲ得ルニ非ズ何ナレバ其黨類ノ權理上ニ着意スルニ彼レ其上帝ヲ信ズルモ信ゼザルモ齊シク皆其利害損益ニ關セザレバナリ又一方ヨリ論スレバ彼レ教法ノ念アル故ヲ以テ人間ノ權理ヲ失フニ非ズ何ナレバ此亦同上ノ理ニヨリテ然ルナリ故ニ人皆無罪ノ目的ヲ行フニ要用ナル無罪ノ便利ヲ取ルヲ禁ゼザルガ故ニ教法ヲ信ズル人ハ其目的ヲ達スルニ此便利ヲ取ルベキノ同權理アリ其目的ノ教法ニ在リ文學ニ在リ或ハ器械等ニ在ルヤニ至リテハ苟其無罪タルノ時ニ方リテハ未之ヲ責問スルヲ得ズ

此權利ハ左ノ諸件ニ因テ社會ノ爲メニ犯害セラレ、コトアリ

甲 佛國革命ノ際ニ於ケルガ如ク一切教法ヲ行フコトヲ禁ズルニ因テ然ルナリ

乙 某様ノ教法ヲ禁シ或ハ強フルニ因テ然リ蓋シ苟某件ノ行爲ハ教法上ニ属スルノ間ハ社會ニ於テ管制スルノ權利ナシ然レドモ此行爲若シ他人ノ權利ヲ犯セバ則社會ニ於テ之ヲ管制處置スベシ只此際ト此道理トニ於テアルノ外ハ然ルヲ得ズ故ニ此事ニ際シテ社會ハ唯侵害ノ行ハレ且證明セラレシ故ニ因テ其權威ヲ用井而シテ上帝ノ視テ教法ノ眞タリ偽タリ善タリ惡タリト做スノ故ニ因テ之ヲ用井ルニ非ズ

丙 人ノ教法ヲ信シ或ハ信ゼザルノ故ヲ以テ其權力ヲ害シ或ハ其人タル權利ヲ奪フニ因テ亦然リ蓋シ教法ヲ信ズル者他ノ無罪方法ニ依テ其幸福ヲ進ムルガ爲メニ社會許ス所ノ同特權アリ而シテ教法ノ方法ニ於テ其幸福ヲ進ムルガ爲メニ此特權ヲ許サレザレバ則此侵害アリ例ヘバ教法社會ノ教法ヲ信ズル目的ヲ達シ教法ノ識見ヲ開發スルガ爲メニ其所属ノ特許ヲ有ツコトヲ禁拒セラル、ニ方リテ然ルナリ夫レ此ノ如キ特許ヲ有タントシテ他人ノ權利ヲ犯セルコト分明ナラザルニ此特許ヲ禁拒スルハ教法ノ自由ヲ害スルヲ免レズ教法師ノ有テル撰擧ノ權ヲ奪フガ如キハ亦同實ノ侵害アリ

丁 某様ノ教法ヲ奉ズル者ノ其權力ヲ有ツヲ禁シ例ハ彼ノ官職ニ

任ズルヲ許サズ或ハ彼ト教法ヲ奉ズル他人若クハ俗人トノ區別ヲ爲スニ因テ然リ社會ニ在テ凡ソ人ノ普通方法ヲ以テ上帝ヲ信ズルカ故ニ其權力ヲ有ツテ禁ズルノ權理ナク亦其特段ノ方法ヲ以テ上帝ヲ信ズルガ故ニ之ヲ禁ズルノ權理ナシ蓋シ全部ノ事件ハ社會權勢ノ及バザル所ニ在レバ則此事件ノ一部モ亦其權勢ノ及バザル所ニ在リ抑信拜ノ方法異ナルニ從テ上帝ノ感納ヲ受ルニ多少ノ別アリト雖モ亦此ニ基キ以テ他人ノ天ヨリ受ケシ増福ノ方法ヲ犯ス權理ヲ有ツテ許サズ

或問曰社會ニ於テ法ヲ立テ教法ノ訓導ヲ維持スル權理アルヤ否ヤ答曰教法ノ訓導ノ存スルハ社會ノ存立ニ欠クベカラザル者タリ而シテ

立法者ノ力ヲ借ルノ外之ヲ維持スルノ方法ナキ時吾レ其立法ノ道理ヲ害スルヲ知ラザルコト猶普通學校ヲ維持スル爲メノ立法ニ於ケルガコトシ但シ此立法ノ爲メニ一人モ其欲セザル所ノ教法ヲ強ラレズ亦其撰ム所ノ者ヲ禁ゼラレザレバ則可ナリ然レドモ此ノ如キ立法ヨリ故障ヲ生ジ大ニ民俗ノ自由ヲ害スルコトノ外ニ亦頗ル他事ヲ妨グルコトアリ

甲 教法訓導者ガ立法ノ補助ヲ假ラザレバ扶持スル能ハズトイフコト昭明ナラズシテ事實更ニ異様ノ結果ヲ指示ス

乙 耶穌教ハ全ク補助ヲ受ケズシテ其人ノ良心上ニ特殊ノ功用ヲ顯ハスニ任サルトキ毎ニ其力ヲ顯ハスコト最大ナリ

丙 律法ノ力ニ因テ教法ヲ維持スルハ福音ノ性理ニ背クト謂フベシ福音ニ於テ人皆上帝ニ奉事シ教法ノ体裁ヲ撰ミ教師ヲ撰ミ且教師ノ勤勞ニ報イル資料ノ多少ヲ撰ム等皆單ニ中心ヨリ甘爲スヘシトノ思考ヲ設ケリ此思考ハ民俗ノ權力ニ補助セラル、事務ノ設クル思考ニ異ナリ故ニ吾斷シテ曰律法ノ力ヲ以テ教法ヲ維持セントスルニ民俗ノ自由ヲ害セズシテ之ヲ爲得ルト雖モ福音ノ精神ヲ害セズシテ之ヲ爲スヲ得ズ乃政府ハ爲メニ教會ニ助力セント欲スルモ教會ハ道理上必辭シテ之ヲ受ケザルベシ

丁 且事實ニ就キテ此論說ノ公正ナルヲ知ルベシ夫レ教會事務ヲ行フノ勞力ハ人民甘シテ附與スル所ノ資料ヲ以テ報給スルハ社會ノ

設ケタル立法ニ因テ報給スル者ニ勝ルコト大ナリ且人民自ラ教法師ト議シテ報給扶持ノ專ヲ定ムレバ教法師ハ過大富豊ノ利益ヲ得ルナシト雖モ亦夫ノ俸給卑薄ニシテ自給スルニ足ラザルノ憂少ナクシテ苟不才職ニ任ゼザルノ外ハ大概平民ト同等ニ生計ヲ營ムヲ得ベシ或曰才智優大ニシテ教法ノ事務ニ長ズル者ハ亦猶他ノ事務ニ長ズル者ノ如ク高等ノ祿俸ヲ以テ報與スベシ答曰此レ蓋シ福音ノ性理ニ非ズ福音ハ人爵或ハ官位ノ念ヲ以テ人ヲ誘導セズ而シテ教法師ヲシテ此ノ如キ意志アラシムルヲ屑トセズ且官爵榮華ハ教法師ノ眞威徳ヲ加増セズシテ反テ之ヲ減却シテ其勢他人ヲ改好スル企望アル者ニ欠クベカラザル道德ノ勇力ヲ損害スルヲ免レズ故ニ之ヲ表スルニ赫々ノ



威炎ヲ以テスルニ似タリト雖モ實ハ道德力ノ因テ存スル所ノ精神ヲ  
減ズルナリ加之政府、輔助ヲ受クル教法ハ速ニ政府ノ器械トナルベ  
シ或ハ然ラザルモ政府ノ變化ニ從テ改革セザルヲ免レズ此ノ如キ事  
ハ「吾國ハ此世界ニ非ズト」宣ベシ上帝ノ道ニ全ク相反スルコト辯ヲ  
待ズシテ明ナリ

○第二篇 所有物ニ就キテノ公義ヲ論ズ

○第一章 所有物ノ權理

第一 所有物ノ權理ヲ考論セントスルニ又前篇第三章ニ示シ、格言  
ヲ再掲ス曰「人皆自己ニ對シテ權理アリ」夫レ人自己ニ屬スル權理中  
ニ其幸福ヲ増スガ爲メニ其欲スル所ニ從テ心ト休トノ能力ヲ用井ル

ノ權理アリ然レドモ此權理ハ人世普通ノ者タレバ則人唯其黨類ノ同  
等權理ヲ犯サ、ル様ニ其能力ヲ用井ルニ方リテ能ク之ヲ普通ニ有得  
ルコト明確ナリ此ニ由テ之ヲ觀レバ所有物ノ權理トハ苟他人ノ同等  
權理ヲ害セザル様ニ吾能力ヲ用井レバ其欲スル所ニ從テ之ヲ用井ル  
ノ權理ナリ

夫レ已ニ我ニ屬スル心体ノ能力ヲ用井ル權理ヲ有テバ則他人ヲ害セ  
ザル様ニ能力ヲ用井テ以テ生シ得ルノ結果モ亦自ヲ用井ルノ權理ア  
リ例バ吾レ工勞ト巧オトヲ以テ荒廢無用ノ地ヲ墾闢耘耨シテ以テ麥  
ヲ收レハ此麥ハ則吾ニ屬シ而シテ他人ヲ害セザルノ方法ニ於テスレ  
バ其欲スル所ニ從テ之ヲ用井ルヲ得吾ノ工勞巧オ此收穫ト附着相離

レズ一人モ之ヲ討索シテ吾權理ヲ侵スヲ得ズ吾權理ハ獨擅ニシテ能ク他ノ一個人ト社會トヲ禁ジ之ヲ討索スルヲ得セシメズ  
 吾レ社會ヲ禁ジテ之ヲ討索スルヲ得セシメズト云ト雖モ此限外ニ在ル者亦少カラズ夫レ吾ヲシテ固ク此權理ヲ有テ失ハザラシムルハ社會ノ職務ナリ然レドモ社會ニ於テ器具ト辨理人トヲ設備スルノ費用ヲケレバ此職務ヲ行フ能ハズ故ニ社會ニ於テハ公費ノ等分ヲ討索シ且其權中ニ在ル方法ニ依テ討索ヲ強ムルハ當然ナリ此權理ノ明確ナルコト更ニ辨解ヲ要セズト雖モ其普通ニシテ緊要ナルヲ示スニ足ル數件ノ考論アリ則左ノ如シ

甲 凡ソ人幼稚タル時ト雖モ苟思想アルヨリ以來忽所謂所有物ノ

倫理アルヲ知ル彼レ此倫理ヲ詳明スルヲ得ズト雖モ其何タルヤヲ知ラザル莫シ彼レ從テ速ニ某物ヲ以テ己ノ用ニ供シ他人ノ爲メニ其之ヲ使用スル權ヲ妨ゲラルレバ不平ノ念生ズ若シ彼レ亦他人ノ同權理ヲ妨グレバ自ラ其邪曲タルヲ知ルナリ

乙 社會ニ於テ到所皆一個人ノ所有物ノ權理ヲ保護スルヲ以テ一ノ首務トナシ之ヲ犯ス者アレバ以テ兇徒トナシテ毎ニ速ニ罰ニ處ス故ニヘブ<sup>レ</sup>ウ<sup>ノ</sup>法ハ竊盜ノ件ヲ處スルニ一倍ノ償贖ヲ以テシ當今ノ法ニテハ則之ヲ處スルニ罰金或ハ禁獄ヲ以テスルナリ

丙 帝社會ノ存在シ及進歩スルノミナラズ凡ソ人類ノ存在スルハ實ニ此權理ノ認知セラル、ニ因ルナリ

若シ人其工勞ヲ行テ得タル所ノ果實ヲ有シ且此果實ノ利益ヲ獨擅スルヲ得ザレハ則

甲 一人モ自己一身ノ衣食ニ供スルニ足ルノ餘多ヲ得ント欲シテ勞力セザルベシ何ナレバ彼モ亦其生造セシ物貨ヲ用非ルノ權理アルコト他人ニ過ル能ハザレバナリ

乙 故ニ此ニ聚積スル所ノ物貨ナク固ヨリ亦財本ナク器械ナク來日ノ爲メニ設ケタル備辦ナク家屋ナク又稼穡ノ事ナケレバ每人獨手ニシテ同時ニ暴風甚雨ヲ犯シ或ハ山野ノ猛獸ト闘ヒ若クハ貪暴ナル黨人ト爭テ目前ノ飢餓ヲ救フヲ勉ムベシ此ノ如キ事勢ニ處スレバ人類長ク存スルヲ得ズ

丙 此ノ如キ事勢ニ處スレバ人類速ニ亡滅セザルヲ得ズ否ザレバ順便ノ時節ニ遇フト雖モ亦僅ニ其生命ヲ貧苦艱難中ニ存スルニ過ザルベシ進益ノ一トハ固ヨリ論外ニ屬ス而シテ人皆財穀ヲ再生スル爲メノ工勞ヲ行ハズシテ唯安ニ之ヲ耗糜揮霍スルヨリ土地ノ生ズル自然ノ物産益空乏ス故ニ當時ニ生ズル變化ハ他ニ非ズシテ唯貧窶困迫ノ甚シキヨリ起ル變化ナルベシ

丁 此ニ一ノ更ニ注意スベキ件アリ夫レ所有物ノ權理ヲ保護スルコト厚クレバ文明從テ進歩シ人民ノ順安便益増殖ス故ニ束縛抑壓セズシテ制度方正ナル政府ニ於テハ殊ニ平安無事ノ際ニ於テ所有物其豐富ヲ致シ諸種ノ社會皆十分ノ安足ヲ受ケ技藝斯ニ開ケ學術斯ニ進

テ當時人皆幸福ヲ得ルヲ覺ユルナリ之ニ反シテ抑壓ノ政治ニ遇ヒ律  
 法ノ保護ハ復家室田産生命ニ及バザルトキ殊ニ國民相戰ノ際ニ於テ  
 ハ工業頓ニ衰ヘ財本忽盡キ技藝開ケズ衆庶貧困ニ迫リ戸口減シテ人  
 速ニ野蠻ノ景況ニ陥ルヲ免レズ  
 聖書ノ論ズル所ニ依レバ所有物ノ權理ヲ以テ認知セラル、者トナシ  
 特ニ教戒ヲ設ケテ之ヲ犯スノ所爲及此侵犯ノ由テ出ヅル所ノ心情ヲ  
 禁制ス抑之ヲ示教スル天啓ノ理ハ至テ明白ニシテ余ノ詳悉ヲ要セズ  
 故ニ姑ク竊盜ト貪欲トヲ戒シムルト誠ノ神命及新約全書ニ於テ黨類  
 ノ所有品ヲ處スル職務ヲ示シタル諸種ノ教戒ヲ考論シテ便チ足ルト  
 スベシ

余次ニ陳ル所左ノ如シ

第二 所有物ノ權理ヲ得ル方法此方法ニ二種アリ曰直接ノ方法曰間  
 接ノ方法

壹 直接ノ方法ヲ説クベシ

甲 上帝ノ親授セシ者ニ因テ此權理ヲ得ルナリ上帝吾ニ賜フニ物  
 品ヲ好ムノ念ヲ以テシ且吾目前ニ陳スルニ此物品ヲ以テス故ニ我カ  
 就キテ討索スルヲ妨クベキ他ノ同等創造物ナキトキハ吾唯前篇ニ詳  
 説セシ如キ神ト人トニ對スル職務ノ制限ヲ犯サズシテ其欲スル所ニ  
 從ヒ執テ以テ此物品ヲ使用スルヲ得此乃荒蕪廢棄ノ地ニ入りテ野獸  
 山禽ヲ獵リ果物ヲ摘シ魚介及他ノ諸物ヲ捕フルモ亦禁ゼザル所以ナ

リ此權理ハ吾ニ屬シテ他人ノ討索ヲ拒絶スルニ足レリ蓋シ吾レ一タ  
 ビ賜與セラルレバ此賜與タル所以ノ力ハ他人其廢シテ行ハレザルヲ  
 確証スルニ至ルマデハ永ク行ハル、ナリ此ノ如キ賜與ハ某人ノ自ラ  
 其土地ニ據リ若クハ人ヲ雇フテ代理セシムルノ間ニ行ハレテ爾後ハ  
 復行ハレズ故ニ彼レ荒廢ノ土地ヲ占有シ既ニシテ之ヲ捨ルノ後ハ又  
 其初ニ占有セシヲ口實トシテ之ヲ討索スルノ權理ナシ然ラザレバ各  
 專ラ全大陸ヲ占メテ他ノ人類ヲ禁ジテ入ラザラシムベシ

乙 吾手足ノ勞力ニ因テ此權理ヲ得ルナリ

人皆自己ニ對シテ權理アリトイフコトハ是余カ前上ニ數掲ゲシ格言  
 ナリ今之ヲ詳言スレバ其心体ノ能力ヲ盡ク用非ルノ權理アリ苟他人

ノ權理ヲ害セザレバ其欲スル所ニ從テ之ヲ用非ルヲ禁ゼズ他人ヲ害  
 セザル方法ニ依リ其力ヲ用非テ得タル所ノ物産ハ己ニ屬ス彼レ從來  
 他人ノ所有タラザル物品ノ爲メニ其能力ヲ用非レバ此物品ハ己ノ有  
 トナリ其欲スル所ニ從テ之ヲ用非得ルナリ故ニ吾レ荒廢主ナキ土地  
 ヲ耕耘シテ麥ヲ獲レバ其麥ハ吾ニ屬ス他人我ヲ妨ゲテ之ヲ討索スル  
 ノ權理ナシ

然レドモ此ニ因テ人其勞力ノ結果ヨリ餘多ノ物ヲ占ムル權理アリト  
 抗論スルヲ得ズ彼レ固ヨリ他人ノ勞力ノ結果ヲ占ムル權理ナシ今吾  
 勞力ヲ以テ白ヲ造リ他人ヲ雇フテ其運轉ヲ司ドラシメシニ彼レ白ヨ  
 リ生ズル所ノ利益ハ盡ク之ヲ占ムルノ權理アルヲ得ズ吾身ヲ勞シ儉

ヲ行ヒ金ヲ得テ以テ田園ヲ買ヒ人ヲ雇フテ之ヲ耕稼セシメンニ彼レ  
 田園ヨリ生ズル所ノ物産ハ盡ク之ヲ占ルノ權アル能ハズ此際ノ利益  
 ハ當ニ彼我分有スベキ者タリ彼ハ正ニ其勞力ニ属スルノ分ヲ取り我  
 ハ首先ノ勞力ノ結果ヲ占有スル者タルガ故ニ其自カラ我ニ属スルノ  
 分ヲ取ル權理アリ若シ彼レ全量ノ利益ヲ占レバ其不正ナルコト猶吾  
 全量ノ利益ヲ占ルニ於ケルガゴトシ則彼我豫メ甘結シタル約條ニ因  
 テ利益ヲ分取スル會社ノ事狀ハ正ニ是ナリ右ニ述ル所ハ工銀ノコト  
 ニ適スル通常ノ理タルヲ知ルベシ

貳 所有物ノ權理ヲ間接ニ得ベシ

甲 交易ニ因テ之ヲ得ベシ

前文ニ説キシ方法ニ依テ所得物ヲ占有スルノ特權アリ而シテ衆人モ  
 亦同シク此權アリ故ニ彼我相欲スレバ甘シテ某物ヲ有ツ權理ヲ交易  
 スルコトアリ吾レ麥ヲ種エ彼レ禾ヲ種エテ彼我共ニ自ヲ食フニ餘ア  
 ル米麥ヲ收ムレバ當然ノ約條ヲ定テ以テ二者ヲ交易ス比ノ如クニシ  
 テ有チシ所有物ハ之ヲ有ツヲ禁ゼズ抑交易ニ二様アリ一ハ交換ニシ  
 テ自他物ヲ以テ物ニ易フルナリ二ハ賈買ニシテ甲與フルニ金ヲ以テ  
 シ乙與フルニ物ヲ以テスルナリ

乙 授受ニ因テ之ヲ得ベシ

今甲此ノ如ク當然ニ其所有品ヲ授ケ乙代價ヲ償テ之ヲ受ルハ當然ナ  
 リ而シテ甲若シ欲スレバ唯其仁恤ノ心、感愛ノ情、若クハ謝恩ノ念ヲ快

クスルガ爲メニ寧代價ヲ受ズシテ其所有品ヲ授與スルコトアリ此時  
甲甘シテ所有者ノ權ヲ乙ニ與ヘ乙ハ受ケテ以テ之ヲ有ツコト當然タ  
リ

丙 遺言ニ因テ之ヲ得ベシ

生時ニ方リ吾欲スル所ニ從テ吾所有品ヲ用井ル權理アリ且吾未死セ  
ザレハ隨時ニ之ヲ交換授與スルヲ得故ニ吾レ豫メ某人ト約シ其ヲシ  
テ吾死後ニ於テ吾所有品ヲ有セシムルヲ得此ノ如クシテ得タル者ハ  
亦某人ノ所有品タルコト當然ナリ

丁 嗣有ニ因テ之ヲ得ベシ

人遺言ヲ爲サズシテ死スル者甚多シ是ニ於テ社會ハ普通ノ理ニ從テ

人生前ニ遺言ヲナセバ其所有品ヲ配分スベキ所ノ方法ヲ思想シ乃遺  
産ヲ其寡婦孤兒ニ配分シ然ラザレバ其血縁ノ親族ノ遠近ニ準シテ之  
ニ配分ス此ノ如クシテ分與セラレタル所有品ハ之ヲ有ツコト當然ナ  
リ

戊 占有ニ因テ之ヲ得ベシ

許多事件ノ時情ニ因テ人或ハ純正ノ權理ヲ以テセズシテ得ル所ノ財  
産ト雖モ公然之ヲ擅占シ他人ヲ禁ジテ討索セザラシムルノ權理アル  
ヲ得而シテ他人モ亦彼レノ之ヲ用井ルニ任セテ妨ゲザルベキノ義務  
アリ今此ニ田産アリテ純正ノ所有主皆死シタリ故ニ甲某嗣デ之ヲ有  
ツコトアラン夫レ現今ノ所有主タル甲ハ此産業ヲ有ツベキ純正ノ名

義ナシト雖モ乙某之ヲ奪フヲ得ズ假令奪フモ彼レ亦之ヲ有ツベキ純正ノ名義ナキコト猶甲ノゴトクナルベシ故ニ丙某又同權ヲ以テ來リ之ヲ乙ヨリ奪ヒ既ニシテ丙モ亦更ニ他ニ奪ハレ此ノ如クニ交々相奪テ止マズ乃窮極無キ爭奪ヲ生ジテ一モ公義ヲ以テ勝ル者アラザルベシ故ニ此事件ハ寧首初ノ景況ニ任スノ允當ナルニ如カズ乃蓋シ甲某既ニ之ヲ有テバ便チ妨碍セラレズシテ自カラ之ヲ有ツノ權理アリ乙之ヲ奪ハント欲スレドモ其更ニ正シキ名義アルヲ確証スルニ非レバ能ハズ

亡 故ニ凡ソ社會ノ單純法ハ甲ニ與フルニ此財產ヲ有ツベキ純正ノ權理ヲ以テセズト雖モ法ニ於テ一タビ此財產ヲ彼ニ附與スレバ其

附與スルコト便チ能ク乙ト丙トヲ禁ジテ甲ノ之ヲ有ツヲ妨ゲザラシム故ニ吾レ某人ガ人ノ孤兒ヲ欺キテ家ヲ奪ヒシヲ惡ミテ其家ヲ燒クノ不可ナルコト猶他人ノ家ヲ燒クガゴトシトス今更ニ前論ヲ括言スシテ曰首ニ上帝ノ賜與及自己ノ勞力ニ因テ財產ヲ有ツヲ得次ニ交易或ハ原有者在世間ノ授與若クハ遺言ニ因テ有ツヲ得ルナリ然レドモ財產ヲ有ツノ權ヲ傳授スルノ事件ハ苟原有者ノ中心ニ出テタル許可ヲ得ルニ非レバ其傳授ヲ以テ公正トスルヲ得ズ最後ニ曰人公正ノ道ニ因ラズシテ財產ヲ有ツニ當リテ單ニ某之ヲ有ツノ一事便チ能ク妨害ヲ防クニ足ルカアリテ他人ハ更ニ純正ナル名義アルヲ著ハサマレバ之ヲ奪フヲ得ズ蓋シ所有物ノ權理ヲ得ル所以ノ方法中ノ至要ナル



者此ノ如シ

此ノ所説ニ近似スル道理ノ幾許カ上帝ノ法ニ適フコトハ蓋シ人間ノ史書ヲ觀ルニ由テ明ナリ抑此道理ヲ實行スルコト益烈シケレバ人幸福ヲ得ルノ量益多ク邦國ノ文明ニ進ムコト益速ニシテ心理ト道德トノ培養法ヲ實行スルコト益成功アルベシ且夫レ歐羅巴ヲシテ蒙昧時世ノ災厄ヲ免レシムルカ爲メニ用井シ當初ノ手段ハ共同普通ノ法ニ基キテ所有物ノ權理ヲ定立スルニ在リシ此事ノ行ハル、ニ至ルマデハ邦國能ク野蠻ノ景況ヲ脱スルヲ得ズ

チャーレス第五世ノ本紀ノ卷端ニ揚グル史家ロベルトソン

ノ論説

故ニ邦國ノ富盛幸福ヲ進ムルガ爲メニオアリ學アリ正直ニシテ依倚

スル所ナキ法官ナカルベカラズ而シテ律法ノ審判ヲ行フハ其普通ニシテ側頗ナラザルコトヲ要ス夫レ衆民某人ニ左袒スルガ爲メニ其心大ニ夫ノ公義ヲ行フノ職タル審官ニ抗シテ激怒シ或ハ民心ヲ得タル者アリ怒ニ乘シテ公義ヲ犯スモ衆皆之ニ左袒シ視テ以テ當然ト做スコト往々有リ故ニ社會ニ於テ律法ノ威權ヲ保護セザレバ社會モ亦解散スルヲ免レズ語ニ曰「高下貴賤トナク總テ律法ヲ敬セザレバ律法ノ名復字内ノ和均ヲ司レラザルニ至ラン」嗚乎惡計ヲ設ケ人ヲ毒セント欲シ公明ノ審官ニ觀破セラレテ反テ己ヲ毒スル者何ゾ甚多キヤ

○第二章 一個人所有物ノ權理ヲ害スル方法ヲ論ス

第一 所有物ヲ永世授受スルトキニ然リ

所有物ノ權理ハ其擴張スル限ニ一個人及社會ヲ禁シテ之ヲ犯サシメ  
 ズト此余ガ前ニ説ク所ナリ蓋シ此理ハ彼我一様ニ行ハル、者トス故  
 ニ凡物吾有ツ所ノ者ハ吾レ之ヲ獨占シテ他ノ一個人及社會ヲ禁シテ  
 妨害セシメズ亦他ノ一個人及社會ノ有ツ所ノ者ハ彼レ之ヲ獨占シテ  
 我ヲ禁シテ爭奪セシメズ故ニ公有或ハ私有ノ財產ヲ掠奪セラレ且公  
 同人若クハ一個人ニ之ヲ掠奪セラル、ノ別ナク其所有物ノ權理ヲ害  
 セラル、ハ皆均シキナリ且所有物ノ權理タルヤ某ヲ禁シテ苟他人ノ  
 所有ノ係ル者ハ一切之ヲ奪フヲ得セシメズ故ニ微物ヲ奪フノ所有物  
 ノ權理ヲ犯スハ實ニ多物ヲ奪フニ於ケル如ク一卷書一把刀ヲ偷ムハ  
 金錢ヲ竊ムニ同シク果子ヲ偷ムハ馬ヲ盜ムニ異ナラズ租稅ヲ盜ムハ

隣人ヲ欺キテ錢物ヲ奪フ如ク官吏ヲ欺キテ其分ニ過グルヲ奪フハ兄  
 弟ニ對シテ然スルニ異ナラズ郵官ヲ瞞キ取ルハ猶朋友ヲ瞞キ取ルガ  
 ゴトシ且余前ニ某甲乙ノ所有物ノ權理ヲ求レバ唯乙ノ中心甘シテ肯  
 テ許スニ因テ之ヲ得ルト説ケリ蓋シ此理ハ所有物ノ權理ノ何タルヤ  
 ヲ証定スルヨリ直ニ生ズルナリ然レドモ乙自ラ甘シテ肯テ其權理ヲ  
 讓ルニ非ズシテ甲ノ爲メニ脅カサレ或ハ欺カレテ之ヲ與レバ此レ純  
 正ノ授與ト爲スベカラズシテ甲之ヲ受ルヲ得ズ故ニ今我レ某人ニ錢  
 囊ヲ乞テ與ヘザレバ射殺セント言ハ、彼レ射殺セラル、ヨリハ寧我  
 請ニ從フベシ然レドモ我レ此ノ如キ兩者擇一法ヲ以テ彼ヲ脅カスノ  
 權理ナシ故ニ之ヲ以テ彼レノ許諾ヲ得ルモ所有物ノ權理ヲ害スルノ

罪ハ敢テ免カル能ハズ若シ某人ノ華奢ヲ好ムノ念ヲ激動シテ其必シ  
モ要セザル車ヲ買ハシムレバ正直ノ所爲ト稱スベカラズ何ナレハ吾  
レ用井ルベカラザル誘導ヲ用井テ彼ノ心志ヲ得レバナリ則他人ニ代  
與スルニ其物ヲ以テセザレバ此レ彼ヲ誑惑シ詐僞ヲ以テ其許諾ヲ得  
ル者ナリ其理亦前者ニ同シ約言スレバ吾既ニ説キシ如ク邪惡ノ所爲  
ヲ以テ主有者ノ許諾ヲ得ル者ハ方正至善ニ之ヲ受ル者トイフベカラ  
ズ

所有物ノ權理左ノ諸件ニ因テ侵害セラル

甲 所有主ニ知ラシメズシテ其財物ヲ奪フコト即竊盜ニ因テ然リ  
夫レ所有物ヲ受ント欲スレバ必所有主ノ許諾ヲ得ベシ竊盜ノ所爲タ

ル其性質固ヨリ一定シテ或ハ所有主ノ之ヲ顧慮セサルベシ或ハ之ヲ  
禁セザルベシ或ハ之ヲ知ラザルベシ或ハ之ヲ失フモ彼損害ヲナサマ  
ルベシトナシテ之ヲ行フト雖モ亦之ガ爲メニ其性質ヲ變ズルニ非ズ  
乃其顧慮スルトセザルトニ因テ我所爲ノ性質ヲ變ジテ或ハ邪惡トシ  
若クハ善良トスル能ハズ凡ソ物ハ唯所有主ノ甘シテ授傳ヲ諾スルヤ  
ヲ問ベシ甘シテ諾セザレバ必其諾スルヲ待テ後ニ之ヲ得ベシ否ザレ  
バ何狀ニ因テ之ヲ得ルモ正當ニ受ルニ非ズシテ竊盜タルヲ免レズ  
乙 人ヲ脅カシテ許諾セシメ以テ其所有物ヲ奪フニ因テ然リ路上  
ノ劫奪是ナリ此時ニ當リテ我人ノ生命ヲ制スルノ權ヲ妄占シ彼ニ迫  
リテ能ク死スルカ其所有物ヲ交付スルカノ一ヲ撰バシム彼レ我請ニ

從フト雖モ中心甘ゼザルコト恰モ其手ヲ縛シテ懷中ノ錢ヲ執ルトキ  
ニ異ナラズ故ニ所有物ノ權理ヲ害スル大ナルモ亦此ノ如クスルトキ  
ニ同シ且我が管制スルヲ得ザル某人ニ對シテ生殺ノ權ヲ占ム此時  
當リテ實ニ他人ノ身命ト財產トヲ擅制スルノ權ヲ占メ劫スニ死ヲ以  
シテ其所有ヲ吾ニ授ケシムルナリ今此ノ如クスル者ハ人ノ權理ヲ害  
スルコト重大ナルガ故ニ普天下ノ人皆其罪惡ノ以テ嚴罰ニ處スルニ  
足ルト思ハザル者ナカルベシ

丙 人ヲ欺キテ其所有物ヲ得ルニ因テ然リ此二種ノ方法アリ

甲 乞丐兒ノ故意憫ムベキノ狀ヲ作シテ錢物ヲ得ルトキノ如ク些  
子ノ價直ヲ與ヘズシテ之ヲ得ル者

乙 不當ノ價直ヲ與ヘテ之ヲ得ル乃邪曲ノ行爲ヲ以テ之ヲ得ル者  
此事ノ所有物ノ權理ヲ害スルコト許多ノ條件アリ今之ヲ詳ニス

此レ分チテ二部ト爲ス第一部ハ價直ヲ與フルニ有形物ヲ以テス第二  
部ハ無形物ヲ以テス

第一部 有形物ヲ以テ價直ヲ與ルノ件又分チテ二様トス其一ハ永世  
ニ所有物ヲ授受スルコト其二ハ日時ヲ限リテ授受スルコト

壹 所有物ヲ永世ニ授受スルニ賣者買者ノ法アリ此法ハ須ヲク專ラ  
其相對ノ倫ヲ思考スルニ由テ辨明スベシ蓋シ賣者即商人ハ民類ニ器  
用ヲ供スルガ爲メニ光陰ト財本トヲ費ヤシ其經費スル所ノ光陰患難  
資金及巧才ノ多キニ從テ物品ニ増加スル名利モ亦大ニシテ此名利ハ

己ニ属ス故ニ市價ノ變ズルニ非ルヨリハ買者ハ爾來此利アルヲ認メ  
 ナ當然トセザルヲ得ズ故ニ

甲 賣者ハ當ニ平生給備スル者ト同品格ノ器物ヲ同價ニ給備スベ  
 シ彼レ器物ヲ買ハルレバ其巧オモ亦并セ償ハル、ナリ故ニ固ヨリ此  
 巧オヲ有ツベシ然ラザレバ由テ生ズル所ノ應報ハ之ヲ己ニ受ケザル  
 ベカラズ既ニ右ノ品格ノ器物ヲ給備シテ自ラ疵瑕ナキヲ知レバ則價  
 ヲ待テ之ヲ賣ルノ外更ニ復爲ス所ナカルベシ決シテ買者ヲ誘惑シテ  
 其適用ナルヲ知ラシメンガ爲メニ喋々多辨スベカラス我其巧オヲ極  
 メテ通常品格ノ物品ヲ給備スルノ外更ニ復爲スベキコトナシ若シ夫  
 レ物品ノ果シテ有用ナルヤ否ヲ判定スルニ至リテハ買者ニ属スルノ

ミ然レドモ賣者若シ欺カレテ粗惡ノ物品ヲ買フモ其物品ノ善良ナリ  
 シ時ノ同價ヲ償ヒシガ故ニ之ヲ定價トナシテ他人ニ賣ルベカラズ蓋  
 シ善惡ノ審査ヲ失スルハ己ノ過ニシテ自ヲ爲ス所ナリ故ニ之ヲ賣ル  
 ニ當然ノ價ヲ以テシテ爲メニ損失ヲ致スモ宜シク忍ンテ受ベキナリ  
 此レ公正ノ規則ナルコトハ反對ノ事情ヲ思考スルニ由リテ以テ昭明  
 ナルベシ買者若シ巧オ他ニ勝リテ通常ヨリモ廉價ニシテ物ヲ買ヘバ  
 其利己ニ属スト思フハ當然ナリ夫レ巧オヲ以テ廉價ニ物ヲ買ヒ其利  
 己ニ属スレバ則時アリテ高價ニ之ヲ買フモ亦唯其庸才ノ然ラシムル  
 所ノミ其損失將タ誰ニカ歸セン故ニ余曰賣者ハ通價ヲ以テ通常ノ物  
 品ヲ給備スベシト雖モ物品ニ瑕アリテ之ヲ指示スベキニ非レバ買者

ノ自ヲ審査スルニ任セテ助言セザルベシ  
 此規則外ニアル者一件アリ乃必シモ保証ヲナササルベキノ約條ヲ以  
 テ物ヲ賣リ例バ保薦セズシテ馬ヲ競賣スルガ如キ時ニコシテ此際  
 ニ當テ人皆其欲スル所ニ從ヒ危害ヲ顧ミズシテ競買スルヲ知ルナリ  
 乙 凡ソ物ヲ賣ルヲ以テ業トスル者ハ通價ヲ以テ賣ルベキノミナ  
 ラズ且之ヲ賣ルヲ禁ゼズ其賣ルヲ禁ゼザルハ利害損益ノ間ニ處スル  
 モ常ニ相均シ何ナレハ彼ノ所有ニ係ルノ間ニ物品ノ價格減ズレバ利  
 益ナキノミナラズ損害ヲ受クルモ賣ラザルヲ得ズ幸ニ物品ノ價格増  
 セバ過分ノ利益ヲ得テ賣ルモ亦禁ゼザレバナリ夫レ物價減シテ損失  
 ヲ受クベケレバ則亦其騰貴ニ及ンテ相當ノ利益ヲ受ルコト當然ニシ

テ是ニ於テ其損益得失互ニ平均ス且物品ノ缺乏シ價格ノ騰ルニ任セ  
 テ回テ沸騰ノ勢終ニ減ズ乃缺乏ノ所ハ物品ノ輻湊スルコト非常ニ大  
 ナルヲ以テ其價格モ亦速ニ減シテ充備ト需用トノ常ニ然ラシムル自  
 然ノ平均ヲ致スナリ

但此規則ハ專ラ賣買スル物品ヲ資シテ生産ヲ營ムヲ業トスル者ノ循  
 奉スベキ所ナリ夫レ陶器商ハ當ニ通價ヲ以テ陶器ヲ賣ルベシ然レド  
 モ買者若シ就キテ其衣服ヲ買ント欲スレバ衣服ヲ賣ルハ其本業ニ非  
 ルガ故ニ必シモ常價ヲ以テ賣ルベキニ非ズ服ヲ賣ルガ爲メニ身体ノ  
 便安ヲ失フヲ恐ルレバ之ヲ價フニ足ルノ價格ヲ加ヘテ賣ルモ可ナリ  
 他ノ此ニ類似スル諸件皆此法ヲ以テ處スベシ然レドモ心術方正ナル

者ハ宜シク明ニ告ゲテ吾レ常價ヲ以テ賣ルヲ欲セズ我ニ便チ價フガ爲メニ我欲スル所ノ價ヲ加與セバ之ヲ賣ラント云フベシ

丙 賣者ハ買者ニ對シテ其物品ノ眞價ヨリ導キ來ル緣由ニアラズシテ他ノ緣由ニ依テ其意思ヲ感動スルノ權理ナシ故ニ買者ノ恐怖ノ念希望ノ心及貪婪ノ情ヲ激發スルノ權理ナシ是ヲ以テ貨物貿易ノ事業ニ於テ其價格ヲ高下増減スルガ爲メニ虚偽ノ廣告ヲ發シ或ハ物品豐盛充備スルノ際ニ當リ一舉占盡シテ故意ニ其缺乏ヲ醸シ以テ價格ヲ騰グル如キハ此規則ヲ犯スト謂フベシ夫ノ旅客ノ店頭ニ入ルヲ見テ過當ノ價ヲ奪ヒ多分ノ品物ヲ得ルガ爲メニ激動誘惑スルモ亦然リ之ヲ概言スレバ買物ノ實價ヨリ導キ來ル緣由ナラズシテ他ニ緣由シ

### ヲ買者ノ心ヲ誘動スルハ大抵邪曲ヲ免レズ

此論說ハ賣者ノ爲メニ設ケタリト雖モ亦買者ノ地位ニモ適シ彼此均シク當然ノ要務ニ從事セザルベカラズ賣者通常ノ價ヲ以テ通常ノ物品ヲ賣リ乃買者ノ便益タランヲ欲シテ其功オチ用非此功オト資本トヲ價フガ爲メニ至當ノ利金ヲ得テ賣ルベキノ務アレバ則買者モ亦甘シテ此利益ヲ與フベキノ務アリ然ルニ價ヲ受ケズ或ハ相當ノ利金ニ不足セル者ヲ得テ吾爲メニ勞力スルヲ賣者ニ望ムハ貪婪トイフヘシ又賣者邪惡ノ思考ヲ以テ買者ノ心ヲ誘惑スル權利ナケレバ買者モ亦此ノ如キ思考ヲ以テ賣者ヲ誘惑スルノ權理アラズ然ルニ彼レノ物價ヲ估スルコト卑下ニ過ギ或ハ商策ヲ用非誘導シテ分外ノ廉價ヲ以テ

賣ラシメント欲スルハ是謫詐ノ罪ヲ免レズ語ニ曰「彼レ此物ヲ以テ凡品ニシテ取ルニ足ラズトイヒ廉價ニ買取シテ人ニ誇ル」此ノ如キ所爲ノ不正鄙劣ナルコト今日猶ソロモン在世ノ時ノゴトシ賣者其物品ニ缺點アルヲ見レバ之ヲ摘指スベキハ前文ニ既ニ説ケリ買者モ亦同規則ヲ守ラザルベカラズ已レ物價ノ騰リシヲ知リテ賣者未知ラザレバ當ニ其價格ノ變ゼシコトヲ告示スベシ此規則ニ背犯シテ物品ヲ賣ル者ハ亦謫詐ヲ免レ難シ故ニ他人ヨリ物價騰貴ノ密告ヲ得テ吾賣買ヲ行フハ之ヲ不正トイフベシ且物品ノ猶他人ノ手中ニ在ルノ際ニ價格自然ニ上騰スレバ此上騰ハ仍彼レニ屬スルコト猶物品ノ彼レニ屬スルガゴトシ故ニ公正者ハ宜シク此上騰ヲ并セテ物品ト俱ニ相當

ノ價ヲ以テ買フベキナリ

世人所有物ニ關スル道德法ヲ犯シ其辨解スル所ノ口實ニ至リテハ皆鄙劣邪惡ト謂フベシ今名實相異ナル者ヲ賣リ酒類ニ水物ヲ和シ或ハ一定ノ量度ヲ減縮シ若クハ世間ニ往々見ル所ノ如ク主人其奴ノ無智ヲ欺キテ給料ヲ與ヘル等ノ際ニ當リテ其口ニ籍ク所ノ言毎ニ左ノ如シ曰「同業ヲ營ミテ吾ト相争フ者甚多キガ故ニ此ノ如キ手段ヲ用井サレバ一物ヲ賣ル能ハズ」或ハ曰「此レ一般ノ習慣ニシテ吾レ之ヲ行ハザレバ他人行フ故ニ終ニ弊惡ノ禁絶シ難キヲ奈何セン」余駁シテ曰此等ノ所爲ニ處スル上帝ノ法ノ設アルコト明ナリ上帝人ヲ愛スルコト己ノ如クスベシト言ヘリ其命ニ背ク者ノ敢テ辨解スルヲ許サズ



聖書ニ曰「彼レ之ヲ彼等ニ示ス故ニ復辨解スベキナシ」蓋シ右ノ口實ハ眞僞ノ二者ニ出テ若シ僞ナレバ固ヨリ當ニ捨テ之ヲ用并ザルベシ果シテ眞ナルカ直ニ其商業ヲ廢セザルベカラズ何ナレバ一人モ上帝ノ法ヲ犯シテ事業ヲ行フノ權理アラザレバナリ

交易ハ甲乙其意ニ從テ互ニ授受スルコトヲ定ム乃其所有物ヲ授ケ代ヘテ他ノ所有物ヲ受ルコトヲ決スルトキニ行ハル、ナリ交易行ハル、ノ後ニ假令物品ハ依然舊ノ如キモ此物品ヨリ生ズル利不利幸不幸ハ固ヨリ(物品ト共ニ)互ニ授受セリ此ニ商人アリテ一船ノ茶ヲ買ヘバ既ニ買フ後ハ茶ノ何處ニアルヲ論ゼズ茶ヨリ生スル利害損益己ニ屬シ其此ニ在リ彼ニ在ルノ別ナク均シク己ニ屬ス故ニ既ニ買了レバ

實ニ未我手中ノ物タラズト雖モ毀缺スレバ損害ヲ己ニ受ク何ナレバ己ニ所有主ノ權ヲ受ケシガ故ニ吾欲スレバ物品ヲ他ニ移シ以テ其毀破ヲ避ケ難キニ非ズ而シテ他人ハ我が指揮ヲ受ケズシテ之ヲ移スノ權理ナケレバナリ

又限外ニ在ルノ一項アリ乃物品ノ毀缺ヲ防ギテ買主ニ贈與スベキコトヲ常例及特約ニ依テ賣品約條ノ一件ト定ムルトキニ然リ此際ニ賣者固ヨリ物價ノ外更ニ若干ノ金額ヲ加取シテ危險ヲ担保スベシ然ラバ則所謂毀缺ヲ防ギテ買主ニ贈與スル所爲ヲ何ノ時ニ全了スルヤト問フ者往々アリト雖此先例ニ因テ決定スベクシテ何國モ律法院ニ於テ審定セラレバ則彼我共ニ此ニ從テ相處セザルベカラズ

第二部 時間ヲ限リテ財物ヲ授與スルトキニ然リ此際ニ當リテハ其所有物ヲ用弗ルガ爲メニ約定シタル價金ヲ借主ヨリ貸主ニ消却ス此ノ如クスルヲ認メテ當然トス此レ蓋シ其財物本主ノ手中ニ在レバ幾許カ増殖シ而シテ其増殖ノ利益悉ク本主ノ有トナルベキガ故ナリ本主此利益ヲ借主ニ附シ其取テ己ノ有トスルニ任セバ借主タル者當ニ適當ノ酬金ヲ拂フベシ借主酬金ヲ拂フテ財物ヲ借ルノ後ニ富裕ヲ増ス能ハザルコト猶之ヲ借ラザルトキノゴトクナレバ始ヨリ借ラザルヘシ然ルニ酬金ヲ拂ヒ借用スルノ後ニ苟利益ヲ得レバ決シテ酬金ヲ拂ハザルノ理ナシ

人ノ資本タル金錢ヲ借リテ拂フ酬金ヲインテレスト即利息トイヒ其人ノ資本タル金錢ヲ借リテ拂フ酬金ヲインテレスト即利息トイヒ其

地面家宅ヲ借リテ拂フ者ヲレント即地代家代トイフ

此酬金ノ量ヲ當然ニ定ムル所以左ノ如シ借主第一ハ使用ノ爲メニシ  
第二ハ非常危険ノ爲メニ之ヲ拂フ

甲 使用ノ爲メニ之ヲ拂フ

資本ハ彼時ヨリモ此時ニ更ニ有用ナルコトアリ乃更ニ大ナル酬金ヲ得ルコトアリ故ニ粉磨ノ粉ヲ製スルコト某季ハ某季ヨリモ多キコトアリ甲地ノ乙地ヨリモ大ナル收穫アルコトアリ財産モ亦然リ同一財産ニシテ同時ニ甚多寡ヲ異ニシタル利益ヲ生シ得ルコト往々之アリ大概貸與スヘキ資本ノ量多クシテ借ル所ノ人少ナケレバ利息從テ廉ナルベシ若シ借ル所ノ人多クシテ資本ノ量少ナケレバ利息從テ貴カ

ルベシ此理自ラ明ニシテ辨解ヲ費スニ足ラズ

乙 非常危険ノ爲メニ之ヲ拂フ

所有者既ニ所有物ヲ交付スレバ此他人ノ管制ニ歸シテ固ヨリ本主管制ノ及バザル所ニ在リ此ニ非常危険生シテ彼レノ管制防禦ヲ受ケズ借主ノ品性謹慎如何ト巧オアルノ多少ト其行フ所ノ事業ノ難易ニ從テ非常危険ニ大小ノ別アリ人皆常ニ以爲ラク舟中ノ財貨ハ危険ニ觸ル、コト地上ニ在ル者ヨリモ大ナリ又資本ヲ家屋ノ建築ニ用井ルハ火藥ノ製造ニ用井ルヨリハ安穩ニシテ利益多シト是其レ實ニ然リ故ニ今非常危険ノ此ノ如キ景勢ハ則諸件ノ貸借ニ供スル錢物ノ價格ヲシテ大小高低アラシムルコト當然ナリ此ニ証書ノ背面ニ捺印シテ担

保スルノ方法ニ因テ非常危険ヲ避クルコトアリ乃某人能ク借主ノ爲メニ借金ノ辨償ヲ担任シ其人廉直ニシテ信スルニ足レハ貸主ニ對シテ非常危険ヲ償フテ金額ヲ拂フヲ要セス而シテ彼レハ此非常危険ヲ担任スルカ爲メニ借主ヨリ相當ノ酬金ヲ受クベシ

是ニ於テ吾意フニ金ヲ借ルノ正邪如何之ヲ用井テ行フコトノ險易如何其他百種ノ事情ニ從テ利息ノ多寡變ズルガ故ニ其數量ハ決シテ律法ノ定ムル所ノ者ニ非ズシテ總テ本事ニ關スル甲乙ノ意ニ任スベキ者ナリト

此論說ハ特ニ金錢ヲ貸スコトノミニ適スルニアラズ他ノ財産ヲ貸スニモ亦適ス何ナレバ其道理ノ彼ニ用井ラル、コト猶此ニ用井ラル、

ゴトクナレバナリ且夫レ金ヲ貸シテ過分ノ利息ヲ取ベシト言フハ是  
 レ家ヲ貸シ馬ヲ貸スモ亦非常ノ代價ヲ取ルベシト言フナリ今此ノ非  
 常ノ代價ヲ取ル惡風ヲ救治スルハ何等ノ他ノ事情ニ於テスベキヤト  
 問ハ、之ニ答ル左ノ如シ曰姑ク人ノ十分ニ相爭テ此ノ如クスルニ任  
 セテ可ナリ然ル後ニ非常ノ代價ヲ取ラザレハ財産ヲ貸サマラント欲  
 スル者人ニ蔑視セラル、ニ至リテ其貪慾ノ心目カラ消スベシ  
 之ニ反シテ法ヲ以テ利息ヲ一定スレバ爲メニ全社會ヲシテ法ヲ犯ス  
 ヲ甘ズル者ノ權力ニ屈從セシム何ナレバ金錢ノ實價其法價ヨリ騰レ  
 バ謹テ國法ニ從ハント欲スル者ハ皆金錢ヲ貸サマレヘシ蓋シ彼レ更  
 ニ大利益ヲ得ルノ方法ニ其財貨ヲ用井難カラザレバナリ故ニ人皆法

ヲ守レバ其財貨ノ價格騰ルニ從テ世間ノ貸與頓ニ停廢スベシ然レド  
 モ某人物ハ法ヲ守ルヲ欲セズシテ法外ノ利息ヲ得テ貸與スヘシ而シ  
 テ公正者ノ財本ハ(之ヲ貸サズシテ他用ニ供スル故ニ)市場ヲ退却ス  
 其缺乏固ヨリ人爲ニ出デ、此ノ如クニ生ズルガ故ニ其心術邪惡ナル  
 輩ハ縱ニ利息ヲ増加シテ金錢ヲ貸スノ權ヲ有ツナリ  
 又曰他人ノ金錢ヲ借レバ第一ハ之ヲ用井ルガ爲メニ代價ヲ拂ヒ第二  
 ハ非常危險ノ爲メニ之ヲ拂フ即チ文學語ニ謂ハユル担保ノ酬金ヲ與  
 フル是ナリ借金ノ用法ト危險トハ兩ナカラ時ト人トニ從テ異ナル者  
 ニシテ其利息ノ多寡ヲ變ゼシムルノ道理ニアリ然ルニ危險ヲ担保シ  
 タル家屋ヲ得テ住スレバ唯担保ノ價值ヲ償フ故ニ價值ノ多寡ヲ變ゼ

シムルノ道理唯一アルノミ諸政府ニ於テ法ヲ以テ利息ノ價格ヲ定ムト雖モ危険担保ノ價格ハ利息ノ高低シ易キガ如クナラズシテ更ニ能ク定法ニ從フベキ者ナルニ其多寡ヲ定メザルハ宜ク失フト謂フベシ抑亦不正タルヲ免レズ

但昏惑無智ヨリ生ズル争鬪ト失誤トヲ避ケンガ爲メニ社會ニ於テ法ニ依リ其利息ノ價格中其別様ニ論定セラレザル時狀ノ價格タル者ヲ設クルハ固ヨリ至當ノ事ニシテ其當然ノ權内ニアレドモ之ニ過グルコトヲ行ヘハ社中ノ利益ヲ害スルノミナラズ且所有物ノ權理ヲ犯スヲ免レズ吾此論ノ眞確ナルヲ保スト雖モ苟法ノ存スル間ハ人皆法定ムル所ニ過グル利息ヲ授受スルモ罪ナシト言フヲ得ズ善良ノ市民

タル者其良心ノ禁セザル所ハ則當ニ律法ニ服從スベシ不善無智ノ法ニ從ヘバ能ク敗亡ヲ招カザル鮮シ

今所有物ノ此ノ如キ方法ヲ管理スル律法ヲ考論スベシ

金錢ノ貸借ヲ論ズ

甲 貸主ハ人ヲシテ其資本ヲ用井及資本ノ觸ル、所ノ非常危険ニ

報イシムルガ爲ニ相當ノ酬金ニ過グル者ヲ求ムベカラズ

乙 借主ノ心ヲ誘導スルガ爲メニ不正ノ方法ヲ用井ルベガラズ此際ニ行ハル、道理ハ所有物ヲ永世交換スルコトヲ管理スル所ノ理ニ異ナラズ財主タル者壟斷ヲ占メ金錢ノ價ヲ沸騰センガ爲メニ飛報ヲ設ケ虚喝ヲ發シ及相黨シテ計畫ヲ構スルハ不正モ亦甚シクシテ衆人

其利ヲ慕フテ黨中ニ入り或ハ之ニ因テ國法ヲ逃避スルノ巧才勢力ヲ有ツニ至ルヘシ

丙 借主ハ前ニ論述セシ如キ相當ノ價值ヲ償フベシ而シテ亦貸主ノ心ヲ誘導スルガ爲メニ不正ノ方法ヲ用井ルヲ禁ズ

丁 所有物ノ非常危険ハ原主ノ酬金ヲ受ル所以ノ一原由トナリ及此危険ノ品質ニ定限アレバ則借主ハ宜シク他人ノ財本ヲ以テ約條書中ニ記載セザル非常危険ニ委スルノ權理ナカルベシ故ニ之ヲ借ル所以ノ目的ニ供シ尋常ノ危険ニ委スルニ非ズシテ一層患害測ルベカラザルノ商業ト企圖トニ委スルノ權理ナシ然ルニ此ノ如クスレバ價值ヲ償フテ借リタル所ノ方法ニ背キテ之ヲ用井ルノ罪ヲ免レズ彼レ亦

謹戒シテ借リタル所ノ物品ヲ用井損害ナカラシメント勉ムルコト猶已ニ属スル者ノゴトクシ及成功ヲ完了シテ其事務ヲ行フガ爲メニ一様ノ巧才ヲ用井ルベシ然レドモ證書ノ背面ニ捺印シテ担保スル者モ亦非常危険ヲ免ル、ヲ得テ貸主肯ンズレバ借主專ラ其意ニ任セテ物品ヲ用井ル可ナリ

戊 彼レ又約束書面ニ列記セシ條款ニ從テ金錢ヲ償還セザルベカラズ其約定セシ全額ヲ還了シ且些モ約定セシ時限ニ違フコトナク之ヲ還了スルヲ要ス或ハ金額ヲ還了スト雖モ其時ヲ失フハ皆約束ニ背クト謂フベシ

此ニ一問アリ曰負債者折本シテ錢物ヲ償還スル能ハザルモ道德ニ害

ナキヤ答曰彼レ後日ニ至リテ償還スベキ手段ヲ得レバ則其時ヲ論ゼ  
 ス償還スベシ否ザレバ道德ヲ害スルヲ免レズ又問曰此ノ如キハ負債  
 者ヲ抑壓スルニアラズヤ答曰此ノ如クナラザレバ亦貸主ヲ抑壓スル  
 ニ非ズヤ且甲ノ權理ノ貴ク且多キコト乙ノ權理ニ於ケル如クナラズ  
 ヤ吾論ズル所ノ理能ク行ハルレバ負債者少ナクシテ折本者益少ナカ  
 ルベシ蓋シ折本ノ爲メニ實ニ損失セシ金錢ノ量幾許ナルヲ知ラズ此  
 大抵原因ナクシテ着意セザル企圖或ハ小兒ノ如クニシテ恕スベカラ  
 ザル浪費及賭博放肆ノ爲メニ耗糜シ而シテ此數者ハ皆人ノ信仰ヲ得  
 テ金錢借り得ルノ容易ナルト折本ノ所爲ニ依テ負債ヲ廢却スルノ  
 難カラザルトニ因テ行ハル、ナリ人益約束ヲ固守スレバ國ノ財本益

速ニ増殖シ而シテ工業ヲ勸ムルノ力ハ其大ヲ益シ浪費及惡事ヲ拒ム  
 ノ禁防ハ其強ヲ加フベシ

他ノ財貨ノ貸借ヲ論ズ 此事ヲ處スル所以ノ理ハ前文説ク所ノ者ト  
 甚相似タリ

甲 貸主ハ知慮ヲ盡シテ借主ノ望ム所ニ副フ器物ヲ給備シ微小ノ  
 疵瑕アルモ之ヲ指示セザルベカラズ今四十里ニ堪フル馬ヲ請フ者ア  
 ルニ三十里以下ニ堪ヘザルコト、知ラレタル馬ヲ貸シ或ハ一家屋ア  
 リテ穢物ニ接近シ若クハ幾部カ煙突ニ隣シ我レ其居住スベカラザル  
 ヲ知り人ニ告ゲズシテ之ヲ貸セバ欺誦ノ罪ヲ免レズ所有物ノ缺點ヨ  
 リ其價格ニ生ズルノ低下ハ我ニ属スル者ニシテ之ヲ他人ニ交付スル

ノ權理ナシ

乙 貸主ハ物品ノ使用及其觸ル、所ノ非常危險并ニ給備ト需要トノ勢然ラシメテ價格ニ生ズルノ變化等ヲ思考スル心ヨリ生ズル常價ヲ以テ之ヲ貸ス權理アリ此レ前文ニ說解セシ所ト同理ニ因テ然ルナリ

丙 借主ハ他人ノ財物ヲ用井謹戒ヲ加ルコト目巳ノ物ニ於ケルガ如クシ約條書上ニ記載セザル非常危險ニ委セズ且前文ニ述ベシ道理ニ背カザル價ヲ拂フベシ彼此共ニ授受ノ事理ニ背キタル意思ヲ以テ相誘導スベカラズ

丁 借主ハ借用セシ物品ヲ條約ニ遵テ償還スベシ此條約上ニ時限

ト景狀トナ記載スルガ故ニ一ハ其期限ニ從テ之ヲ還了シニハ物品ニ生ズル尋常損敗ノ外ハ借時ノ景狀ヲ失ハシメズシテ還了スベシ吾今一年間家ヲ借リテ還期前ニ壁紙ヲ破リテ着色ヲ傷ヒ家價ノ半額ヲ費サマレバ修繕スル能ハザルニ至ルハ是レ譎詐ノ大ナル者ニシテ忽慢等ヲ藉リ家主ヲ欺キテ以テ家價ノ半ヲ奪フナリ其邪曲タル猶彼ニ全額ノ價ヲ拂ヒ然ル後ニ半額ヲ其懷中ヨリ奪フニ異ナラズ  
此ニ一要聞アリ曰ク猶借主ノ手中ニ在ルノ際ニ物品亡失スレバ誰カ損害ヲ受クベキヤ答曰之ヲ處スルノ理蓋シ左ノ如シ

甲 約束書ニ定メシ方法ニ依テ用井タルニ亡失スレバ原主損害ヲ受クベシ何ナレバ彼レ豫メ非常危險ヲ視察シテ之ヲ償フノ金額ヲ受



クレバナリ彼レ危険ヲ償ハル、ガ故ニ固ヨリ之ヲ担当スレバ則今之  
ヲ失テ損害ヲ受クベキコト當然ナリ

乙 約束書ニ定メザル方法ニ依テ用非タルニ亡失スレバ借主其責  
ヲ免ル、能ハズ彼レ豫メ此非常危険ヲ償フガ爲メニ未曾テ一錢ヲ拂  
ハズ故ニ自己ノ外ハ之ヲ担当スル者ナクシテ我之ヲ担当スルナリ若  
シ此ノ如クセズシテ他ノ理由ニ從ヘバ是レ貸借ノ事ヲシテ全ク廢絶  
セシムメシ何ナレバ物品ヲ他人ニ貸シ其欲スル所ノ方法ニ從テ之ヲ  
用非シメ由テ生ズル損失ヲ皆己ニ任ズルヲ欲セザレバナリ今吾レ馬  
ヲ借り豫メ講定セシ目的ニ從テ善ク使用スルノ際ニ馬頓ニ斃ルレバ  
原主損失ヲ受クベシ若シ馳逐苛酷ナルガ爲メニ死スレバ我レ之ヲ償

ハザルヲ得ズ故ニ彼レハ善馬ヲ我ニ供シ我レハ適宜ニ驅馳スベシ

丙 裡面ヨリ論シテ意外ノ利益ヲ得ルトキモ亦此理ニ外ナラズ此  
利益條約書中ニ記スル者ナレバ則借主ニ歸スルコト疑ナシ否ザレバ  
之ヲ討索スル能ハズ今吾レ一區ノ園ヲ借りテ麥ヲ種エシニ麥價騰貴  
シ或ハ吾耕穡ノ練達ヲ致スニ因テ利益ヲ得レバ別ニ園ノ價ヲ拂ハズ  
シテ之ヲ吾有トナスコト當然ナリ然レドモ園中ニ石炭坑ヲ查出スル  
コトアラシニ吾レ始ヨリ坑ヲ穿テ石炭ヲ取シガ爲メニ園ヲ借りシニ  
アラザレバ其利益ヲ占ムル權理ナシ

危険担保ノ事件ヲ論ズ 此レ金錢物品等ノ貸借ヲ言フニ非ズ故ニ借  
用スル價ヲ拂フコト固ヨリ無シ而シテ原主自ラ其物品ヲ用非ルノ際

ニ非常危険ニ觸ル、ヲ恐レテ寧他人ヲシテ危険ヲ担保セシメ担保ノ價トシテ之ニ相當ノ金額ヲ給スルコトヲ説クナリ夫レ保險セシ物品ノ亡失ヨリ社會ニ及ボス損害ハ保險セザル物品ノ亡失ヨリ及ボス損害ニ異ナラス若シ都市ニ於テ物品ヲ保險セラルレハ物品亡失シテ都市ノ貧困ヲ致スコト保險セサル物品ノ亡失スルトキト正ニ相同シ其僅ニ異ナル所ハ損失ヲ衆人ニ分任スルト否サルトニ在ルノミ今夫レ千圓ノ金額ヲ十人ニ分任シ各百圓ヲ償フハ一人ニシテ千圓ノ全額ヲ償フヨリ易キコト論ナキナリ此事ヲ處スル規則ハ平易ニシテ了解シ易シ原主ハ保險料ノ高低ヲ致ス所以ノ諸種ノ形勢中ニ就キテ我カ知リ得ル者ヲ担保人ニ示顯シ乃本件ノ物品ハ必其告示スル所ノ物ニ異

ナラザルベシ而シテ危険ノ事狀モ亦其告示スル所ノ者ニ同シカルベシ然ルニ已レ物品ヲシテ他狀ノ危険ニ觸レシムレバ保險ノ約束ハ無効ニ屬シ物品損失スレバ保險者之ヲ償フヲ拒ムヘシ若シ物品恙ナク安全ナルヲ得レハ保險料ヲ還與スヘシ保險料ノ量數如何ヲ説クヲ要セズ其量數ハ危険ノ景狀ニ從テ高低シ千百ノ差等アルガ故ニ時ニ臨テ甲乙自ラ相約定スルヲ要ス此ノ如キ商業ノ市場能ク獨擅占利者ノ妨害ヲ免ルレバ保險料ノ調理スルコト他ノ物品ノ價ニ於ケル如クナルヘシ

第三部 次ニ考論スベキ項ハ無形物ヲ以テ價直ヲ償フ者ニシテ則乙工勞ヲ行ヒ甲ニ就キテ金錢ヲ受クルコト是ナリ其中重要ナルハ主人

ノ奴僕ニ於ケル本人ノ代理人ニ於ケル者トス

甲 主人ノ奴僕ニ於ケル事項

(イ) 主人適度ノ給金ヲ僕ニ與フベシ給金ノ多寡ハ僕ノ勞力、巧才、忠厚如何、及市場ニ於テ此ノ如キ勞力ノ價格ニ高低アルコト如何ノ熟考ニ基キテ計算スルコト當然ナリト雖モ此レ或ハ一定セズシテ便宜ヲ害スルヲ免レ難キガ故ニ主僕互ニ多寡ヲ約決スルノ勝ルニ如カズ

(ロ) 主人修身法及一定ノ習慣ニ於テ附與シタル權理ハ之ヲ僕ヨリ奪ハザルベシ但習慣ト異ナル事項ヲ約定スル者ハ必シモ然ラズ且此約束ニ基ヅキ以テ彼ノ工勞ヲ作スヲ責望スルヲ禁ゼズ

(ハ) 僕習慣及約束ニ因テ己ニ責ムルノ勞力(良心ノ禁ズル所ニ非ル者)ヲ勉行シテ其巧オヲ盡シ主人ノ利ヲ以テ己ノ利トナスベシ若主僕相共ニ此ノ如クナラズ乃主人ハ僕ヲ役シテ適度ノ給金ヲ拂ハズ僕ハ給金ヲ受ケテ相當ノ工勞ヲ作サザレバ皆所有物ノ權利ヲ害スルヲ免レズ且主人約束ヲ實踐セズ僕ニ工價ヲ拂フベキトキニ拂ハザレバ亦權利ヲ犯スト言ベシ僕既ニ工勞ヲ作シ、後ニハ工價ハ僕ノ有ニ属ス故ニ主人之ヲ奪フノ權理ナキコト猶他ノ已ニ属セザル物ヲ奪フノ權理ナキガゴトシ使徒シエムス曰「工人汝ノ爲メニ禾穀ヲ刈レドモ欺テ受ケテ工價ヲ得ザレバ工價ノ號哭スル聲安息日ノ主ノ耳ニ達セン」僕モ亦然リ其才ヲ竭シ儉ヲ行ヒ以テ主人ノ物品ヲ管理スベシ

若シ怠慢過失ニ因テ毀傷スレバ自ラ之ヲ償ハザルベカラズ

乙 本人ノ代理人ニ於ケル事項

一人同時各所ニ各般ノ事務ヲ行フベキコト往々アリ或ハ又工勞ヲ分  
タシガ爲メニ其事ヲ行フ吾ニ勝ル者ヲシテ之ヲ行ハシメント欲スル  
コト亦之アリ此兩件ヲ處スルニ或ハ已ムヲ得ザルヨリ或ハ自己便利  
ノ爲メニ他人ヲ雇フテ代理人トナスナリ代理ノ職ニ二種アリ第一本  
人唯自己ノ(即本人ノ)心志ヲ成スガ爲メニ他人ヲ雇フ此時本人ノ心  
志即遂グベキ目的ト之ヲ遂グル所以ノ方法トノ規則トナルナリ第二  
本主遂グベキ目的ノ何タルヲ代理人ニ指示スルノミニシテ之ヲ遂グ  
ル方法ニ至リテハ彼レノ才智ト貞實トヲ信シテ其自ラ撰用スルニ任

ス蓋シ職業ニ助力スル事ニ於テ此ノ如キコトアルナリ

右ノ事ヲ處スルノ法ハ第一本人ト社會トノ倫第二本人ト代理人トノ  
倫ニ關涉ス

第一 代理人本人ヨリ任ゼラレシ事務ヲ行フノ間ハ本人其所爲ノ責  
ヲ負担スベシ代理事了レバ復然ラズ故ニ一商人其管事ヲシテ已ノ爲  
メニ金ヲ某人ヨリ受ケシメンニ本人ノ事務ノ一部分ヲ代任スル管事  
ノ所爲ハ本人其責ニ任ズ然レドモ彼レ受クル所ノ金ヲ其擔夫及馬夫  
ニ付スレバ本人其責ニ任ゼズ何ナレバ此目的ノ爲メニ彼等ヲ雇ハザ  
レバナリ故ニ管事不正ニシテ金ヲ私スレバ主人其損失ヲ受クベシ馬  
夫金ヲ受ケテ之ヲ私スレバ授者損失ヲ受クベシ是ヲ以テ本人ハ適應

ノ代理ヲ撰用スベク而シテ金ヲ拂フ者モ亦唯彼レノ撰用セシ代理人  
ニ金ヲ付スベシ此ニ一要問ヲ發ス曰何時ニ本人ノ代理人ヲ用非シコ  
トヲ知ルベキヤ答曰ク本人向ニ代理人ヲ撰用シ其所爲ヲ担任スルヲ  
肯ンズレバ則爾後復然ラザルヲ告示スルマデハ尙代理人ノ所爲ヲ担  
任スルコト、認ムルナリ

第二 本人ト代理人ノ倫ヨリ生ズル法ヲ論ズ

甲 代理人ニ與フベキ給金ノ法ハ前文説シ所ニ異ナラザルガ故ニ

今復此ニ贅セズ

乙 代理人ハ本人ノ事務ヲ處スル周密ナルコト猶己ノ專ノコトク  
スベシ彼レ自カラ他人タリト雖モ本人ノ爲メニ此ノ如ク周密ニ代理

セザルベカラズ能ク本人ヲシテ其望ム所ノ者何タルヤヲ知ラシメ又  
代理人ヲシテ其當然ノ責望ニ副フベキノ方法如何ヲ知ラシメンニ他  
ノ規則ナキヲ見テ此規則ノ必用ナルヲ知ルベシ故ニ代理人本人ノ事  
務ヲ處スル猶己ノコトノ如クニ周密ナラズシテ損害ヲ招ケバ自ラ之  
ヲ償ハザルヲ得ズ今代言人アリテ怠慢及辨シ易キ無智ノ爲メニ訟屈  
スレバ由テ生ズル所ノ損失ハ之ヲ己ニ任ズベシ彼レ才幹ヲ盡シテ訴  
訟センガ爲メニ謝金ヲ受ケテ專ニ着手シ以テ本人ヲシテ更ニ別人ヲ  
雇フ能ハザラシム故ニ彼レ訴訟ヲ怠ルニ由テ本人ノ害ヲ招クコト其  
代言セザリントキヨリ甚シケレバ謝金ヲ受ケテ人ヲ害スルノ責ヲ免  
レズシテ其過誤ヨリ生ズル損害ヲ己ニ受ケザルヲ得ズ

左ノ一間ハ屢生ズル所ニシテ忽慢スベカラザル者ナリ曰何時ニ代理人本人ノ指教ニ從ヒ何時ニ之ニ從ハズシテ行フベキヤ  
蓋シ考論スベキ本件ハ前説代理ノ何類ニ属スルヤヲ審明シテ後ニ答ヲ設クベシ

甲 單純ノ代理乃本人ノ指教スル方法ニ從テ本人ノ心志ヲ行フベキ事ニ處スル者(良心ノ禁セザル外)ハ篤信シテ之ニ從フベシ但命ヲ受クルノ後ニ一事件頓ニ生シ其狀急切ニソ本人モ之ヲ知り必其意思ヲ變スベキコトニシテ審察熟考スベキトキニハ然ラズ此レ武官ノ律法ナリ此法ニ於テ本人ノ命令ニ從ハザル所以ノ理分明ナリト雖モ代理人之ニ背クトキハ彼レ尙曰ラ危險ヲ犯シテ之ニ背クナリ故ニ教令

ニ背クコトヲ申理センニハ必ス之ニ背カシムル所以ノ事件ヲシテ判然明確ナラシメンヲ要ス

乙 他ノ種類ノ代理乃本人ノ心志ハ唯目的ヲ指示スルノミニシテ此目的ヲ遂グルノ方法ニハ代理人ノ事ニ達スル才幹ヲ以テ審定スルニ任ヒラル、者ハ代理人本人ノ指令ニ從フベキノ義務ナシ彼レ蓋シ本件ノ事情ヲ知り及何方法カ本人ノ爲メニ至善ナルベキヤヲ辨ズルコト本人ニ勝レリ故ニ他人已ヲ害スルヲ請フト雖モ之ヲ害スル權理ナシ且身ヲ以テ他人ノ具ニ供シ彼レヲシテ其狂愚ニ乘ジテ傷害セシムル權理ナシ故ニ醫師ハ病人ノ請ヲ以テ之ニ毒藥ヲ與フルノ權理ナク代言人ハ本人ノ請ヲ以テ其非理明白ナル訟詞ヲ法庭ニ上陳スル權

理ナシ代理ヲ以テ業トスル者ハ其才智ノ至善ヲ以テ代理ヲ行フベシ此其責任ノ極度ニシテ本人之ヲ肯ズレハ固ヨリ好シ肯ゼザレバ彼此ノ倫此ニ絶エテ本人更ニ他ノ代理人ヲ求メザルベカラズ  
 議事院ノ代議人ハ前説第二類ノ代理人ニシテ衆人以テ立法ノオアリトナシテ撰ブ所ナリ故ニ亦代理ヲ以テ業トスル者タルコト疑ナク因テ本人ノ指教ヲ受ルノ責ナシ唯當ニ本人ノ爲メニ至大ノ利益ヲ生ズベキノ務アルノミニシテ其方法ニ至リテハ己ノ他ニ勝ル才幹能力ニ因テ審定スベシ或曰然レドモ彼レ本人ト意見相異ナレバ職ヲ辭スベキヤ答曰夫ノ國憲ニ照シテ其可否ヲ審定スベシ社會即全國人民ハ欲スル所ノ政体ヲ設立シ且善良ノ舉動アルノ間乃社會ト代議人ト同一

目的ヲ有ツ限ニ代議人ヲ撰置スル權理アリ或ハ社會ノ爲メニ善良ナル道理アルガ故ヲ以テ通常法ヲ用非ズシテ彼ナシテ特ニ某時間在职セシムルガ爲メニ撰置スルノ權理亦之アリ若シ乙ノ方法ヲ取レバ必之ヲ守リテ甲ノ方法ヲ捨テザルベカラズ代議人ヲ撰置スルコト社會ノ欲スル期限間ナレバ則甲ノ如クニシ或ハ二年乃至六年間ナレバ乙ノ如クニスルナリ而シテ吾所見ニ依レバ此他更ニ亦究問スベキナシ夫レ欲スル所ニ從テ代議人ノ職務ノ方法ヲ改ムルハ社會ノ權内ニアリ然レドモ此方法ノ改マルマデハ彼我共ニ此方法ノ示ス所ノ者ニ過ギ若クハ背キテ討索スルヲ得ズ然レドモ代議人ハ信實忠厚ノ念ヲ以テ智術ヲ盡シテ本人ニ利スルヲ務ムベシ否ズノ自然貪利ノ念ヨリ行

ヘバ其撰マル、所以ノ約ヲ犯ス罪ヲ免レズシテ直ニ辭職セザルヲ得ズ

○第三章 社會ノ所有物ノ權理ヲ害スルヲ論ス

某人物ヲ有テバ他人ヲノ討索セシメズト此余ガ前ニ説ク所ナリ夫レ苟他人ノ權理ヲ犯サマレバ己ノ幸福ヲ増スベキ方法ニ依テ所有物ヲ用井ル權理アリ然レドモ社會能ク此權理ヲ妨グルコト猶一個人ノ之ヲ妨グルガゴトキコトアリ而シテ其妨害ノ救フベカラザルニ至ルハ一個人ノ行ヒシ者ヨリ更ニ大ナリ蓋シ此世ニ在テ一個人ハ社會ニ勝ルノ權力アルヲ見ズ故ニ社會ノ審判不正ナルトキト雖モ此ニ抗論スルコトナシ余今此ニ關スル數件ノ論說ヲ掲テ本篇ノ結尾トナス蓋シ上

文ニ云一個人苟邪曲ナラザレバ欲スル所ニ從テ所有物ヲ用井他人ヲシテ犯サマラシムルノ權理アリト然レドモ彼一個人モ亦社會ノ一員タルヲ以テ此權理節制セラル、コト明確ナリ彼我合同シテ一社會ヲ設クレバ某ノ方法ヲ以テ一個人ニ利益ヲ與ヘント相約ス然レドモ幾許ノ費用例バ裁判及立法等ノ費用ヲ拂ハズシテ此利益ヲ得ンコト難シ故ニ社會ニ入りテ此ノ如ク利益ヲ享クル一個人各等分ノ費用ヲ拂フベキノ責アリ夫レ社會ノ一員タルヲ以テ此等分ノ費用ヲ己ニ任ズルノミ此費用ヲ拂ハザレバ社會決シテ立ツニ由ナシ彼レ立法ト保護トノ利益ヲ求ムレドモ他人ノ買ヒン者ニ至リテハ己レモ當然ノ價格ヲ拂ハザレバ得ル能ハズ此道理ニ基キテ社會ハ其存立スルニ欠クベ



カラザル等分ノ費用ヲ拂フコトヲ各自ノ一個人ニ求ムル自然ノ權理アリ且此必シモ社會ノ存立ニ至要ナルニアラザルモ尙其ヲシテ善良ナラシムルニ必要ナルガ爲メニ費用ヲ拂フヲ約定スルハ社員ノ權内ニ在リテ此ノ如ク約スレバ此約ヲ實踐スベシ蓋シ一個人ト社會トノ約束ノ必守ルベキコト猶一個人ト一個人トノ約束ニ於ケル如シ故ニ約束ヲ結ヘバ社會ニ於テ其實行ヲ責ルノ權理アリ然レドモ此理ヲ以テ約束ノ固ヨリ公正ナルヤ否ヲ審定スルヲ得ズ多數社員ノ權力ハ一個人ヨリ勝ルヲ以テ能ク一個人ヲ屈從スベシト云フニ至リテハ殊ニ

**定論トスルヲ得ズ此事項ハ次篇ニ譲リテ詳悉セズ特ニ此ニ論スル者**

ハ社會ニ於テ例ハ教育ヲ施シ橋梁ヲ架スル等全ク社會ノ存立ニ關セ

ザル事項モ亦一個人ニ費用ヲ分課スルヲ當然トスルノ事項ナリ凡ソ事物ノ社會ノ存立ニ必要ナラザル者ハ若シ一個人ノ心志ヲ以テ委付セラル、ニ非レバ社會之ヲ專ニスルヲ得ズ此レ定法タルコト時勢ノ已マザル者ニ由リテ昭明ナリ他ノ規則ニ從ヘバ一個人ノ所有物ヲ盡ク社會ノ權中ニ置キ乃全ク一個人ノ自由ヲ滅却スルヲ免レズ事實此ノ如クナレバ社會ハ第一社會ヲ存立スルニ必要ナル目的ノ爲メニ一個人ノ所有物ヲ管制シ第二一個人ノ此威權ヲ社會ニ與フル所以ノ事件ニ於テシ而シテ唯其之ヲ與フル所以ノ目的ノ爲メニ其所有物ヲ管制スルノ權理アリ

甲 一個人常ニ約束ニ從テ其所有品ヲ保チ及其他人ト共ニ受クル

利益ヲ償フ爲メノ費用ノ已ニ属スル分ヲ拂ヒ以テ此目的ノ爲メニスルハ當然ノ職ナリ抑甲費用ヲ拂ハザレバ利益ヲ受クル能ハザルコト猶乙ニ於ケルガ如シ

乙 一個人ニ課スル費用ハ右目的二者ノ一ニ基ヅク者ニ非レバ彼レ之ヲ拒ムノ權理アリ

丙 彼レ當然ノ法ニ從テ社會ノ責任ヲ各一個人ニ負ハシムルヲ求ムル權理アリ蓋每人其社會ノ保護ヨリ受クル利益ノ多少ニ準ジテ費用ヲ拂フベキノ理ニ基キテ此法ヲ定立スベシ此利益ハ人身ノ利益ト金錢ノ利益トノ二者ニ出デズシテ人身ノ利益ハ彼我正ニ相同シ故ニ利益ノ差等アルハ唯錢物ノ多少ニ準ズルヲ以テ當然トナスベシ

此理果シテ然レバ社會左ノ方法ニ因テ一個人ノ所有物ノ權理ヲ害スルコトアリ

甲 社會其代理者タル政府ノ權ニ藉リ專行法官ノ心志ヲ以テ一個人ノ所有物ヲ奪フトキニ然リ時アリテ專制政府ノ虐取ヲ行フ情實此ノ如シ

乙 社會ニ於テ善惡如何ヲ論ゼズ社會ヲシテ存立セシムルニ必要ナラザル目的ノ爲メニ獨擅ノ心思及律法ヲ以テ一個人ノ許可ヲ受ケズシテ所有物ヲ奪フトキニ然リ前文ニ示ス如キ已ムヲ得ザル費用ヲ課スルトキノ外ハ此許可ヲ得タリト擬定スルヲ得ズ社會ノ口實忽一個人ニ認メテ是トセラレザルトキ憲法ノ條款ヲ示シテ辨明スルニ非

レバ一個人ノ所有物ヲ犯觸スル權理ナシ又政府ニ於テ教院ヲ立ントスルニ徒ニ教院立テザルベカラズ或ハ社會ヲ改良センニハ教會ヲ立ツルヲ要スト云ノミニシテ國憲上政府ニ許スニ此ノ如キ目的ノ爲メニ人民ノ所有物ヲ用非ルヲ示スニ非レバ其費用ヲ課スルヲ得ズ

丙 社會ニ於テ費用ヲ課スルハ公正ナリト雖也之ヲ課スル法則ニ至リテハ不正ナル者ヲ用非テ一個人ノ權理ヲ害スルコトアリ一個人各正直ニ自己ノ幸福ヲ増スベキニ依テ其所有物ヲ用非ルヲ妨ゲラレザル共同ノ權理アリ約言スレバ其之ヲ用非ルノ狀態曾テ社會ノ利害ニ關セズシテ他人ヲ害セザレバ社會ノ與リ知ル所ニ非ズ故ニ此ノ如キ事狀ニシテ所有物ヲ用非ル方法ハ彼我均シク遵奉スベシ或曰一個

人ノ所有物ヲ社會ノ用ニ供スレハ如何ニ制理スルヤ答曰他ナシ唯右ノ規則ヲ以テ之ヲ制理スベシ若シ此規則外ノ者ヲ用非テ一個人ニ其等分費用ノ外更ニ特別ノ者ヲ課シ而シテ他人ニ至リテハ然ラザレバ彼レ之ヲ拒ムノ權理アリ何ナレバ既ニ一費用ヲ課シ更ニ又社會權外ノ者ヲ課スレバナリ

丁 吾自己ノ幸福ヲ増スガ爲メニ所有物ヲ用非ルヲ許シテ之ヲ禁ゼザルニ由リ其所有物價格ヲ有ツトキ社會之ヲ節制シテ吾欲スル所ニ從テ之ヲ用非ルヲ許サマレハ此所有物ノ權理ヲ犯スト謂フベシ夫レ財貨ヲ殖シテ幸福快樂ヲ得ル者アリ仁愛ヲ行フテ之ヲ得ル者アリ文學ニ富ミ若クハ教法ヲ盛ニシテ之ヲ得ル者アリテ人各正ニ其欲ス

ル所ニ從テ己ニ属スル物ヲ用井ル權理アリ而シテ社會ノ彼レノ之ヲ用井ル方法ヲ指命シテ妨グルハ亦不正ノ所爲タルヲ免レズ例ハ教法ヲ弘盛センガ爲メニ其所有物ヲ用井ルヲ妨グルコトノ大ニ所有物ノ權理ヲ害スルハ猶農夫ニ三頭以上ノ牛ヲ用井ルベカラズ製造者ニ十人以上ノ工人ヲ用井ルベカラズト命ズルガゴトシ

○第三篇 品行ニ就キテノ公義

品行ハ人ノ現今ノ知識交際及道德上ノ位格ニシテ其實有ノ才學、能力、習慣、志向、道德ノ感情、及現今人生ニ欠クベカラザル諸物并ニ其前途好景況ニ違スル爲メノ才力ヲ惣括ス此ニ由テ之ヲ觀レバ人ノ固有スル者ノ中ニ就キテ品行ノ最貴キコト明ニ論ヲ待タズ  
實ニ然リ則仁心能ク力ヲ盡シテ他人ノ品行ヲ修好スベキコトヲ吾ニ訓戒ス此レ仁心ノ首務ニシテ又耶穌教門ノ實地ノ大目的ナリ互相交接ノ道ニ於テ全ク他人ノ品行ヲ害スルコトヲ禁止ス  
此禁止ノ道理分明ニシテ上帝ノ法ヲ犯シ且他人ノ法ヲ犯スニ於テ顯ハル、所ノ志向ヲ誘成スル者ハ必自己ノ品行ヲ害スルナリ

何方法ニ於テスルノ論ナク敢テ此侵犯ノ根原トナル者ハ惡事ノ首長タルコト往々之アリ夫レ人ヲ誘キテ自殺セシムル者ハ上帝ヨリ之ヲ視レバ人ヲ殺ス者ナリ故ニ他人ヲシテ先ヅ邪惡ヲ行ハント欲スル心ヲ生ゼシメ而後激シテ之ヲ行ハシムル者ハ上帝ヨリ之ヲ視レバ由テ生ズル災害ノ責ヲ任ズルコト鮮少ニ非ズ

又曰 人ヲシテ互ニ品行ヲ相害セシムル所以ノ理由他ニアラズ單純ノ惡意及已ヲ快クスルコト限ナキノ念ナリ

第一 惡意 人間ノ惡風ノ常度ヲ越ユルノ甚シキ者ハ正直無罪ナル者ヲ誘キテ德行ノ域ヲ脫セシムルヲ以テ快トシ而シテ道德ノ敗壞ヲ致スヲ以テ喜トナスニ至ル語ニ曰「彼等海陸ヲ鎖シ此人ヲ拘執シテ

新ニ教門ニ入ラシム此レ之ヲシテ已ヨリ甚シキ地獄ノ子邪人トイフ義トナヲシム、

此ノ如キ至大不善ノ舉動ハ之ヲ名狀スベキノ語ナクシテ赦スベカラザル邪惡ト謂フベシ更ニ甚シキニ至リテハ我快樂ヲ逞クシ嗜好ヲ縱ニシ威權ヲ專ニシ貪欲ノ念ヲ養ハント願ヒ而シテ此口途ヲ達センガ爲メニ他ノ永生ニシテ責任アル人物ヲ誘キテ長ク罪過ニ沈淪セシム是ニ於テカ道德ノ疾疫地上ニ流行シテ甲乙共ニ患ニ罹リ殊ニ其根本タル者ハ永世苦厄ヲ脫スルヲ得ズ嗚呼誰カ此小人ニ一時不潔ノ嗜欲ヲ逞クスルガ爲メニ上帝ノ生造セシ人物ニ災害ヲ施スノ權理ヲ與フルヤ且萬物ノ審判者血液ヲ查察スルトキニ此ノ如キ罪人ニ震慄スベ

キ杯酒ヲ飲シメザルヤ

聖書中ニ此理ヲ示ス所往々アリ其最厲ナル罵言ハ必他人ヲシテ弊害ニ陥ラシムル者ヲ譴責スルガ爲メニ發スルナリ舊約全書ニシエロボアムガイスラエルヲシテ罪惡ヲ犯サシメシ故ニ稱シテ宥スベカラザル邪惡ヲ行ヒシ者トイヘリ今此ニ新約全書中フアリシ一宗徒ノ審判ヲ記メ曰「凡ソ人些モ此神命ヲ犯シ且他人ニ教ヘテ犯サシムル者ハ天國ニ招カル、コト希ナルベシ」此文須ラク前節ト參考スベシ此蓋シ人上帝ノ誡命ヲ行ヒ及教フルハ德行ノ大證據ナルガ故ニ自ラ犯シ他人ニ教ヘテ之ヲ犯サシムルハ邪惡ノ大證據ナルヲ示ス者ナリ且天啓篇ニ於テバビロンガ惡風ヲ以テ天下ヲ惑亂セシ故ニ上天烈シキ災厄

ヲ以テ之ニ報イルコトヲ説ケリ

本件ノ事ニ就キテ道德ノ教戒大抵左ノ如シ人皆何理由ニ基キ何口實ノ論ナク故意ニ他人ノ品行ヲ汚スヲ禁ゼラル此禁制ヲ犯ス左ノ二種ノ方法アリ

甲 人ノ道德ノ管束力ヲ弛弱スルニ因テス

乙 彼レノ不善ノ情欲ヲ激動スルニ因テス

第一 人ノ道德ノ管束力ヲ弛弱スルニ因テ犯ス者ヲ論ズ

人ノ情欲能ク良心ノ管束ヲ受クルヲ要ス而シテ良心ノ管束力ハ自然著顯ノ二教法ニ導キ來ル道理緣由ニ因テ増加スト此余ガ前ニ説ク所ナリ故ニ凡ソ人何方法ニ於テスルモ他人ノ道德ノ知覺ヲシテ魯鈍ナ

ラシメ或ハ此知覺ヲシテ功用ヲ發セシムル所以ノ道德眞理ノ威權ヲ  
 減ズレバ其黨人ノ品行ニ限ナキ傷害ヲ及ボスヲ免レズ又邪惡ノ式様  
 ナ示スニ因テ之ヲ行フコトアリ蓋シ衆人知ル所ノ如ク目邪惡ノ形色  
 ニ觸ル、ガ爲メニ良心ノ已ヲ制御スル力ヲ弛弱スレバナリ或ハ筆舌  
 ヲ以テ是非邪正ヲ辨ズル者ヲ嘲侮スルトキニ之ヲ行ヒ又神聖ヲ汚シ  
 若クハ安息日ヲ守ラザル等教法ノ威權ヲシテ功用ナカラシムルノ所  
 爲ニ因リ或ハ異端ノ信奉教師ノ詐僞及教育ノ偏見ニ假托シテ道德ト  
 教法トノ責任ヲ蔑視シテ負担セザルニ因リ或ハ人ニ上帝ノ品行ヲ示  
 教スルコト宜ヲ失ヒ其レヲシテ上帝ハ人ノ是非ノ動作ニ注意スルコ  
 ト少ナクシテ彼ノ欲スル所ヲ縱ニシテ生存スルヲ好ム故ニ德行ト稱

ユル夫ノ克己ナル者ハ何益カアル徒ニ已ヲ苦シマシムルノ所爲ニ過

ギザルノミト思惟セシムルニ因ルナリ

男女ノ別ナク年少者ハ殊ニ儆戒シテ此ノ如キ道德ノ傷害ヲ防ガザル  
 カベラズ道德ノ誘惑者ニシテ品行ヲ穢亂スルノ術ニ長ズル者ハ年少  
 男女ヲ誘キテ邪惡ヲ行ハシメントセバ必先ヅ其準繩タル理才ヲ敗滅  
 シ其道德ノ禁制ヲ暗除シ其心ノ保護ヲ失ハシメ而後之ヲ誘導シテ縱  
 ニ邪惡ヲ行ハシメ且情欲ヲ激シテ狂惑ニ至ラシム彼既ニ此ノ如キ備  
 辨ヲナセハ復何ゾ爲シ難キアランヤ一タビ初ニ成シ得レバ後ニ成シ  
 得ザル者幾希ナリ故ニ少年輩殊ニ其婦女ハ夫ノ德行ノ禁制無益ニシ  
 テ守ルニ足ラザルヲ示シ或ハ造物ノ其主ノ法ヲ奉シテ盡スベキ恭敬

順從ノ念ヲ減ズルヲ目的トスル談話ハ暫時モ聞カザルベシハ  
 第二 人ノ邪惡ノ心情ヲ激シテ動作ニ發セシムルニ因テ其品行ヲ害  
 ス

甲 其想像力ヲ激動スル不善ナルニ因テ然リ人其想像未邪惡トナ  
 ラズシテ行爲先ヅ邪惡トナル者アルナシ他方ヨリ論ズレバ惡事ノ知  
 識ヲ以テ其想像心ヲ裝滿シ其壞亂セシ道德上ノ嗜欲ヲ養フニ想像ニ  
 出ヅル不潔ノ景況ヲ以テスル者ハ公然トシテ人ニ擯斥セラル、ヲ待  
 ツノミ故ニ人ヲ壞亂スル術ノ至大ナル者ハ其目前ニ陳列スルニ汚穢  
 ノ状態ヲ以シ之ヲシテ暗ニ罪惡ニ慣習セシムルナリ名實ノ何タルヲ  
 論ゼズ凡ソ邪惡ノ書ヲ書シ刊行賣貸シ或ハ荒淫ナル圖畫ヲ作り刊行

賣貸シ及展覽ニ供スル者ハ此罪ヲ免レズ蓋シ藝名ヲ賣リ私利ヲ貪リ  
 テ詩文ヲ作り公布シテ社會上ニ臭穢ヲ流傳スル者ノ如キ兇惡ト稱ス  
 ベキ者アルコト鮮シ

唯男子ノミ然ルニ非ズ甚シキニ至リテハ婦人モ亦此ノ如キ者アリテ  
 罪人ト雖モ才畧アレハ衆之ヲ賞賛ス然レドモ君子ハ才畧ヲ以テ德行  
 ト同視セズ且其才畧ノ功用唯人ヲ益邪惡ヲ行ハシムベキ者ヲ賞セ  
 ズシテ品行醜惡ナル者ヲ捨絶スト雖モ此婦人ノ如キハ乃相憐ノ情ヲ  
 以テ之ヲ甲慰スルナリ

乙 他人ノ嗜好ヲ助クルニ因テ然リ今邪惡ヲ行ハシムル有力ノ誘  
 導ナル者未人ノ目前ニ觸レザレバ良心常ニ高等ノ地位ヲ失ハザルハ



嗜好ノカト良心ノカトノ關係ナリ此ニ反シテ誘導ノ力嗜好ノ力ニ増  
 加シ二者合同シテ邪惡ヲ逞クセント欲スレバ道心ト良心ハ復能ク之  
 ヲ抗禦スルニ足ルノカヲ有テ得ズ故ニ他人ノ目前ニ惡事ヲ誘導スル  
 ノ具ヲ陳シ及兇邪ノ嗜好ヲ快クスル器械ヲ列スル者ハ由テ生ズル過  
 失ノ多分ヲ已ニ任ズベシ人ヲ沈醉セシムル飲料ヲ造リ又之ヲ賣リ鴉  
 片ヲ支那人ニ賣ルガ如キ不善ノ商業ニ於テ此法ヲ犯スコト鮮ナカラ  
 ズ婦人賣淫ノ事モ亦此科中ニ在ルナリ

丙 他人ヲ用非テ吾邪惡ノ嗜好ヲ助ケシムルニ因テ然リ他人ヲ用

非テ吾邪惡ノ嗜好ヲ助ケシメンニハ必彼ヲシテ汚穢ニ陥ラシメ以テ  
 常ニ其道德ノ性質ニ被ラシムルニ不治ノ傷害ヲ以テセザル能ハズ凶

人其鄙穢邪惡ナル一朝ノ快樂ノ爲メニ永生ノ人物ヲシテ品行ヲ敗壞

シ己ノ爲メニ罪孽ニ陥ラシメ以テ恬トシテ省ミズ甚シキハ此ノ如ク

敗壞セシムルヲ以テ快トシテ往々人ニ誇ルニ至ル誘惑姦通ノ事及荒  
 淫放肆ノ行狀中ニ多少此ノ如キコトアルナリ

丁 人ノ邪惡ノ情欲ヲ養成スルニ因テ然リ蓋シ情欲ノ二字ハ心思  
 ノ欲ヲ指シテ言ヒ以テ口腹耳目ノ欲ヲ斥言スル嗜好ノ二字ニ區別ス  
 ルナリ此ニ人アリ其理オト良心トヲ激動スレドモ曾テ感ゼズ名利ノ  
 心、貪婪ノ念、側頗ノ情、傲慢自負ノ意ヲ激スレバ輒毎ニ感動ス吾輩之  
 ヲ鼓舞誘惑セント欲スルコトアリ蓋シ人ノ此ノ如キ心情ト相熟知ス  
 ル者ヲ稱シ人性ヲ曉通シ及人ノ脆弱ナル一邊ヲ知ルト謂ヒ之ヲ以テ

大且強ナル功用ヲ成スベキノ方法ナリトスル者鮮ナカラズ然レドモ此ノ如キ舉動ヲ見テ自カラ不正鄙劣ナリト思ハザル者ハ夫ノ無罪タル良心ト熟知ヲ相爲スコト實ニ少シ此舉動ハ吾朋友タル者ノ道德卑汚ナルニ乘シテ吾目的ヲ遂グル所以ニシテ彼ヲ害スルノ甚シキハ其財貨ヲ竊ムニ勝ル夫レ財貨ヲ竊ムノ害ハ彼ヲシテ貧困ナラシムルニ過ギズ然ルニ此方法ヲ以テ彼ヲ誘惑シテ其勞力金錢ヲ得レバ既ニ彼ヲ貧困セシメ之ニ加フルニ其邪惡ノ心情ヲ長養シ以テ其レヲシテ固ヨリ欺詐ヲ行フ者タラシメ且之ヲシテ益審判ヲ授クル上帝ノ怒ヲ受ル者タラシムルナリ

此事ニ就キテ設クル通常ノ口實ハ曰何ノ益アラシク右ノ理由ニ基キ來

ラザレバ人仁愛ノ目的ニ從ハザルベシト余答テ云果シテ必然ラバ寧此ヲ違ゼザルニ如カス今夫レ初貪婪ニシテ施與セザリシガ名ヲ好ムノ念アリテ終ニ施與スル者ハ之ヲ善良ト稱スルヲ得ズ貪婪固ヨリ善事ニ非ズ名ヲ好ムノ念更ニ不善ナリ又曰此念ナケレバ仁愛ノ本立ツニ由ナシ答曰然ラバ仁愛ノ本ノ立タザルニ任セテ可ナリ上帝ハ其一部ハ生造物ヲ救ハンガ爲メニ他部ノ生造物ニ道德ノ傷害ヲ加フルヲ欲セズ故ニ仁愛ヲ存スルガ爲メニ果シテ他ノ方法アルニアラザレバ上帝必シモ之ヲ存スルヲ欲セズ然ルニ人ノ善良ノ感情（所謂理才及良心ナリ）ヲ鼓動スルコト當然ノ所爲ニシテ之ヲ行フ宜ヲ得レバ則其成功アラザルナシ成功ナケレバ到底我レ責ヲ免ル、能ハズ

余仁愛ノ伴意一 意生メレバ從テ他意ノ目之ヲ遂クル者ニ此事ヲ教誨セザ  
 レバ止ム能ハズ抑吾思フニ凡ソ人其黨人ニ勸メテ動作ヲ行ハシメン  
 ト欲スレバ公正無罪ナル理由ノ外ニアル者ヲ以テ之ヲ鼓動スベカラ  
 ズ黨類ヲ熱愛シ一身ノ名聞ヲ好ミ世間ノ稱譽ヲ慕フノ念ヨリ來ル由  
 由ハ潛ニ人心ニ浸入スト雖モ其品質亦公正ナルニ非ズ此人アリ我  
 此ノ如キ心思ヲ鼓動シ其價ノ一倍シテ馬ヲ賣レバ此レ欺詐者ト謂フ  
 ベシ彼レ亦同一理由ニヨリ吾ヲ激シテ彼ニ物ヲ與ヘシムレバ亦同一  
 邪曲タルヲ免レズ夫レ仁愛ノ事ハ神靈ニシテ上帝ノ事ナリ因ヨリ人  
 ノ詭計ヲ借り人心ヲシテ必之ヲ信ゼシムルヲ要セズ故ニ此事ヲ辨明  
 保護スル者ハ上帝ノ力ニ頼テ勉強シテ屈セザルベシ我ノ事ヲ處スル

ニ至リテハ唯宜シク此ニ属スル成功ヲ得ルヲ務メ而シテ他人己ニ左  
 袒シテ之ヲ保護スルト否ザルトハ一ニ彼レノ良心ノ決定ニ任スベシ  
 且吾良心ノカメテ其事ヲシテ成功アリ且他人ヲ勸メテ之ニ左袒セシ  
 メントスルニ當リ必先ツ謹ンデ吾企圖ノ如何ヲ熟考スベシ此ノ如ク  
 スルトキハ人生道德ノ同ジク然ル情ヲ衰滅セシムル熱信ノ念ヲ其起  
 端ニ禁制スルコト多カルベシ

○第四篇 名譽ニ就キテノ公義ヲ論ズ

人ハ皆造物者ノ法ノ定ムル所ニシテ其工勞ヨリ生ズル物体ノ結果ヲ  
 享有シ則其從事スル物品ヲ管御スル所ノ原因ト應報トノ法ノ行ハル  
 ヲヨリ生ズル結果ヲ享有スト此余ガ前ニ説ク所ノ意ナリ抑我レ諸種

ノ木材ヲ以テ家ヲ建ルニ木材ト建築トニ費セシ時間ヲ以テ我ニ属スル者トセバ吾工勞ヨリ生ズル結果モ亦吾有ナリ故ニ人學問ヲ勉メテ知識ヲ得レバ知識吾使用ニ歸ス而シテ他人ヲ害セザレバ吾意ニ任セテ之ヲ用井ルヲ妨ケズ凡ソ我が工業ヨリ生ズル直接ノ結果ハ己ニ属シ他人敢テ之ヲ妨碍スルノ權理ナシ然レドモ結果ハ此ニ止マラズ更ニ他ノ結果アリ各人互ニ有テル意見ト并行フ動作ヲ管理スル原因應報ノ法ニ基キ來リテ人ノ爲メニ必要ナルコト甚シク遂ニ有形ノ結果ト價格ヲ同シクスルニ至ルナリ例バ人一家屋ヲ造レバ其家屋ハ己ニ属シテ他人ノ占ムルヲ許サズ此レ固ヨリ結果ナリ而シテ其結構善美ナレバ人見テ以テ彼レノ精巧ヲ賞スル意ト之ヲ敬愛スルノ念併セテ

自カラ心中ニ生ズ此レ彼後來多分ノ福利ノ基トナル故ニ家屋ヨリ更ニ貴重スベシ而シテ學問ヲ勉ムル者ハ其得タル知識ヲ用井ルヲ妨ゲラレザルノミナラズ又此知識ヲ有ツニ因テ衆人ヨリ得ル敬愛尊信モ亦之ヲ己ニ亨ルコト當然ナルベシ今此第二義間棲ノ結果ハ前者第一義直接ノ結果ト齊シク實ニ彼レノ品行動作ノ應報ニシ其有ニ属「スルナリ故ニ吾レ他人ノ其黨友ヨリ受クル敬愛ヲ減シ稱譽ヲ害スルハ公義ヲ犯スノ甚シキ者ニシテ其罪金錢ヲ奪フヨリモ大ナリ而シテ此ノ如クスルモ果シテ何ノ益カアル是僅ニ吾卑汚毒惡ノ妬心ヲ快クスルニ過ギザルベシ

然レドモ此ニ一ノ故障ヲ陳スル者アリ曰人或ハ過實或ハ不虞ノ名譽

ナ有ツコトアリ此際ニ於テ吾レ彼レノ名譽ヲ減シテ當然ノ量ニ至ラ  
 シムル權理アリヤ答テ曰此故障アルモ固ヨリ人這般ノ名譽ヲ有テ他  
 人ノ從テ云々ノ意見ヲ懷クコトヲ妨ゲズ今前編ニ述タル所有物ノ規  
 則ヲ以テ此事ヲ處スベシ人現ニ財産ヲ有スレバ其之ヲ有スル名義必  
 シモ明確ナラズト雖モ他人此ヲ以テ口實トナシ其財産ヲ奪ヒ及害セ  
 ント欲スルモ苟モ其彼ニ勝ル名義アルヲ示スニ非ザレハ能ハズ物現  
 ニ某人ノ有ニ係レバ則是某人ヨリ特許セラル、者ノ外ハ他人之ヲ討  
 索スルヲ禁ズ名譽ニ於ルモ亦猶此ノゴトシ甲ノ名譽那ノ乙ノ名譽ヲ  
 害スレバ乙之ヲ防イテ自ラ其權理ヲ表白スルヲ得ルノミナラズ丙丁  
 ニ至ルマデ皆乙ノ爲メニ申理セント欲スレバ明白ニ事情ヲ論述シテ

可ナリ然レドモ申理ヲ行ハント欲スル此ノ如キ原因ナキトキハ唯甲  
 ノ過當ノ名譽ヲ有テリト思フ所以ノミヲ以テシテ乙之ヲ侵奪スル權  
 理ナシ

名譽ノ事ヲ處スル道德ノ規則蓋シ左ノ如シ人皆十分ナル原因ノ爲メ  
 ナルニ非ズシテ他人ノ名譽ヲ害スルヲ禁ス余今十分ナル原因ノ爲メ  
 トイヘル語ヲ下スハ其謂ナキニ非ズ人某時ニ於テ當ニ發言スベキコ  
 ト他時ニ於テ當ニ發言セザルベキト一樣ニ職務タルコトアレバナリ  
 若夫此事ヲ考論スルハ後ニ在ルベシ

此ノ如ク理解スレバ此規則ハ十全ナラザル理由或ハ不良ノ意思ヨリ  
 發言スル事情ヲ處スルノ用ニ供シ專ラ互相交接ノ大ナル道理ノ敷衍

シタル者ナリ互相交接ノ法トハ他人ヲシテ其名譽ヲ受ケテ妨碍セラレザラシメント欲スルコト猶我レ吾名譽ヲ有チテ妨碍セラレザラント欲スル如クナルベキヲ人ニ命ズル者ヲ謂ナリ

有意或ハ無意ニシテ他人ノ妨害ヲ生ズベキ虚偽ヲ話スルコトハ余此ニ論ゼズ此際人ヲ欺クノ罪ハ誹謗ニ勝ル遠シ今此ニ誹謗ノ事ノミヲ考論ス何者虚誕ナルコトヲ抗言スレバ余ガ此ニ務メテ勸勵スル所ノ互相交接ノ法ヲ犯スノミナラズ更ニ人ヲ欺クノ罪モ亦其中ニ在レバナリ

此規則ノ包有スル所ノ件數條アリ中ニ就テ必要ナル者ヲ掲ルコト左ノ如シ

第一 此規則ニ於テ故ナク人ノ不善ノ動作ヲ表明スルヲ禁ズ此際ニ

當テ罪ハ故ナク之ヲ表明スルニ在リ但人自ヲ其不善ノ舉動ヲ表明スルハ固ヨリ限外ニシテ彼レ自ヲ名譽ヲ損シ而シテ雜報ノ一トナルナリ他人之ヲ語ルヲ欲スレバ則語ルモ妨ナキコト猶他ノ事ニ於ルゴトクナルベシ然レドモ其人ヲ害セント欲シテ之ヲ語ルハ不可ナリ故ニ之ヲ處スルハ須ラク上帝ノ吾ヲシテ不善ノ舉動ヲ知ラシメラル、トキノ同一規則ニ從テスベシ今吾レ某人ノ不正ノ舉動ヲ行ヒシヲ知ルコトアラシニ唯其之ヲ知ルヲ以テ便チ語リテ妨ナシトスルヲ得ズ然レドモ法庭ニ在テ其不正ヲ證明スルノ後ハ實ニ其毀譽ノ一部トナリ則吾モ亦之ヲ語リテ妨ナキコト他ノ諸事ニ於ルゴトシ若夫レ己ヲ快

クセント欲シ或ハ其人ヲ害セントスルノ意ヲ以テ之ヲ語レバ亦邪曲タルヲ免レズ

此規則ヲ行フ所以ノ理左ノ如シ

甲 誹謗ヲ行ヘバ誹謗者ノ道德ノ品行ヲ害スルノミナラズ之ヲ聽ク者モ亦其品行ヲ害スルヲ免レズ人ヲ謗ル如キ惡事ニ慣習スレバ邪惡ヲ恐ル、ノ心從テ減ズ故ニ務テ之ヲ思想セザルベシ思想スレバ他人ノ心中ニ妬忌不仁ノ念ヲ養成シ吾モ亦人ノ過失ヲ憐マズシテ更ニ之ヲ快トスルニ至ルナリ

乙 毀缺不完ナル現今ノ人世ニ於テ人皆過失ナキヲ保スル能ハズ故ニ彼我各其聞見スル所ニ隨ヒ人ノ邪惡過失ヲ語ルニ任セテ禁ゼザ

レバ天下普通ノ惡意ヲ肆ニスルニヨリテ遂ニ社會ヲ覆滅スルニ至ルベシ今父ノ子ニ於ル夫ノ婦ニ於ル朋友知己市人ニ至ルマデ互ニ彼我ノ品行ニ就キテ聞見スル所ノ過失ヲ表明シテ忌憚セザレバ家族朋友社會ニ及ボスノ害如何ゾヤ故ニ十分ノ原由ナクシテ漫ニ諸事ヲ語ルコトハ之ヲ禁止セザルベカラズ然ラスシテ只之ヲ節制セント欲スルモ能ハズ

丙 此規則ハ之ヲ以テ自己身上ヲ律シ由テ以テ其公正ヲ辨明スベシ此ニ甲アリテ當然若クハ不當然ニ乙ノ過失ナリト思フ者ヲ擧ゲテ說話スレバ其故意ト無意トニ出ヅルヲ問ハズ之ヲ惡マザルナシ今夫レ他人ニ在テハ不正ニシテ非斥スベキ者タリト良心ノ已ニ指教スル

所ノ事ヲ已反テ自ラ之ヲ行ヘバ其不正ニシテ非斥スベキコト之ヨリ甚シキナシ

第二 人ノ嘗テ行ヒシ某ノ惡事ニ基キテ其品行邪曲ナリト一概ニ論定スルモ亦此規則ノ禁ズル所ニシテ其不正タルコト詭詐ト讒謗トヲ免ル、能ハズ一二件ノ動作能ク以テ其品行ノ果シテ是非邪正タルヲ定ムルコト少ニシテ其動作属スル所ノ品行ノ部分ヲ定ムルコトモ猶且稀ナリ人ノ一不廉ノ舉動ヲ行フヲ見テ其貪婪ナルヲ證スル能ハザルコト猶一施濟ヲ行フニ因テ其仁者ナルヲ證スル能ハザルガ如シ然バ則某人ノ一タビ德行ヲ怠ルヲ以テ其全類ノ德行ヲ保ツヲ得ズトスルノ不正タルコト固ニ知ルベキノミ況ンヤ一過失ヲ口ニ籍キテ凡ノ

德行皆之ヲ保ツヲ得ズト云フニ至リテ其邪惡更ニ甚シ然ルニ此等ノ事項實ニ讒謗ノ目的トナルコト往々之アリ大抵此類ノ惡事ハ前文ニ陳ル如キ惡事ト其科ヲ同クス人始ニ互相交接ノ法ヲ犯シテ他人ノ邪惡ノ行爲ヲ表暴シ次ニ一般ニ概論スル毒惡ノ力ヲ以テ彼レノ全類ノ德行ヲ保ツヲ許サ、ルノミナラズ且凡ノ德行皆之ヲ保ツヲ得セシメズ此事情ヲ處スルノ理ハ前文ニ陳ル所ノ理ニ異ナラズ

第三 人ノ行爲ニ邪惡ノ原由アルヲ徒ニ指定スベガラズ蓋シ徒ノ一語ヲ加フル者ハ其故無キニ非ズ凡ソ人ノ行爲中ニ就キテ善良ナル原由アリト思想シ難キ性質ヲ具フル者アルヲ見テ熟慮シテ後ニ之ヲ議スベシ此規則ハ第一ニ動作ノ無罪ナルトキニ敢テ不當ノ原由アリト



思想セザルベキヲ教へ第二ニ人皆認メテ善良ナリトスル所ノ動作ニ  
歸スルニ其動作ノ由テ出ル所明ナル原由ノ外他ノ原由ヲ以テセザル  
ベキヲ教フルナリ

此レ吾輩ガ人ノ舉動ヲ評スル自己ノ私意ヲ管理スル所以ノ規則ナリ  
若シ又事勢ニヨリ人ノ動作ヲ行フ原由ノ是非如何ヲ疑フコトアレバ  
十分ノ理アリテ此疑ヲ暴露セザルヲ得ザルノ外ハ宜シク之ヲ吾心中  
ニ包藏スベシ夫レ我ガ他人ノ是非邪正ヲ評スル意見ヲ律スルニ須ラ  
ク此規則ヲ用非テスベケレバ則吾此意見ヲ發露スルヲ律スルニモ亦  
固ヨリ之ヲ用非ルベシ徒爲ニ不當ノ原由アリト思想スルコトヲ禁ス  
レバ則此原由ヲ露布シ其レヲノ世間普通ノ思想ニ觸レシムルコト更

ニ嚴禁セヨルトナリ語ニ曰「仁愛ノ心ハ邪曲ヲ思ハス罪惡ヲ悅ハズ」  
此規則ヲ行フ所以ノ理明ナリ

甲 人ノ理由ノ是非邪正其行爲ニ發見セザルトキハ唯上帝ノミ之  
ヲ知ルヲ得テ人知ノ及バザル所ニ在ルコト固ヨリ論ナシ故ニ徒ニ理  
由邪曲ナリト憶斷スルハ此初ニ當リテ先ヅ其終ニ如何ヲ辨明スル能  
ハザル者ヲ抗言シテ以テ實事トナンテ而シテ虛偽ヲ免レザルコトヲ  
露布ス此特ニ以テ吾非笑スベキ虛浮ノ心ヲ快クシ及邪惡ノ妬心ヲ慰  
シ或ハ此ノ如ク甚シカラザルモ空ク長舌ヲ弄スルヲ好ムノ念ヲ逞ク  
スルニ過ザルノミ

乙 吾怒ヲ激スル者何カ最モ烈シク且當然ナルヤト言ハンニ他人

ノ爲メニ吾動作ノ理由ヲ誤解セラル、ニ知ク者アラズ此激烈ナル感情ハ我レ他人ノ動作ノ理由ヲ誣ルトキニ方リ能ク吾ニ戒告スルニ罪過ヲ招クベキコトヲ以テスルナリ

第四 同規則ニ於テ譏笑擬様等凡ソ人ヲシテ他ノ嘲弄ヲ受ケシムル方法ヲ以テ其名譽ヲ減ズルヲ禁ズ今甲常ニ丙ニ對シテ乙ヲ非笑スレバ丙復タ乙ヲ敬セザルニ至ルベシ此ノ如クニシテ甲吾レ固ヨリ乙ヲ害スルノ意ナシト云フモ信ズルニ足ラズ而シテ其意如何ト問フニ方リテハ正直者ニ非レバ確答スル能ハズ今甲タル者乙ノ己ノ地ニ居テ吾ヲ丙ニ讒スルヲ側聽シ乙出デ、己ニ面シ吾レ固ヨリ君ヲ害スルノ意ニ出ルニ非ズトイハ、甲豈能ク信ゼンヤ此吾人ノ當ニ沈思スベキ

所ナリ

又讒謗等ノ惡事ヲ行フト雖モ其平常意ヲ用非テ隱密ニ之ヲ行フガ故ヲ以テ罪過ノ量ヲ減ズル能ハズ男子婦人共ニ其讒謗ヲ行フノ隱密ニシテ昭明ニセザルヲ以テ其罪ヲ脫スベシト思フ者アリ是レ大ニ不可ナリ此ニ一問アリ曰吾レノ神人ニ對スルノ職ニ於テ我ヲシテ他人ノ害トナル者ヲ公布セシムルヲ要スルヤ要スレバ則我其要スル所ノ者ヲ公布シテ復タ顧慮セザルベシ若シ要セザレバ我之ヲ甲ニ公布スルノ不可ナルコト猶乙ニ公布スルノ不可ナルゴトシ此等ノ時ニ際シテハ某事ヲ某人ニ語ルノ理不理ヲ己ニ問ヒ不理ナレバ黙シテ語ラザルベシ隱密ニ人ヲ讒スルハ唯怯心ノ然ラシムルニ過ギズ今吾讒謗ヲ好

ムノ念ヲ快クセント欲スレドモ爲メニ己ニ禍センヲ恐ル故ニ己ニ禍  
 セズシテ人ノ名譽ヲ害セント欲シ以テ隱密ニ讒謗ス卑汚毒惡ナル讒  
 說ノ世ニ流布スルハ皆此方法ニ因ルナリ  
 實ニ此ノ如クナレバ則衆人通常ノ說話多分愛賞スベシト雖モ亦正直  
 無罪タラザル者アリ人ノ品行ノ大小長短總テ通常談話ノ料トナリテ  
 之ヲ說クノ際ニ方リ人或ハ能ク審官及陪審官ノ管持スル律法ノ畏ル  
 ベキヲ知ル乃外ニ道德法アルヲ顧ミズ且徒ニ辭令辨給ヲ以テ衆ヲ驚  
 カサンガ爲メニ人ノ品行ヲ推究辨析スルノ甚シキハ他人ノ名譽ヲ以  
 テ己ノ卑汚惡ムベキノ心情ヲ快クスルノ具ニ過ギズトスル者ノ如シ  
 使徒ジエムス曰「言語ヲ以テ害セザル者ハ成人ニシテ能ク全身ヲ管

理ス」救主ノ言モ宜シク服膺スベシ曰「人審判ノ日ニ於テ平常ニ話ス  
 ル惡言ノ責問ヲ受クベシ」

左ニ抄録スル牧師井ルソンガ此事ヲ論ズルノ語ハ耶蘇教ノ理ニ適ス  
 トイフベシ曰「談話スル目的ハ大抵吾邪曲ノ情、毒惡ノ心ヲ快クスル  
 ニ在ルヲ免レズ既往ノ艱苦ヲ話スルヲ好ミ怨恨及凶惡ノ意ニ誘カ  
 レテ敵人ノ惡事ヲ談ズルヲ嗜ミ人ヲ害ノ利ヲ得タルヲ比論シテ相誇  
 リ吾受ル所ノ世利虛榮ヲ說クコトヲ悦ビ之ニ因テ吾情欲ヲ強クシテ  
 吾毒惡ノ念ヲ長ズ吾ハ此ノ如キ患害ヲ致スベキ怯弱心ヲ禁戒スルノ  
 能力ヲ天ヨリ受ク故ニ焉ゾ上帝ヲ辱カシメ吾品行ヲ汚シ吾黨友ヲ害  
 スルノ事件ヲ聞キ或ハ反復談論スルヲ得ンヤ」  
以上井ルソン氏ノ著書「サクテマリウタ」ニ見ユ此

事ニ就キテ聖經ニ陳ル所ノ教誨多ク且明ナリ今其大意ヲ示サレガ爲  
 メニ數條ヲ掲グベシ新約全書馬太傳福音書第五章第一節ヨリ第五節  
 ニ至ルニ曰「人ヲ議スル勿レ則汝ノ議セラレザルヲ致ス蓋シ汝何議  
 ナ以テ人ヲ議ス汝將ニ是ノ如ク議セラレントス汝何量ヲ以テ人ヲ量  
 ル則人將ニ是量ヲ以テ汝ニ與ヘントス汝塵埃ノ汝ノ兄弟ノ目ニ在ル  
 ナ見テ梁木ノ已ノ目ニ在ルヲ覺エザルハ何ゾヤ」伊弗人ニ達スル書  
 第四章第三十一節ニ曰「凡ソ恚憾、怨恨、忿怒、喧嘩、非謗等宜ク汝ノ  
 中ニ去ルベシ」提太ニ達スル書第三章第二節ニ曰「人ヲ謗ル勿レ」  
 彼得ノ前書第三章第十節ニ曰「凡ソ生ヲ享ケテ佳日ヲ見ント欲スル  
 者ハ宜シク惡ヲ其舌ニ禁ズベシ」且妄ニ舌ヲ弄スルヨリ生ズル災害

ノ狀ヲ見ント欲セバ宜ク使徒ジエムスノ行狀第三章ヲ讀ム可シ

(二) 余他人ノ惡事ヲ談ゼザルベキ情實如何ヲ考論スルコト此ノ如

キニ及ベリ今吾レ衆中若クハ一人ニ向テ語ルベキ當然ノ原故ナケレ  
 バ當ニ默シテ言ハザルベシ然レドモ十分ノ原故アリテ吾ニ言ヲ要ス  
 レバ之ヲ語ルモ亦吾當然ノ責ナリ世人ノ常ニ免レ難キ過失ハ言ハザ  
 ルベキ時ニ言ヒ言フベキ時ニ言ハザルニ在リ

然ラバ則當ニ何時ニ之ヲ言ヒ何時ニ之ヲ言ハザルヤ答テ曰人惡事ヲ  
 行フト雖モ我レ故ナク之ヲ語リテ其聲價ヲ損スルヲ禁ズ然レドモ申  
 理ヲ行ヒ及無罪ヲ保護セントスルトキニ當リ彼ノ聲價ヲ害スルノ外  
 方法ナキ者ハ亦此ノ如キノ禁ヲ受ケズ蓋シ人惡事ヲ行テ而シテ其罰

ヲ受ケザラント欲スルノ理ハ毫モ之アルナシ且其行爲ヨリ生ズル當  
然ノ罰責ヲ避ンガ爲メニ人ヲ害セント欲シ或ハ他人ノ黙視傍觀シテ  
已ガ無罪ニシテ思慮ナキ者ヲ構陷スルニ任スヲ望ムノ理ハ殊ニ之ア  
ルナシ

他人ノ惡事ヲ語リテ其聲價ヲ損スル意思ノ邪正如何ヲ辨ズルノ理左  
ノ如シ

我原故アルナク若クハ己ヲ快クセント欲シ及熟考セズン他人ノ聲價  
ヲ損スレバ是レ侵害ノ罪ヲ免レズ然レドモ犯者ヲ憐ムノ意ニ出デ全  
ク無罪者ヲ保護シ及公平ナル審判ノ目的ヲ達セントスルノ理由ニ基  
キ若クハ犯者ヲ利セント欲シテ當然ノ方法ヲ用非彼ノ惡ヲ察ゲテ其

告グベキ人ニ語レバ其聲價ヲ損スルト雖モ全ク侵害ノ罪アルナシ  
故ニ左ノ諸件ノ爲メニ他人ノ過失ヲ語ルハ可ナリ

甲 公正ナル審判ノ目的ヲ達センガ爲メニ語ルベシ社會ニ害アル  
罪惡ヲ擁蔽スレバ己レ惡事ニ左袒スル者タルヲ免レズ此時ニ當テ之  
ヲ語ルノ不可ナルナキハ固ヨリ論ナシ更ニ相當ノ官吏ニ告ゲ以テ犯  
人ヲシテ審判ヲ受ケ典刑ニ服セシムベシ然ルニ姑息私愛ノ念ヲ懷キ

其告グルヲ以テ不仁ト爲スハ是レ愚ニシテ道義ニ背ク者ナリ其告グ  
ルコト當然ノ原由ヨリ出ヅル者ハ猶詞訟ヲ審査スル判司及斷案ヲ示  
與スル陪審官ノ所爲ノ如ク亦稱譽スベシ假令其之ヲ告グル其原由ニ  
出テズシテ利スル所アルガ爲メニスルモ尚ホ邪曲タラザルコトアリ

亦猶此審司ガ祿俸ヲ得ント欲シテ職務ニ任ズルモ可ニシテ爲メニ職務ノ醜辱ヲ致スニ非ザルガゴトシ

乙 無罪者ヲ保護スルガ爲メニ語ルベシ此ニ某人アリテ他人ノ害タル者ヲ行フニ方リ吾之ヲ知りテ他人未知ラザレバ吾當ニ之ニ告ゲ警戒シテ災害ヲ防ガシムベシ吾レ甲ノ教法ヲ口實トナシテ乙ノ善心ニ阿諛シ以テ其財産ヲ使用セントスルノ意アルヲ知レバ則乙ニ告ゲ警戒防禦セシムベシ男子妻ヲ有テル者アリテ更ニ他郷ノ婦人ニ好ヲ通セントスルヲ知レバ吾レ之ヲ其妻ニ告グベシ此ノ如キ誘惑ノ計ヲ設クルヲ知レバ此知識ヲ以テ惡計ヲ防グノ用ニ供スベシ是時ニ當テヤ吾抗言スル所ノ者ハ其實事タルヲ知り而シテ唯右ニ陳ル目的ノ爲

メニ此知識ヲ用非ルコト緊要ナリ

丙 犯者ヲ利セント欲シテ語ルベシ我レ人ノ惡事ヲ行フヲ知ルトキニ當テ犯者ニ父母師傅等アリ能ク禁制諫戒シテ本人ノ品行ヲ改好スルノ力アルヲ見レバ吾レ之ニ語ラザルベカラズ夫レ我ノ彼此ニ表示スルヲ得ルハ至大ノ親愛ニシテ親愛ノ行ハル、コト遍キトキハ罪惡ニ誘導セラル、ノ勢益衰ヘ幼者ヲシテ全ク惡風ヲ改メシメントスルノ望益遠シ易カルベシ蓋シ惡事ヲ行フ者ハ黨友ノ其所爲ヲ以テ己ノ父母師傅等ニ擁蔽スルヲ欲スルノ理ナシ黨友モ亦擁蔽セザルベシ否ラザレバ邪惡ニ左袒スルノ罪ヲ免レズ

丁 妄ニ人ノ惡事ヲ顯白スルヲ禁ズト雖モ彼ヲ待スルコト既往ノ

如クニシ以テ其罪過ヲ擁蔽セズシテ可ナリ若シ其信親スルニ足ラザルヲ知ルト雖モ稠座及間處ニ在テ反テ其信親スルニ足ルノ狀ヲ以テ之ヲ遇スルハ是レ詐譎ヲ行フト謂フベシ今吾某人ト交リ某人ハ吾交義ヲ失フホドノ過惡ナキコトヲ世人ニ保證ス然レドモ詐リ保證シテ某ノ爲メニ惡ヲ蔽フハ亦是欺譎ノ大ナル者ナリ何者善良人モ吾ガ如ク某人ヲ以テ罪惡ナシトシテ交ヲ結ビ遂ニ爲メニ構陷セラル是レ吾レ惡人ヲ庇フテ善人ヲ累ハセバナリ又吾レ品行醜惡ナル極メテ著シキ者ト情好ヲ篤クスレバ此吾世ニ公示シテ彼ノ此ノ如キ罪過以テ吾親交ヲ受ルニ足ラザルノ理ヲ疑ハシムルナリ吾則罪惡ニ左袒スルノ責ヲ免レズ

戊 以上ノ陳ル所ニ原本シテ以テ史家ノ本務ヲ了知スベシ蓋シ史家ノ本務タル人ノ自ラ表顯セシ者及上帝ノ明示セシ者ヲ採テ用ニ供シ唯其既ニ告知セラレシ事項ヲ記錄ス故ニ其未告知セザル所ノ者ハ權内ニ在ラズシテ唯其既ニ告知セシ事ノミ正ニ其權内ニ在ルナリ權内ノ事ハ登錄シテ疑懼セズ亦愛憎セズ然ニ阿黨ノ情偏頗ノ意ニ出デ、書スル所實ニ過ギ或ハ隱蔽シ或ハ謬傳シ且邪惡ノ念ニ出デ、筆削意ニ任ス者ハ誣枉ノ罪至大ニシテ恕ス可カラズ乃彼レ公正無偏ノ名ヲ假リテ誣枉ヲ行ヒ而シテ其世ニ流布スルノ極メテ廣ク且久シカラシコトヲ欲ス此論說ハ專ラ言語ヲ用非以テ人ノ害トナル實事及虛事ヲ公布スルコトノ爲メニ設ケタリト雖モ亦出版シテ公布スル者ヲ律

スルニ用非レバ更ニ其益アルヲ覺ユ今夫レ某人ヲ吾朋友知己ニ(言  
 語ニテ)譏毀スルハ某ノ聲名ヲ害スルユト限アリト雖モ猶不善ナリ  
 況ヤ(出板シテ)天下ニ譏毀スルニ於テナヤ又一個人ノ才能ヲ輕視  
 シ及其品行ヲ汚辱スル者アレバ世人見テ以テ卑劣ナリト爲サマルナ  
 シ況ヤ國家ノ對敵タル者ノ品行ヲ汚辱スルニ於テヲヤ而シテ吾レ自  
 ラ之ヲ爲スノ羞辱タルヲ知レバ則他人ヲメ己ハ則真正  
 ニ之ヲ賞譽シ或ハ侮笑シ又其レヲ世ノ批議ヲ受シムルノ羞辱ハ更  
 ニ少小トナサズ夫レ某人ハ國家ノ對敵タリト雖モ爲メニ上帝ノ生民  
 タル本分ヲ失フニ非ズ他人之ニ對シテ上帝ノ法ヲ行フヲ止ムルヲ得ズ  
 且國家ノ衝撞能ク神明ヲ宇宙ノ位地ヲ失ハシムト思フヲ得ズ此論

說ハ唯國家ノ爭論ヲ處スルノ用ニ供スルノミナラズ夫レ出板スル者  
 ハ大ニ他人ニ過グル特許ヲ有ツニアラズ且一身ノ怒ヲ慰シ及一己ノ  
 惡事ニ報イ或ハ徒ニ某人ヲシテ世ノ爲メニ笑侮セラレンガ爲メニ自  
 ラ出板シ或ハ人ノ爲メニ出板スル權理ナキコト猶他人ノ其權ナキガ  
 如シ蓋シ社會ニ背反シテ行フ所ノ罪惡ハ唯社會之ヲ罰スベシ而シテ  
 出板スル者ハ其機械アルノ故ヲ負ミテ人ニ患害ヲ加ルノ權理ナキコ  
 ト亦猶他人ノ其權ナキガ如シ甲出板ノ器械アルガ故ニ患害ヲ加ルヲ  
 得レバ乙モ亦其手足ノ力ヲ資シテ之ヲ加フルモ可ナリ此ノ如クナレ  
 バ則社會ハ大ニ制御ノ權ヲ失フニ至ラン且彼レ某人ノ邪惡ノ事項ヲ  
 公示セント欲スルニ方リ猶且上帝ノ先ヅ既ニ之ヲ世ニ公示スルニ非



ザレバ彼モ亦之ヲ公示スル能ハザルナリ此事ノ未世間ニ公示セラレザルノ際ニ彼レ獨之ヲ見ント欲スルモ其特命アルヲ證明シ得ルニ非ザレバ能ハズアレキサンダー、ハミルトン氏ガヘンリー、クロスエルの狀ヲ審判スルトキニ左ノ美妙ノ語ヲ以テ出板自由ノ眞理ヲ説示セリ曰「出板ノ自由トハ其政府及官人或ハ匹夫ノ專ニ涉ルノ論ナク總テ善良ノ意思ヲ以テ正直ナル目的ノ爲メニ眞實ヲ公布シテ罰セラレザルノ權理ヲ謂ナリ」

○第一科(續キ) 人タル人ニ對スルノ務

正直

凡ソ人必過去ト未來トニ對シテ至要ノ關係アリ既往ノ事ヲ知り又其黨友ニ關シテ後來當ニ有ルベキコトヲ知ラザレバ現時ヲ確定スル能ハズ然レドモ人ノ氣質其景勢ト適應セザレバ決シテ之ヲ知ル能ハズ故ニ天此氣質ヲシテ時勢ト適應セシメタリ一ニハ人ノ心中ニ眞實ヲ語ント欲スル自然ノ烈シキ情アリ他ノ理由ニ妨ゲラザレバ善ク人心ヲ管理ス又一ニハ言フ所ヲ信ズル適應ノ情アリテ抗拒ノ意思ニ妨ゲラザレバ自カラ心中ニ生ズルナリ正直ハ過去現在及未來ノ各時ニ關係ス今一々別ニ之ヲ説クベシ

○第一篇 過去ト現在トニ關係スル正直ヲ論ズ

此ノ如キ正直ハ常ニ事ニ關係ス事トハ既ニ行ハレシ事及應ニ行ハルベシトスル所ノ事ヲ謂フナリ

道徳ノ眞實ハ務テ己ノ心中思フマ、ニ事ヲ他人ニ知道スルニ在リ

實地ノ眞實ハ事ノ有ルニ隨ヒ或ハ己ニ有リシニ隨ヒテ之ヲ他人ニ知

道スルニ在リ

此二者必シモ符合セザルコト明ニシテ過テ虚事ヲ以テ實ト思フコトアリ且吾思フマ、ニ他人ヲシテ之ヲ知ラシムルコトアリ此ニ於テ道徳ノ眞實ニシテ實地ノ不實ナル者アリ或ハ又實事ヲ虚事ト思フコトアリ而シテ他人ヲ欺カント欲シテ此レ實事ナリト語ルコトアリ此ニ

於テ道徳ノ不實ニシテ實地ノ眞實ナル者アリ故ニ吾レ事ヲ錯思セズ且注意シテ吾思フ如クニ之ヲ他人ニ知道スルトキノミ惟能ク純粹ノ眞實ヲ知道シ得ルナリ

此事ヲ處スルノ法ハ我レ他人ニ事ヲ知道スルニ方リ務テ吾心中思フ所ノ者ヲ知道スベシ其思ハザル者ヲ知道スベカラズ第二心中思フ所ノマ、ニシテ少シクモ増減スルコトナク知道スベシ更ニ法學ノ語ヲ用井テ説テ曰當ニ眞實ヲ語り又盡ク眞實ヲ語ルベシ眞實ヲザル者ハ一切語ラザルベシ

故ニ此法ノ禁ズル所左ノ如シ

甲 吾ノ虚事タリト思フ者ヲ實事トナシテ告語スルコトヲ禁ズ但

實事トナスノ一語ニ着意スベシ蓋シ時トシテハ譬諭荒唐ノ書ノゴト  
ク事物ヲ解明スルガ爲メニ某ノ狀件ヲ假設スルコトアリ是時ニ於テ  
ハ豫シメ人ヲシテ今我が説ク所ハ假設タルヲ知ラシメ固ヨリ虚談ト  
シテ之ヲ語り而シテ人ノ實説ヲナスヲ欲スルノ意ナキトキハ則其實  
ナラザルモ亦詐偽タルコトナシ

乙 吾眞實ナリト思ハザル者ヲ眞實トナシテ告語スルヲ禁ズ我敢  
テ此ノ如シト抗論スルモ其實ニ然ルヲ知ル能ハザルコト鮮カラズ吾  
レ他人ノ意思ヲ揣摩スルトキニ方リ往々此ノ如キコトアリ其他蓋シ  
其然ルヲ知ルト雖其眞實ニ然ルヤ否ニ至テハ知ル能ハザルコトアリ  
或ハ僅ニ思考ヲ經ベキ事ニシテ衆人各相異ノ意見ヲ懷クコトアリ凡

ソ此ノ如キ際ニ臨デ吾知ル能ハズ及知ラザリシ事ヲ實事ト做シテ語  
レバ則詐偽タルヲ免レズ蓋シ人何事トナク眞實ト做シテ語ルトキハ  
其果シテ然ルヲ查明スルノ責ニ任ズ然ルニ今只口ニ果シテ然リト言  
ヒ身ハ則此責ニ任ゼザレバ誰カ之ニ任ズベキヤ苟モ言ハント欲スル  
所ヲ言フヲ得テ一ノ責ニ任ゼザレバ復タ信ズベキナキニ至ラン  
然ラバ則吾眞實ナリト思ハザル者ハ決シテ語ルベカラザルカ答曰眞  
實ナリト思ハザル者ハ決シテ眞實トナシテ語ルベカラズ蓋シ應ニ然  
ルベシト思フノ事ハ亦蓋シ應ニ然ルベシト做シテ語り僅ニ思考ヲ經  
ベキ事ハ僅ニ思考スベキ事トナシテ語レバ則可ナリ然ルニ唯蓋シ應  
ニ然ルベシト思フノ事ヲ眞實ト做シテ語レバ中心ニ思フ所ト異ル者

ヲ告示スルガ故ニ實ニ詐偽ノ罪ヲ免レズ

丙 實然ノ事ヲ語ルト雖モ聽者ヲシテ錯思セシメント欲シテ語ル

者ヲ禁ズ譬バ

(イ) 本事ニ就キテノ景勢ノ幾分及全部ヲ増加スルニ因リ

(ロ) 本事ニ就キテノ景勢ノ幾分及全部ヲ減却スルニ因リ

(ハ) 或ハ増加シ或ハ減却スルニ因リ

(ニ) 本事ノ實ニ仍リテ語ルト雖モ聽者ヲシテ錯思セシムル様ニ演

說スルニ因テ然リ例バ甲アリ乙ノ房中ニ入りテ第十字ニ去レリ去リ

シ後五分時内ニ乙忽其鏢ヲ窺マレシト思ヘリト云ニ假令甲其鏢ヲ

竊ミシト明言セザレドモ聞者ヲ錯思セシムル様ニ事狀ヲ陳述附會

シテ說ケバ則吾レ是レ詐偽ノ責ヲ受ク此レ代辯者及偏頗心アル史家  
并ニ記傳者ノ殊ニ免レザル罪科ナリ

丁 此ニハ人ヲ欺キテ錯思セシムルノ罪科ヲ論ズ蓋シ聲ノ音節目  
ノ瞻視、首ノ搖動、其他人心ヲ感誘スベキ工夫ヲ用非亦彼ヲシテ錯思  
セシムルコトアリ故ニ此ノ如キ方法及言語ヲ用非テ人ノ心思ヲ誘ヒ  
クコト總テ同一ノ規則ヲ以テ處スベシ

戊 此規則ヲ以テ吾ト睿智者トノ交際ヲ處スルガ故ニ亦凡ソ倫ヲ  
以テ世ニ生ズル人トノ交際ヲ處ス例バ父ノ子ヲ欺キ子ノ父ヲ欺キ師  
ノ弟子ヲ欺キ弟子ノ師ヲ欺キ長ノ幼ヲ欺キ幼ノ長ヲ欺キ代理者ノ陪  
審官ヲ欺キ陪審官ノ代理者ヲ欺キ買者ノ賣者ヲ欺キ賣者ノ買者ヲ欺

クヲ禁ズ乃此義務ハ天下普通ノ者ニシテ人ノ互ニ相對スル所ノ連屬  
ノ倫ノ廢滅シ得ル者ニ非ズ

又吾ト共ニ語ル者ハ實事ヲ聞知スル權理ナキガ故ニ吾之ニ對シテ此  
規則ヲ用非ザルモ可ナリト曰フ者比々之アリト雖モ是レ大ニ然ラズ  
蓋シ人實事ヲ知ルベキ權理ナキハ此レ吾之ト共ニ語ラザルベキ所以  
ナリ而シテ虛誕ヲ語ルベキ所以ニ非ズ是時ニ於テハ吾レ何事ヲ説示  
スルヲ辭シテ可ナリ而シテ虛誕ヲ語ルハ甚不可ナリ

其然ル所以ノ理左ノ如シ眞實ヲ語ルベキ義務ハ聽者ノ其實事ヲ聞知  
スル權理アルノ故ニ因ルニ非ザルナリ若シ此故ニ因ルアレバ則吾ノ  
義務ハ聽者ノ人物ト共ニ異ナリ而シテ我レ將ニ語ルアラントスレバ

常ニ先ヅ彼ノ權理ノ大小ヲ計リ此ニ准シテ或ハ實事ヲ説キ或ハ虛事

ヲ話スノ弊生ズ且聽者ノ我ガ爲メニ其權理ヲ計ラル、ノ幾許ナルヲ  
知ルハ亦僅ニ吾幾許ノ實事ヲ説與スベキヤヲ知ルノ量ニ過グル能ハ  
ズ此ノ如クナルトキハ忽吾ガ眞實ヲ語ルベキノ義務ヲ敗滅スルニ至  
ラン若シ夫レ然ラズシテ我其實事ニ非ザル者ヲ語ラザルベキ神人  
ノ倫ノ由テ致セル義務アリ此義務ハ吾ガ確證スル所以ノ何等ノ時勢  
ニアルモ變易スル者ニ非ズ故ニ吾人共ニ無罪ナル虛誕ヲ語ルヲ以テ  
己ヲ恕スベカラズ乃上帝ノ禁ズル所ノ者ヲ行フハ無罪ニ非ザレバナ  
リ聖書ニ曰「汝舊仇敵ヲ其事ト共ニ抛チ去ルヲ見ル故ニ相欺カザル  
ベシ」

此法ニ從フハ上帝ノ意思ニ係ルコトヲ明ニスベキ諸件ノ考論アリ

甲 天ノ人ヲ生造スルヤ之ニ賦スルニ眞實ヲ語リ及己ニ語ラル、者ヲ信ズベキ心情ヲ以テス夫レ此ノ如クニ生造セラル、ノ實事ニ因テ彼造物主ハ人ノ此生造ノ方法ニ順適スルヲ望ムヲ知ルナリ造物主ノ意此ニ在ルノ明ナルハ猶光ヲ造ルノ意ハ目ノ爲メニスルニ在リ目ヲ造ルノ意ハ光ノ爲メニスルニ在ルノ疑ナキガゴトシ

乙 凡ソ人ハ皆道德ノ氣質ヲ以テ生造セラレ（其道德ノ感覺苟モ亡滅セザレバ）何ノ時トナク此法ヲ犯セバ此氣質ニ因テ痛苦ヲ受ク若夫レ此ニ反スル時勢ニ處メテ此法ニ從ヘバ亦此氣質ニ因テ喜樂ヲ享クルナリ

丙 凡ソ人皆正直ヲ勸勵スルノ法ニ從フ者ハ實ニ其幸福ノ爲メニ

必要ナルベク生造セラル、ガ故ニシテ若シ眞實ヲ語ルベキ義務ノ知覺ヲ失ヒ或ハ己ニ語ラル、者ヲ眞實トナシテ信容スルノ心情ヲ失ヘバ各人自ラ目撃實驗シテ得タル者ノ外ハ總テ他ノ學問知識ヲシテ一時ニ喪亡セシムルニ至リ一人モ其同時者ノ發明ニ因テ己ヲ利スルヲ得ズ殊ニ己ニ先タチテ死セシ者ノ發明ニ因テ己ヲ利スルハ更ニ得ベカラズ是ニ於テ言語ナル者無用ニ厲シ人ニシテ禽獸ヲ去ル幾モナカルベシ故ニ苟モ思考ヲ用弗ル者ハ必詐僞ヲ話シ虛誕ヲ説キ群シテ黨ヲ成セシ者ノ社會ノ形狀ニ因テ存立スル能ハザルヲ知ラン此ノ如キ行爲ノ全類ニ及ボス效驗ニ因リ己一人ノ一事ニ在テ上帝ノ心志タル

者如何ヲ知ルベシ

丁 聖書上帝ノ心志ヲ示ス所甚多シ余此ニ數件ヲ掲クベシ「汝  
 黨類ニ敵シテ妄ニ證スル勿レ」(埃及ヲ出ル記第二十章第十六節)「口  
 ニ詭譎ヲ言フハ主ノ惡ム所ナリ」(箴言第十六章第十六節)「必ヤ汝ノ  
 舌ヲ捫シテ惡言ヲ出ダス勿レ汝ノ口ヲ緘シテ詭詐ヲ道フ勿レ」(詩篇  
 第三十四章第十三節)「詭譎ヲ語ル者ハ魔ノ子即魔ノ黨類ニシ其行爲  
 ヲ學ブ者ナリ」(約翰第八章第四十四節)「且アナニアス及サファイラ并  
 ニゲハジノ事件ヲ見ルベシ」(使徒行傳第五章及列王紀下第五章第  
 二十節ヨリ第二十七節ニ至ル)「誕妄ヲ言フ者皆苦ヲ硫火坑中ニ受ク  
 ベシ」(默示二十一章第八節)「凡ソ偽リ爲ス者皆天ニ昇ルヲ得ズ」(同

章第二十七節)

右ノ所説ヲ見レバ以テ緊切ニ正直ヲ守ルベキノ必要ナルコト更ニ辨  
 解ヲ待タザルヲ知ルベシ今更ニ加フル所アリ曰夫レ些事例ハ戲ニ語  
 リシ虚言些子ノ誇説及欸接ノ言談等ヲ以テ人ヲ欺クノ惡事ト雖モ認  
 テ是トセラレザルナリ夫レ故意ニ虚偽ヲ語ル者ハ即詭譎ヲ説クナリ  
 詭譎ハ總テ吾ヲ審判スル上帝ノ命ヲ犯スナリ且人ノ良心ヲシテ痴鈍  
 ナラシムルコト是ヨリ容易ナル者アラズ蓋シ詭譎ヲ語ル者ハ常ニ此  
 ニ習慣ス習慣スル者ハ早晚ニ其想像力ノ付度ト其記憶性ノ回顧トヲ  
 辨別スル力ヲ失フベシ蓋此極メテ悲ムベキ道德ノ地位ニ陷非リシ如  
 キ者アル少カラズ故ニ凡ソ人此卑惡凶邪ニ近ヅクコト甚シカラザル

ノ際ニ於テ務メテ之ヲ畏避スベシ此ニ一二件ノ詭譎ヨリ生ジタル災  
害及品行ノ缺失ヲ記セシ書アリ或ハ又唯勇剛不屈ノ正直ヨリ得タル  
道徳力ヲ擧述スル書アリ反復熟讀スベシ

今夫レ人ヲ欺クコトノ己ヲ害スル此ノ如シ況ヤ之ヲ他人ニ教ヘ殊ニ  
之ヲ望ムニ於テヤ然ラバ則父母タル者一時ノ望ヲ遂ゲンカ爲メニ  
其子ニ對シ甘シテ至大毒惡ノ虚言ヲ發スル者及一家ノ長タル者己レ  
室ニ居リ事ヲ取ルノ際ニ方リ客到ルアレバ兒輩僮僕ニ囑シテ家ニ在  
ラザルヲ告ゲシムル者ニ於テ余之ヲ何ト云ン誰カ其一時ノ便ニ供シ  
及小利ヲ避ルガ爲メニ永ク他人ノ意見ヲ害スル權理アルヤ如何ゾ此  
ノ如キ男子婦人ノ其故意ニ詭譎ヲ説クヲ教ヘシ者ニ於テ其眞實ヲ己

ニ説クヲ望ムベケンヤ到底此ノ如キ人物ハ他人ヲ毒セントシテ反テ  
己ヲ毒スルヲ證スベシ蓋シ凡ソ人將ニ他ヲ欺カントスレバ須ラク先  
ヅ上帝ノ正直ヲ勸勵スルノ理ヲ以テ宇内ヲ管理スルコト及天下萬物  
ノ造法ハ眞實ヲ保庇シ詐僞ヲ暴露スル様ニ設爲セラル、コトヲ省察  
スベシ故ニ初ニ一虚言ヲ發スレバ又許多ノ虚言ヲ以テ之ヲ蔽ハント  
欲シ爲メニ更ニ甚免レ難キ窘困ニ陥リ遂ニ千百ノ虚言合同ノ彼ニ被  
ラシムルニ羞辱ヲ以テスルナリ故ニ眞實ト虚僞トノ無罪タリ有罪タ  
ルハ固ヨリ論ナシ又以テ甲ノ不便ハ乙ノ不便ヨリ少ナキヲ知ルベシ

○第二篇 未來ニ就キテノ正直

未來ハ必シ難シト雖モ某ノ地位ニ處スルノ際ハ吾權力ニ從フナリ故



ニ此地位ニ處スルノ際ハ其方法ニ從フテ行フベキ義務ニ任ズルコト始  
アリ吾レ約束ヲ行ヘバ甘シテ此ノ如キ道德ノ義務ニ任ジ正直ヲ勸勵  
スルノ法ニ於テ吾ニ責ムルニ約ヲ踐ムコトヲ以テス

本題ノ事項ノ部分中ニ約束及互約アリ

第一 約束ヲ論ズ凡ソ約束ニハ二事アリ曰意志曰義務

甲 意志 此事ニ注意スル正直ヲ勸勵スルノ法ニ於テ我ガ意志ヲ  
被約者ニ示スコト尠モ其吾心中ニ在ル所ト異ナラザルヲ要ス我他人  
ニ語ルニ明日爲メニ事ヲ行ハント欲スルノ意志アルヲ以テスレバ則  
吾此意志ニ就テ欺クベカラザルコト猶他事ニ就テ欺クベカラザルガ  
コトシ

乙 義務 正直ヲ勸勵スルノ法ニ於テ我レ吾意志ヲ著ハセシニ正  
ニ同ク之ヲ實行スベキ義務ニ任ズ乃吾好シテ發勵セシ他人ノ希望ハ  
之ヲ慰樂シテ傷害セサルベシ博士バレー氏ノ規則ニ曰約束ハ約者ニ  
在テ被約者ノ之ヲ信容セリト思フ所ノ理ニ於テ守ルベシ

約束ニ背ク方法及約束ヲ踐ムベキ義務ハ是上帝ノ法ノ責望スル所ノ  
者タリトスルノ理ハ上章記スル所ニ異ナラザルガ故ニ余此ニ再說セ  
ズ而シテ約束ヲ守ラズシテ可ナル所ノ事狀ヲ論述スベシ左ノ件ハ其  
至要ノ者ナリ

甲 實行シ難キトキニハ約束ヲ守ラズシテ可ナリ吾力ノ及バザル  
コト明ナル者ヲ行フベキ義務ニ任ズル能ハズ然レドモ此ノ如キ約束

中ニ具スル道德ノ性質ハ約束ヲ結ブ時勢ニ從テ異ナルベシ若シ吾レ  
 毫モ其實踐シ難キコトアルヲ知ラズシテ能ク之ヲ行ハント欲スルノ  
 意志ヲ中心ヨリ語りシトキハ吾レ正ニ良心審判ノ譴責ヲ受ケズ何者  
 意思ノ行ハレザルハ天ニシテ吾罪ニ非レバナリ之ニ反シテ始ヨリ吾  
 レ其難キヲ知レバ則是レ正直ヲ勸勵スルノ法ヲ害シテ吾實行セント  
 欲セザル所ノ意志ヲ語りシナリ故ニ吾此罪過ニ由テ他人ニ及ボセシ  
 損害ヲ償ハザルベカラズ

乙 約束ノ不正ナルトキハ守ラズシテ可ナリ凡ソ人皆義務ヲ犯ス  
 ベキソ義務アル能ハズ何者義務ヲ犯セバ無罪ト稱セズシテ有罪ト稱  
 スベキハ故ナリ況ヤ其上帝ニ對スルソ義務ヲ犯スベキ義務アルナシ

**故ニ欺クニト竊ムコト其他凡ソ正直ヲ勸勵スルノ法ヲ犯スノ約束ハ**

皆之ヲ守ラズシテ可ナリ凡ソ此ノ如キ義務ニ任ズル者ノ職ハ速ニ其  
 過失ヲ悔イ自ラ其事業ヲ拒絶シ及其黨類ヲ勸誘シテ亦此ノ如クセシ  
 ムルニ在リ今此ニ前文ニ述ル所ノ如ク二個ノ事狀アリ乃約束ノ不正  
 ナルコトヲ知ラザルトキハ約者當ニ務テ早ク被約者ニ語ルニ事實ヲ  
 以テスベキノ外他ノ義務アルナシ然ニ約者獨其不正ヲ知テ被約者之  
 ナ知ラザレバ受害ノ生ズルニ當リテ甲當ニ乙ノ爲メニ損害ヲ償フベ  
 シ若シ甲乙共ニ其不正ヲ知レバ孰レモ其約ヲ解キ其業ヲ棄テ、妨ナ  
 シ而シテ相共ニ之ヲ抗拒スベキノ義務アラズ何者過失ハ彼我ノ共ニ  
 スル所ニシテ各分ニ應ジテ其不利ヲ受クベキガ故ナリ

丙 契約者好於他人ノ希望ヲ發動スルニアラザルトキハ約束ヲ守ラズシテ可ナリ彼レ唯其好ニテ發動セル希望ノミヲ遂ゲシムベシ而シテ一ノ希望ヲモ發動セザレバ則一ノ約束ヲモ結ビシニ非ズ今甲アリ乙ニ語テ曰吾レ將ニ丙ニ馬ヲ與ントスト乙之ヲ聞テ甲ニ告ケズ或ハ其命ヲ受ケズシテ直ニ之ヲ丙ニ告グレバ甲必シモ其言ヲ守ラズシテ可ナリ然レドモ甲若シ乙ニ命シテ丙ニ語ラシメシトキハ甲モ亦之ヲ守ルベキコト恰モ自ラ丙ニ語リシトキノ如シ

丁 某ノ事狀アルニ因テ約束ノ成レルヲ彼此共ニ之ヲ知リ後約者能シ此事狀ノ實無キコトヲ查明スレバ此約束守ルベキニ非ズ今吾レ丙見テ談ヲ聞キ其真正ナルヲ好シテ之ニ金ヲ與ヘシト約シ後其誑

ナルヲ查明スルコトアラン此際ニ於テ吾レ約ヲ守ラズシテ可ナルコト論ナキナリ

戊 約束アリト思フ念アレバ則其中ニ兩個ノ靈智アル道德者ノ盟ヲ相責ル義務アリ故ニ那ノ一個道德者ニ非ルトキハ亦其盟ヲ相責ルノ義務アラズ是ヲ以テ吾レ禽獸ニ對シテ結約シ或ハ背約ストイフハ妥當ナラザルヲ覺ユ蓋シ狂人ニ對スルモ亦實ニ同一理ナリ然レドモ此ノ際ニ當テ亦便宜ナル者アリテ我ニ示スニ吾好シテ發動スル希望ヲ遂ゲシムルノ必要ナルコトヲ以セリ特ニ便宜ニ因縁シテ然リ而シテ義務ニ因縁シテ然ルニ非ズ故ニ今狂人ヲ導ビキテ狂顛院ニ入レンガ爲メニ之ヲ欺クト雖モ以テ罪過ト爲ササルナリ

約束ヲ守ラズシテ可ナル所ノ時狀ニ就キテ最通常ナル者右ノ如シ其  
 他ハ約束ヲ守ルヨリ來タス所ノ尋常不利アルモ以テ口實トナシテ違  
 約スルヲ得ズ且未義務ニ任ズルヲ約セザルトキハ約スルモ約セルザ  
 モ自在ニシテ凡ソ人約束セント欲セザレバ約束セズシテ妨ナシ然レ  
 ドモ一度約セシトキハ其道德ニ於テ解約ヲ許スマデハ之ヲ守ラザル  
 ベカラズ故ニ義務ニ任ズルノ後ハ復之ヲ廢スル能ハズ是ヲ以テ約ヲ  
 結バント欲スルトキハ謹戒ノ心ナル者アリテ吾ヲシテ最沈思熟慮ス  
 ベキヲ知ラシムベシ且吾レ一朝某事ニ就テ異變アルモ從來親驗スル  
 所アリテ其事ノ尋常タルニ過ザルベキヲ揣摩スルニ非ルヨリハ急遽  
 ノ際復思慮スルニ暇ナキヲモ省ミズシテ輕シク約スベカラズ蓋シ緊

要ノ約束ハ之ヲ結ントスル念ノ始テ中心ニ萌生セシ時日ニ即チ結ハ  
 ザルベシト是眞ニ良法ナリ吾所見ニ依ルニ大抵約ヲ結ブヲ以テ重事  
 トナシ輒ク諾セザル者ハ已ニ結ブノ後ハ最正ク之ヲ守行スルナリ之  
 ニ反シテ事ノ輕重ヲ問ハズシテ即時ニ許諾スル者ハ爾後意ニ介セズ  
 シテ違背スルヲ憚ラザルナリ

互約

互約ノ本質ハ他ニアラズ交互ノ約束ヲイフ乃他人彼事ヲ行フノ景勢  
 ニ處シテ我レ此事ヲ行フヲ約スルナリ  
 互約ヲ説明スル法則及其義務タルノ理并ニ其義務トシテ行フベキニ  
 非ル所ノ事狀ハ上文述ル所ニ異ナラズ但互約ニハ一種ノ景勢アリテ

附属シ以テ義務ノ制限ヲ設クルナリ  
 故ニ互約ヲ結ビシ後ニ他人其分ヲ行フノ間ハ我レ吾分ヲ行フベキ義  
 務アリ然レドモ那ノ一方怠リテ行ハザレバ互約ニ必用ナル景勢廢滅  
 ス故ニ他方遂ニ約ヲ解テ復守ラザルナリ唯那ノ一方怠リテ其分ヲ行  
 ハザルニ因テ他方遂ニ約ヲ解キテ復守ラザルノミナラズ又乙ハ此怠  
 慢ヨリ受ケタル損失ノ金額ヲ甲ニ向テ討索スルナリ  
 此ニ單一ノ互約即某ノ所爲ヲ行フ約スル者ト造物者ノ定倫ニ基キ  
 テ結ビシ互約トノ別ヲ視察スルヲ要ス一ハ某時ニ償却スベキ若干ノ  
 金額ニ代ヘ物品ヲ某所ニ賣與シ及交付スル互約ナリ若シ此時ニ價ヲ  
 償却セザレバ吾レ物品ヲ送付スベキ義務ナシ且約定セシ時ニ品物ヲ

送付スルノ景況ニ處シテ價ヲ償却スベキニ償却セザレバ吾レ亦物品  
 ヲ送付スル義務アラズ二ハ人文社會ノ互約及婚姻ノ互約ナリ是二者  
 ハ上帝生民ヲ管御スル所以ノ理法ノ定ムル所ニシテ唯其定倫ノ爲メ  
 ニノミ解離セラル、コトアリ今社會ト一個人トハ其相對スル某ノ義  
 務ヲ行フヲ交互ニ約定ス然レドモ那ノ一方怠リテ行ハザル毎ニ他方  
 ハ解約シテ復守ラザルニ非ズ婚姻ノ互約ニ於ケルモ同一事情ナリ此  
 際双方各互約上ノ己ニ属スル分ヲ行フベシ而シテ他方ノ怠慢ヲ見テ  
 尤ニ效フベカラズ  
 正直ヲ勸勵スル道ヲ守ルベキノ義務ハ之ヲ成ス所ノ何倫ニ處スルモ  
 正ニ相同シク一個人ト社會ノ間ニ於テ兩者共ニ守ルベク及社會ト社

會ノ間ニ於テ守ルベキコト猶一箇人ト一箇人ノ間ニ於テ守ルベキガ  
 ゴトシ故ニ社會ニシテ一箇人ニ對スル義務ヲ犯シ一箇人ニシテ社會  
 ニ對スル義務ヲ犯ストキハ兩者共ニ申理スベキ口實ナクシテ故意ニ  
 人ヲ欺クノ罪ヲ免レズ若シ夫レ邦國ノ權理ヲ爭フノ際ニ當リテ互ニ  
 相訴ヘテ血戰ニ至ラザル様ニ之ヲ保護スル所ノ禁衛ハ唯一條約ノ確  
 守ニ在ルノミ故ニ社會タル者ハ互ニ相對ノ義務ヲ行フコト篤實ニシ  
 テ苟スベカラザルコト願フニ如何ゾヤ且邦國相對スル形勢ハ千百異  
 ナルアリト雖モ義務ハ同シカラサルナシ文明人ハ他人類ノ鄙野ナル  
 ノ故ヲ以テ其緊嚴ノ義務ヲ犯スノ權理ナク雄勁ノ邦ハ脆弱ノ邦ヲ欺  
 クノ權理ナシ蓋シ道德者タルニ社會一タビ約束ヲ結ベバ上帝則兩箇

ヲシテ約ヲ守ルベキノ責ニ任ゼシム故ニ萬物ノ審司タル上帝ハ最嚴  
 肅ノ報償ヲ以テ信向ヲ害スルコトヲ罰スベシ信向ニ因テ其一方ニ賜  
 ヒシ特殊ノ惠ハ乃他方ニ在テ天眷ヲ受ルコト更ニ少キ者ニ悲痛ヲ與  
 フル所以ノ理トナルナリフエ子ロシノ門人ブルゴンヂー侯ノ未死セ  
 ザル數年前ニ內閣ニ會議ヲ設ケテ某ノ條約ハ法國ニ利ナラザルカ故  
 ニ違背スルノ便宜ナルヲ考論スルコトアリテ侯モ席ニ列セリ約書ヲ  
 一讀スルノ後公卿右ノ條約ニ何等ノ不便アリ而シテ此ニ關スルノ緊  
 嚴ノ義務ヲ省ミズシテ之ヲ行ヘバ新ニ法國ノ爲メニ地土ヲ増スコト  
 幾多ナルヲ說解シ且固ヨリ違背スルノ不可ナキヲ申明スルカ爲メニ  
 邦國ニ利ナルノ理ヲ纒陳シテ頗ル辯ヲ費ヤセリブルゴンヂー侯默然

トシテ之ヲ聞キ説了ルニ及デ乃手ヲ案ニ置キテ曰「其所ニ條約懸  
 ト」衆論是ニ於テ乃決セリ此一語ノ意見即侯ノ名譽ヲ不朽ニ垂ル  
 碑銘ニシテ光榮アルコト百勝ノ武功ヲ記セル標柱ニ勝ルコト遠シ  
 社會ノ其條約ヲ背クヲ辯解シ或ハ宥恕スルガ爲メニ往々口ニ資シテ  
 以爲ラク集合ノ人物ハ良心ヲ有タズト是レ何理ヲ以テ此事ノ實ニ然  
 ルヤナ問ハ必要ニ非ズ而シテ集合ノ人物皆各一ノ良心アリテ明ニ上  
 帝ニ對シテ其訓戒ニ從フベキノ責ヲ負フコトヲ知ルベシ夫レ互ニ  
 相迷錯スルコトアリ且互ニ其違背ノ罪科ヲ推及スルニ因テ自己心中  
 ノ諫戒力ヲ鈍ナラシムルコトアリ然レドモ夜ヲシテ明ナルコト晝ノ  
 如クナラシムル夫ノ上帝ノ面前ニ在テハ彼レ目下此所爲ヲ行ヒ且其

異日公正ニシテ洩漏ナキ審判ヲ受ザルヲ得ザルコト吾人ノ當ニ注意  
 スベキ所ナリ此形勢ニ處シテ行フベキ人民ノ爲メニハ何倫ヲ以テ行  
 フベキトキト雖モ唯單純ニシテ傷害ヲキ真理ノ外ハ更ニ善良ノ方法  
 アルアラズ

○第三篇 誓ヲ論ズ

第一 誓ノ理論

某件ノ事務ニ關係スル事實ヲ分明正確ニ知ルコトハ社會ノ爲メニ常  
 ニ甚緊要ナリトス此ノ如クナラザレバ無罪者ヲ保護スル能ハズ亦有  
 罪者ヲ責罰スル能ハズ乃公道行ハレズシテ社會立ツヲ得ズ  
 殆ド毎箇ノ事實及其事實ヲ決定スル形勢、又原因應報ノ法、及人類交

際ノ理ノ然ラシムルニ由リ必皆許多ノ証人アリ故ニ眞實ヲ証明スルガ爲メニ証人ヲ招致スレバ其事實ノ知ラレザル者鮮シ夫レ人ヲシテ皆常理ニ基キテ眞實ニ証明スルヲ好ムベキ形勢ニ處セシムルコトハ誓ヲ行ハシムル所以ノ企圖ナリ

誓者若シ誓ニ背ケバ社會ノ尋常罰責ヲ受ケンコトヲ誓フノミナラズ亦上帝ヲ呼デ其抗言ノ眞實ナルヲ証センヲ請ヒ且虛偽ヲ語レバ上帝ノ罰ヲ受ンコトヲ明ニ或ハ暗ニ祈ルナリ米國英國ニ於テ誓ヲ爲ス通常ノ式ハ正直ヲ約スル後ニ「然ルトキ上帝ヲ助ケヨ」トイヘル語ヲ用非テ其尾ヲ結ブ乃唯吾レ眞實ヲ語ルトキハ上帝吾ヲ助ケベシトイフノ義ナリ凡ソ人上帝ノ助アラザレバ一時トナク永世トナク災厄ニ

罹ルヲ免レズ故ニ若シ吾レ眞實ニ背ケバ其助ヲ受ケズトイフハ是レ此盟約ニ因テ上帝ノ慈惠ノ有ラザルヲ祈リ固ヨリ永遠多分ノ災厄ヲ自己身上ニ來タスヲ請フナリ

然バ則誓ノ理論蓋シ左ノ如シ

甲 眞實ヲ語ルヲ妨グヘキ抗拒ノ理由ナキトキハ之ヲ語ルコト人性ノ自然ナリ故ニ此ノ如キ由ノ生ズベシト思ハザルトキハ彼レ眞實ヲ語ルヲ好ム

乙 然レドモ虛偽ヲ語ルニ因テ目前ノ利益ヲ得或ハ目前ノ惡事ヲ避ケ得ルトキハ彼レ往々虛偽ヲ語ルベシ

丙 然レドモ眞實ヲ語ルニ因テ利益ヲ得或ハ惡事ヲ避ケ得ルハ夫



ノ虚偽ヲ語ルニ因テ然ル者ニ勝ルコト大ナレバ則人心ノ常理ニ基キ  
テ眞實ヲ語ルベシ人ヲシテ此ノ如キ形勢ニ處セシムルコト是レ誓ノ  
企圖ナリ

丁 今夫レ上帝ノ惠ハ人ノ享得ル所ノ諸種ノ福惠ノ根原タリ且上  
帝ノ怒中ニ災厄アルノ大ナルコト人心ノ測ル能ハザルホドナルガ故  
ニ若シ人ヲシテ虚偽ヲ語ルニ因テ利益ヲ受ズシテ災厄ヲ招クノ形勢  
ニ處セシムレバ則彼レ虚偽ヲ語リテ辨ズルノ理由ヨリ大且強ナル理  
由ノ目前ニ在ルコトヲ確知ス故人蓋シ人心ノ常理ニ基キテ此ノ如  
キ形勢ニ處スレバ眞實ヲ語ルベシ  
誓ノ理論蓋シ此ノ如シ若シ人此確知ニ基キテ行フトキハ夫ノ眞實ヲ

ル者ハ誓ニ因テ普通ニ發出スベキコト疑ヲ容レズ  
然レドモ果シテ此大道徳ノ眞理ヲ確知スルコト極テ好シト雖モ亦其  
力ノ弱キヲ免レズ及後來ニ關スル理由ヨリハ大ニ目前ノ理由ニ誘導  
セラル、者アリテ之ヲ証明スルヲ要スルコトアリ是ヲ以テ人刑常ニ  
背誓ノ罪ニ附屬セリ此刑罰固ヨリ時世ノ遷リ社會ノ時日ノ變ズルニ  
從テ相異ナレリ就中最衡平ト稱スベキハ蓋シ猶太ノ刑法ニ則誓ニ  
背ク者ヲシテ其無罪ナル他方ニ及ボサント欲セシ者ト正ニ相同ジキ  
損害ヲ已レニ受ケシムルナリ摩西ノ法ハ此罪ヲ處スルコト非常ニ嚴  
酷ニシテ刑官タル者專モ宥恕スル所ナクシテ一目ハ必報イルニ一目  
ヲ以テシ一齒ハ必報イルニ一齒ヲ以テスベシト命ズルナリ當今ノ立

法官ハ猶太法學ノ此綱領ニ因リ緊要ノ指教ヲ導キタルヤ否ヲ宜シク  
度外ニ置ザルベシ

第二 誓ノ法ニ合フヲ論ズ

此事ニ就テ衆人各所見アリテ一定シ難シ誓ノ法ニ合フコトヲ非斥ス  
ル者ノ持論左ノ如シ

甲 新約全書ニ誓ヲ禁ズル明文比々之アリテ人ニ諾スルトキハ然  
リトイヒ諾セザルトキハ否トイヘル語ヲ用井ルヲ命ズ此ニ過ル者ハ  
惡事タルノ理ニ由テ然リ

乙 人タル者睿智或ハ道德ノ寡弱ナルニ因テ盟約ヲ背クヲ免レ難  
シ故ニ今盟約ヲ行フガ爲メニ將ニ永久ノ天助ヲ失ハントスルノ權理

ナシ

丙 凡ソ人他人ヲシテ此ノ如キ盟約ヲ結バシムルノ權理ナシ

丁 數々誓ヲ用井レバ終ニ吾上帝ヲ敬スルノ心ヲ減ズルニ因テ眞  
實ヲ語ルベキ實地ノ感情ヲ弛弱スルニ至ルナリ

戊 此罪ヲ處スルコト他罪ヲ處スルニ異ナル此ノ如キ所以ノ理ヲ  
確説スル能ハズ他ノ罪科ハ人タル者ニ關スル限ニ人刑ニ處スルニ任  
セリ然ルニ此罪科中ニ靈魂ノ亡失ヲ咒詛スルニ因テ設ケタル増加ノ  
刑罰ノ包有セラル、ノ理之アルナシ

己 毫モ誓ヲ行ハザル黨派人ハ僅ニ諾スルノミヒシテ十分ニ信ズ  
ルコト誓ヲ行フ者ニ異ナラズ加之此輩ハ他輩ニ比スルニ偽テ証明ス

ルコト更ニ罕ナリ

誓ノ法ニ合フノ説ヲ主スル者ノ論ズル所此ニ反ス曰

甲 右ニ引証セル新約全書ノ文ハ公義ノ誓ヲ禁ズルニ非ズシテ徒

ニ神明ヲ瀆スヲ禁ズルナリ

乙 救主基督ガ糺問ヲ受シトキ誓ヲ以テ答ヘタリ然レドモ他ノ黨

派ハ之ヲ認メテ明解トセズ

丙 使徒輩某ノ事故ヲ保証スルニ方リ上帝ヲ呼デ照臨ヲ乞ヒシコ

ト往々アリ其例左ノ文ニ著ハル「曰上帝ハ吾証人ナリ」見ユ吾レ上

帝ノ前ニ謙譎ヲ説カズ此レ以テ此ノ如キ告訴ノ法ニ合フコトヲ確保

スルニ足ルナリ

丁 公道ヲ行フニハ眞實ヲ欠クベカラズ是ニ於テカ人ニ許シテ背

誓ノ罪ヲ處スルニ他ノ罪過ヲ處スルノ方法ト異ナル者ヲ用非シム蓋

シ人ノ誤惑シテ行ヒ易キ罪過中此ヨリ甚シキ者アラザレバナリ

誓ノ法ニ合フト否ヲ論ズル兩黨主張スル所ノ意義大略此ノ如シ然レ

ドモ未此ニ止マラズシテ更ニ精熟ナル論説ヲ要スベキニ似タリ但此

ニ一事ノ當然ニシテ疑ヲ容レザル者アリ曰耶穌教ヲ奉ズル許多ノ邦

國ニ於テ今日ノ常習ノ如ク動モスレバ輒チ誓フハ啻ニ不善ナルノミ

ナラズ目下ニ吾上帝ヲ愛敬スルノ心ヲ消耗シ後來諸種ノ惡事ニ陷ル

ニ至ルナリ

第三 誓ノ解

誓ハ之ヲ行ハシムル者(審官ヲイフ)ノ保安ノ爲メニ要スル所ノ者ナリ故ニ彼レ之ヲ通曉スル様ニ解明スベシ誓者ハ(審官ヨリ)盡ク眞實ヲ語り更ニ他事ヲ捨テ、唯眞實ヲ語ルヲ望マルレバ望ニ從ヒテ吐露竭盡ノ毫モ復中心ニ藏匿セザルベシ然ラザレバ証人アリテ誓フト雖モ吾レ何ヲ信シ何ヲ望ンヤ彼レ私愛私利ノ爲メニシ或ハ一己ノ不便ヲ恐レ若クハ偏黨ノ情ニ激セラレテ肯テ盡ク眞實ヲ吐露セザレバ背誓ノ罪アルコト明ニシ恰モ金錢ヲ竊マンガ爲メニ偽リ誓フ者ノ如シ

#### 第四 誓ノ種類ヲ異ニスルコト

誓ハ過去ニ關セザレバ未來ニ關ス乃其確定スルニ非レバ約束スルナ

甲 過去ニ關スル誓ハ一定ノ者タリ乃某件ノ事務ハ行ハレシカ或ハ行ハレザリシノ一ニ居リ而シテ吾レ之ヲ知リシカ或ハ知ラザリシノ二者ニ外ナラズ故ニ吾知ルコトヲ語リ或ハ吾知ラザリシハ知ラズト語リ若クハ幾分ヲ知ラザレバ幾分ヲ知ラズト語ルハ皆吾權内ニ在リ此誓フガ爲メノ適應ノ事宜ナリ

第二 未來ニ關スル誓ハ不定タルヲ免レズ吾力ノ及ブ限ニ其職ヲ行ハント誓約スルトキノ如キ然リ今吾力ノ及ブ限ニ其職ヲ行ハントイヘル語ノ意義如何ニ就テ彼我ノ所見齟齬スルコトアリ或ハ此義務其一家内又一己ニ属スル義務ト相争フコトアリ而シテ行職者假令至好ノ意志ヲ以テスルモ何ノ義務カ最首ニ在ルヤ乃何ノ義務カ其力ノ尤

モ及ゾ所ザルヤヲ知ラザルユトアリ果シテ然ラバ則荷天性之脆弱ヲ  
 知ル者誰カ故テ其方ノ及ブ限ニ某職務ヲ行フニ由リ其永久ノ天佑ヲ  
 失ハントスルヲ背ゼンヤ若シ夫レ其背ゼザルヲ彼我共ニ通曉スレバ  
 應ニ如何ガ之ガ限界ヲ立ツベキヤ限界ヲ立ザレバ誓フモ何ゾ貴ムニ  
 足ン夫レ此ノ如クナレバ當ニ職務ノ誓約ヲ要求スルハ善シト雖モ獨  
 其情シ難キヲ奈何セン況ヤ西郷ノ職事ニ於テ之ヲ要スル者ヲ抑此  
 誓約ハ思慮アル者ノ良心ヲ審シ且往々然ル者ノ如ク不幸ニシテ思慮  
 ナキ者ノ心中ヨリ道德ノ辨別力ヲ消滅スルニ至ルベシ某人巡察ノ職  
 及普通學校ノ監督若クハ顧問及審判ノ任ヲ負フモ之ガ爲メニ永久ノ  
 天佑ヲ失フヲ欲セザルハ亦何ゾ夫ノ商賈及少年ノ訓導師或ハ教法師

ノ職ヲ帶ブル者ト異ナラン蓋シ人ノ善ク顧慮スル者ハ此ノ如キ誓ヲ  
 與セラルトキニ當テ此要求ノ利害ニ關セザルヲ中心ニ暗知スルニ  
 非レバ誓ヲ行フ能ハズ然ラバ則其患害アルユト必セリ

○第二科 男女ノ設アルヨリ生ズル職分

本題ノ區分ニ於テ考論スル左ノ如シ

甲 貞節ノ一般ノ職分

乙 夫婦ノ倫ノ性質及義務

丙 父母ノ職分

丁 子ノ職分

○第一篇 貞節ノ職分

道德法ニ於テ一夫一婦區別シテ相合同シタル者ヲ限リテ男女ノ欲ヲ快クセシム

故ニ姦淫數妻ヲ娶ルコト妾ヲ畜フコト及總テ結婚約條ニ依ラズシテ

男女相交通スルコトヲ禁ズ

不貞ナル情欲ハ想像力ニ激動セラレ、コト烈シキガ故ニ貞節ヲ勸勵スル法ノ禁ズル所ハ不潔ノ思念、行爲、不貞ノ談話、形様、及狀態、貪色邪淫ノ書ヲ讀ムコト其他自然ニ人心中心此教戒ヲ犯ス趣向ヲ生ズベギ事等ニ在リ

吾考論スル所ノ法ニ二件ノ制限アリ一夫一婦區別シテ相合同スルコト且身ヲ終ルマデ此合同アルコトヲ要スルナリ

今吾レ此二件ニ就キテ自然教法ノ訓戒スル所如何ノ大略ヲ考究スベシ

男女ノ欲ヲ快クスルハ區別シテ相合同シタル一夫一婦ニ限ルベキコ

ト上帝ノ心志ナルヲ示ス所以左ノ如シ

甲 男子女子ノ生ル數常ニ均シカラザルナシ天地開闢ノ始ニ上帝

一男一女ヲ生ゼリ爾來世々此ノ如クシテ一男ヲ生ズル必亦一女ヲ

生ゼリ此世間普通ノ事實ニシテ以テ充分ニ上帝ノ心志ヲ示スナリ

乙 右ノ制限アルガ故ニ人類ノ數至速ニ増加シ而シテ少年強ノ健

康極テ保全セラル、ナリ

丙 幼稚ナル兒子ハ常ニ稱シテ無助ナル者ト稱ス其始テ生ズル

ヤ爲メニ愛スベキ室家ノ便安ナカルベカラズ而シテ家中ノ事務習之

ニ便安ヲ與ヘ以テ保全ヲ供セシムベシ漸ク長ズルニ及ベハ父母ノ懇

切看護スルヲ要スルガ故ニ心力ヲ協セテ之ニ有用ノ職事ヲ施シ己ノ

經驗ニ因テ之ヲ訓導シ親タルノ威權ニ因テ之ヲ制御シ且其他社會

中ニ占ル地位ノ爲メニ豫メ備辨ヲナスベシ若シ夫レ羞汚ヲ淫樂及猥

雜ノ畜妾ヨリ生ズル孽子ノ爲メニ此ノ如キ室家ヲ設ケント欲スルモ

能ハザルナリ

丁 凡ソ人皆世上幸福ノ大分ハ之ヲ一家ノ社會ヨリ查出スル様ニ

生造セラル、コト疑ナシ此社會ニ於テ夫婦父子兄弟姊妹ノ倫相共ニ

各自ノ幸福ヲ增益ス然レドモ吾示教スル所ニ異ナルヲ理ニ因テ一家

ノ社會結構セラルレバ如何ゾ此ノ如キ幸福ヲ享ルヲ得シヤ

戊 上帝此性ノ人ヲ視テ他ノ性ノ人ヨリ貴シト爲スヲ確証スルノ

理ナシ況ヤ此性ハ卑屈ノ婢妾ニシテ彼性ノ爲メニ淫欲ヲ快クセシム

ル物ニ過ギズトイフ如キハ更ニ不可ナリ然レドモ吾輩貞節ヲ勸勵スルノ法ニ順フヲ怠レバ忽女子ナシテ此景況ニ陥ラシム蓋シ男女共ニ均シク同等ノ嚴肅ナル永遠ノ地ニ歸スベキノ際ニ於テ造物者ハ乃彼性ノ人ナシテ此ノ如キ倫ヲ以テ他性ノ人ニ對セシムルヲ欲スト思フ者アルヲ得ズ

第二 貞節ヲ勸勵スル法ノ第二ノ所要ハ夫婦ノ終身合同スルニ在リ此所要ノ爲メニ自然ノ道理許多アリ中ニ就キテ數件ヲ掲ルコト左ノ如シ

甲 自己ノ管理及交互ノ忍耐ハ完全ナラザル人物ニ必要ナル者ニシテ此二者ヲ修好シ易キ者ハ夫婦ノ終身合同スルコトヲ確知スル智

力ノ至強ニ如クハナシ

乙 若シ終身合同スルニ非レバ必彼我ノ欲スル所ニ從テ合同ヲ解クヲ免レズ此レ終ニ吾前文ニ説キシ猥雜畜妾ノ諸惡弊ヲ致スベシ

丙 子タル者自ラ能ク扶持スルノ年齢ニ達スルマデハ父母ノ保護ヲ仰ガザルヲ得ズ然ルニ一家ノ社會離解スレバ子附属スル所ナク保護ヲ仰グ所ナクシテ世ニ棄テラレ復依賴スベキ所ナシ

丁 或ハ然ラザレバ子偏ニ隻親ノ保護ヲ受ク而シテ大抵母ヨリ之ヲ受ルコト常ナリ此レ母ノ子ヲ愛スルノ情ハ父ヨリ烈シクシテ其子ヲ棄ルヨリ寧身自ラ死セント思フコト往々之アリ淫欲ヲ肆ニスル法度ノ趣ク所ハ母ノ子ヲ愛スルノ情篤キヲ利トシテ其僅ニ耐ヘ得ル勞



苦ヲ把テ之ニ付スルノ目的ヲ遂ルニ至ル

戊 父母モ亦年老レバ其子ノ保護ヲ要スルコト往々之アリ其幸福ヲ有ツニ子ノ助力ヲ借ルコト大ナリ然レドモ一家社會ノ分離スルヲ禁ゼズ且双親或ハ隻親ノ意ニ從テ子ヲ棄ルニ任スル法度ノ爲メニ此幸福ノ根原ハ盡ク枯涸スルナリ

或曰此レ通常ノ規則タリト雖モ然レドモ意外ノ錯誤ニ出デ、之ニ從ハザルハ規則ニ於テ恕スルコトアリト對曰

甲 此罪過ニ屬スル刑罰ノ嚴ナルハ乃上帝ノ此罪過ヲ惡ムコトヲ示スナリ此罪婦人ニ在テハ其名譽ヲ害シ而シテ其德行ニ復ラント欲スルノ望殆ド絶ユ男子ニ在テハ之ニ因テ其心上正ニ敗亡ノ先導タル

ベキ行爲ヲ醸シ致スナリ

乙 造物者ハ人ヲ生造シテ之ニ責ルニ職任ヲ以テシ決シテ人ヲ偏愛スルニアラズ而シテ微罪細故モ刑罰ニ處スベシ誘惑者及被惑者早晚ニ彼ノ審司ノ廷ニ立ヘシ審司ハ其罪故ニ從テ各人ニ刑誅ヲ施スナリ

丙 婦女子モ亦男子ノ如ク道德アリ責任ヲ負フ者ニシテ上帝ノ審判ヲ免レズ故ニ若シ災厄アリテ之ヲ制止セザレバ彼レ德行ヲ失フニ因テ無窮ノ絶望ニ歸スル所ノ地位ニ放陷セラル、コト必セリ且問フ凡ソ凶惡ノ罪過ニシテ至大ノ刑典ニ處セラルベキ者ハ何ヤ曰一時ノ快樂ヲ取ルガ爲メニ總テ此義務ヲ侵害シ總テ此同情ヲ激動シ以テ此

ノ如ク廣布シテ限界ナキ敗亡ヲ成スニ如ク者アラス  
第三 此事ニ就キテノ著顯教法ノ訓戒ヲ簡略ニ説クベシ

甲 十誡ノ神命ノ第七條ニ曰「汝邪淫ヲ行フベカラズ」邪淫ノ語ヲ以テ此ニ諸種ノ貞潔ナラザル動作ヲ指示スルヲ欲ス

乙 救主基督山上ニ誨ヲ垂ル、ニ方リ貞節ヲ勸勵スル法ニ就キテ大ニ此訓戒ノ弘大ナルヲ教示シテ曰「汝古人ノ汝邪淫ヲ行フベカラズトイヒシコトアルヲ聞知セリ然レトモ吾レ汝ニ語テ云ン凡ソ人婦人ヲ見テ淫情ヲ懷ケバ即是其心中ニ於テ彼ト邪淫ハ行ヘリ若シ汝ノ右目汝ヲシテ此ヲ行ハシムレバ眼ヲ抉リテ身外ニ投ズベシ何者眼ヨ棄ルモ全体ヲシテ冥獄ニ陥ラシムルヲ免ル、ノ利タレバナリ」(馬太

傳福音書第五章第二十七節ヨリ第三十三節ニ至ル)余カ臆解ニ曰何等ノ痛苦ヲ受ルモ顧ズシテ不潔ノ意思ヲ汝ノ胸中ヨリ拔去スベシ何者心中ニ不潔ヲ懷ク者ハ天國ヲ嗣有スルヲ得ザレバナリ

余更ニ舊約新約二書ノ文ヲ列擧シテ上帝ノ不潔ノ行爲ヲ斷ズルニ至大ノ罰ヲ以テスルコトヲ示スヲ要セズ然ラハ則凡ソ人此命令ヲ犯ス者ハ上帝ノ明々ニ示顯セラレシ命令ヲ顧ミズ且其靈魂ヲ害スルヲ恐レズシテ之ヲ犯スト云フコト吾人當ニ心ニ記スベシ

貞節ヲ勸勵スルノ法ニ於テ邪淫不潔ノ想像ヲ恣ニシ此ノ如キ意志ヲ心中ニ懷キ及此ノ如キ意志ヲ激動シ得ル舉動ヲ行フヲ禁ズ夫ノ浮蕩ノ舉動ノ身外ニ行ハル、ヤ其中心必先ヅ不潔ノ想像ヲ以テ汚染セラ

ル、ナリ故ニ吾意志ヲ管理シ及純潔ノ德行ニ反スル者ヲ以テ吾想像  
 ナ瀆スノ趣向アル書籍圖畫社會及行爲動作ヲ拒絶スルコト緊嚴ナラ  
 ザルベカラズ誰カ火ヲ抱キテ其衣服ヲ燃カザルヲ得シ故ニ非禮ノ舞  
 踏及情欲ヲ發熱セントスル所ノ遊戯舉動ハ道德ノ毒害タルコト極テ  
 慘ナリ善良ナル婦人ニシテ吾レ此ノ如キ交遊ヨリ侵害ヲ受ケズトイ  
 フモ尙未全美トスルヲ得ズ已レ若シ此交遊ノ他人ニ損敗ヲ及ボスコ  
 トアルヲ知レバ當ニ之ニ戒告スベシ然ラザレバ彼等ノ損敗ニ助力ス  
 ルノ罪ヲ辭シ難シ我レ吾兄弟ヲ護スベキ者ナルヤト問ヒシハゲーン  
 亞當伊浮ノ子ニシテ  
 テ兄弟ヲ殺セシ者ナリ

○第二篇 婚姻ノ法

上文既ニ貞節ヲ勸勵スルノ法ニ於テ各別ニ契ヲ結ビシ男女ノ外相交  
 通スルヲ禁ズト説ケリ夫レ婚姻ノ事タルヤ二人至大嚴正ノ式ヲ以テ  
 交結シ互ニ相敬愛シテ生ヲ成スベキノ約ヲ締スルナリ夫婦ノ倫ハ上  
 帝ノ設クル所ナルガ故ニ此ノ如ク交締セシ約束ニハ誓ノ嚴正ナル者  
 アリ故ニ此約ニ背ク者ハ二重ノ罪アリ一ハ貞節ヲ勸勵スルノ法ニ  
 背キ二ハ至大嚴正ノ式ヲ以テ保定セシ正直ヲ勸勵スルノ法ニ背クナ  
 リ

婚姻ノ禮ヲ設クルノ意趣此ノ如キニ止ラズシテ其關スル所更ニ大ナ  
 リ蓋シ此ノ如ク交締セシ約束アルガ爲メニ 個ノ社會立ツ此社會ハ  
 至妙至要ノ品質アリテ諸件ノ人文社會ノ根本タリ而シテ子女ヲシテ

大社會ノ人員ニ列セシムルノ備辨ヲナスハ此社會ニ在リ抑婚姻ノ性質及義務ヲ辨ズル首要ノ知識ハ聖書ニ基キ來ルガ故ニ今聖書ニ於テ婚姻ヲ論スル方法ヲ簡略ニ説ベシ然レドモ余ガ前ニ自然教法ノ訓誨ニ就キテ論説セシ者ニ加フル所アルニ非ズ

第一ニ此約ノ性質第二ニ其勸ムル職分及其禁ズル罪過ヲ考論スベシ

(一) 互約ノ性質

甲 此互約ハ終身解クベカラザル者ニシテ解クベキ所以ノ原故唯一アリ淫弊是也馬太福音書第十九章第三節乃至第六節及九節ニ曰爾後フアリ利養教徒數人彼レノ面前ニ來リ試ニ問テ曰人苟口實アレバ妻ヲ去リ得ルヤ對テ曰汝未知ザルヤ初メ造物者人ヲ造リシトキ一男一

女ヲ造レリ又曰是故二人其父母ト離レテ其妻ト交結スベシ而シテ一

人一肉タルベシ故ニ爾後復爾肉タラズシテ一肉タリ然ラバ則上帝ノ連接セシ者人得テ切斷スベカラズ故ニ吾レ汝ニ告グ凡ソ人其妻淫弊アルガ爲メニ非ズシテ去テ他婦ヲ娶レバ姦淫ノ罪ヲ免レズ」余此ニ博士カンベール氏ノ譯文ヲ記スルハ他ノ通常ノ者ニ比スルニ更ニ適切ニ原書ノ意ヲ釋クヲ以テナリ

乙 婚姻ハ上帝ノ設立スル所ナルガ故ニ唯神法ニ從順シテ人法ニ從順セズ故ニ民法ノ能ク人ノ良心ヲ管束シテ之ニ背カザラシムルハ唯此法ノ神法ニ背カザル限ニ然ルコトヲ聖經ニ示セリ

丙 此約束ハ全ク彼我交互ノ者ニシテ之ヲ結ブニ因テ兩人一ノ社

會ヲ立テ乃彼等某ノ事物ヲ共有ス凡ソ事物ノ此ノ如ク共有ニ係ル者ハ同等ニ二人ニ属シ其然ラザル者ハ從前ノ如ク各自ノ權内ニ止マルナリ

丁 夫婦交結ノ基礎ハ愛情ニ在リ各一個人ノ自ラ交結スル所以音尋常交互ノ親厚ノ念ニ由ルニ非ズシテ其他人ニ表スルノ親厚ノ念ヨリ大ナル者ニ由ルナリ蓋シ吾愛スル所ノ人ヲシテ福祉ヲ得セシムルトキ我一身ノ飽足ヲ盡スヨリハ更ニ大ニシテ純粹ナル快樂ヲ致スハ則人ノ愛情ノ自然ニ出ル所ニシテ乃結婚ノ事狀ヨリ幸福ヲ生ズルハ實ニ此ニ基クナリ

戊 此互約ハ彼我中心ヨリ悅ビ結ンデ以テ一社會ヲ立ツルガ故ニ

此互約ノ定ムル所ニシテ共有スル事物アリ亦否ズシテ從前ノ如ク各

人ノ一身ニ止マル事物アリ今此二者ヲ辨明スルヲ要ス因テ説ク所左ノ如シ

(イ) 甲其良心ノ勸勵シテ行ハシムル者ヲ捨テ、乙ノ意ニ徇フヲ得ズ何者乙若シ甲ノ上帝ニ奉ズル務タリト思想スル者ヲ行フヲ禁ズレバ是レ邪曲ニシテ抑壓タルヲ免レズ

(ロ) 甲其首務ニシテ法ニ適スル職分ヲ害スルヲ顧ズシテ乙ノ意ニ曲從スベカラズ故ニ夫其妻ノ意志ニ徇テ其職業ニ從事セント契約セザルベシ且男子ノ身上ニ在テ市民タルノ務モ亦首先ノ職分ナリ故ニ婚ヲ結ビ夫婦ノ職分ヲ行ハント欲セバ宜シク此首先ノ職分ニ背カザ

ルノ方法ヲ以テ其契約ヲ締スベシ且男女其父母ニ奉ズル孝順ノ務モ亦幾分カ結婚ノ後ニモ存スルガ故ニ之ヲ害セザルベキ條款ヲ以テ締約スヘシ

(ハ) 又夫婦共ニ樂ム能ハズシテ獨樂ムベキ勢ニ處スレバ我樂シヨリ寧彼ニ讓リテ樂マシムヘシ此婚姻約束ノ然ラシムル所ナリ夫婦ノ幸福ノ大ナル者ハ共樂ニ在ルコト固ヨリ論ナシ已ムヲ得ズシテ獨樂ムベキトキハ寧互ニ他ニ讓リテ樂マシムベシ若シ不幸ニシテ困厄妨碍アリテ來リ生ズレバ各務テ己ニ担任シ他ヲシテ痛憂セシメザラント欲スベシ

(ニ) 且前文ニ述ル所ノゴトク此事ヲ行フノ心情ハ婚姻ノ結バル、

所以ノ自然ノ理タル直白ノ愛情ヨリ起ル而シテ愛情ヲ表ハシ及保ツハ此事ヲ行フニ由ルナリ

(ホ) 然レドモ何社會ヲ論ゼズ人各思考ヲ異ニスルコト無キ能ハズ故ニ自他感愛ノ情須臾モ減ゼザル社會ニ至テモ亦思考ノ異同アルベシ蓋シ思考ノ異アル者ハ必其レ由ル所アリ夫レ夫タル者ハ人文社會ノ責任ヲ負フガ故ニ自然ノ人情及天啓ヲ受ケシ民心共ニ夫タル者ノ無限ノ威權ヲ有ツヲ許スナリ此故アルニ因テ妻ノ幸福増殖スルコト夫ニ及バザルニ非ズシテ其勢力ハ從順ヲ盡スニ從テ至大ヲ致シ其温和敦厚ノ時ニ當リテ敬スベク愛スベキヲ覺ユ然レドモ激怒暴戾ヲ發スレバ爲メニ權勢ヲ加ルコト男子ノ如クナル能ハズシテ婦德ヲ失フ

ヲ免レズ

(二) 今夫婦ノ倫ノ指令スル職分ヲ論ズベシ

第一 夫婦ノ倫ハ男女ニ平等ニ貞節ヲ盡スベキ職分ヲ指令ス

甲 故ニ姦淫即結婚シテ夫タリ婦タルニ非ル者ト交通スルコトヲ

禁ズ

乙 故ニ此夫ノ彼ノ婦ト或ハ彼婦ノ此夫ト行事ヲ共ニスルヲ禁ズ

蓋シ其趣ク所或ハ彼等ガ本夫本婦ニ表スル愛情ヲ減シ或ハ本夫本婦

ノ憂艱ヲ醸スコトアレバナリ

姦淫ノ罪ハ至大ノ邪惡ナル者ニシテ爲メニ父母親戚朋友ニ災害ヲ及

ボシ都テ一家ノ幸福ヲ失ヒ全ク父子ノ關節ヲ絶ツヲ見テ其人間ノ最

殘虐ノ事タルヲ知ルベシ又凡ソ人國家ノ幸福繁昌ハ一家社會ノ德行

ニ基クト思フ者ハ當ニ一件所爲ノ爲メニ夫婦ノ關節ヲ絶チ兒子ヲシ

テ父母ナキヨリ甚シキ困厄ニ陷ラシムルノ罪ハ報ルニ無比ノ災害ヲ

以テセラル、ヲ知ルベシ夫レ父ニシテ子ヲ殺スノ罪ハ重シト雖モ姦

淫ヨリ大ナル應報ヲ受ケズ彼ニ於テハ父タルノ關節絶ユルト雖モ尙

子ノ無罪タルヲ失ハズ此ニ在テハ關節既ニ固ヨリ絶エ之ニ加ルニ道

徳ヲ害スルコト重大ニシテ復補フベカラス且品行ヲ害スルノ汚名廣

キニ及ボシテ曾テ雪クベカラズ

第二 婚姻ノ法ニ於テ相愛スベキノ職務ヲ勸勵ス蓋シ我ノ彼ヲ愛ス

ルハ彼ノ我ヲ愛スルノ結果ナリ今マ人吾ヲ敬禮尊奉スレバ我必シモ

彼ヲ敬禮尊奉セズシテ之ニ報イルニ他ノ狀ヲ以テスルコトアリ然ルニ彼ノ我ヲ愛スルニ至リテハ我モ亦彼ヲ愛スルノ心ヲ以テ之ニ報イザル者幾希ナリ

第三 婚姻ノ法ニ於テ相助クベキノ職務ヲ勸勵ス一家ノ社會ハ他ノ社會ニ於ケル如ク各人其任ズル特別ノ職務アリテ夫ニ其任ズル當然ノ職アリ婦ニモ亦其任ズル他ノ當然ノ職アリ故ニ第一家族ノ需用ヲ給スルハ夫ノ職ニシテ家政ヲ調理スルハ婦ノ職ナリ甲ノ務ハ戶外ヲ司ルニ在リ乙ノ務ハ戸内ヲ司ルニ在リ故ニ男子ニシテ一家ヲ保養スル任ヲ負フト雖モ妻子ノ飢寒ヲ濟フ能ハズ婦人ニシテ妻道ヲ盡スナ知ラズ貪欲ヲ肆ニシ奢侈ヲ逞クシ荒淫ヲ事トシ己ヲ利スルノ念ヲ快

クスルヲ以テ務トスルハ均ク侮慢ヲ來スニ足ルナリ此ノ如ク内外ヲ分司スルハ常法ナリト雖モ亦不幸ニシテ彼レ己ニ属スル等分ノ職務ヲ行フ能ハザルニ方リ他之ヲ行ヒ得レハ則之ヲ行ハザルベカラズ故ニ夫單身ニシテ一家ヲ保養スル能ハザレハ之ヲ助クルハ妻ノ務ナリ又妻病アリテ家事ヲ行フ能ハサレバ夫務テ之ニ代リテ行フベシ夫婦共ニ死スレバ子タル者家人ヲ管理スルノ務アリ

左ノ篇ハ品行潔清知慮方正ナル詩人タスケル氏ノ作ニシテ德行ノ愛スベキヲ頌詠スルコト衆ニ卓絶セリ故ニ之ヲ引キテ以テ本篇ノ局ヲ結ブ

家福ヨ汝ハ荒廢ニ至ラザリシ天堂ノ無雙ノ幸福ナリ世ニ永ク純潔



不害ヲ以テ汝ヲ嗜好スル者或ハ之アリト雖モ終ニ情念私情ヨリ幾  
滴ノ鹹苦ヲ以テ汝ノ玉杯ニ注グヲ免レ難シ而シテ謹戒ヲ加ヘテ汝  
ノ甘味ヲ保全スル能ハズ汝ハ德行ノ乳房ニシテ彼レ汝ノ掌裏ニ微  
笑ス實ニ天ノ生ズル所ニシテ再雲霞ニ冲ラントスル者ノ、如シ快  
樂ヲ得ント欲セバ唯汝ニ資シテ之ヲ求ムベキヲ知ル者ナシ彼ノ空  
中ニ飛動スル女神モ猶且其束帶ナキ腰腹ト四邊ヲ周覽スル眼目ヲ  
以テ新奇驚クベキ事ニ因テ僅ニ自ヲ支持スルニ過ギズ蓋シ汝ハ温  
柔敦厚ニシテ久ニ耐ヘ變化ヲ惡ミ眞實親愛ノ恬靜中ニ向テ女神ノ  
貪心ヲ以テ得ル能ハザル所ノ喜樂ヲ求ルナリ汝無ケレバ吾光榮名  
爵ヲ害スルコト如何ゾヤ加之穢惡ナル事物ニ誘惑セラル、ヲ免カ

ル、コト甚ダ難シ

### ○第三篇 父母ノ法

人ノ處スル所ノ身體ト道德ノ法トノ能ク人間ノ幸福ヲ長ズルニ適ス  
ルモノハ夫婦ノ法ト父子ノ法トノ間ニ在ル倫理ニ因テ明ニ指證スル  
ナリ今夫婦ノ身體ト道德トノ形勢ヲシテ若シ人世ニ在ル當然ノ形勢  
ニ背カシノバ從テ無數ノ災害ヲ生ゼントス夫レ人類年齡強壯ニ至リ  
十分ノ知識經驗ニ達シ及其子ヲ扶持護衛スルニ足ルノ工業ヲ行ヒ得  
ルニ至ル迄ハ親タルノ倫ヲ保ツ能ハズ然ラザレバ民族貧困疾病ニ因  
テ殄滅スルニ至ラザルモ其德行知識ヲ進ムルノ難キコト必然ナリ  
且子ヲ愛スルノ情ハ親之ヲ天ヨリ受ケ子ヲシテ福昌ヲ受シメント欲

シ且吾經驗ヨリ出ルノ利益ヲ子ニ與ヘンガ爲メニ百方力ヲ盡スヲ樂ムハ唯此情アルニ由ルナリ子モ亦然リ當然ニ親ヲ愛スルノ念ナキ者ト雖モ親ノ意欲ニ從フヲ好ミ其天性毀缺スルニ非レバ親ノ威權ニ服スルヲ甘ズルノ情アリ加之人文社會ハ一人ノ嗜欲志向ヲ捨テ、全社會ノ利益ヲ取ルニ因リテ設立セラル、ユト明ナリ今此目的ニ基キテ一家ノ社會ハ前文ニ屢述ル所ノ如ク大社會タル邦國ヲ養成スルノ具ニ供ス

故ニ親ニ其子ヲ管制指導スルニ足ル年齢及經驗アリ子ニ自然ニ親ノ威權ニ服従スルノ心情アルニ因リ是ヲ以テ子タル者生長スルニ從テ他人ノ意志ニ背カザルノ習慣漸ク成リ而シテ幼稚ノ際ニ方リ他日其

結盟シテ一員ニ備ハルベキ社會ノ憲法ニ從フコトヲ學ブナリ故ニ子ニシテ親ノ命令ニ從ハザルトキハ社則敗壞シ國家動亂スルヲ示ス一兆候トナラザルコト鮮シ

且小兒タル者ニ對シテハ他ノ方法ヲ用井ルヨリ例ヲ示シテ之ヲ感動スルニ如ズト云フハ是通論ニシテ今婚姻ノ結約アルニ因テ此人性自然ノ理能ク至大便宜ノ器具ニ用井ラル、ナリ夫レ男女居室ノ本ハ愛情ニアリ此情アルニ因テ彼我互ニ已樂ンヨリハ寧ロ他ヲシテ樂マシメント欲スト此余既ニ上文ニ說ケリ今此理ニ因テ一家ノ社會ヲ管制シ且并テ兒輩ニ示スニ私利ヲ圖ラス己ニ克ツノ例ヲ掲ケ及此ノ如キ德行ヨリ生ズル永續ノ結果ヲ以テスルコト間斷ナシ且親ノ愛情己ニ

勸ルニ其子ノ爲メニ同キ德行ヲ勉ムルヲ以テシ而シテ子ノ眼目ニ觸ル、者常ニ其心情ヲ養成スルヲ勸ムル所以ニ非ル莫シ管此ノミナラズ妻ノ職ハ從順ニ在リ故ニ兒子其敬愛スル者(父ノ妻兒ノ子ノ母)ノ例ヲ示スヲ見テ從順恭謙ノ德ハ仰グベク貴ムベキ者ニシテ決シテ卑屈陋劣ナルモノニ非ルヲ指導セラル、ナリ

甲 此考論ニ基キテ自然ニ親子間ニ在ル倫ヲ辨ズベシ此貴者ノ賤者ニ於ケル倫ニシテ親ノ權理ハ命令スルニ在リ子ノ職分ハ服従スルニ在リ威權甲ニ屬シ順從乙ニ屬ス此倫ハ人生ノ理法ノ一部ニシテ此倫ヨリ生ズル職分ハ乃人生職務ノ一部ナリ此職務ハ唯便益ノ爲メニ設ケラル、者ニアラズシテ人ヲ生造スル所以ノ倫ヨリ生ズ故ニ之ヲ

犯ス者ハ必上帝ノ嚴罰ヲ免ル、能ハズ

乙 此レ天倫ナリト雖モ所謂職分ヲ管理スル所以ハ親子共ニ只愛情ニ在リ故ニ命令スル威權親ニ屬シ服従スル職務子ニ任ズト雖モ親モ亦恣ニ貪慾ヲ逞クシ私利ヲ營ムガ爲メニセズシテ專ラ子ヲ愛スルノ情ト福利ヲ圖ルノ念ニ由テ此威權ヲ用非ルベシ蓋シ人生ノ理法ニ於テ親此威權ヲ用非ルヲ要スト雖モ彼レ上帝ニ對スルノ務ト其子ヲ愛スルノ念ヨリセズノ他ノ緣由ヨリ之ヲ用非レハ亦妄用者ト謂ベシ

丙 此倫ハ上帝ノ設クル所ニシテ由テ生ズル職分ハ親子二者ノ任ズル所ナリ故ニ彼其職分ヲ行ハザル故ヲ以テ此レノ職分ヲ廢スルニ非ズ是ヲ以テ子父ニ順從セズト雖モ父ノ子ニ於ケル其利益ヲ圖テ行

フベシ而シテ他ノ目的ノ爲メニ行フベカラズ父不慈非理ナリト雖モ爲メニ子ノ責任ヲ輕クスルニ非ズ子舊ニ依テ父ヲ恭敬服從セザルベカラズ

凡親ノ職ハ子ノ後來ヲシテ暫時若クハ永世ノ幸福ヲ至大ニ増加セシムベシトスルノ方法ニ因テ之ヲ教育スルニ在リ中ニ就キテ緊要ナルモノ左ノ如シ

第一 扶持及保佑

初生無助ノ赤子ヲシテ生命ヲ保タシムルハ親ノ職タルコト固ヨリ證明ヲ要セズ特ニ之ヲ保佑スル費用ノ多少ニ至テハ余之ヲ確定スル能ハズト雖モ父ノ用ヰル生計ノ様式ヲ以テ子ノ生活ヲ保ツノ方法ニ用

井ルハ蓋シ普通ノ規則ナルベシ然レドモ某ノ時勢ニ因テ幾分カ然ラザルコトアリ親家資豐盛ナルニ乘ジテ子ヲ教育スルノ方ヲ失ヒ其レヲシテ庸愚惰慢ニ長ズルノ甚シキ後來ノ富貴ヲ享有スルニ堪ヘザラシムレバ親ノ所爲善良タルヲ得ズ若夫レ親貧苦ニシテ子ヲシテ衣食ニ奔走セザラシムルノ手段アルナク其童男兒女ヲシテ惰慢ト浪費ノ風ニ生長セシムルハ大ニ親タルノ職ヲ犯ス者ニシテ是子ノ幸福ヲ享ルヲ圖ルニ非ズ不幸患害ノ地ヲ成スト謂ベシ

第二 教育

甲 身體ノ教育 親ハ其子ヲシテ健康ノ體質ヲ保タシムベキノ方法ヲ用ヰルヲ務メ而シテ彼ヲシテ十分ニ力ヲ著ハシ及軀幹ノ功用ヲ

發行セシムルホトニ其飲食工勞及動作ヲ管理シ以テ艱難ニ習熟シ以テ工勞ニ耐ヘシムベキノ務アリ然ニ其子ノ疾病羸弱及夭折ヲ招クベキノ專業及方法ニ依テ之ヲ使役スルノ邪惡ナルコトハ亦此規則ニ因テ知ルベキノミ物産製造ノ地方ニ於テ兒輩未ダ閉錮飢渴ニ耐ル能ハザルニ或ハ其力ヲ強ヒテ過量ノ工勞ヲ行ハシムルコト少カラズ爲メニ小兒タルノ際ニ其體質ノ勇力減却ス天ノ人親ニ賦スルニ子ヲ制スル威權ヲ以テスルハ其子ノ幸福ヲ進メン爲メニシテ而シテ親ノ己ニ私シ利ヲ食ルノ念ヲ快クスル爲メニスルニ非ズ且子ニ屬スル權理ヲ妄用スル此ノ如キノ罪惡醜穢ハ宜シク其子ノ強壯ヲ賣リ以テ己ニ利スルノ親ト、兒ヲ買ヒ之ヲ苦役メ以テ益ヲ占ル管人トニ分任スベキ

ノミ夫レ親ノ職分ヲ犯ス此ノ如キハ管父ノ男子ニ於ケルノミナラズシテ母ノ女子ニ於ケルモ亦然ルコトアリ夫ノ貪婪ニシテ厭クヲ知ラズ一己ノ名譽及其族類ニ利センガ爲メニシテ女子ノ幸福ニ注意セズ其レヲシテ只管金夫ト婚ヲ結バンコトヲ僥倖シシメ專ラ世ヲ欺キ人ニ媚ルノ風ヲ教ルハ亦同シキ責ヲ免レズ

乙 睿智ノ教育 兒ノ初生ル、ヤ全ク無知無識ニシテ推動力ト幹能ノ外ハ一物ヲモ有ツコトナシ親タル者ハ必曾テ幾許ノ知識ト教訓トヲ得タルガ故ニ之ヲ兒輩ニ傳ヘザルベカラズ然レドモ此職務ヲ或ハ父自ラ之ヲ行フヨリ他人ニ委シテ更ニ成功ヲ得ルコトアリ是レ之ヲ教師ニ託スルノ認メテ當然トスル所以ナリ親ノ職分ハ躬自ヲ此務

チ行ハザレバ師ニ託シテ行ハシメシテ要ス而シテ唯此務ニ幾分チ行  
ハシメ得ルニ注意スベシ蓋シ教師ハ代理人タルニ過ギズシテ親ハ本  
人ナリ師ハ親ヲシテ其天倫ノ責任ヲ免レシムルヲ得ズ此ニ親ノ躬ヲ  
手ヲ下シテ師ニ委託スルヲ得ザル所ノ職務數件アリ請フ其例ヲ舉ン  
甲 父其子ノ習慣如何ヲ察シテ何様ノ教育カ能ク彼ヲシテ前途ノ  
幸福ヲ得セシメ且世用ニ供セシムベキヤヲ熟考スベシ

乙 子ノ爲メニ後來至大ノ果實ヲ生ズベシト信ズル所ノ教師ヲ撰  
ミテ託セザルベカラズ

丙 此事ニ就キテ教師タル者ノ眞實ニ其訓導ヲ行フヤ否ヲ審明ス  
ル時間ト注意トヲ有ツベシ

丁 子ニ示スニ謹慎勉勵ナレバ親ノ威權ト慈愛トノ扶助恩恵ヲ得  
ベキノ利益ハ學問ニ在ルヲ以テシテ之ヲ誘掖鼓舞スベシ

戊 親此諸件ヲ行フノ責アレバ則固ヨリ之ヲ行フベキ時間ヲ得且  
之ヲ行フヲ妨ザル様ニ家事ヲ經理スベシ而シテ此職務ヲ行フベキ時  
間ナシト云フ權理ナシ上帝實ニ彼ノ之ヲ行フヲ欲スレバ則彼必之ヲ  
行フノ時間アリテ此職務ヲ妨クル他ノ事故ヲ行フベキ時間ナシ

且上帝ノ此ノ如キ心志ヲ奉行スルモ效果ナシト思フ勿レ次ヲ逐ヒ序  
ニ從テ子ヲ教誨スルコト篤クシテ怠ラザレバ己ノ知識益シ己ノ教誨  
進ミテ初ニ認メタルノ量ニ超ルヲ覺ユベシ蓋シ親タル者ノ子ニ勝ル  
ノ知識ヲ有得ルハ唯右ノ方法ニ由ルノミ親能ク長ク此ノ知識ヲ有ツ

ハ親子兩者ノ利益トナルノ大ナルコト此ノ如シ若シ子タル者知識其親ニ勝ルト想フハ己ノ爲メニ不幸ニシテ其想フ所果シテ然レバ其知識親ニ勝ルニ至ルコト速ナルベシ親能ク子ニ勝ルノ知識ヲ有ツコト彌長ケレバ二者ノ爲メニ益幸慶ナルベシ然ルニ親新ニ煩忙ノ事務ヲ行フニヨリ忽知識ヲ修ムルノ工夫ヲ廢シテ專ラ身體ノ勞ニ從事シ而シテ其子ヲシテ專ラ知識ヲ修ムルノ業ヲ勉メシメン爲メニ已ト子トノ知識ノ交通復タ行ハレ難キニ至レバ向ノ如ク子ニ勝ルノ知識ヲ保ツ能ハズ

第三 道德ノ教育 兒ノ永久禍福ヲ制スルノ力ハ親ノ掌中ニ在トスル者ハ大ニ其理アリ蓋シ親ハ子ニ教フルニ上帝ノ心志ニ適ヘリト思

フ所ノ教法ノ理論ヲ以テシ且子ヲシテ他人ノ教ヲ受ケシムベキノ務アリテ其此ノ如キ職務ヲ妨グル權理アル者ナシ若シ親過誤アルトキハ是レ其自信ズル所ノモノヲ以テ子ニ教フルニ非ズ夫ノ實理ヲ辨ズル爲メノ天賜ノ知識ヲ用非ズシテ虛偽ナル者ヲ信ズルニ在ルナリ然シテ彼ノ責任此ノ如ク且親ノ威權ノ特擅ナルコト此ノ如クナレバ則彼レ一ハ上帝ノ心志何タルヤヲ知り二ハ不滅靈魂ノ將來ノ幸福ヲ保ツ所以ノ方法ヲ辨ズベキ義務アリ彼レ苟モ人ノ親ダレバ其此事ヲ審定スルコト自己及兒子ノ靈魂ノ幸福ト災厄トニ關係ス故ニ此兩件ノ考論アルニ因テ親タル者其道德ノ形情ヲ審定スルコト敬謹嚴肅ナラザルベカラズ

然レドモ教法ノ理ヲ熟知スベキノ外更ニ親タルノ倫ヨリノ親ニ責望スル他ノ職務數件アリ則左ノ如シ

甲 子ノ神人ニ對スル職分ヲ以テ之ニ教ヘ且常ニ其心中ニ存スルニ道德ノ責任ヲ認知スルノ念ヲ以テセシメ殊ニ子ノ爲メニ恭敬ノ精神即他ノ諸件德行ノ根本タル上帝ニ表スル方正ノ感情ヲ養成スルヲ務ムベシ

乙 人ノ現今ノ景況ヲ道德上ヨリ論ズレバ缺點アルヲ免レズ且人皆此缺點ノ責ヲ辞スル能ハズ故ニ親當ニ力ヲ盡シテ子ノ邪惡ノ志向ヲ滅絶スルヲ務メ傲慢。執拗。姦曲。嫉妬。浮華。殘虐。激怒。欺詐。及之ニ類スル惡事ノ萌芽ヲ精密ニ督察シ而シテ其時日ヲ經ルニ從テ蟠結シ禁制ナ

キガ爲メニ益烈シクナルノ前ニ至大ノ勉強ヲ以テ痛ク芟除スベシ蓋シ親ノ不慈ハ子ノ惡習ニ生長スルニ任セテ之ヲ禁制セザルヨリ甚シキハナシ父若シ子ノ手足ノ不具ニシテ生長スルヲ顧ミザルアレバ人誰カ其殘忍ヲ咎メザラン況ヤ心ノ害ノ手足ノ害ヨリ大ニシテ疾ムベキニ於テヲヤ

丙 徒ニ訓誨スルノミニシテ之ニ示スニ例ヲ以テセザレバ益ナシ故ニ親ハ子ノ邪惡ナル心情ヲ正サントスルニ極好ノ例ヲ舉ゲテ之ヲ導カザルベカラズ夫レ嗜欲ヲ逞クシ己ヲ利スルヲ好ミ他ヲ羨ムノ念アル親ハ子ニ教フルニ善良方正ヲ以テスルモ亦其レヲシテ私欲ヲ逞クシ己ヲ利スルヲ好マシメ而シテ他ヲ羨ムノ念ナカラシムル能ハズ



丁 吾人上帝ノ惠佑ヲ借ラザレバ勉力ヲ行フモ成功ナシ故ニ人ノ親タル者常ニ此嚴肅ノ義務ヲ行フニ欠クベカラザル訓導ヲ祈請セズ且假令此訓導ヲ受クルモ勉力ヲ行フノ際ニ方リ尙惠佑ヲ得ザレバ全ク成功アルヲ得ズ若シ夫レ此惠佑ヲ乞求セザル者ハ其職分ヲ怠慢スルノ甚シキ亦知ルベキノミ

戊 兒子ノ道德ノ品行ハ大ニ黨伴交友ニ感誘セラレテ變易スルモノナリ故ニ親當ニ緊密ニ督察シ憂モ畏避顧疑セズシテ之ヲ管制スベシ然ニ親只兒輩ノ思欲ヲ慰シ或ハ他人ノ眷愛ヲ求メ若クハ奇異固陋ノ世評ヲ避シガ爲メニ兒子ノ縱ニ黨伴ヲ成スニ任セテ其彼等ニ害アルヲ知リ或ハ恐ルト雖モ姑息ニシテ之ヲ禁セザル者ハ大ニ保護ノ任

ニ背クト謂ベシ蓋シ之ヲ論ズルニ此レ親ノ職分タリ固ヨリ之ヲ行テ顧慮ヲ須非ズ亦侵害スルニ非スシテ毫モ他ノ防禁ヲ受クベキナシト認メ做サル此際ニ當リテ親ハ子ヲ制スル無限當然ノ威權アリ今乙アリテ甲即親ノ此威權ヲ行フヲ非トスレバ讒謗ノ罪ヲ免レズ甲モ亦乙ノ讒謗ヲ畏レテ此威權ヲ行フヲ避クレバ是全ク人親ノ倫ヲ辱カシムル怯懦ノ責ヲ免ル、能ハズ

己 親ハ子ノ男女長幼ヲ問ハズ之ニ對シテ同一ノ倫アリ故ニ其之ニ行フベキ義務ノ同一ナルコト論ヲ待ズ此レ其全ク一視同愛ノ情ヲ以テ之ガ威權ヲ行フベキ所以ナリ此情ナケレバ常ニ兒輩ヲシテ嫉妬怨恨及惡心ヲ生セシメ一家ノ社會遂ニ不斷ノ角口争鬪ノ場トナラザ

ルヲ得ズ此事ノ畏ルベキ例ヲシヨセフ及其兄弟ノ史傳ニ記セリ  
此ノ果シテ然ラバ則親タル者ノ義務ノ侵害ヲ行フハ姑息ノ父母モ猶  
且大概ニ思想スル所ヨリモ更ニ頻數ナリ

甲 父母タル者流俗ノ社會遊樂ニ惑溺セラレ、ハ此義務ヲ犯スナ  
リ母トナリテ吾嗜ム所ノ事ヲ行フニ專ニシテ兒子ノ靈智ト道德ノ修  
養ヲ事トスルニ暇ナキハ是其至嚴ノ職分ヲ怠ル者トス蓋シ自己ノ小  
々誤樂ノ爲メニ兒子ニ属スル時間ヲ消費スル權理アルナシ此ノ如キ  
昏愚ヨリ收來タル果實ハ他ニ非ズ數年ヲ出テズ兒子ノ長ズルニ從テ  
其愛情ヲ遺レ其思欲ヲ抗拒シ其希望ヲ敗損シ以テ所生ヲ蔑視忽畧ス  
ルニ至ル

乙 父タル者事業ヲ執テ困勉スルノ極一家ノ職務ト安樂トヲ顧ズ  
其兒子ニ接スルヤ罕ニ數言ノ罵詈ヲ以テシ或ハ彼等ノ費用多キニ堪  
ヘザルノ歎ヲ發スルノミニ過ザルハ憐ムベク亦賤ムベシ彼レ何權理  
ヲ以テ上帝ノ其子ノ爲メニ賜ヒシ時間ヲ他ノ事務ニ用非ルヤ或曰ハ  
ン此ノ如キ勉力ヲ用非ザレバ目下生活ノ方法ヲ以テ家族ヲ扶持スル  
能ハズト吾之ニ問テ曰汝ノ家族何權理ヲ以テ汝チノ其最嚴ナル職務  
ヲ忽慢セシムルヲ免レザルノ方法ヲ以テ生存スルヲ求ルヤ或又曰ハ  
ン此ノ如ク困勉スルハ兒子ノ爲メニ財產ヲ貽サント欲スルナリト吾  
問テ曰父タル者ハ子ニ貽ルニ其欲スル所ノ財產ヲ以テスルノ義務ア  
ルヤ子ノ利益ハ勞力ノ苦ヲ免レテ安逸ヲ得ルニ在ルヤ唯善ク修養セ

シ靈智一家ノ恩愛ニ感ズル心、父母兄弟姊妹ヲ愛スルノ念、家郷ノ安樂ヲ嗜ムノ情、順序規則正整ニ謹飭ナル風習、惡事惡人ヲ惡ムノ心、及德行ノ高ヲ知ル快活ノ感情ノミ乃チ兒子ノ爲メニ至貴ノ財産ニシテ唯之ヲノ福祉トナラシムル所ノ習慣ヲ用非ルニ因テ購得スベキ者ナリ

丙 思慮アル人ニシテ或ハ此侵害ノ罪ヲ免レザルコトアリ蓋シ親タルノ職分ハ上帝ノ設ル所ニシテ人ノ之ヲ犯サ、ルヲ欲ス夫レ結社シテ上帝ヲ拜禮スルハ一職分タリト雖モ亦之ヲ以テ父母ノ職分ヲ妨碍スルヲ得ズ父母タル者兒子ニ属スル時間ヲ公同結社ノ拜禮ニ費ス者ハ其特殊ナル義務ノ實ヲ誤解スルナリ余何ノ時間及幾許ノ時間ヲ教法ノ職務ニ費スベシト云テ欲セズ蓋シ此目下ノ講論ニ属セザレバ

ナリ然レドモ余思フニ此時間ハ之ヲ親ニ属スル時間中ヨリ取ラザルベカラズ之ヲ送迎交遊遊豫ニ供スルノ時間ヨリ取ルハ難カラザルベシ而シテ上帝ノ法ニ因ルニ兒子ニ属スルノ時間ヨリ之ヲ取ルハ不可ナリ

余示ス所ノ方法ニ因テ此義務ヲ行ヘバ全體ノ社會中ニ甚見易キ變化ヲ成スベキコト疑ナシ乃爲メニ貨殖ノ熱欲ヲ禁シ名利ヲ慕フ念ノ銳氣ヲ挫キ已ヲ快クセントスル烈シキ渴望ヲ遏ムベシ而シテ以テ家族ヲシテ一社會トナラシムベシ以テ父子ヲシテ上帝ノ設ケシ交互ノ倫ニ復歸セシムベシ彼等向ニ家郷ノ意義何タルヲ知ズ家郷ノ安樂ノ實ニ在ルコトヲ覺エズシテ將ニ之ヲ失ハントスル者ヲシテ舊ニ復セシ

ムベシ人皆幸福ノ陰影ヲ去テ眞物ヲ求ムベシ抑亦以テ各人ノ認知スル如ク鬱悶不平ニ終ル所ノ肉體誘惑ノ不斷ノ回轉ト限ナク歡娛ヲ追慕スルコト、ヲ捨テ當ニ向ニ未知ラザリシ所ノ高貴ニシテ家郷ヲ思フ喜樂及活潑ニシテ確然ナル福祉ヲ失ハザルベシ

### 親ノ權理

親ノ子ヲ制スル權理ハ固ヨリ其職分ニ平均ス彼レ子ノ幸福ト社會ノ平安トニ最裨益アルベシト思フ所ノ方法ヲ以テ兒子ヲ教育スル義務アレバ則已ムヲ得ザルヨリシテ此義務ヲ盡スニ欠クベカラザルノ事件ニ於テ兒子ヲ禁制スル權理アリ則爲メニ設ル所ノ制限ハ曰其義務ヲ盡スニ欠クベカラザルノ外ニ此禁制ヲ行フベカラズ曰之ヲ己ニ任

ゼラル、所以ノ目的ニ背キテ之ヲ行フベカラズ蓋シ能ク親タルノ職分ヲ行ヒテ此制限ヲ越エザルノ際ハ上帝ノ法ニ於テ爲メニ一個人及社會ヨリ妨碍ヲ加ルヲ防グナリ

### 此義務ト權理アル時限トヲ論ズ

甲 兒子ノ幼稚ナル時ニハ父母ノ子ヲ禁制スルコト獨擅ノモノタリ乃子ノ思欲ノ何タルヲ顧ミズシテ行ハル、ナリ

乙 子丁年ニ達シ自己ノ舉動ノ責任ヲ擔當スルトキニ至リテハ父母ノ責任及權理共ニ息ムナリ

所謂丁年ノ時期ハ開化ヲ極メシ邦國ニ於テ憲法ヲ以テ之ヲ定ム乃英國及合衆國ニテハ人ノ滿二十一年ヲ以テ丁年トナス故ニ人文社會ノ

尊重セラル、ノ際ハ律法ニ於テ能ク父子ノ權理ヲ定ムト雖モ父子ニ  
属スル道德ノ倫ヲ裁制スル能ハズ

丙 親ノ權理及職分ハ一時獨擅ニシテ他時共ニ息ム故ニ左ノ如キ  
思料ヲ設クルハ極テ理アリ曰兒子ノ成長スルニ從テ父母ハ漸ク益寬  
舒ナル道理ニ由テ禁制ヲ行ヒ以テ兒子ノ識見ヲ漸ク益廣張スルニ任  
セ且漸ク益彼レノ情欲素好ヲ遂ルヲ許スベシ是ヲ以テ彼レ自ラ舉動  
ヲ行フニ至ルニ方リ專勢ノ自然ニ許ス所ノ廣博ナル經驗ニ因テ其担  
當スル責任ノ爲メニ備辨ヲナスコトアルナリ

丁 故ニ余思フニ親タル者子ノ好欲ヲ遂シムルガ爲メニ自他ヲ害  
スル者ニ非ザレバ須ラク彼レノ年齢ノ長ズルニ准シテ之ヲ許シ且彼

レノ増長スル靈智ノ感動スル理由ニ適スル様ニ其威權ヲ用井ル方法  
ヲ節制スベシ夫レ少年ヲ以テ稚子ヲ遇スレバ之ヲ害スルコト固ヨリ  
疑ナシ而シテ稚子ヲ以テ少年ヲ待スルモ亦之ヲ害スルヲ免レズ然レド  
モ禁制ノ權理尙父母ニ存シ順從ノ職分尙兒輩ニ任ズルナリ父母ハ特  
ニ其禁制ヲ受ル者ノ性質ニ適合スル方法ニ依テ之ヲ用井ルベキノミ  
教師ノ威權ハ直ニ父母ヨリ委任セラレシ者ニシテ彼レ教務ヲ行フノ  
間ハ父母ノ代理人ノ倫ヲ以テ弟子ト相對ス故ニ師弟ノ倫ハ親子ノ倫  
ニ同シ乃尊卑ノ倫ナリ師ノ權理ハ命令スルニ在リ弟子ノ義務ハ服從  
スルニ在リ然レドモ余ガ前ニ父母ニ就テ説キシ如ク師ハ當ニ弟子ニ  
利スルガ爲メニ此權理ヲ用井ルベシ彼ハ人ノ親ノ爲メニ專門ノ代理

者ナリ此權理ノ使用ニ對シテ親ノ責問ヲ辭スルヲ得ズ而シテ自己ノ至善ノ巧オト審察力トヲ用非テ弟子ヲ管御教導スベシ且彼レ親ト合和スル能ハザレバ目他ノ連絡亦解セザル能ハズ然レドモ彼レ代理ヲ以テ専門トスルガ故ニ自己ノ靈智ト巧オヲ用非テ自己ノ職業ヲ行フベシ而シテ其之ヲ用非ルヤ一人モ此ニ干涉支梧スルヲ得ズ

○第四篇 子ノ法

本章ニ於テ子ノ職分權理及二者ノ時限ヲ論ズベシ

子ノ職分

第一 順從。此語ハ蓋親子ノ倫ハ親ノ子ニ求ムル所ノ者子果シテ視テ以テ至美至善タリトスルヤ否ニ關セズンテ甲ノ意志ハ親ノ意思ナ

ルガ故ニ乙ヲシテ之ニ從ハシムトイフノ意義ヲ指示スルナリ此規則外ノ者一アリ乃良心ノ禁限ニシテ親其子ノ視テ以テ邪曲トナスノ事ヲ行フヲ要スルノ權理ナク子モ亦此ノ如キ際ニ親ノ命ニ從フ義務アラズ子ハ只上帝ニ從ヒ何ノ痛苦ヲ受ルモ甘シテ忍フベシ彼レ此際ニ於テモ抗拒スルノ權理ナシ

此規則ヲ守ルベキノ道理甚明ナリ

甲 此規則ナキトキハ全部家法ノ企圖ハ無用ニ歸スベシ此企圖ハ前文ニ説ク所ノ者ヨリノ父母ノ靈智、知識、及經驗ニ資リ且兒子ノ善良ニ成長スルガ爲メニ此數者ヲ用非ルヲ其父母ノ勸勵スル所ノ愛情ニ賴リ以テ兒子ヲシテ能ク己ヲ利益セシムルニ在リ然レドモ兒子ヲ

シテ能ク自ラ教導管制セシムニル必要ナル年齢及經驗ヲ得ルノ前ニ  
ハ彼レ父母ノ威權ニ服従スルニ非レハ決シテ此數者ニ頼テ己ヲ利益  
スル能ハズ

乙 此レ兒子ノ職分ナルコトハ聖經ノ指教ニ因テ證明スル所ナリ  
埃及ヲ出ル記第二十章第十二節ニ曰「汝ノ父母ヲ敬スレバ則上帝ノ  
賜ヲ所ノ地ニ於テ遐齡ヲ享ベシ」ト此レ以弗所人ニ達スル書中使徒  
保羅ノ所謂應ニ許サルベキノ教誡ノ一條ノ神命ナリ箴言ノ篇ニ於テ  
モ丁寧訓誨スルハ此職分ニ過グルモノ莫シ而シテ孝不孝ヨリ生ズル  
效驗如何ヲ示スコト最詳ナリ此ニ數條ノ例ヲ掲グ箴言第一章第八節  
第九節ニ曰「我子、父ノ教ヲ守リテ母ノ法ヲ慢スル勿レ此二者ハ汝ノ

頭ノ閑雅ナル粧飾ニシテ汝ノ領ノ鎖鏈ナルベシ」第六章第二十節ニ  
曰「父ノ命ヲ守リ母ノ法ヲ慢スル勿レ」第十三章第十一節ニ曰「良子  
ハ父ノ教ヲ聽ケドモ不肖子ハ譴責ヲ聽カズ」新約全書ニモ亦此職分  
ヲ訓ル所少ラズ以弗所人ニ達スル書第六章第一節ニ曰「兒輩、上帝ニ  
於テ汝ノ父母ニ従フベシ此レ當然ノ理ナレバナリ」上帝ニ於テトイ  
ヘルハ蓋シ上帝ノ意ニ従フノ義ナリ

聖經中ヨリ拔萃セル此數條ノ文ニ因テ余ノ辨ズル所左ノ如シ

甲 聖經ニ於テ父母ニ順従スルハ神命ノ一ニ居ルコトヲ明ニ教誨  
セリ故ニ不順ノ罪アル者ハ當ニ人ノ命ヲ犯スノミナラズ亦上帝ノ命  
ヲモ犯スナリ故ニ此緣由ニ基キテ常ニ順従ヲ勸ムルハ吾輩ノ職ナリ

乙 此書ニ於テ父母ニ順從スルヲ考論シテ卑賤屈辱ノ状態トセズシテ却テ少年ノ表呈シ得ル所ノ品行ノ著バル、モノニシテ其貴ブベキ喜ブベキコト言フベカラズトセリ此レ從容間雅好愛ナルニ加フルニ美麗ヲ以テシタル着色ナリ

丙 此神命ヲ犯セバ即犯者ヲシテ非常特殊ノ罰ヲ受ケシム而シテ天啓ノ光ナキトキモ猶且人皆思察シテ上帝ノ罰責ハ不孝ニ從ヒ其惠佑ハ孝順ニ從フコトヲ確知スル必セリ抑少年タル者夫ノ世故ニ練熟セシ父母師傅ノ温和無私ナル慈愛ノ語ヲ以テ示セル訓誨ヲ捨テ只情欲ノ狂妄ナル推動ニ從テ自ラ禁制忍耐スル能ハザル者ハ其前途放縱沈淪ヲ免レザルヲ徴スルコト明ナリ

第二 子ノ父母ニ於ケル他ノ職分ハ敬ニ在リ此レ神ノ命ズル所ナリ其言ニ曰「汝ノ父母ヲ敬セヨ」ト敬トハ下ノ上ニ對シテ有ツ職務ト意見トヲ言ナリ上帝設クル所ノ倫ニ因テ父母ハ上ニ居リ子ハ下ニ位ス子ノ爵位及才能ノ父母ニ勝ルコト幾許ナリト雖之ヲ以テ上帝ノ向ニ設ケシ倫ヲ廢却スルヲ得ズ子ハ常ニ父ノ己ヨリ貴シト思フコトヲ確証シ且他人ノ爲メニ行ハザル職務ヲ之ニ行ヒ得レバ則恭敬ノ意ヲ表セザルベカラズ此ノ如クスルハ是レ毫モ卑屈ナルニアラズ却テ大ニ貴重ナルコト、思フベシ抑品行ノ顯著ニシテ最高上尊嚴ナルノ状態ハ一モ孝敬柔順ノ洽ク且深キニ若クハナシ此理ヲ他ニ推シ萬般ノ時勢ニ處シテ老者ヲ敬スルコト普通ニシテ温和ナルベキヲ知ルナリ



第三 子ノ他ノ職務ハ親愛即父ニ對シ其父タルヲ以テ當ニ有ツベキ特殊ノ愛情ヲ表スルニアリ父ハ此ノ如キ善美ノ品行アルガ故ヲ以テ子ノ親愛ヲ受クベキコトアリ然レドモ其他及此ニ關セズ彼レ子ニ對シテ天然ノ倫アルノ故ヲ其親愛ヲ受クベキナリ此理ニ因テ子タル者當ニ皆其毀缺ヲ藏クシ其過失ヲ蔽ヒ其災厄ヲ防ギ上帝已ニ付スル所ノ手段ヲ以テ爲メニ幸福ヲ求ムルヲ務ムルノミナラズ又且前ニ說キシ他ノ諸務ヲ行フコト一ニ彼レ吾ノ父タル故ニ之ヲ愛スルノ情ヨリスベシ子此職務ヲ行フニ方リ其勞苦タルヲ知ラズシテ却テ快樂タルヲ覺ルハ唯此愛情アルニ由ルナリ

第四 父母年老ルニ及テ天命ノ困厄ニ逢ヒ自ラ濟フ能ハザレバ子當

ニ之ヲ扶持スベシ然ルニ親ノ衰老ニ當リ身ヲ委メ以テ百方之ヲ安慰スルヲ甘ンゼザル者ハ稱シテ人トナスベカラズ

子ノ權理

甲 己ハ保養ヲ嬰メ即前文ニ示ス如ク父母ノ時勢ト地位トニ應シタル保養ヲ要ムルノ權理アリ

乙 己レニ利スルガ爲メナラズ又貪欲ノ爲メナラズ子ノ爲メニ最善良ナラント審定シタル所ニ從テ其威權ヲ用井ルヲ父母ニ望ムモ亦子ノ權理ナリ父母之ニ背キテ行ヘバ則子ニ對シ上帝ニ對スル務ヲ犯スノ責ヲ免レズ然レドモ是ガタメニ子ノ父母ニ對スル義務ノ解弛スルニ非ズシテ舊ニ仍テ其身上ニ存スルコト緊密ナリ甲ノ邪曲ヲ口

實トシテ乙尤ニ效フベカラス父ノ父タラザルハ子ノ不幸ナリト雖モ  
彼我相争フテ以テ之ヲ減却シ得ル者ニ非ズ况ヤ不孝悖逆ヲ以テスル  
ハ更ニ難シ

此權理義務アル時限ヲ論ズ

甲 順從 子タル者未第子ノ地位ヲ脱セザル間乃父母其子ノ舉動

ヲ担任シ而シテ子ニ父母ニ依頼スルノ間ハ順從セザルベカラズ社會

ノ重ンゼラル、内ハ律法ヲ以テ此時間ヲ定ムルコト諸國率子然リ時  
アリテハ父子ノ許諾ニ因テ此倫ノ此ヨリ早ク止ミ或ハ此ヨリ後マデ  
存スルコトナキニ非ズ然レトモ幼齡ノ終ル時ニ止ムヲ以テ適宜トス

ベシ爾後ニ至リテモ父母ノ助言ハ他人ノ助言ヨリ謹慎熟慮スベシ然

レドモ今子自ラ其責任ヲ負ヒ舉動ヲ行フガ故ニ父母唯助言スルノミ  
ニシテ強テ之ニ從ハシムルヲ得ズ

乙 子ノ良心ハ其弟子タル時限ノ終ル數年前ヨリ既ニ敦厚ニ事理  
ヲ審定シ得ルナリ故ニ此審定ヲ正直眞實ニ説示セバ父母之ヲ妨碍ス  
ベカラズ子ノ誤惑スルヲ思ヘバ之ニ告ゲテ悔悟セシムルヲ勉ルハ父  
母ノ職ナリ若シ終ニ之ニ告ゲテ悔悟セシムル能ハザレバ他人ニ於ケ  
ル如ク彼レノ所爲ニ任セテ其最神意ニ合セリト思フ方法ヲ以テ神ニ  
從フヲ禁ゼザルベシ

丙 父母ヲ愛敬スルノ義務ハ年長スルニ從テ止マスノ反テ更ニ増  
加ス子ノ長ズルニ從テ益己ヲ利セザルノ愛情ヲ有チ且益精細ナル敬

禮ヲ表シ得ルナリ父母老ルニ從テ漸ク子ノ看護ヲ求ムル情篤シ而シテ其幸福快樂ハ益之ニ由テ生ズルコト必然ナリ故ニ子成長スルニ從テ向ニ幼稚ノ際ニ父母ヨリ受ケシ慈愛ノ爲メニ相當ノ報酬ヲ爲シ且懇切ノ看護及精密ニシテ本心ニ出ヅル愛情ヲ以テ前ニ父母ヲシテ憂ヘシメシ粗暴放縱ナル行爲ヲ悔恨スルノ心ヲ顯ハスヲ忘ルベカラズ父子ノ倫如何ハ人畢ク知ルベシト思想セシニ然ラズシテ之ヲ度外ニ置キ省察セザル者甚多シ是レ吾大ニ懼ル、所ナリ夫レ一家ハ社會ナリ社會ハ之ヲ管理スル者ナカルベカラズ而シテ之ヲ管理スルノ權理義務ハ父ニ在リトスルノ意見早已ニ彼等ノ心中ヲ脫離シ之ニ代テ兒子ハ其欲スルマ、ニ生長シテ可ナリ親ノ禁制ヲ行フハ兒子ノ身ニ屬

スル自由ヲ妨害ストイヘル普通ノ思考アル者ニ似タリ然レドモ此ガ爲ノニ上帝ノ法ヲ廢シ且其不孝不順ノ所爲ニ附屬スル刑罰ヲ避ルヲ得ズ父ニシテ子ニ對スルノ職分ヲ怠ルハ自己或ハ兒子ノ爲メニ厚ク其後來困厄ノ種子ヲ播クナリ其子ヲシテ貪婪ニシテ顧慮スル所ナク妄ニ揮霍シテ節制セザルノ風習ニ慣レシムルヲ憂ヘズ且少年血氣ノ激發シ時様ノ惡弊ヲ逞クスルヲ見テ人間ノ精神ノ誘勵ナリトシテ笑娛シテ毫モ恥ルヲ知ラザル者ハ若シ兒輩ノ放蕩奢淫ノ爲メニ夭折シ己ヲシテ老テ子ナカラシムルニ非レバ白髮憂ヲ懷キテ黄土ニ歸スルコト疑ナシ悲マザルベケンヤ抑余前章ノ末ニ於テ師ノ職ハ父母ノ職ニ同シクシテ弟子ニ對シテ眞ニ人親ノ倫アリト説ケリ因テ曰ク弟子

ハ師ニ對シテ眞ニ人子ノ倫アリテ其職タル順從ニシテ第一ニ父母第二ニ父母ノ已ヲ託セシ代理ヲ以テ業トナス者ニ之ヲ行フベシ父ト師トノ倫ハ同等ニシテ弟子ハ二者ニ對シテ下等ノ者ナリ順從愛敬ヲ盡サマルベカラズ

倫理ノ自然ニ於ケル此ノ如クナルガ故ニ順從ヲ勸勵スルハ師ノ職之ヲ行フハ弟子ノ職ナリ師ノ此職ヲ盡スニ賴テ教育ノ利益及兒輩ノ幸福生ズ教道ナケレバ一箇貴重ノ習慣ノ成ル所アラズ教道ナクシテ幼者縱ニ交遊スルニ任セテ家中社會ノ禁制ヲ避ケ不斷ノ情慾ニ誘導セラレテ少年血氣ノ激動ヲ防ガサレバ凶邪ノ風俗ヲ養成スルコト必然ナリ年少ノ時ニ當リテハ教育嚴正ナラズシテ怯懦ノ念多キ師ヲ愛シ

テ之ヲ稱賛スルコトアリト雖モ其成長スルニ及デハ彼ノ名ヲ聞テ恨怒セザルコト罕ナルベシ

タスケルノ詩ニ云在昔庠序學校ニ一位ノ聖人ヲシ名ヲ教道ト曰ヘリ目ハ温和ニノ口莞爾タル笑ヲ含ミ語中ニ父母ノ慈惠風格及愛情ヲ帶ブ常ニ善ヲ勸ムルヲ樂ミ其看護ニ賴テ學問能ク剛堅繁盛ノ樹ヲ長ズ心意爲メニ訓誨セラレ情欲爲メニ控御セラレ而シテ思念總テ謹厚ニ歸ス若シ衆人中或ハ其禁制ヲ犯ス者アレバ之ニ對シテ和柔ノ目忽變シ猛烈トナリテ嚴怒ヲ發シ凜慄畏ルベキノ色愁眉ニ溢レ叱罵ノ聲之ヲ震シ彼レノ深ク自ラ悔イテ再向ノ眷遇ヲ求メ以テ過失ヲ補フニ至リテ乃止ム聖明此ノ如クナルモ蔑視シテ用非ラレザルヨリ病困ヲ極

メテ終ニ死セリ爾後講習止ミ爭先絶エ德行去リ學校變シテ戲謔ノ場トナリ不學無術ノ者座ニ上リ鸚舌ヲ以テ他人ノ論理ヲ吐キテ學士ヲ扮模シ既ニノ忽呆子ノ状態ヲ現ズルニ至ル此レ兒タル時學フ所ノモノ一切忘失シ而シテ父母ヲ勞苦セシメテ受クル所ノ費用ハ皆之ヲ漫遊娛樂ニ揮霍シテ悔ルヲ知ラザルナリ

○第三科 人文社會ノ一員タル人ニ對スルノチ分

官長ト市民トノ職分ハ此科ニ屬ス此職分ノ何タルヲ十分ニ理解セントスレバ人文社會ノ性質ト社會及一箇人ノ倫ヲ辨ゼザレバ能ハズ故ニ將ニ甲ヲ考論セントセバ先ツ乙ヲ考論スルヲ要ス因リテ余第一ニ人文社會ノ性質限界第二ニ管理即社會ノ義務ノ行ハル、所以ノ方法第三ニ官長ノ職分第四ニ市民ノ職分ヲ說解セント欲ス

○第一篇 人文社會ヲ論ズ

人文社會ハ幾分カ混合ノ質アル者ナリ故ニ首ニ先ヅ最單純ナル質ヨリ成ル所ノ社會ヲ考論スルコト必要ナリ因テ余今此章ヲ分テ二課トナシ第一ニ單純社會ノ憲法第二ニ人文社會ノ憲法ヲ説クベシ

○第一章 單純社會ヲ論ス

第一 單純社會ノ性質ヲ論ズ

甲 何類ノ社會トナク必某様ノ約束ニ基キテ生ズ此約束ハ社會ヲ成ス所ノ此方ノ一個人ト他方ノ全部ノ社員ト互ニ結盟スル者ナリ此方能ク他方ニ或ハ他方ノ爲メニ某事ヲ行フヲ約シ而シテ自ラ之ヲ行フベキ道德ノ義務ニ任ズルナリ故ニ萬事ニ臨シテ良心即道德ノ義務ヲ認ムル能力アルハ社會ノ保存ニ欠クベカラサル者ニシテ之ヲケレバ社會保存スルヲ得ズ

乙 此約束ハ他ノ約束ノ如ク彼此互ニ結盟スル所ノ事件ノミニ就キテ其効アルナリ一個人ハ社會ニ附屬スル義務アルニ非ズ而シテ實

ニ自ラ好シテ義務ニ任ズルガ故ニ其盟約スル所以ノ方法及目的ノミヲ守レバ可ナリ此ニ外ナル諸事ニ於テハ關係スルノ責ナキコト向時ノ如シ

丙 人ノ社會成レバ則此ニ道德ノ義務ヲ辨ズル意思アリ故ニ彼此共ニ己ニ屬スル約束ノ部分ヲ勉行スベキ道德ノ義務ニ任シ社會ハ其一個人ニ約スル事ヲ行ヒ一個人ハ其社會ニ約スルコトヲ行ハザルベカラズ孰レカ怠リテ之ヲ行ハザレバ其約束ハ他ノ約束ノ如ク解釋シテ復效ナシ

丁 一個人ハ其盟約シテ担任スル事件ノ外總テ關係スルノ責チキコト向時ノ如クナルガ故ニ社會ニ於テ彼レノ盟約シテ担任スルノ事

ニ非ザルモノヲ之ニ要スルノ權理アラズ何者彼レ社會ニ對シテ此ノ如キ義務ナキ故ニ社會之ニ對シテ此ノ如キ制令ヲ行フヲ得ザルコト猶他人ニ對シテ然ルヲ得ザルガゴトシ且社會ノ全權ハ各一個人ノ委任セシ權ヲ限リテ之ヲ有ツ故ニ此限界ヲ犯セバ社會復社會ニ非ズシテ專モ權力ヲ有タズ其行爲ハ實ニ社會ノ外ニ在リ而シテ社會ノ一員ヲモ管制スルヲ得ザルコト猶他人ヲ管制スルヲ得ザルガゴトシ

戊 社會ノ人員各同一約條ヲ以テ入社ス乃每一個人同一義務ヲ以テシ社會モ亦同一義務ヲ以テ每一個人ニ對ス故ニ苟クモ社會ノ重ンゼラル、間ハ彼此共ニ同等ノ黨友ニシテ皆同等ノ權理アリテ一様ノ義務ニ任ズルナリ

己 一個人及社會ノ互ニ行フベキ義務ヲ定ムルモノ之ヲ社會ノ憲法ト謂ヒ之ニ因テ結社ノ目的如何并ニ目的ヲ遂グル方法如何ヲ著ハシ乃一個人ノ社會ニ約シテ行フ事社會ノ一個人約シテ行フ事及彼此結社スル所以ノ目的ヲ示スナリ

庚 此ノ如キ方法ニ依テ結社スルハ每人自ラ好シテ然ルナリ向ニ自ラ好デ結社スレバ則後ニ自ラ好テ解社スルモ不可ナラズシテ各員自然ニ其權理アリ而シテ社會モ亦此ノ如キ權理アリ然レドモ此レガ爲メニ雙方ヲシテ往々不便不利ヲ招カシムベキガ故ニ何等ノ約條ヲ以テ此ノ如クスルコトアルヤヲ詳明ニ憲法及約束書ニ記スルコト通習ナリ苟此件ヲ記載シ彼此共ニ守ント約セシ後ハ忽慢スベカラザル

コト猶他ノ件ニ於ケルゴトシ

第二 此ノ如キ社會ヲ管理スル方法ヲ論ズ

此ノ如キ結社ノ目的ハ某事ヲ行フニ在リ然レドモ社會ニ於テ三箇ノ意見ノ一ニ從テ行ヒ得ルコト明ナリ三箇ノ意見トハ一ニ異同ナキモノニ多數ナルモノニ寡數ナルモノヲ言フ品行卑劣ニシテ禽獸ニ等シキ者ノ意見ニ異同ナキヲ望ムハ庸愚タルヲ免レズ一人ノ裁斷ニ

**依頼シテ多人ノ所爲ヲ決スルモ亦不是ナルコト明ニシテ結社ノ全部**

ノ目的ヲ顛覆シ而シテ全社ヲノ其成ル所以ノ各一個人ヨリ更ニ劣弱ニシテ功用ナカラシムベシ寡數ノ意見ヲ以テ社會ヲ管理セント思フハ此レ同等ナル人物ノ寡數ハ其才智道德トモニ多數ニ勝ルト思フナ

リ誤ルト謂ベシ是ニ於テカ凡ソ社會タルモノ皆必多數ノ意見ニ從テ管理スベキコト明ナリ

第三 多數ノ權力ヲ禁制スル所以ノ限界ヲ論ズ

前ニ説ク所ノ如キ多數ハ已ムヲ得ザルヨリ社會ノ全權ヲ委任セラル、ナリ然レドモ彼其權力ヲ全ク且特殊ニ社會ヨリ基キ致シ而シテ固ヨリ社會ノ權力ニ越ユル者或ハ之ト異ナル者ヲ有ツヲ得ズ今社會ノ權力ハ各一個人ノ爲セシ委任ノ爲メニ制限セラレ且社會ノ一個人ニ對スル義務ノ爲メニ管御セラル故ニ多數ノ權力ハ正ニ同シキ限界中ニ於テ禁制セラル、ナリ

故ニ一層明言スレバ社會ヲ構造スル一個人ノ其社會ニ委任シテ行ハ



シムルモノ、外ハ多數ノ之ヲ行フ權理ナシ

甲 多數ハ社會ノ目的ヲ變易スル權理ナシ若シ夫レ變易セラレバ則此ニ他ノ社會成ルナリ而シテ一個ノ社員タル者之ニ入ルモ入ラザルモ欲スル所ノマヽナルコト初時ニ於ケルゴトシ

乙 彼レ凡ソ事社會ノ目的ヲ越エ或ハ之ニ異ナル者ヲ行フ權理ナシ然ル所以ノ理ハ前文ニ述ル所ト異ナラズ

丙 且彼レ社員ノ入社シテ約託セシ方法ニ異ナル者ヲテ以事ヲ行フ權理ナシ憲法ニ揭示スル方法ハ每一個人之ヲ以テ自ラ管制スル者ニシテ此ニ異ナルモノヲ以テ然ルヲ要セラレズ

丁 且彼レ社員ヲ全ク同等ニ接遇スベキ理ヲ犯害スルニ涉ルノ事

ヲ行フ權理ナシ諸員均ク同一ノ規則ニ服従スルガ故ニ其權理ナキモノヲ行フハ條約ノ原理ニ背クト謂ベシ

故ニ今條約ノ自然ニ基キテ左ニ述ル所明ナリ苟多數ニ於テ此ノ如ク委付セラレシ權限内ニ事ヲ行フ際ハ一個人彼レノ裁斷ニ從フベキ道德ノ義務アリ何者一個人向ニ自ラ好シテ此義務ヲ担当セシ故ニ之ヲ實行セザルベカラザレバナリ

他方ヨリ論ズレバ社會當ニ一個人ニ對シテ之レト共ニ制定セシ條約ヲ實行シ且結盟セシ約束ノ方法ト精神トヲ以テ結社ノ目的ヲ成就スベシ且此レ當外形或ハ權宜ノミノ事ニ非ズ乃道德ノ義務ニシテ彼此自ラ好テ担任セシ者ナリ各員之ヲ守ルベキコト猶此ニ異ナル時勢ニ

於テ締盟セシ他ノ約束ニ於ケルゴトシ加之社會及多數此職事ヲ犯シ  
 或ハ一個人ヨリ委任セラレザル事ヲ行ヘバ此ノ如キ所爲ニハ一員モ  
 服從セザルベシ而シテ社員ハ此所爲ヲ毫モ行ハレザル者或ハ社外ニ  
 行ハル、者ト見做シテ之レガ爲メニ管制セラレズシテ可ナリ  
 此ニ述ル所正論ナレバ則因テ以テ社會時限ノ長短如何ヲ辨明スベシ  
 夫レ社會ハ某ノ方法ヲ以テ行フ所ノ某ノ目的ノ爲メニ設ケシ社會ニ  
 シテ入社スル者ハ皆此情狀ヲ以テ入社ス而シテ社會ノ全權ハ此方法ヲ  
 以テ此諸事ヲ行フニ成ルナリ若シ彼レ此ニ外ナル事ヲ行ヘバ之ヲ行  
 フ時ニ當テ彼レ此社會ニ非ズシテ乃他ノ社會ナリ多數寡數ノ別ナク  
 根原ノ契約ニ從テ行フ者ハ社會ニシテ然ラザル者ハ員數ノ多少ヲ問

ハズ皆社會ニ非ルナリ公認ノ會社ヲ編成スル事件モ亦同方ヲ以テ管  
 理セラレ此ノ如クニ會合セシ人員ヲシテ一箇ノ公社トナラシメ且律  
 法ノ許認ヲ受ケシム然レドモ此ノ如キ會合ノ原理ヲ妨グルニ非ズ故  
 ニ會社ハ人員ノ多少ヲ問ハズ根原ノ約束ヲ固守スル者ナリ而シテ社  
 會ナリト告示スル事ハ不正ニシテ利益ナシトス

今假ニ社員皆咸ク其意見ヲ變ゼリト見做シニ此際社會ノ解散スルコ  
 ト論ヲ待ズ若シ彼レ他ノ社會ヲ造立セント欲スレバ造立スル可ナリ  
 然レドモ造立ノ法ヲ一變スルマデハ未他ノ社會タルヲ得ザルコト明  
 ナリ

又假ニ社會ニ於テ根原ノ會合ヲ止メザルトキニ財産ヲ受ケ而シテ會

合ノ目的ヲ成就スルガ爲メニ之ヲ有セシニ今社中ノ全員或ハ多數ノ者所謂目的ヲ變ゼンニ余説ヲ設ケテ曰其中幾人カ尙根原ノ目的ヲ行ヘバ則彼レ社會ナリ其他員ハ目的ヲ變スルカ故ニ復社會ニ非ズ財產ヲ有スル權理ハ根原ノ憲法ヲ固守スル者ニ歸ス若シ諸員總テ目的ヲ變ゼシトキハ社會解散シ其財產ハ復タ社員之ヲ有スルニ非ズシテ而シテ所有ノ權更ニ公共ニ屬シ或ハ律法ニ定メシ繼嗣者ニ歸スルナリ他ノ目的ヲ以テ合同セシ者ハ名ハ同シト雖モ之ヲ嗣有スル權理ナキコト猶他ノ市民ノ然ルコトシ立法官ノ特ニ法例ヲ設ケテ之ヲ彼ニ交付スル權理モ明確ナル者ニ非ズ立法官ハ其意志ニ從テ財產ヲ人ニ付與スル權理ヲ享有セズ而シテ此ノ如キ准許ハ立法官ノ享受セシ權外

ニ在テ蓋シ無益タルヲ免レズ

此章ノ理論ハ今日自ラ好シテ締合セシ社會ノ事務ヲ處スル者ノ殊ニ注意スルヲ要ス此ノ如キ社會ニ入ル者ハ固ヨリ某ノ目的ノ爲メニ入社シ而シテ他ノ目的ノ爲メニ然ルニ非ズ此目的ト之ヲ成ス所以ノ方法トハ當ニ分明ニ社則ニ揭示スベシ而後多數ノ社員此ノ如ク揭示セシ目的ノ外ナル事ヲ行ヒ或ハ揭示セシ方法ニ從テ行ハザレバ條約ノ基礎タル章程ヲ犯スナリ是ニ於テ社會宜シク解散スベシ權理ヲ犯ス此ノ如キコトヲ防禦スルハ一個人ノ職分ナリ不幸ニシテ暴力剛強ニシテ能ハサレハ自ラ退社セザルベカラズ然ラザレバ自ラ好シテ締合セシ社會ノ利益全ク亡滅スベシ若シ全社會此侵害ヲ行ヘバ則社會

變化シ而シテ其名ハ舊ニ異ナラザル故ヲ以テスト雖モ變化ノ量ヲ減ズルニ非ズ若シ此ノ如キ集會ノ目的ニ制限ヲ加ヘザレバ其次第二増殖スルニヨリ何様ノ治法ヲ用非ルモ之ヲ管理スル能ハザルニ至ルベシ某ノ一個人一個ノ目的ノ爲メニ他人ト集合セシトキニ幾多ノ目的及之ヲ成ス所以ノ何等ノ方法ノ爲メニ責望セラル、ヤヲ知ラザレバ誰カ之ト共同シテ仁愛ノ圖議ヲ企ル者アラシヤ且人民群ヲ成メ此ノ如ク國ノ諸部ニ集會スルコトアリ而シテ卒爾ノ多數ノ意思ニ從テ此

**目的ヲ轉換シ減省シ或ハ増殖スレバ則自ラ好テ締合セシ集會忽變シ**

テ茲論貪驕ナル人物ノ器具トナリテ福惠ニ代ヘテ災害ヲ致スベシ

## 第二章 人文社會ヲ論ズ

人文社會ノ何タルヲ更ニ明白ニ理解スルガ爲メニ先ヅ社會ノ政府ト異ナル所以ヲ論ズベシ社會ハ政府無シト雖モ存立スルコトアリ政府ハ僅ニ器具タルニ過ギズシテ社會ノ用ニ供シテ其目的ヲ達セシムル者ナリ政府ハ代理人ニシテ社會ハ本人ナリ

甲 此事ヲ論述スルニ臨ンテ余ノ向ニ數々陳ベシ金言ヲ掲ケテ曰  
 人。皆。目。身。ニ。對。シ。テ。權。理。ア。リ。乃。人。皆。自。己。ノ。身。體。及。身。心。ノ。能。力。ヲ。用。非。ル。權。理。ア。リ。テ。苟。モ。上。帝。ニ。對。ス。ル。ノ。責。任。ニ。背。カ。ザ。レ。バ。其。欲。ス。ル。マ、ニ。之。ヲ。用。非。ル。コ。ト。自。由。ナ。リ。此。制。限。内。ニ。於。テ。其。欲。ス。ル。マ、ニ。之。ヲ。用。非。テ。可。ナ。リ。而。シ。テ。某。ノ。方。法。ニ。依。テ。之。ヲ。用。非。ル。ニ。方。リ。他。人。然。ル。所。以。ヲ。問。ヘ。バ。吾。レ。之。ヲ。欲。ス。ル。故。ナ。リ。ト。イ。フ。メ。ニ。シ。テ。更。ニ。其。緣。由。ヲ。纒。陳。ス。ル。ヲ。要。

セズ此權理ハ人間普通ノ者ニシテ我ニ屬スルト同量ニシテ亦他人ニ屬スルガ故ニ我ガ幸福ヲ増ス具ヲ有スルノ權理即能吾ヲ禁制シテ他人ノ幸福ヲ増ス天授ノ具ヲ妨害セザラシム吾自己ノ能力及其由テ出ル所ノ幸福ヲ増ス方法トハ吾之ヲ用井ル全權アレドモ之ニ外ナル者ニ對シハ吾一個ノ權理アルナシ

右ノ制限ヲ犯サズシテ吾才力ヲ用井レバ果實ヲ生ジ此果實ニ對シテモ吾亦權理アルナリ此ニ人アリ主者ナキ土地ヲ開墾シテ穀物ヲ收ム

レバ此穀物ニ對シテ權理アリ此レ彼ノ勞力ト地力トノ并合ノ產物ニ

シテ粒々皆彼ノ辛苦ヲ帶ビ實ニ彼ノ才力ト一樣ニ其有ニ屬ス而シテ彼レ其欲スルマ、ニ之ヲ用井ルノ權理アルナリ

乙 然レドモ人皆此レ或ハ彼ノ方法ニ依テ其黨友ノ權理ヲ犯害スルノ體力ヲ有シ彼レノ生命ヲ奪ヒ或ハ欲スルマ、ニ之ヲ役使シ或ハ彼ノ財貨ヲ強奪竊盜シ其他千百ノ手段ヲ以テ彼ノ天授ノ權理ヲ犯害スルコトアリ人多少此ノ如ク互ニ相傷害スル心情有ルコトノ實事タルハ慨歎スベシ彼レ本ト傷害ヲ好ムニ非ズ特ニ其禁禦スベカラザル貪心ヲ快クセント欲スルモ他ヲ傷害セザレバ能ハザルニ方リ已ムヲ得ズシテ此ニ出ルナリ若夫レ一己ノ嗜欲ヲ逞クセント欲セザルトキハ彼モ亦其良心ニ因テ不正ノ事業ヲ咎メテ邪曲ヲ行フ者ヲ懲スベキコトヲ辨明スベシ此ノ如キ時際ニ處スレバ某人唯自己ノ体力ヲ以テ傷害ヲ防ギ或ハ既ニ受ケシ傷害ニ報イ得ルナリ初ニ能ク權理ヲ犯害

セシ者ハ爾後之ヲ反復シ且被犯者ノ討要ヲ抗拒シ得ル力ヲ有ツコト  
 常ナリ若シ人各自己ノ腕力ヲ以テ其傷害ヲ報イ權理ヲ護スレバ則天  
 下ハ禁禦スベカラザル争鬪ノ場トナルノ外アルナシ彼レ力ヲ加ヘテ  
 正直ヲ伸レバ此モ亦力ヲ加ヘテ侵害ヲ勉ムルガ故ニ争鬪スルモ常ニ  
 益ナクシテ終ニ是非ヲ討論シテ公義ノ在ル所ヲ審定スルノ功ヲ奏セ  
 ズ夫レ吾心中ニ復讐ノ念ヲ激發セザレバ自己ノ憤悶ヲ慰スル能ハズ  
 復讐ノ念發スレバ徒ニ邪惡ヲ増スノミニシテ犯者ヲシテ被犯者トナ  
 ラシム是ニ於テ限ナキ邪惡、鎮壓スベカラザル怨毒ヲ長ズル攻鬪ノ  
 基礎成ルナリ此ノ如キ人生ノ景況ハ普通ノ戰亂ヲ致スノ外地ナカル  
 ベシ

丙 然ラバ則如何シテ公義行ハレ得ルヤ如何シテ正直能ク保護ヲ  
 受ケ犯者能ク罰責セララル、ヤト問バ答曰人ノ固有スル交際ノ性質ニ  
 於テ此ガ爲メニ備辦ヲナスナリ衆人皆自然ニ其黨ノ社會ニ托スルニ  
 正直ヲ保護シ犯者ヲ報復スルコトヲ以テシ其黨人モ亦自然ニ此威權  
 ヲ占ムル様ニ生造セラル黨人ハ己レ此威權ヲ占ルコト當然ナリト思  
 フノミナラス又之ヲ用非ザレハ罪アリト思フナリ人皆己レ此倫理ヲ  
 以テ社會ニ對スト思ヒ社會亦己レ此ノ如キ倫理ヲ以テ彼ニ對スト思  
 ヒ此方法ニ因テ人類ノ社會設立セララル、ナリ  
 人類ハ此ノ如クニ自己ノ腕力ヲ以テ其犯者ヲ報復シ其正直ヲ保護ス  
 ル權理ヲ委託シ之ニ代ヘテ己ノ爲メニ之ヲ行フ社會全体ノ力ヲ受ク

ルナリ自己ノ激怒セシ心情ヲ以テ復讐ヲ圖ルニ代ヘテ他人ノ手ヲ以テ復讐行ハル其人タル本件ノ事ニ就テ自ラ利スル所ナクシテ其審判ニハ被犯者服従スベシト自然ニ思フ者ナリ加之耶蘇教ニ於テ社會ハ上帝ノ法例ニ係ルガ故ニ其威權ニ從フヲ以テ道德ノ職務トシテ勸誘ス使徒保羅ガ羅馬人ニ達スル書第十三章第一第二第五節ニ曰「各人宜シク在上ノ權ニ服スベシ蓋未ダ權ノ神ニ由ラザルモノアラザルナリ所有ノ權ハ皆神ノ命ズル所タリ故ニ權ニ逆フ者ハ神ノ命ニ逆フ且逆フ者ハ必定罪ヲ已ニ致スナリ故ニ爾惟怒ニ緣ルノミナラス乃亦良心ニ緣リテ之ニ服スベシ

丁 凡ソ社會ハ右ニ陳ル道理ヲ以テ設クルモノニシテ結構如何人

員多少ナ顧ミテ然ルニ非ズ人類ノ在ル所即社會ノ在ル所ナリ人類集合シテ交際ヲ結ヘバ從テ此道理上ニテ一社會ヲ成シ每員ハ各全員ニ依托シ全員ハ各員ノ保護ヲ担任ス嘗テ聞ク一行ノ旅客アリテ西國ノ山川ヲ跋涉スルノ際ニ會々一人アリ同伴ノ一人ニ殺害セラレタリ實ニ慘毒ノ所爲ト謂ヘシ一行總テ冤枉ヲ申理スルコト首務ナリト思ヒ乃暫ク程ヲ休メ疑ハシキ者ヲ捕住シ陪審者ニ命シテ直ニ證據ヲ檢査シテ斷案ヲ立テシメシニ忽判決シ本人ノ罪狀明白ナリケレバ即時ニ死ニ處セラレタリ是ニ於テ衆復進行セリ

又他ノ一例ヲ舉シニ英國ノ外科醫師リチャルドソン氏地極ノ邦土ヲ巡行セシ際ニ偶深山ニ入りシコトアリ己レニ伴フ者僅ニ下士官一人

水夫一人嚮導タル印土人一人ノミリチャルドソン氏獨リ水夫ヲ牽井  
 テ他處ニ住キ數時ヲ經テ天幕ニ還來リシニ豈圖ラン士官死シテ其狀  
 銃殺ニ係レリ是時ニ印度人心中大ニ安カラサルアリ乃告テ彼レ自ラ  
 銃殺セリトイヘリリチャルドソン及水夫ノ二人ニテ千里ノ巡行中ニ  
 一社會ヲ成シ而シテ目前ノ事件ニ就テ社會ノ權ヲ行ハシコトヲ勉メ  
 因テ屍ヲ檢査セシニ背ニ銃傷アリテ自ラ射撃シテ死セシコトノ實ナ  
 ラザルヲ知ルニ足リ今印度人ノ犯者タルコト分明ニシテ罪死ニ當セ  
 リ水夫行刑者トナラント請フリチャルドソン聽カズ己レ上等士官タ  
 ルヲ以テ其任吾ニ在リト思ヒ乃犯人ノ幕ニ入ルヲ伺ヒ自ラ之ヲ銃殺  
 セリ余右ノ所爲ヲ見テ且其己ムヲ得ザルヲ悲歎シ且其公正ナルヲ稱

譽ス想フニ行刑者ハ當然ノ權限ヲ犯サズシテ其所爲毫モ非斥スベキ  
 ナシ公正ノ事タルニ外ナル者ヲ爲サスシテ本分ノ何タルヲ嚴密ニ認  
 メタル知識ニ由リテ行ヘリ此レリチャルドソン氏ノ意見タルコト明  
 ナリ何者其巡回報告書ニ本件ノ所爲及事情ヲ詳細ニ記録シタレハナ  
 リ

戊 前文ノ説ク所ニ因テ知ルヘシ社會ハ人ニ一個ノ權理ヲモ與フ  
 ルニ非ズシテ唯其上帝ヨリ受ケシ權理ヲ保護シテ之ヲ享有セシムル  
 ノミ之ヲ賜フ所ノ上帝ハ人ノ生造セラル、所以ノ理法ニ因テ之ヲ保  
 護ス社會ニシテ各一個人ノ正直ヲ保護シ犯罪ヲ懲罰シテ毫モ當ヲ失  
 ハザルハ至善ニ其職ヲ盡スト謂ベシ此ノ如クナレハ一個人各其任ヲ



全ク社會ニ委任シテ疑慮スル所ナシ故ニ某人ノ持論ニ財産ハ固ヨリ是非邪正一モ社會ノ製造ニ出デザルナシトイフハ謬誤タルコト明ナリ今吾某ノ動作ヲ賞シ或ハ罰スベシトイフハ可ナリ然レドモ此能ク動作ヲシテ正直ナラシメズ亦邪曲ナラシメズ抑人吾ヲ保護シテ吾權理ヲ失ハザラシムルコトアリ然レドモ初メヨリ吾有ニ非ザル財産ハ今之ヲ保護シテ吾有トナラシムル能ハズ

第六 人各社會ニ欠クベカラザル一員トシテ生造セラルレバ則各此ノ如キ社員タル權理アリ彼レ其生存スル所ノ社會ノ他員ト幾多ノ事際ニ於テ其様ヲ異ニスル可ナリ且彼等ト全ク同シカラサル意見ヲ持スルモ亦可ナリ苟モ一ノ權理ヲ害セザンバ交際世界ノ恩准ヲ總有ス

ルヲ得ルナリ彼レ外客タル可ナリ單身ナル可ナリ朋友ナキモ亦可ナリ尙社會ヨリ保護シテ其人タルノ諸權理ヲ失ハザラシム夫レ生レテ一日ニ滿タザル小兒モ同一慈愛ノ威力ヲ以テ監視保護セル不仁者アリテ之ヲ犯セバ社會ハ各人保護ノ爲メニ設ケシ律法ノ譴罰ヲ免ル、能ハズ是ニ於テ自ラ新ニ社會ヲ設立セント欲シ及此目的ノ爲メニ無人ノ地ニモ亦移住セントスル一邦人ハ其欲ルマ、ノ道理ニ從テ之ヲ設立スル權理アリト思フ者ノ誤タルヲ知ルベシ彼レ人間ノ交際法ヲ犯シテ社會ヲ製造スル權理ナシ蓋シ上帝ハ人ノ社會ヲ以テ生存スルヲ望ムコト必然ナリ而シテ彼レ交際法ヲ犯サマレハ此權理ヲ奪ハルベカラズ其意見行爲ハ我ト異ナルモ可ニシテ一個ノ侵害ヲ行ハザレ

ハ其交際ノ性質ニ於テ之ニ與フル恩准ハ依然トシテ彼ニ存ス然ルニ  
 吾レ其異論アルヲ惡ミテ彼レ宜シク別ニ自ラ社會ヲ設クベシトイフ  
 ハ不可ナリ彼レ此社會ノ一員タル權理アリテ他員ノ權理ヲ妨ゲザル  
 限リニ社中ニ居ルヲ禁ゼラレザルコト猶他人ノ然ルゴトシ  
 余吾ガ遠祖タルピリユタンノ徒カ誤惑セシコトアリト思フハ此故ヲ  
 以テナリ當時亞米利加ハ定住ナキ蠻民ノミ居ラ占ル所ナルニ彼徒ハ  
 上帝ヲ信奉スルノ自由ヲ保タンヲ欲メ此ニ來リ既ニシテ結社ノ基礎  
 ナ固クセンガ爲メ己レ教法ニ就テ緊要ナリト思フ意見ニ違逆スル  
 者ヲ追逐シ甚シキハ殺戮スル威權ヲ擅有セリ彼レ其良心ノ訓誨ニ從  
 テ上帝ヲ信奉スルハ其權理ナリト思ヒ而シテ此ノ如クスルハ衆人ノ

公通ノ權理ナルコトヲ肯ゼザリシ此レ其ロシヤールリアムヲ追  
 逐シバアナスト宗徒ヲ苛遇シクアケルノ徒ヲ殺シ及自己ト思想ヲ異  
 ニスル者ニ對シテ苛虐ノ圖謀ヲ構セン所以ナリ然レドモ教法自由ノ  
 實ニ何タルヲ確知スルニ及デ其專ラ己ノ爲メニ要求セシ者ハ一人ノ  
 私有ニ非ズシテ乃人間ノ共同ノ權理タルコトヲ發明セシナラン

巳 前文ノ説ク所ニ因テ以テ人文社會ト自ラ好テ締盟セシ社會ト  
 人民中ニ存スル集會トノ辨別ヲ知ルベシ人自ラ好デ締結セシ社會ハ  
 之ニ入ラント欲スルガ故ニ之ニ屬シ其遂グント欲スル目的ヲ立テ其  
 目的ヲ達スルニ足ルト思フ手段ヲ用非其適宜ナリト思フ時間ニ於テ  
 社中ニ在リ或ハ其一員ノ其欲スルマ、ニ退社スルモ可ナリ若クハ諸

員合議シテ全ク社會ヲ廢解スルモ亦可ナリ  
 人文社會ニ至テハ然ラズシテ好デ之ニ入ルヲ得ス亦好デ之ヲ退クヲ  
 得ズ人初テ生ルレバ直ニ此社中ノ一員トナリ而シテ社會直ニ之ニ其  
 保護ノ利益ヲ與フルナリ彼レ生命アル間ハ須臾モ此保護ナカルベカ  
 ラズ此他人ノ彼ニ與フル者ニシテ彼レ同シク之ヲ他人ニ與フベキ義  
 務アリ彼レ此義務ヲ辭スルヲ得ズ亦社會ノ保護ヲ借リズン生存スル  
 ナ得ズ此一種ノ氣力ニシテ毎所毎時ニ身体ヲ圍繞スルコト猶大氣ノ  
 如クニシテ彼レ呼吸ヲ絶ツニ非ルヨリハ之ヲ去ル能ハザルナリ  
 然レドモ或ハ曰シ社會ハ一個人ノ如ク意思誤惑スルコトアリテ社員  
 ニ不當ノ禁制ヲ加ヘ甚シキハ其上帝ニ對スルノ義務ヲ妨碍スルコト

アリ此實事ナリ然ラバ則之ヲ如何シテ可ナラン曰一個ノ社員ニシテ  
 社會ノ權力ヲ抗拒スルハ極テ難キコト明ニシテ彼レ其眞實ナリト思  
 フ者ヲ衆人ニ説示シテ務テ多ク其レヲシテ己ニ同意セシムルヲ得ル  
 權理アリ又曰若シ能ク其黨類ノ意見ヲ變ゼシムレバ則彼等己ト合和  
 シテ復自他意見異ナラザルベシ今彼レ若シ此ノ如クスル能ハズ亦力  
 ナテテ抗争スル能ハザレバ則如何シテ可ナラン答曰私情ヲ挾マズ勇  
 敢ニシテ其公正ナリト思フ所ヲ行ヒテ利害ヲ顧ミザルノ外他ノ方法  
 ナシ或ハ此ガ爲メニ身ヲ殺スニ至ルト雖モ正道ヲ守テ死スレバ此ニ  
 因テ衆心ヲ變改セシムルコト最確切ナル言論ニ勝ル者アリ困苦ヲ加  
 フルコトハ能ク困苦ヲ加フル者ヲ反動スルコト痛快ナリ故ニ古人曰

「死ヲ守テ道ヲ善クスル者ノ血ハ教會ノ種ナリ」社會ニ至大至要ノ進歩ノ基キ來ル所ハ實ニ此ノ如ク死ヲ守テ道ヲ善クスルニ在ルナリ

庚 一個人ト社會トノ此關係ハ人性ノ最趣味アル愛情ノ根原タリ社會ハ無數ノ福惠ノ由テ出ル所ナルガ故ニ宜シク感謝尊敬親愛ノ心ヲ以テ之ヲ仰グベシ此レ吾爲メニ父母ニ似類スル者ニシテ吾レ之ニ多量ノ孝順ヲ盡サマルベカラズ吾人誰カ特視ヲ以テ隣友都人一邦及全邦全部ノ同シク市民タル者ヲ遇スベキヲ知ラザラン是ニ於テハトリオチズムノ情成ル此情ハ吾品行ヲ粧飾シ得ル一ノ至大貴重ノ徳タル愛國ノ念ニシテ吾輩本國ノ爲メニ諸物ハ固ヨリ生命モ猶且失フヲ辭セザルコトアルハ此ガ爲メナリ國ノ爲メニ死スルヲ以テ甘樂ニシ

當然ナリトスルノ意見ニ二千年來衆人ノ心中ニ刻メ消ヅズ夫レ特ニ社會ヲ愛スルコト此ノ如キノ情アルヨリ吾レ一己ヲ愛スルノ念ニ克チ以テ既ニ睿智アリ又交際及道德ヲ能スル者タルノ地位ニ達スルナリ

辛 社會ヲ愛スル此ノ如キ當然ノ心ニ出デ吾レ社會ニ他様ノ威權ヲ付與セント欲スルコト自然ニ之ナシ蓋他様ノ威權ハ或ハ福利ヲ致シ或ハ災害ヲ致スヲ免レザレバナリ今普通教育ハ幸福ノ者タルコト疑ナシ而シテ其只公管ニ委スルニ因テ至好ニ保存セラル、ナリ抑社會ニシテ一個人ノ工勞教法ノ意見其私費及他ノ諸種ノ無罪ナル行爲ヲ桿制スルハ凶害ヲ生ズルノ外爲ス所ナシ故ニ社會ノ要求如何ヲ詳明スルコト必要ニシテ社會ハ一個人ノ許諾ヲ得ザルモ政府ヲ維持ス

ルニ欠クベカラザル費用ノ彼ニ属スル分ナ之ニ課シテ當然ナリ市民モ亦其應分ニ過グル者ヲ課セラルレバ之ヲ抗拒スル不可ナルナシ而シテ政府ハ他ノ目的ノ爲メニ金額ヲ徵收セント欲スルモ然スベキ威權ヲ社會ヨリ委任セラレシコトヲ證スルニ非レバ能ハス多數ノ社員某企圖ハ善良ナリ仁愛ナリト思フモ未十全ナラザルアリテ第一ニ彼等ハ豫メ考定セシ所ヲ以テ施行スル威權ヲ交付セラレシヤノ一問生ス此ニ頗ル体ヲ成シタル社會ハ教會立チ及教官ハ律法ノ保佑ヲ受クルコトヲ要スト思ハン然レドモ人民目ヲ其律法ヲ以テ教法ヲ保佑スルノ權ヲ其立法官ニ交付セシヲ證スルニ非レバ此皆着手スルヲ得ズ憲法ノ幾條ニ於テ此權ヲ交付スル明文アリト指示セズシテ輒ク之ヲ

行ハバ擅專ト暴戾トナ免レズ

## 第二章 社會ノ目的ヲ遂グル所以ノ方法

前文單ニ社會ノ憲法及義務ヲ説キ且毎社員ノ免レザル義務ヲ論ズル此ノ如キニ及ベリ此義務タル一個人ノ爲メニ互相交接ノ法ヲ侵サル、ヲ防ギ且既ニ侵サルレバ爲メニ其害ヲ補償スルニ在ルナリ然レドモ此義務ハ全社會一体トナリテ勉メ行ヒ得ルニ非ズ今甲アリテ乙ノ物ヲ竊マンニ社會皆其執ル所ノ業ヲ舍テ以テ賊ヲ看破鞠問責罰スルニ從事スル能ハズ或ハ若シ竊盜ヲ處スノル法ヲ設クベキニ方リ社會全体之ヲ設ル能ハズ而シテ代理人ニ付任セザルヲ得ズ專ラ此事務ニ習熟スル者ハ多分ノ費用ヲ要セズシテ完好ニ之ヲ成シ彼ノ平

常他ノ職業ニ孜々タル者ノ行フニ勝ルコト疑ナシ此レ努力ヲ分ツコトノ道理上ニ於テ明ナリ  
 今吾レ思フニ政府ハ代理者ノ体ヲ成ス者ニシテ社會ノ爲メニ其一個人ニ對スル此義務ヲ行フナリ  
 又諸社會ハ他ノ獨立ナル社會ト各様ノ交際ヲ成スコトアルガ故ニ此事務モ亦同シ代理者ニテ施行スルヲ以テ便利トスルコト常ナリ政府ノ任ズル此二件ノ職務ハ大抵相連合スト雖モ實質ハ自カラ區別アリ今亞米利加合衆國ニ於テ各邦政府ハ多量ニ甲務ヲ委付セラレ而シテ總政府ハ甲務ト乙務ノ幾分ト全權ヲ委付セララル、ナリ  
 此ニ因テ之ヲ見レバ政府タル者自カラ三部ニ區分ス

甲 某人ノ愚昧ナルヨリ黨人ノ權理ヲ犯シ無罪ニシテ刑典ニ觸ル、コトアリ或ハ故意ニ他ヲ害シテ罰ニ處セラル、コト當然ナレドモ時勢ノ自然ノ要スル所ニ過グル苛刻ノ刑ヲ受クルコトアリ此弊ヲ避ケント欲セバ務メテ詳密ニ犯害ノ狀件ヲ條列シ且分明確切ニ某罪ニ某罰ヲ當ツルコト專要ナリ此乃律法ニシテ前文説ク所ノ如ク代理者之ヲ製スベシ此代理者ヲ立法官ト稱シ其一員ヲ立法者ト稱スルナリ  
 余説ク所ノ如ク立法官ノ權力ニ制限アルコト明ニシテ社會ノ一個人ニ對シテ盡サント欲スル義務ヲ施行スルノ外ハ權アルナシ社會ヨリ委任スル所此ノ如キニ過ギズ何者社會ノ委任セント欲スル所此ノ如キニ過ザレバナリ

立法者ニシテ社會ノ委任セザル權ヲ占メ或ハ委任セラレシ權ヲ行フ  
 モ之ヲ委任スル所以ノ目的ニ背ケバ權理ヲ犯シテ侵奪ノ責ヲ免レズ  
 乙 然レドモ今試ニ律法立チ罪名明ニシテ罰則定マルコト、假想  
 スベシ此律法タル一個ノ某ノ實件ニモ關係スルナシ何者其設立セシ  
 トキニ之ニ感シテ利害ヲナス實件生ゼザレバナリ

今某人此法ヲ犯セリト告訴セラレバ乃律法ヲ此案件ニ貼附スルコ  
 ト當務ニシテ之ヲサシガ爲メニ宜シク第一ニ被告者ノ告訴ノ如キ  
 所爲ヲ行ヒシヤ否ヲ檢シ第二ニ果シテ此所爲證明ナレバ其律法ヲ犯  
 スヤ否乃律法ノ禁限内ニ在ル舉動ニ係ルヤ否ヲ檢スベシ第三ニ此亦  
 果シテ然ルコト判然タレバ律法ニ於テ本件ノ犯害ニ指定スル所ノ罰

則チ告示スルヲ必要トス此レ則政府ノ一科タル司法官ノ職ナリ

丙 此ノ如ク律法ヲ此案件ニ貼附スルノ後ハ之ヲ實地ニ施行スル  
 コト至要ニシテ此レ政府ノ第三科タル行法官ノ任スル所ナリ

政府此三科ノ事ニ逐一注意スレバ三者實ニ獨立シテ相從屬スルナク  
 各社會ニ於テ定メタル詳明ノ職務ニ任シ此職務ノ制限内ニ於テ社會  
 ヨリ責問ヲ受ク而シテ社會ニ非ル者ヨリ受ケザルコト知ルベシ且此  
 獨立ハ決シテ之ヲ指命スル方法異ナルニ從テ變ズルニ非ズ夫レ社會  
 ニ於テ代理者ヲ指命スル方法一ナラズシテ便ニ從テ宜ヲ擇ムコトアリ  
 然レドモ其固有スル責問ノ權ヲ代理者ニ棄與スルニ非ズ譬バ社會  
 其立法官或ハ行法官ヲシテ司法官ヲ指命スル職ニ任ゼシムルコトアリ

リ然レドモ司法官ハ立法官或ハ行政官ニ對シテ獨立ナルハ猶他ノ方法ヲ以テ指命セラル、トキニ於ケルゴトシ社會ハ指命ノ權理ヲ某科ニ交付スルニ因テ一モ他ノ權理ヲ之ニ交付セズ審判者ハ立法者ノ爲メニ指命セラル、ト雖モ之ニ對シテ獨立ヲ失ハズ猶立法者が審判者ノ爲メニ指命セラル、モ之ニ對シテ獨立ヲ保ツベキガゴトシ二者何レモ自己ノ權内ニ在テ社會ニ於テ指定セシ職分ノミナ的切ニ行フベキ義務アリ是故ニ每科各他科ニ關照セズシテ自ラ奉職ノ章程ヲ定ムルコト適當ナリ

此三官ノ初二個ハ小區ニ分ル、コト常ナリ今立法官ハ通常之ヲ不同ノ景況ヲ以テ撰擧セラレシニ科ニ分ツ此異様ノ狀態ニシテ社會ヲ代  
理シ以テ互ニ相制スルガ爲メニシテ則側頗邪辟ノ立法ヲ防グ所以ナ  
リ

司法官モ亦常ニ區分シ審判者ハ立法ヲ說解講明シ而シテ事實ヲ檢査スルハ陪審者ノ任ナリ行法官ハ常ニ一人ニシテ次等ノ代理者ヲ用井テ律法ヲ行フナリ然レドモ時アリテ別ニ閣臣ヲ備ヘ以テ顧問ニ資シ其同意ヲ得ザレバ擅ニ自ラ爲ス能ハズ  
時アリテ文書ニ社會契約ノ原理ヲ揭示シ政府ノ各科ノ特權ヲ條陳シ且之ヲ指命スル方法ヲ列記ス此レ合衆國ニ於テ然リ又時アリテ此原理ト常例トハ既ニ社會ノ進歩ト共ニ成長シ而シテ不易ノ習慣ヨリ推講スル所ノ理ニシテ即之ニ因テ設立セシ原理ナリ



此レ英國ニ於テ然リ何レニ於テモ此ノ如キ原理ト行爲トハ其明文ニ  
 掲ゲラル、ト默悟セラル、トノ別ナク國ノ憲法ト稱スル者ナリ  
 國ノ異ナルニ從テ官職ヲ授任スル方法大ニ同シカラズシテ奉職ノ章  
 程亦一樣ナラズ故ニ甲ノ國憲ニ在テハ政權全ク之ヲ世襲シ乙ニ於テ  
 其幾分ハ世襲シテ幾分ハ撰任シ丙ニ至テハ全ク之ヲ選任ス今英國ニ  
 於テ行法官一科ノ立法官ハ世襲ニシテ他科ノ立法官ハ撰任ナリ合衆  
 國ニテハ行法官ト立法官ノ兩科共ニ撰任ニシテ司法官ハ元老院ノ助  
 言許允ヲ以テ行法官ヨリ指命セラル各邦政府ニ於テハ指命ノ方法異  
 同アリ以上述ル所ニ就テ何レノ政体ヲ取ランヤト問フ者アレバ蓋之  
 ニ確答スルコト極テ難シ人民ノ爲メニ最善キハ彼レノ現今ノ道德及

交際ノ景況ニ於テ其實地ニ施行スルヲ妨ゲザル所ノ政体ニ在リ某ノ  
 人民ハ情欲ニ誘勸セラレテ道德力ノ禁制ニ感格スルコト薄弱ナルノ  
 甚シキ專ラ道德力ニ倚賴セシ政府ニシテ能ク一日モ存スルアルナキ  
 ニ至レリ此際ニ於テ下等卑陋ナル理由即畏懼ノ理由猶滅セズ而シテ  
 抑壓政治武斷權略ノ外ニ恃ムベキ者ナシ吾レ果シテ此事ノ然ルヲ知  
 レリ國家ノ擾亂ハ此ノ如キ政体ノ成ルニ及デ終ルコト常ナリ其既ニ  
 成テ世俗屈從ノ風ニ慣染シ而シテ道德ノ禁制微弱ニシテ未以テ自ヲ管  
 理スルカヲ人ニ供スルニ足ラザル時ハ姑ク世襲政治ヲ用非ル可ナリ  
 此レ臆裁ヨリ成リ名門右族ノ權ト習俗慣例ノカトヲ以テ威權ヲ保存  
 スル者ナリト雖モ當時國民之ニ安ズル限ニ必シモ不善ト謂ベカラズ

國民ノ靈智ヲ開進シ道德ヲ修養スルニ從テ政治漸次ニ選任ニ選リテ  
 妨碍ナシ其至當ナル道德ノ景況ニ達スルニ及ベバ乃全ク選任トナル  
 ヘシ夫レ道德ノ理ニ因テ自ラ管理セント欲スル人物ノ爲メニハ道德  
 ノ理ニ倚頼スル政治ノ真正ノ政体ナルコト疑ヲ容レズ苟モ互相交接  
 ノ法ニ從テ自ラ管理セント欲スル者ニメ收斂ノ爲メニ壓迫セラレ畏  
 懼ノ心ニ屈從スベキ謂ナシ靈智アリ道德アル人物ノ爲メニハ己ノ意  
 志ニ出デ自ラ公義ヲ行フハ他人ニ費額ヲ拂ヒ其督責ヲ受テ公義ヲ行  
 フヨリ實ニ勝ルトス然レドモ假令督責セラレテ公義ヲ行フモ之ヲ行  
 ハザルヨリ好キガ故ニ己レ必善行ヲ行ハンニ他ノ方法ナケレバ人ニ  
 費用ヲ拂ヒ其督責ヲ受テ之ヲ行テ可ナリ上帝ハ各一個人ニ道德ノ禁

制ニ背カザル自主自由ノ幸福ヲ賜ヘリ故ニ先ヅ方正ナランヲ欲セズ  
 シテ徒ニ自由ナランヲ望ムハ何ノ益アラヤ

説テ此ニ至リ疑問應ニ合衆國ノ現今ノ政体ハ永續スル者ナルヤ否ニ  
 歸着スヘシ則答テ曰此ノ如キ依政ヲ維持センニハ必人民適量ノ德義  
 ナ有ツテ要スルコト論ヲ待タズ此量ノ德義ヲ有テ及之ニ達シ得レバ  
 政府立ツベシ否ラザレバ頽廢ヲ致フ能ハズ或ハ一時之ヲ有ツモ之ヲ  
 保存セザレバ政府亦頽廢スベシ社會ノ造法ハ何様タルモ總テ自扶ノ  
 カナシ此力ハ唯各自ノ德義中ニ在リ而シテ政府ノ体裁ハ必國民ノ道  
 德ノ景況ト相比例スベシ夫レ德義ノ民ハ其道德力ヲ以テ抑壓ヲ蔑視  
 シ而シテ何様ノ國憲ニ支配セラレハノ別ナク全ク自由ヲ失ハズ淫蕩

ノ情欲ニ克ツ能ハザル民ニ至テハ否ラズシテ威力ニ制服セラル、ヲ免レズ何者彼レ唯威力ノミ以テ吾ヲ保護ノ外人ノ犯害ヲ防グベシト思ヘハナリ而シテ苟モ保護ヲ受レバ足レリトシ甘シテ抑壓セラル、ニ任スベシ故ニ封建ノ時ニ當テ微弱ナル獨立ノ地主ハ自ラ一人ノ強剛ナル會長ニ媚專シ以テ二十。會長ノ無限ノ凌轢ヲ避ントセシコトアリ

### ○第三篇 政府ノ官吏ノ職分

前文述ル所ニ基キ數言ヲ以テ政府官吏ノ職分ヲ説クベシ政府ハ社會ノ代理者ニシテ其威權ハ社會ヨリ得來ルナリ此社會及社會ト一個人トノ倫理ハ上帝ノ設クル所ニシテ政府ノ官吏ハ上帝ノ法ニ因テ社會ノ機關タル責ニ任ズ而シテ此法ニ從テ其職分ヲ盡スベシ故ニ他人ノ

行爲己ニ異ナルモ亦顧ズ我レ上帝ノ臣ニシテ特命ノ事務ヲ守リ上帝ノ告示スル所ノ此倫ヲ管理スル所以ノ道理ニ適從シテ行ハザルベカラズ

政府ノ官吏ハ立法司法及行法ノ者ナリ

### 第一 立法官吏

甲 立法官ノ職ハ人ノ交際ノ理一個人ト社會中ニ在ル倫及彼此ノ交互ノ義務ヲ通曉スルニ在リテ之ニ因テ其權力義務制限セラル而シテ此ノ如ク通曉セザレバ何ノ行爲ニ就テモ其公正ナルヤ否抑壓ナルヤ否ヲ知ル能ハズ此知識ナケレバ明白ナル良心ヲ以テ事ヲ行ヒ得ズ

乙 此ニ某ノ社會アリテ彼レ之ガ爲メニ律法ヲ立ル者ナルニ此社

會ヲ合附スル所以ノ契約ノ本質ヲ通知スルコト職分ニシテ此契約ハ  
 社會契約ノ普通ナル條款及他ノ事件ヲ包有シ加之總テ右社會契約中  
 ニ在ラザル條款ヲモ詳記シ且政府ノ諸科ノ權限ヲ立定スルナリ故ニ  
 此通知ナクシテ立法官トナル者ハ當ニ兇惡ナルノミナラズ亦侮笑ヲ  
 免レズ其害一個人ニ止ラズシテ并セテ全社會ニ及ブナリ凡禍災ヲ致  
 ス事狀ニ就テ最酷烈ニシテ且廣布スル者ハ昏愚妄庸ニシテ凶惡ナル  
 立法ヨリ來ル者トス人皆此分明ナル理論ヲ至當ニ熟察スレバ立法ノ  
 官途ニ登ラント競フ者較少ク國民ニ在テ精密思考シテ之ヲ撰任スル  
 ノ便ヲ得ルコト較大ナルベシ

丙 既ニ其權力義務ヲ辨ズルコト詳ナルノ後權力ヲ用非ント欲セ

バ之ヲ制限スル區域中ニ於テ之ヲ交付スル目的ニ背カズ其知識才幹  
 ナ盡シテ以テ全社會ニ至善ナランガ爲メニ然ルヲ要ス彼レ普通及特  
 殊ノ契約ノ管理ヲ實行センニハ然ルコトヲ己ニ委任セラル所ノ事狀  
 ニ於テ公平ニ之ヲ實行スベシ彼レ他人ノ動作ノ責ニ任ゼシメラレザ  
 リシトキハ之ニ任ズルニ非ズ彼ハ某市坊某州里殊ニ某黨派ノ機關ニ  
 非ズ乃全社會ノ機關ナリ故ニ某州里某黨派ニ利セントシテ其權力ヲ  
 用非レバ職ニ背キ國ニ背キ上帝ニ背キテ醜名ヲ史冊ニ刻シ永ク天下  
 後世忌惡スベキ者ノ標的トナルナリ

丁 其權限外ナル事務ニハ一切干涉セザルベシ然ルニ目前已テ得  
 サル變故ニ際スルニ非ズ亦異常ノ時勢ニ迫ラル、ニ非ズシテ國憲ノ

許與セシ權力ヲ越テ舉動ヲ行ヒ或ハ之ヲ行フ所以ノ計圖ヲ設ルハ大ニ不可ナリ此ニ唯己ニ委任セラレシ權力ノミニ在テ他ハ之レアルナシ若シ今委任セラレザル甲ノ權力ヲ行フヲ可トスレバ乙ナル者ヲ行フモ可ニシテ遂ニ諸件ノ權力ヲ行テ不可ナルナキヨリ道理ニ於テ彼レ權力總テ己ヨリ出ルト自認シ是ニ於テ侵犯ノ禁制復効ナクシテ自主自由向來亡滅スルナリ若シ立法官ノ權力微小ニシテ社會ノ目的ヲ遂グルニ足ラザレバ不便利生ズベシ然レドモ普通ノ自主自由ヲ滅スル道理ニ因テ之ヲ救済セントシ爲メニ一ノ不便利ヲ除キ以テ他ノ不便利ヲ除ク手段ヲ害スルニ比スレバ暫ク此不便利ヲ忍テ多少ノ改革ノ必用ナルコト分明ナルヲ待テ徐ニ處置スルノ勝ルニ若カズ

但憲法ニ於テ豫メ之ガ備ヲ設ケザリシ一種非常ノ事件生シテ速ニ着手スベキトキハ右ノ限外ニシテ行法官已ムヲ得ズ其特權ヲ以テ斷行シテ可ナリ既ニ此事件終ルノ後ハ亦黨友タル市人ノ許准ヲ受テ爲ス所アルベシ

## 第二 司法官吏

甲 司法官吏ハ社會ノ一個人ト結ビシ約束ノ某部分ヲ行フガ爲メニ政府ノ獨立ナル一科ノ員ニ列シ特殊ノ代理人タリ前文ニ説ク所ノ如ク其指命セララル、様子如何ヲ顧ズシテ其指命セララル、ニ從テ直ニ社會ノ代理人ナリ而シテ唯社會ノ代理人タルノミ

裁判官ハ正ニ立法官ト同シ方法ニシテ結社約束及其爲メニ代理スル

所ノ社會ノ某ノ人文契約ノ道理ニ因テ管束セラル此レ其威權ノ制限ナリ若シ此制限ヲ犯セバ罰責ヲ受ルヲ免レズ

乙 此契約ノ條款ハ製シテ律法トナル故ニ彼レ人ニ強テ之ニ從ハシムベシ

是ニ於テ裁判官ノ立法官ニ對スル所以ノ倫理ヲ知ルベシ兩者共ニ根元ノ契約ノ道理ニ因テ制限セラレ彼此ノ行爲能ク此契約ノ許ス所ニ係レバ正確ナリ故ニ立法官其任ヲ犯シテ國憲ニ背キタル律法ヲ設クレバ裁判官ハ人ニ強テ之ニ從ハシムベカラズ甲國憲ヲ犯害セシ事實アルモ乙尤ニ効ヒテ同所爲ヲ行フヲ得ズ故ニ裁判官ノ某件ノ法ヲ強フルノ前ニ其國憲ニ背カザルヤ否ヲ審定セザルヲ免レザレバ時ニ臨

テ實ニ立法官ニ異ナラザル權有リテ其許准ヲ受ザレバ法ハ行ハル能ハス

是ニ於テ裁判官ノ職ノ左件ニ在ルヲ知ルベシ

甲 其權力ノ由テ來ル所ノ約束ノ道理ヲ通曉スルコト

乙 其本人タル社會ノ律法ヲ通曉スルコト

丙 畏懼ノ心恩念ノ念ナクシテ此律法ヲ解明シ且一個人ニモ亦社會ニモ偏黨セスシテ此律法ノ各個ノ案件ヲ担任スルヲ示スコト

丁 法ノ真意ニ從テ法ノ判決ヲ申告スルコト

戊 陪審官ハ政府ノ司法代理者ノ一部分ナルカ故ニ其至善ノ知識ト才幹トニ從テ勤厚ニシテ側頗ナラサル純潔正直ノ心ヲ以テ同シ

方法ニ依テ事實ヲ評定スヘシ

第三 行法官

行法ノ職ハ單純ナルニ非レバ混合ナリ

甲 單純ナル者ハ政府ノ立法科及司法科ヨリ命ゼラレテ爲スベキ  
コトヲ行フトキニ在リ此ノ如キハ成法官武官等ニ於テ然ルナリ彼レ  
法ノ善良靈智ナルヤ否ヲ問フ權理ナシ何者此責ニ任ゼザレバナリ其  
務ハ唯在職スル限ニ法ヲ行フニ在リ若シ其命ゼラレシ舉動ノ道德ヲ  
害シ或ハ國憲ニ背クト思フトキハ官ヲ休去ルベシ其官ニ在テ他人ノ  
其威權ニ因テ己ニ望ム所ノ職務ヲ行フヲ欲セザル權理ナシ

乙 混合ナル者ハ立法ト行法トノ職務ヲ一人ニ任ゼラル、トキニ

在リ乃首領官長ノ他部ノ立法官ノ行爲ヲ總テ之ヲ禁制スルノ權ヲ許  
與セラル、如キトキニ然リ

其職務立法ニ在ル限ニ他ノ立法官ト同ジキ道理ニ從フベシ

時トシテ其權力限アリテ憲法事件ニ過ギズ又時トシテ廣ク諸種ノ事  
件ニ及ブ或ハ其批准ヲ得ザレバ一切ノ律法行ハル、ヲ得ザルコトア  
リ或ハ唯期限アリテ然ルコトアリ乃他部ノ立法官某ノ時勢ニ處シ其  
批准ヲ經ズシテ法ヲ立ルコトアリ

行法官ノ此立法ノ權力ノ其國憲ノ制限内ニ行ハル、ノ後ハ彼レ當ニ  
行法官トナリ國憲ニ因テ之ニ委付セシ者ノ外ハ商議スルノ權アルナ  
シ道德及國憲ノ義務ヲ犯セリト認メラル、律法ニ非レバ之ヲ行フベ

キ義務アルコト他ノ行法官ニ異ナラズ此ノ如ク認メラル、トキハ當ニ辭職スベシ然ルニ其職ニ於テ責望スル所ヲ行フ能ハザル理由アルモ退去セズシテ依然官ニ居ル理由ナシ行法官ニシテ政府ノ立法及司法科員ノ既ニ決定セシ者ヲ省ミズシテ專ラ一己ノ見ニ誘導セラレテ事ヲ處スレバ大ニ官途ト道德トノ義務ヲ壞亂スルノ罪アリ此ニ因テ人或ハ其地位ノ本質ヲ理會スル才能ナキニ非ザレバ要務ニ任ズルニ必要ナル自ラ管理スルノ力不幸ニシテ缺乏ナルコト明ナリ

且行法官ハ之ニ委任セラル、ノ外他ノ權ヲ行フベキノミナラズ又之ヲ委任スル所以ノ目的ノ爲メニ非ザレバ此權ヲ行フベカラズ今夫レ公利ヲ長センガ爲メニ權力ヲ交付セラル、コトアリ然レドモ此レ人

チシテ偏愛私怨ヲ快クセシムルガ爲メニ與ルニ非ズ殊ニ政黨ヲ立テ及他黨ヲ挫敗スルガ爲メニ非ルハ論ヲ待タズ政界上ノ弊害ハ自他ニ普及スルノ故ヲ以テ邪惡更ニ小ナルニ非ズ苟モ廉恥ヲ破レバ國事ト私事トナ間ハズ均シク不善ニシテ或ハ曰ワズト信ジ及人ニ説ク者アルハ大ニ不可ナリ

#### 第四篇 市民ノ職分

前文陳ル所ニ由リテ知ルベシ市民ノ職分ニ二種アリ甲ハ一個人ニ屬スル者乙ハ社會ノ一員ニ屬スル者ナリ此二件ニ就テ數言ノ論說ヲ述ベ以テ本題中ノ此部分ヲ結ブベシ

第一 一個人ノ職分ヲ論ズ



一個人各社會ノ一員トナルニ從テ善良ナル信心ヲ以テ其自然ニ設立  
セシ約束ヲ遵守スベキ義務アリ此ニ因テ其務ムル所左ノ如シ

甲 自他往來ノ際互相交接ノ法ヲ守ルベシ

此法ノ實質如何ヲ既ニ上文ニ詳解セリ人皆他人其權理ヲ犯ササルヲ  
希望ス此希望ハ我ニ責ルニ亦他人ノ權理ヲ犯ササルベキノ義務ヲ以  
ス加之互相交接ノ法ノ實質ハ吾ヲシテ當ニ社會ノ存立ヲ害スル所爲  
ヲ避ケシムルノミナラズ又社會ノ幸福ヲ侵ス所ノ者ヲ行ハザラシム  
此理ハ萬般ノ事際ニ處シテ同シカラザルナクシテ吾レ他人ノ有スル

**幸福ヲ得ル至小ノ方法ヲ犯スベキ權理ヲ占有スレバ則此占有ヲ許サ**

レシコトヲ口實ト爲シテ何様ノ侵犯ヲ行フモ不可ナルナシ

乙 其侵害セル、シ償フノ權理ヲ以テ全ク社會ニ委付スベシ

**此事ハ既ニ社會契約ヲ論ズルニ就テ思考ヲ經シ所ナリ他人我ニ侵犯**

傷害ヲ加ルトキ我レモ亦之ヲ以テ彼ニ報イルハ不可ナリ此ニ人アリ  
テ賊ノ爲メニ家ヲ襲撃セラレンニ彼レ苟モ社會ヲ重ズル限ニ賊ヲ防  
ギ逐除スルコトアルベシ何者此際ニ臨テ社會之ヲ助力スル能ハザレ  
バナリ然レドモ己ノ身ヲ護シ或ハ賊ヲ社會ニ送り審判ヲ受ケシメン  
ガ爲メニ之ヲ捕縛スルニ必要ナル者ノ外ハ他ノ力ヲ用非ルベカラズ  
既ニ捕縛セシノ後之ヲ死ニ處スレバ人ヲ殺スノ責ヲ免レズ

丙 社會ノ定權ニ適從シテ設立セシ法ヲ遵守スベシ

故ニ吾レ法ノ不善不便ヲ權知スルノ故ヲ以テ此義務ヲ避ケ得ルニ非

又吾レ既ニ法ノ善惡、便不便、如何ノ審判ヲ社會ニ任ゼシガ故ニ固ク  
 此審判ヲ守ルベシ此ノ如クナラザレバ人皆自ラ己ノ案件ヲ裁斷スル  
 審司トナルベシ之ヲ詳言スレバ彼レ他人ニ固ク法ニ順從スルヲ望ム  
 ト雖モ己ハ其欲スルマ、ニ或ハ從ヒ或ハ從ハザルヲ許サルベシ故ニ  
 今人利子ノ多寡ヲ制限スルノ法ノ不便ナルヲ明ニ認レドモ之ガ爲メ  
 ニ此法ヲ侵犯スルノ權理ナシ而シテ能ク社會ニ勸メテ己ノ如キ意見  
 ナ懷カシノ得ルマデハ之ニ從ハザルベカラズ  
 第二 都人ハ社會ノ至要ナル一員タルノ義務アリ他方ヨリ論ズレバ  
 此義務アルニ因テ其他人ト締結セシ條約ヲ實行セザルベカラズ故ニ  
 其當ニ務ムベキ所左ノ如シ

甲 至貴ノ位ニ居テ勢力至大ナル者ヨリ至賤ノ地ニ在リ最微弱ニ  
 シテ倚賴スル所ナキ者ニ至ルノ凡一個人ニ保護ノ利益ヲ及ボシ全ク  
 其權理ヲ失ハザラシムルコトニ盡カスベシ

乙 各個人ノ侵害ヲ受クルニ方リ之ニ當然ノ補償ヲ與ルコトニ盡  
 カスベシ

丙 人文社會ノ律法ヲ施行シ凡罪惡ノ一個ハチ犯スト社會ヲ犯ス  
 トノ別ナク查明シテ罪ニ處スルコトニ盡カスベシ此律法ノ侵害セラ  
 ル、ヲ見レバ犯者ヲノ公判ニ服セシムル當然ノ手段ヲ用井ルベシ  
 且此ニ注意スベキコトアリ彼レ此義務ヲ行ハンガ爲メニ管ニ其財產  
 ナ以テスルノミナラズ又身体ノ努力ヲ以テ之ヲ担任スト思フベシ故

ニ賊黨ノ人家ヲ破壊スルヲ見テ袖手シテ救ハザル者ハ與ガリテ罪アリト謂ベシ社會若シ怠慢ニシテ某人ヲ保護シテ權理ヲ享ケシメザレバ社會ノ各員正理ニ於テ均ク分ニ應ジ某人ノ損失ノ多少ヲ問ハズ之ヲ補償セザルベカラズ

丁 市民ハ甘シテ適應ノ公費ヲ拂フベキヲ責ヲ担任スル務アリ社會ハ費用ヲ受ケザレバ維持スル能ハズ故ニ彼レ入社スルニ因テ應分ノ費用ヲ拂ハザルベカラズ加之凡ソ費用ヲ拂ヒシガ爲メニ利益ヲ受ル所以ノ方法ノ大ナルハ未タ人文社會ヲ維持スルガ爲メニ金額ヲ費セシニ如クアラズ余思フニ聖書ニ於テ人ニ教ルニ律法ノ責望スル所ヨリ更ニ遠ク往キ且更ニ多ク行フベキヲ以テス書ニ所謂「汝一里往

ケト命ゼラルレバ二里往クベシ」トノ示教ハ公務ニ勤勞スルコトニ就テ設ケ而シテ正理ニ於テ己ヲ要セラル、ヨリ更ニ多ク行フコトヲ勸ルナリ

戊 且市民ハ其黨友ヲシテ益善良嘉祥ナラシムベキ當然ノ光景ヲ現ズル所以ノ事業ヲ行ハシムルガ爲メニ分ニ應ジテ費用ヲ給スベキ道德ノ義務アリ此事業ノ行ハル、ヨリ彼レ其身及其産ニ實利ヲ得彼レ某ノ事物ヨリ至要ノ利益ヲ導キ致セバ他人ヲ助ケテ此事物ヲ設爲スルコトヲ甘樂セザルベカラズ

己 社會ハ其指命スル所ノ代理者ノ行フ職分ヲ守ルベキ道德ノ義務ニ任ズ故ニ社會ハ代理者ヲシテ此職分ヲ行ハシムル道德ノ責ヲ辭

スルヲ得ス實ニ此ノ如キコトアルガ故ニ此ニ因テ知ルベシ社會ノ各員ノ職分ハ意中眞實ニ其レニ指命セラル、所ノ職分ヲ施行スベシト思ハル、代理者ヲ撰任スルニ在ルコト明ナリ然ルニ偏黨ノ念一己ノ情ヲ快クセント欲シテ其所爲之ニ反シ此端正ナル義務ヲ顧ズシテ人ヲ撰テ官ニ任ズレハ全ク其勢力ヲ用井テ社會ノ基礎ヲ傾ケ最惡ムベキノ患害ヲ行フト謂フベシ

吾レ社會ハ一定ノ制限内ニ於テ權力ヲ用井ルト思想スルコト右ノ如キニ至レリ然レドモ不幸ニシテ必シモ此ノ如クナラザルコトアリ故ニ此際ニ於テ一個人如何シテ之ヲ處スベキヤノ問生ズ

答曰ク之ニ處スルノ方法ハ三ニ過ギズ曰從順ニシテ争ハズ曰抗拒ス

曰直道ヲ行テ艱苦ヲ忍フ

甲 從順ニシテ争ハザルニ因テ弊害ヲ致スコトアル鮮カラズ人皆邪曲ナル律法ニ從フ權理ナキ故ニ禍福ヲ計ラズシテ一ニ上帝ニ從ハザルベカラズ且苟モ邪曲ノ所爲ニ屈スルハ大ニ後人ヲ害スベキ惡事ノ爲メニ之ガ先例ヲ設クルナリ故ニ從順シテ争ハザルコトハ人文行爲ノ正規タル能ハザルコト明ナリ

乙 力争シテ抗拒スルコト

一人ヲ以テ社會ノ權勢ヲ抗拒スルハ理ニ適セズ此レ被犯者ノ共同シテ犯者ニ敵スルニ非ザレバ成ル能ハズシテ其極ハ判決ヲ腕力ニ取ルコト即内亂ニ終ルベシ

此方法ヲ妨グル故障左ノ如シ

甲 此レ到底成功ヲ必シ難キ者ニシテ其頼ム所ハ專ラ目今ノ時勢ニ於テ何ノ黨カ強キヤノ間ニ在リ然レドモ今壓者ノ強ク見ユルハ猶被壓者ノ強ク見ユルガゴトクシテ則人世ノ史傳ニ歷々示ス所ノ如シ

乙 此レ社會ノ製造物ヲ破解シ以テ社會造法ヲ用非テ得タル所ノ者ヲ總テ毀敗ス凡永ク存立スル社會ニハ必保存スルニ足ル者多ク存ス然ラザル社會ニシテ永續スル者アルハ蓋鮮シ

丙 凡テ抑壓ハ人世ノ惡事ト雖モ内亂ハ其實質タル最凶邪ヲ致スノ所爲ニシテ人ヲシテ益邪惡ナラシムルヲ免レズ然バ則向ニ人未ダ甚ダ兇惡ナラザルトキニ政府ヲ立ル猶其暴虐ニ堪ヘザリシニ今益甚

シキ兇惡ヲ以テ乃其前回ヨリ較好キ政体ヲ立ルヲ望ムモ亦難カラズヤ

丁 凡人ヲ苦ムル惡事ノ最懼ルベキハ内亂ニアリテ社會ト一家トノ鍵鎖ヲ解キ財産保護ノ方法ヲ顛滅シ永世交際上ノ開進ヲ退步セシメ人ヲ殘忍忌ムベキノ事ヲ見テ啻ニ悲憤セザルノミナラズ又之ヲ喜樂スルノ風習ニ慣染セシムルナリ那布倫ハ輒チ血戰ノ場ニ往來スルニ慣レタレドモ内亂ヲ思想スルゴトニ悚然トシ悲歎セリ然バ則内亂ヲ以テ上帝ノ社會ノ弊害ヲ醫スルニ供スルノ具トスルヲ得ズ  
第三 第三ノ手段ハ直道ヲ行テ艱苦ヲ忍ブニ在リ是時ニ嘗テ抑壓ヲ顧ミズシテ吾公正ナリト思フ所ヲ行ヒテ抑壓者ノ我ニ加フル者ノ何

タルヲ問ハズ忍デ之ヲ受クベシ此手段ノ利益タル左ノ如シ

甲 此レ今存在スル者乃現今ノ治法ノ設ル所ニシテ貴重スベキ者ヲ總テ保存スルナリ

乙 此レ人心ノ理性及良心ニ判決ヲ取ルニ因テ弊害ヲ改ムルニ至善ナル景況ヲ現ズ此レ道徳上ノ判決ヲ取ルニ更ニ適宜ナル法庭ニシテ腕力ノ法庭ニ勝ル遠シ

丙 艱苦ヲ忍ブハ然ル所以ノ目的ヲ遂ルマデニ過ギズ何者人抑壓ノ惡事タルヲ悔悟シテ復タ行ハザルニ至レバ艱苦ヲ忍ブコトハ自ラ止メバナリ

丁 直道ヲ行テ艱苦ヲ忍ブハ犯者ヲシテ悔悟ニ資スルニ至便ナル

時勢ニ於テ其行爲ヲ熟察セシムルノ趣向アルコト明ニシテ被犯者ノ爲メニ人ノ傲慢怨毒ノ心ヲ減シテ相憐ノ情ヲ増スナリ故ニ其趣向ハ人ヲシテ益善ナラシムルニ在リ

戊 且實驗ニ因テ知ルベシ人文自由ノ事件ハ戦争ニ因リテスルヨリモ更ニ身ヲ殺シ道ニ徇フニ因テ其成功アルコト常ナリ内亂ノ際ニ在テ眞實ナル自由ノ精神ノ耗消セザルコト古今其例ヲ見ル鮮シ此ノ如キハ英國ノチャーレス第一世時代ニ然ルコトアリ内亂ニ因テ自由ヲ愛スル念ノ大ニ耗消スルハクロンエルガ忽チ無量ノ權力ヲ占メ且チャーレス二世ガ此邦ニ未曾有ノ羞辱タル最毒惡無情ナル虐威ヲ及ボスガ爲メニ衆ノ招呼ニ應ジテ歸國セシ事實ヲ見テ分明ナリチャー

トス二世ノ在位中國民良心ニ從テ艱苦ヲ忍ベル際ニ自由ノ精神ハ再發生シテ其同胞タルジエムス二世ヲ廢シ而シテ大英國ノ自主ヲ牢固不拔ノ基礎上ニ建テリ

己 道德卓絶ナル者ヨリ見レバ人ノ當ニ遵奉スベキノ方法實ニ此ニ在ルコトハ熟思シテ知ルベシ他ノ二者ハ孰レモ弊害ヲ免レズ從順ニシテ爭フナキハ卑屈畏懼ノ念ヨリ起リ力爭ハ虚譽ヲ好ミ名利ヲ慕ヒ或ハ叛亂ヲ望ムノ情ヨリ起ル者ナリ直道ヲ行テ艱苦ヲ忍ブハ唯公義ヲ好ミ壓制ヲ惡ムノ心ヨリ生ジ得ル者ナリ何ノ邦國ヲ論ゼズ公義ト自由トノ爲メニ艱苦ヲ忍ブヲ甘ンゼザル所ニ於テ決シテ眞ノ自由存スルナシ身ヲ殺シテ道ニ徇フノ精神ハ微ナルコト此ノ如クナリト

雖モ文明開化ノ兆候タルハ黨伴管理ノ此ノ如ク快爽ナルト純潔ノ愛國心ニ出ル辯論ノ此ノ如ク放縱ナルニ勝ル遠シ

## ○第二區 慈惠ノ法ヲ論ス

## ○第一篇 慈惠ノ一般ノ義務及區分

前文ハ唯互相交接ノ法ノミヲ論ズ此法ノ旨趣ハ他人ニ属スル幸福ヲ増スノ手段ハ上帝ヨリ彼ニ賜フ所ナルガ故ニ我ヲ戒メテ之ヲ犯サマラシムルニ在リ然レドモ人生ノ理ニ因テ設クル所ノ法ハ僅ニ此ノミニ非ルコト明ニシテ我レ他人ニ對シ謹デ惡ヲ爲サマルベキノ外ニ人ノ爲メニ善ヲ行ハザルベカラズ而シテ吾道德ノ試練ハ多分ニ此法ニ因テ行ハル、ナリ

互相交接ノ法ニ於テハ我ニ要求スルコトナキ人ニ對シテ之ヲ助ケテ幸福ヲ得セシムルヲ我ニ責ム之ヲ慈惠ノ法ト謂ヒ人生ノ理ガ之ヲ指

示スルコト瞭然タリ

甲 人生ノ理ニ於テ我レ他人ノ慈惠ニ倚賴スルヲ免レザルコトアリ例バ疾ニ罹ルヲ免レズシテ此際全ク助力ナキ者トナリ而シテ他人ノ仁恤ヲ借ラザレバ死セザルヲ得ズ或ハ年齒衰老ニ趣クガ爲メニ自ラ扶持スルノ力ヲ失フヲ免レズ今慈惠ノ滅スルトキハ老人多ク缺乏ナシテ死スベシ不意ノ變故ヨリ生ズル諸種ノ傷害及病患ハ能ク吾ニ示スニ之ニ同シキ指教ヲ以テセリ且人皆死ヲ免レザル所ノ世界中ニ必許多ノ孤兒寡婦アリテ其恃デ以テ生ヲ爲ス唯一ノ手段ヲ上帝ニ奪ハレシヨリ互相交接ノ法ニ因テハ要求スル者ナキ人ニ倚賴シテ扶持保護ヲ仰クコト屢之アリ然ラザレバ死セザルヲ得ズ今人生ノ理ニ於



夫此諸科日ニ生ジ且此レ多クハ已ムヲ得ズシテ之ヲ属シ加之吾人均  
 ク助力ヲ要スベキガ故ニ此ノ如キ時際ニ處スレバ彼我交相救助スベ  
 キハ上帝ノ志ナルコト必セリ  
 乙 又此論説ハ唯ニ身体上ノ扶持ノ必用ナルコトノ爲メノ設  
 ルニ非ズ夫レ人ノ幸福ハ靈智ト道德トノ修養ヲ待テ増スコト多シ然  
 レドモ幸福ヲ益スル此手段ヲ失ヒシ者ハ其手段ノ貴アベキ者タルヲ  
 知ラザルコト常ナリ故ニ己ヨリ幸福ナル者ニ示教セラレテ此眞ニ利  
 アルコトヲ覺知スルナケレバ永ク之ヲ失フニ安シテ復タ求ムルヲ務  
 メザルベシ今吾レ近ク或ハ遠ク他人ノ慈惠ヲ借ルニヨリ靈智ト幸福  
 ナリ有テリ故ニ蓋シ吾義務ハ我享ル所ノ福惠ヲ廣メテ之ヲ他ノ缺乏ナ

ル者ニ及ボスニ在リ夫レ嘗テ我ニ慈惠ヲ賜ヒシ本人ニ報イシト欲ス  
 ルモ能ハザルコト往々之アリ然レドモ我ヨリ幸福ヲ得ル少キ者ヲ救  
 濟シ以テ益貴重ナル方法ヲ用非吾全部ノ人類ヲシテ富昌ノ域ニ進マ  
 シムルハ必シモ難ニアラズ  
 此レ上帝ヨリ吾ニ命ズル所ノ義務ナルコト明ナリ故ニ人ノ動作ヲ以  
 テ之ヲ變易スル能ハズ乃只管慈惠ノ法ヲ遵奉シテ受惠者ノ品行ヲ顧  
 ルヲ要セズ彼レ感謝ノ念ナキ可ナリ凶惡ナル可ナリ犯罪ヲ好ム亦可  
 ナリ吾レ何ツ間ハシ此ガ爲メニ上帝ヨリ命セラレテ慈惠ノ法ニ從テ  
 他人ヲ遇スベキ義務ヲ變易スルニ非ズ故ニ毎ニ我レ彼ヨリ受ケシ待  
 遇ニ顧照セズシテ唯上帝ノ示令シテ自他ノ交接ヲ管理セシムル所以

ノ法ニ從テ己ヲ管理セザルベカラズ  
 且最人性ニ適スル徳義ハ大抵他人ノ禍災及不徳ニ逢フニ因テ實地ニ  
 行ハル、者ナリ故ニ艱苦ナケレバ此ニ相憐ノ情惻隱ノ心ナシ傷害ナ  
 ケレバ此ニ忍耐ナク和柔ナク亦捨宥ナシ是ニ因テ之ヲ見レバ人生ノ  
 理法タル已ムヲ得ザルノ艱苦及之ヲ救助スルノ義務ヲ包有スル者ニ  
 シテ唯此レ以テ現世ニ於ケル吾道德品行ノ良好ナル量ニ適ス此レ人  
 生ノ道德ニ欠クベカラザル法タルユトテ聖書中ニ歴々示教セリ  
 惻隱慈惠ノ必要ナルヲ勸ムル文章ヲ舊約聖書中ヨリ縷々掲擧スルハ  
 無用ニ属ス故ニ今教主ノ山上垂訓ノ數語ヲ引クモ以テ吾意趣ヲ遂ゲ  
 ルニ足ルベシ此語ハ路可傳福音書第六章第三十二節ヨリ第三十六節

ニ至ルト馬太傳福音書第五章第四十三節ヨリ第四十八節ニ至ルニ載  
 セリ今路可ノ書ヨリ引ク所左ノ如シ

「汝若シ夫ノ汝ヲ愛スル者ヲ愛ゼバ何ノ惠アラシヤ蓋罪人モ亦夫ノ之  
 ナ愛スル者ヲ愛ス汝若シ夫ノ汝ヲ善視スル者ヲ善視スレバ何ノ惠ア  
 ラシヤ蓋罪人モ此ノ如キヲ行フノミ若シ其償ヲ望ムベキ者ニ貸與ス  
 レハ何ノ惠アラシヤ蓋罪人モ亦罪人ニ貸與シテ亦其量數ノ如クニ償  
 ハル、ヲ欲スルナリ汝ニ敵スル者之ヲ愛シ善ヲ行ヒ貸シテ償ヲ望マ  
 サレハ則汝ノ賞大ニシテ汝將ニ至上者ノ子トナラントス蓋彼レ仁ヲ  
 辜ニ施シ恩ヲ不善ニ及ボス者ナリ故ニ汝當ニ憐憫スルユト汝ノ天父  
 ノ憐憫スル如クナルベシ」馬太ノ書三曰「汝ニ敵スル者ハ之ヲ愛シ汝

ヲ誣スル者ハ之ヲ祝シ汝ヲ憾ム者ハ之ヲ善視シ汝ヲ虐遇シ汝ヲ逼害  
スル者ハ汝之ガ爲メニ祈禱セヨ是ノ如クナレバ則汝ノ父タル在天者  
ノ子トナル(即之ニ倣フ)ベシ蓋彼レ其日ヲ善者不善者ノ上ニ升セ雨  
ヲ義者不義者ノ上ニ降セバナリ」

此示教ノ意義ハ前後ノ文ニ照セバ明白ニシテ慈愛深ケレバ則某人ノ  
爲メニ幸福ヲ増スナリ某人ハ互相交接ノ法ニ於テハ我レニ要求スル  
所ナク而シテ我レ之ニ報償ヲ望ムベキナシ我レ吾在天ノ父ノ慈愛深  
キガ如クニ慈愛深カルベシ

甲 上帝ハ世間ニ生ズル萬物ノ爲メニ獨立ノ根源ニシテ一物モ之  
ニ報償スル能ハズ上帝ノ仁愛ハ益盡期アラズシテ彼レ其十全ナル才

徳ヲ用非テ其生造セシ人物ノ幸福ヲ増スヲ務ム今亦吾人ニ命シテ彼  
ニ準則セシム乃自己ノ快樂ノ爲メナラズシテ他人ノ幸福タランガ爲  
メニ吾才力ヲ用非シム吾レ此ノ如ク命ゼラル、ヲ以テ煩勞ナル責任  
ト爲サズ却テ特許ヲ得テ萬善ノ泉源タル造物者ニ類似スル機會ヲ賜  
與セララル、コト、思フベシ

乙 此示教ハ吾ヲシテ吾義務ハ慈惠ヲ受ル者ノ品行ノ善惡ニ因テ  
變易セララル、ニ非ルヲ知ラシム上帝ハ正人ヲ問ハス雨露ニ浴  
セシメ善人惡人ヲ撰マズ目光ヲ受ケシム吾徒ノ尙ホ罪人タルヲ免レ  
ザル際ニ上帝ハ基督ノ吾ガ爲メニ死セシ故ヲ以テ吾ヲ親愛ス此例ニ  
倣ヒテ吾レモ亦凶人惡人ニ善ヲ行ヒ且其幸福ヲ増スヲ命ゼラル

リ故ニ彼レ悲哀スルヤ我レ之ヲ慰撫スベシ病苦ニ罹ルヤ之ヲ救助ス  
ベシ殊ニカノ及ブ限ニ手段ヲ盡シテ彼ヲシテ自ラ悔テ徳義ヲ行フノ  
地ニ復歸セシムルヲ務ムベシ然レドモ酣醉度ニ過ギシメンガ爲メニ  
人ニ酒ヲ強フル如ク之ニ上帝ノ法ヲ犯スノ手段ヲ供スルハ不可ニシ  
テ此ガ爲メニ我レ彼レノ罪過ニ關與スル者トナルナリ此ニ指命スル  
所ハ唯彼レノ禍難ヲ受ル人類タルノ災厄ヲ救濟スルコトニ在リ

丙 且吾義務ハ慈惠ヲ受ル者ノ我ニ對スル倫ニ因テ變易スルニ非  
ズ彼レ我ノ仇讎タル故ヲ以テ我レ吾義務ヲ怠ルヲ得ズ惡人ハ皆上帝  
ノ仇ナリト雖モ上帝ハ此輩ニモ猶且最豐盛ナル恩惠ヲ賜フナリ上帝  
ノ世界ヲ愛スルノ至リ獨生子ヲ降下スルガ故ニ凡人之ヲ信拜スレバ

顛滅セザルノミナラズ更ニ永久ノ生命ヲ享ヘシ基督ハ其深讎ノ仇ニ  
慈愛ヲ行ハントシテ命ヲ捨テ而シテ死ニ至ルマデ己ヲ殺ス者ノ爲メ  
ニ祈禱セリ故ニ上帝ハ吾人ニ命シテ吾仇敵ヲ愛シ善ヲ以テ惡ニ克チ  
且使徒保羅ノ例ヲ遵守セシム保羅ノ古林多人ニ告ル語ニ曰「假令吾  
レ汝ヲ愛スル益多レバ汝ノ吾ヲ愛スル益少ナシト雖モ吾レ汝ノ爲メ  
ニ棄捨フルヲ願フ」

一言ヲ以テ之ヲ括センニ上帝ハ聖書上ニ示シテ曰吾黨人ハ上帝ノ造  
物ナルコト猶吾ノゴトシ故ニ吾レ嘗毎時ニ彼レノ命ズル所ニ從テ行  
フベキノ義務アルノミナラズ特ニ吾兄弟ノミナラズ又上帝ノ特件ノ  
保護ヲ受ル者タル凡吾黨人ニ對シテ此ノ如ク行フベキ義務アリ上帝

吾ニ告示シテ曰ク彼等皆其兒子ナリ曰吾レ彼等ニ慈愛ヲ表スルニ因テ吾ガ上帝ヲ愛スルノ心ヲ表ス曰吾レ上帝ヲ愛スルコトノ外他ノ理由ニ感誘セラレザルコト明ナルトキハ此表見ハ最貴重スベキナリシエクスピア左ノ交ヲ以テ此事ヲ美妙ニ論說セリ曰

仁德ハ至尊中ノ至尊ナル者ニシテ在位ノ帝王ニ適スルコト其冠冕ニ勝ル其介圭ハ凡俗ノ威權ノ力ヲ顯ハシ且王者ノ畏ルベキヲ包有スル嚴肅隆赫ノ性質ヲ示スト雖モ仁德ハ此介圭ヲ持スル威權ノ上ニ在リテ王者ノ心中ニ居在シ即上帝ノ性質ナリ而シテ仁愛ノ公義ヲ調和スル時ニ方リテ人間ノ權力能ク上帝ノ權力ノ如クニ著ハル

(ウエニースノ商人ノ演劇第四回第一段)

嗚呼嗚呼凡テ罪惡ノ爲メニ靈魂ヲ奪ハル、ハ何ソヤ而シテ利便ヲ執ルニ最巧ナル者(上帝ナイフ)之ヲ救済スルノ方法ヲ查明セリ若シ審判ノ首長タル上帝唯汝ノ善タリ惡タルマ、ニ審判スレバ汝何ヲ爲ントスルヤ(ミーシユア、フオーア、ミーシユア演劇第二回第二段)

聖善上諸種ノ道理ニ基キテ此職分ヲ吾輩ニ勸勵ス

甲 上帝ノ例既ニ然リ上帝ハ我ニ示スニ其慈惠無量ナルヲ以テシテ上帝ノ吾等ニテ處セシムルノ理法ニ於テ吾レ幾分カ能ク彼レノ所爲ニ效ラフ得ルナリ是ニ因テ吾ニ強ルニ律法ノ力ヲ以テス蓋吾レ善ヲ行フニ足ル知識アリオカクラン限ニ務テ之ヲ行フニ義務ニ任ズル

トト明ナリ而シテ上帝ノ善良ナルハ殊ニ其不善者犯害者ニ仁愛ヲ施  
スヲ以テ著ハル故ニ此同理ニ因テ吾モ亦同例ヲ遵守セザルベカラズ

乙 吾人ハ實ニ上帝ノ恩惠及捨宥ヲ以テ生存スルガ故ニ我モ亦吾  
黨人ニ此ニ同シキ恩恵捨宥ヲ示與スベキコト論ナシ

丙 吾ガ救濟ヲ望ム者ハ唯上帝ノ捨宥ニ在リ蓋上帝ハ吾レ之ニ悖  
戾スルコト大ニシテ吾測ル所ニ過ダ然バ則吾レ黨人ノ我ニ悖戾スル  
微罪ヲ許スノ適當ナルコト知ルベシ馬太傳福音書第八章第二十三節  
ヨリ第三十五節ニ至ルマデ二僕ノ譬ヲ以テ此事ヲ至妙ニ説解セリ

丁 基督ノ例ニ因テ上帝ハ人類ニ在ル徳義ニ就キテ其看テ以テ至  
當ナリトスル者ノ状態ヲ示セリ此レ十分ナル忍耐、和柔、慈恵、捨

宥ノ例ナリ故ニ吾レ唯規則ノミナラズ更ニ又此規則ヲ奉行スル所以  
ノ方法ノ例ヲ給與セラル、ナリ

戊 此徳義ハ吾黨人ノ虐遇及犯害ヲ忍耐スルニ因テ著ハル乃上帝  
ノ殊ニ賞愛スル者ニシテ天堂ニ生ゼント欲スル者ノ品行ニ欠クベカ  
ラズト上帝ノ告シ者ナリ曰慈恵ノ念アル者ハ仁愛ヲ得ベキガ故ニ之  
ニ恵福ヲ賜ヘ曰和柔ナル者ニ恵福ヲ賜ヘ平和ヲ講スル者ニ恵福ヲ賜  
ヘ云々此ヲ如キ文ヲ書中ヨリ引クハ千百條ト雖モ難キニ非ズ

己 上帝ノ我ヲ捨宥スルハ我レノ他人ヲ捨宥スルニ因ルナリ聖書  
ニ曰汝人ニ罪禍ヲ宥サレバ天父モ亦汝ニ罪過ヲ宥サマルベシ曰一  
ノ仁愛ヲ著ハサル者ハ仁愛ヲ受ケズシテ刑罰ヲ受クベシ然レドモ

仁愛ハ刑罰ニ對シテ喜悅ス乃仁人ハ刑罰ノ日ヲ見テ喜悅シ自ラ信ジテ畏懼セズ  
 耶穌教ニ於テ慈惠ニ設クルノ限界ハ何ヤト問フ者アレバ答曰ン一定ノ規則アラズシテ僅ニ理由ヲ示教スルニ過ギズ夫レ吾有スル所ノ者ハ總テ上帝ニ屬ス故ニ其欲スル所ニ從テ之ヲ用非ザルベカラズ上帝ノ志欲ハ則吾レ其才幹ヲ以テ委任ナリト爲シ而シテ自己ヲ快クスルガ爲メナラズシテ他人ノ幸福ヲ供給スルガ爲メニ之ヲ用非以テ我幸福ヲ求ルニ在リ彼レ我ガ此ノ如クスルヲ以テ我レ彼ヲ愛スルノ證トナス然ルガ故ニ此目的ノ爲メニ我固有スル幸福ノ根源ヨリ抽出セラレ、品量ノ多少ヲ定メズ而シテ吾力ノ及ブ限ニ萬物ヲ畢ク彼ニ奉獻

スルヲ示スヲ許スナリ此レ現今人世ノ至大特權ノ一ニ係レバ則眞ニ謝恩ノ心アル者ハ當ニ吾ヲ保守スル上帝及吾ヲ救贖スル救主ヲ愛スルヲ證スルノ少キコト如何ト問ハズシテ更ニ其多キコト如何ト問フベキコト明ナリ

又吾ノ上帝ヲ愛スル念ハ夫ノ不善ニシテ犯罪ヲ好ム者ニ仁恤慈惠ヲ施ストキニ著ハル、コト明ニシテ他ノ人物ニ施ストキニ勝ル故ニ吾レ此一層明確ナル考論ニ依テ以テ此德義ヲ行フベキコトハ他ノ輩ニアラズシテ專ラ此輩ニ於テスルヲ知ルベシ是故ニ慈惠ノ其上帝ヲ愛スルノ念ヨリ出デ、行ハル、限ニ教法ノ行爲トナリ其相憐ノ心ト善良ナル性情ニ基イテ行ハルレバ愛スベク敬スベク德行ト稱スベシ而

シテ其上帝ヲ愛スルノ心ニ出ルトキノミ惟誠敬ト稱スルヲ得ルナリ

○第二篇 不幸人ニ慈惠ヲ行フヲ論ズ

人偏ニ其身体ノ景況若クハ靈智ノ景況ヨリ不幸ヲ致スコトアリ今二者ヲ別テ論スベシ

○第一章 身体ノ景況ヨリ生ズル不幸

此根基ヨリ生ズル不幸ノ事狀ハ貧窮即日用品ト生計ノ便ヲ欠クニ在リ而シテ疾病衰老モ亦其貧乏ヲ兼ルト否ヲ論セズ此不幸ノ外ニ出デズ

甲 貧窮ヲ論ズ 貧窮即缺乏ニ達フト雖モ人苟モ工勞ヲ以テ自ラ扶持スルノ機會ヲ失ハザレバ施濟スヘキ者ニ非ズ「勞力セザレバ食

フ能ハズ」トイハル言ハ天啓ノ語ニシテ亦至理ノ語ナリ人ニシテ怠惰ナレバ則貧乏ノ苦難ヲ受クルノ外他途アラズ故ニ此際ニ當テ我ノ要務ハ彼ニ勞力ヲ行ハシメテ之ニ適宜ノ價ヲ拂フニ在リ此レ彼ニ對シ社會ニ對シテ至大ノ親愛ナリ

乙 然レドモ時アリテ上帝ノ治法ニ出テ人貧乏ノ甚シキ勞力ヲ行フモ以テ自ラ扶持スル能ハザルニ至ルコトアリ寡婦孤兒ノ如キハ此地位ニ處ルコト常ニシテ我之ヲ救濟スベキコト明ナリ彼レ上帝ノ治法ニ因テ自ラ扶持スル能ハザルニ至ル而シテ之ヲ助クルハ吾職分ナリ亦特權ナリ

丙 疾病 疾病アルガ爲メニ自ラ扶持スル能力ヲ失ヒテ他ヨリ助



ヲ加フルノ必要ナルコト生ズ是時ニ當テ富人ト雖モ我ノ扶助憐恤及  
 勤勞ヲ要セザルヲ得ズ富人尙然リ況ヤ貧人ニシテ疾痛ヨリ生ズル憂  
 悶ノ爲メニ疾痛ヲ慰治スルノ具ヲ供給スル力ヲ奪ハル、者ノ然ルコ  
 ト更ニ甚シカルベシ福音ノ慈惠ノ特殊ニ著明セラル、ハ此ガ爲メナ  
 リ救主曰「汝務テ數々貧困ナル者ニ之ヲ行フ丈ケ則汝之ヲ吾ニ行フ  
 ナリ」牧師非ルソン氏之ガ註解ヲ設テ曰「務テ數々行フ丈ケ」トイヘ  
 バ誰カ行フベキ時ヲ失ハン「貧困ナル者ニ」トイヘバ貧人ニ事フルハ  
 即基督ニ事フルコトナルヲ知ルベシ

丁 老境ノ之下共ニ心神ノ孱弱ナルニアラズシテ身体ノ億衰ヲ招  
 クコト往々之アリテ爲メニ吾人ノ憐恤扶助其他顧慮注意ヲ要ス此數

者ハ老人ノ甚求欲スル所ニシテ而シテ少年輩ニ在テハ之ヲ施スノ正  
 義ニシテ且剛毅ナルコト、ス

右ニ陳ル所ハ蓋シ人ノ身体ノ患苦ニ對シテ慈惠ヲ行フベキ重要ノ事  
 狀ナリ吾レ今將ニ吾慈惠ヲ節度シ宜ニ適センムル所以ノ理ヲ説ント  
 ス是理ハ施惠者受惠者兩個ニ關スル者ナリ

第一 受惠者ニ關スルノ理ヲ論ズ

人生ノ理法ニ於テ上帝ノ吾ニ賜フ所ノ福利ハ勞力ノ結果ナリ而シテ  
 大抵豫先ニ經行セシ勞力ニ於ケル者トス乃人其受クル所ノ者ニ報ル  
 ヤ之ヲ受クルノ後ニ於テセズシテ未受ケザルノ前ニ於テスルナリ此  
 規則ハ人間普通ナル者ニシテ身軀靈智及道德ノ福利ニ通用セラル、

コトハ熟考シテ容易ニ知ルベシ

今此ノ如キ普通ノ規則ハ善良ニシテ普通ナル理アルニ非ザレバ一定シテ法トナルヲ得ザリシ故ニ吾レ實驗ヲ以テ知ル凡ソ勞力ハ身体ノ勞力モ猶且形体靈智及道德ノ人物ノ景況ヲシテ健安ナラシムルニ欠クベカラザル者ナリ故ニ此規則ノ富者ニ觀付スルコト猶貧者ニ觀付スルガゴトシ他語ヲ以テ説テ曰勞力ハ天與ノ福利ニ非レバ則咒詛ナリ咒詛ナレバ則人皆上帝ノ己ニ付スル應分ノ憂悶ヲ避ルノ理ナシ福利ナレバ則人皆應分ノ福惠ヲ享ケザルノ理ナシ故ニ吾慈惠ハ此人生通常ノ法ト相助ケテ事ヲナスベシ

甲 此ニ人アリ貧困ナリト雖モ尙自ラ扶持スル能ハザルニ非レバ

唯勞力ヲ行フノミニテ他ノ方法ヲ以テセズシテ自ラ扶持スベシ而シテ甚ダ怠慢ニ過ギテ此ノ如クセザレバ此ヨリ生スル患苦ヲ受ケザルベカラズ

乙 十分ニ自ラ扶持スル能ハザレバ則人ノ助ヲ求ムル可ナリ然レドモ其能ハザルヲ補フニ足ルノ外更ニ求ムベカラズ蓋吾レ十分ニ自ラ扶持スル能ハザルガ故ニ寧何事ヲモ爲スナシト云フヲ得ズ

丙 何事ヲモ爲ス能ハザル者ハ日用欠クベカラサル事物總テ他人ノ之ニ代リ行フヲ仰テ僅ニ生ヲ成ス此レ小兒病人衰弱者老人ノ類ナリ慈惠ナル者ノ趣意ハ之ヲ受ル者ニ道德ノ結果ヲ及ボシ其諸種ノ人類

ニ對スル親愛ノ情謝恩ノ念、及普通仁愛ノ心ヲ修養スルニ在リ故ニ救濟ノ方法中ニ就テ其目的ヲ達スルニ最利ナルハ彼レノ天生ノ心情ヲ修養シテ益親厚善良ナラシムルノ功アル大ナル者ニ在リ是ヲ以テ窮乏者ノ爲メニハ吾レ自ラ之ニ施濟ヲ行フハ人ヲシテ吾ニ代テ行ハシムルニ勝ルナリ受惠ハ管ニ其窮乏ヲ救ハル、ヲ知ルノミニシテ更ニ又施濟ノ由テ來ル所ノ心情如何ヲ證明セザレバ謝恩ノ念著ハル、モ深カラザルヲ免レズ

第二 施惠者ニ關スルノ理ヲ論ズ

耶蘇教ニ於テハ救濟ヲ以テ殊ニ施惠者ノ爲メニ道德ヲ修養スルノ具

ト論定シ新約全書中ニ之ヲ祈禱ト同科ニ列シ且同規則ヲ以テ之ヲ管

理スルコト救主ノ山上ノ垂訓ヲ以テ見ルベシ故ニ

甲 施濟ノ方法タル克己捨身等ノ德義ヲ實地ニ行フニ在ルハ論ナシト雖モ此德義能ク親愛、憐恤、及仁惠或ハ普ク神人ヲ愛スルノ念ヨリ出デ、而後ニ至善ト謂フベシ之ニ反シテ慈愛ノ方法タル徒ニ他人ノ患害ヲ救ヒテ此德義ヲ著ハスナケレバ完全トスベカラズ

乙 施濟ハ教法ノ職務ニシテ上帝ヲ愛スル心ヲ修養スルノ要具ナリ而シテ外誘卑汚ナル理由ノ除却スルニ從テ益此ノ如クナルガ故ニ救濟ヲ行フハ務テ密ナランコト亦要スベシ此方法ニシテ之ヲ行ヘバ則名ヲ好ムノ念ヨリ來ル誘惑ヲ去リテ唯神人ヲ愛スルノ心ニ基ク理由ヲ存スルナリ慈惠ノ所爲ニ就テ實ニ隱密ニシテ人ノ視察ノ及バザ

ル所ニ在ル最遠キ者ハ何ノ時ニ處スルモ一様ノ價格アリテ德義ヲ修養スルニ至利ナルガ故ニ必執ルベキノ方法タリ

故ニ概シテ言ヘバ慈惠ノ方法ニ就キテ本人ニ自ラ救助スルコトヲ教ルコト至善ニシテ彼我ノ爲メニ道德ノ福利ヲ招クコト至速ナル者ヲ執行スベシ之ニ反シテ此ノ如キ成功ナキ慈惠ノ方法ハ至大ノ惡事ナリ

是理ニ因テ通常世間ニ行ハル、某様ノ慈惠方法ヲ判定スベシ

第一 濟貧法ヲ以テ貧人ノ爲メニ救濟ノ方法ヲ公設スル如キハ總テ其完全ナルヲ見ズ

甲 此唯人ノ貧乏ナルノ故ヲ以テ之ヲ救濟ス然レドモ余ノ右ニ陳

ル如ク是故ヲ以テ施濟ヲ要スルヲ得ズ

乙 此レ決シテ人ニ自ラ扶持スルヲ教ヘズ却テ此ノ如クスル爲メノ天然ノ刺激物ヲ奪フノ弊アリ

丙 故ニ其弊ハ墮人蕩子ヲシテ日ニ増殖セシム大英國ニ於テ濟貧法ノ爲メニ此弊害ヲ致スコト甚大ナリ而シテ事情ノ自ラ然ラシムルヨリ何國ニ於テモ此ノ如クナルヲ免レズ此法ハ勉力者ヨリ其得ル所ノ幾分ヲ取り無價ニシテ遊惰者ニ與フルナリ

丁 此レ受惠者ヲシテ施濟者ニ對シテ謝恩ノ念ヲ生ゼシムベキニ却テ然ラズ高大ナル濟貧稅ヲ收ル國ニ於テハ貧人ハ富人ニ對シテ甚ダ不平無法ニシテ頑戾ナルヲ見ルアリ

戊 此レ當局ノ甲乙(施濟者受惠者)ニ道德ノ交際ヲ生ゼズシテ施物ヲ分賦スルノ任ヲ官吏ニ委付ス故ニ貧人其受クル者ヲ以テ當然ノ權理ニ屬スル者トシテ之ヲ討求シ而シテ其微少ナル此ノ如キ故ヲ以テ憤恨スルノ念ヲ懷クニ過ギズ

己 此レ富人ヲシテ秋毫モ憫憐恤ノ情ヲ生ゼシメズ却テ法ノ力ニ因テ收斂セラル、ガ故ニ視テ以テ専ラ壓制ノ所爲ト做スナリ故ニ諸件ノ理ニ於テ濟貧法ヲ以テ施濟ノ方法トスルヲ論駁スベシ然レドモ社會若シ一個人ノ財產ヲ專制シ且其欲スルマ、ニ之ヲ管理シ而シテ此管理ノ爲メニ千萬人ヲシテ貧困ニ歸セシムレバ之ヲ扶養スルコト蓋社會ノ義務ナリ然シテ必濟貧法ヲ行ハント欲スレバ寧濟貧

院ヲ以テ工場トナシ濟貧稅ヲ以テ常ニ某様ノ勞力ノ給料トシテ之ニ與フルニ如カズ

然レドモ余敢テ己ムヲ得ズシテ他ノ扶助ヲ仰グ者ノ爲メニスル公設ノ施濟法ヲ非斥スルニアラズ老病及孤弱ニシテ親戚ヲ失フ者ハ救濟スベシ而シテ公同ノ力ヲ以テ和樂寬裕ニ之ヲ救濟スルヲ要ス余ノ論駁スル所ハ人ノ貧乏ナルノ故ヲ以テ爲メニ施濟法ヲ設クルコトニ在テ他ノ理由ヲ以テ之ヲ設クルコトニ在ラズ若シ受惠者ヲ處スル景勢彼ヲシテ施濟ヲ受クベキ者タラシムレバ則吾レ和柔ノ心ヲ以テ之ヲ救助スルヲ禁ゼズ然レドモ彼ヲシテ施濟ヲ受クベキ者タラシメザレハ之ニ公設ノ施濟ヲ給スルハ亦害アルヲ免レズ

第二 施濟ヲ行フガ爲メニ設クル私立會社 濟貧法ヨリ生ズル不便ハ此會社ヲ立ル方法ヨリ生ズル者アリ

甲 此レ受惠者ノ道心ヲ感動セシムルコト甚強カラズ吾輩公設ノ施濟ヲ受テ感恩ノ情ヲ發スルハ一個人ノ私惠ヲ受テ然ル者ヨリ更ニ微ナリ

乙 施濟ハ公設ノ資本ヨリ出デ行ハレ而シテ施濟官ハ只職任ニ責ラレテ行フノミニシテ仁恤ノ念アルコト甚少キトキニ殊ニ此患アリ  
丙 授者ノ身上ニ道德ノ結果ヲ致スハ己及受者トノ間ニ他人ヲ容レズシテ直ニ相接スルトキニ如カズ年々名印ヲ簿冊ニ僉シテ若干ノ施濟金ヲ寄賦スルニ比スレバ自己ノ手ヲ以テ病人患者ノ疾痛窮困ヲ

視察救助スルノ功德ハ更ニ大ナリ

然レドモ余敢テ此ノ如キ會社ハ到底無用ナリト言フニ非ズ此アルニ因テ多種ノ施濟善ク行ハルベシ甚貧困ナル者ハ此ノ如ク結社スルガ爲メニ互ニ相共同シテ廣大必要ナル仁恤ノ舉ヲ行フヲ得ルナリ仁恤ノ企圖ヲ達セント欲シテ費用ヲ募ルニ衆庶ノ金力ヲ借ラザルヲ得ザルコト往々之アリ但余言フ富者ニシテ身親ヲ施濟ノ事ヲ行ヒ難キニ非レバ此業ノ最緊要ナル部分ハ決シテ他人ニ委付スベカラズ而シテ施濟官ノ職ヲ己ニ任ズベシ然ルニ彼レ此ノ如クセズシテ特ニ資本ヲ備ヘ他人ヲシテ分賦ヲ司ラシムルハ何ゾヤ是其至貴ナル者ヲ失フヲ知ラズ乃上帝ノ之ヲシテ享有セシメント欲スル道德ノ利益ヲ失フヲ

免レザルナリ上帝ハ衆人皆施濟ヲ務メ且祈禱ヲ務ムルヲ望ム故ニ其代理者ヲ雇フテ此務ヲ行ハシムルヲ欲セザルハ猶他ノ務ヲ行ハシムルヲ欲セザルガゴトシ蓋シ同理ニ因テ知ルベシ全都ノ貧民ヲ救フニ供スル施濟ハ利益ニ非ズシテ弊害タルコト明確ナルヲ今概言スルニ施濟ハ授者受者ノ爲メニ殊ニ甲ノ爲メニ道德ヲ修ムルノ具タルヲ欲スルガ故ニ凡施濟ノ方法ニ於テ道德ノ品格ヲ進善スルノ目的ナキ者ハ完全ノ成功アラザルコト疑ナシ

○第二章 靈智ノ景況ヨリ生ズル不幸

社會ノ文明ニ進ム時勢ニ當テ靈智アル者ノ爲メニハ幾分ノ知識其生存ニ必要ナリト思想セラル若シ之ヲ有セザレバ多量ノ福利ノ源ニ廻

ル能ハズ人ノ指笑ヲ免レ難クシテ單純ナル動物ノ地位ニ陥ラサル罕ナリ讀ムコトヲ學ブニ因テ總テ言語中ニ包有スル意義ヲ理會スルヲ得書クコトヲ學ブニ因テ自身居在セザル所ニ於テ專ヲ行フヲ得且己ノ意思ヲ傳示シテ他人ヲ利スルヲ得事物ノ理ヲ辨ズルニ因テ正道ヲ以テ人ニ交ルヲ得且人ノ正道ヲ以テ我ニ交ルコトヲ保證シ得ルナリ

此知識ヲ得ルコト最必要ニシテ其他ハ必シモ然ルニ非ズ夫レ兒子ヲ教育シテ此知識ニ富マシムルノ職務ハ專ラ父母ニ属ス然レドモ此ノ如キ知識ノ量ハ兒子ノ幸福ヲ進ムルニ欠クベカラザル者ナルガ故ニ不幸ニシテ父母之ヲ給與スル能ハザレバ是ニ於テ兒子ハ他人ノ救助

ナ。仲。ク。ヘ。キ。者。ト。ナル。且。各。一。個。人。ノ。此。ノ。如。キ。教。育。ヲ。受。ル。ハ。全。社。會。ノ。利。益。ト。ナル。故。ニ。適。宜。ノ。法。ニ。從。テ。此。教。育。ヲ。設。ル。コ。ト。亦。社。會。ノ。辞。ス。ル。能。ハ。ザ。ル。所。ナ。リ。此。レ。自。費。ヲ。以。テ。教。育。ヲ。得。ル。能。ハ。ザ。ル。者。ノ。爲。メ。ニ。ハ。公。費。ヲ。以。テ。之。ヲ。給。備。ス。ベ。キ。所。以。ナ。リ。

但シ此教育ハ之ヲ受ル者ノ爲メニ貴重ノ事タルガ故ニ余ガ前文ニ述ル道理ヲ忘失セザルベシ此教育ノ給備ハ固ヨリ公設ヲ以テナス者タリト雖モ尙每人力ノ及ブ限ニ幾分ノ金額ヲ捐テ之ヲ助クベシ然ラザレバ彼レ復給備ノ貴ムベキヲ知ラズシテ徒ニ之ヲ以テ惰生ヲ養フノ資トナスヲ免レザルベシ故ニ余思フニ普通教育ノ爲メニスル永備ノ大資本ハ直ニ教育ノ事ヲ害スルコト往々之アリ夫レ年々ニ募リ

タル小資本ハ不學無術ノ民ヲ勸勵シテ作興セシムルニ有用ナルコトアリ然レドモ他ノ目的ノ爲メニハ有用ナラザルコト疑ナシ蓋策ノ勝レル者ハ每個ノ縣邑ヲシテ自己ノ費用ヲ以テ學校ヲ維持セシムルニ在リ此レ教育ニ至大ナル利益ヲ生ジテ學校ヲ監察スルコトヲシテ最周詳ナラシムベシ亞米利加諸邦ノ中ニ就テ巨額ノ學資ヲ給備スルヨリ普通教育ノ爲メニ弊害ヲ生ズルコトアル鮮カラズ

教育ハ人其在世ノ目的ヲ遂ゲ且社會ニ對スル職分ヲ行ヒ得ルニ欠クベカラザレバ則世人ノ普ク教育ヲ受ルノ設備ヲ爲スノ義務ハ仁惠ノ法中ニ在リ此外ナル教育ハ神明ノ力ヲ以テ設備スルニ任ス乃人皆其遭遇スル時勢ノ許ス所ニ從テ更ニ多ク之ヲ受クベシ今衆人一樣ニ教



育セラルベシトイフノ非理ナルコト猶衆人一樣ノ衣粧ヲナシ或ハ同價ノ家ニ住スベシトイフノ不可ナルガゴトシ文化進ミ財産殖シ勞力益其功アルニ至レバ人皆彌益靈智ノ開明ヲ得ベキコト疑ナシ是方法ヲ以テ國民ノ位格ヲ修好スベシ而シテ國民ヲシテ一樣ノ教育ヲ受ケシメント欲スル實行シ難キ企圖ヲ用非レバ然ルヲ得ズ然レドモ前途多少ノ功用ヲ成スベキコト必然ナル者ヲ扶助シテ知識ヲ得セシメントスルヲ以テ高義ニシテ稱譽スベキ施濟ナラズト云ニ非ズ此ノ如キ實際ニ於テ仁愛能ク至大ノ利便ヲ以テ發行セラレ而シテ最大最樂ナル果實ヲ生ズ施濟方法ノ中ニ就テ貧困流落ノ人ヲ救助シ其萎靡スル善良ノ天才ヲ振興シ以テ社會ヲ裨補脩飾セシムルコト

更ニ之ヨリ喜樂ナル者ナシ然レドモ此ノ如キ事件ニ就テ一定ノ規則ヲ設クルヲ得ズシテ其職分ハ授者受者ノ當時ノ景況ニ從テ定メザルヲ得ズ但此救助ヲ加フルコトニ務テ注意スベシ蓋受者徒ニ人ヲ恃メテ自ラ其天才ヲ恃ムヲ要スルノ念ヲ失フニ至レバ大ニ不可ナリ人幼若ノ時ニ當テ自力ヲ以テ生ヲ營メント欲シテ勤勞スルハ天才ヲ修養スル自然完全ノ工夫ナリ夫レ天才ヲ賦與スルヤ之ヲ有ツ者ヲ利センガ爲メニ非ズシテ他人ヲ利センガ爲メナリ而シテ之ヲ有ツ者當然ノ目的ニ適ノ之ヲ用非ルコトヲ教ヘラルレバ已ト社會ノ爲メニ益善シ詩人ハ天才初テ芽ヲ發スルノ際ニ災厄ノ霜雪ニ傷害セラル、多キヲ説ケリ此レ果然ノ事タル疑ナシ然レドモ人性ノ理法ニ因テ初時ニ約ス

ル所後ニ必シモ然ラザルコト往々之アリ詩人ハ天才ノ富裕ノ温暖ニ  
 因テモ亦凋枯スルコト幾許ナルヲ説カズ蓋天才ノ富貴ノ爲メニ害セ  
 ラル、ノ量ハ貧賤ノ爲メニ害セラレ或ハ價格ヲ失ハシメラル、ニ勝  
 ルコト明ナリ而シテ人事ノ變遷ニ因テ此レ實事タルヲ知ルベシ  
 右ニ同シキ道理ハ某ノ時際ニ適ス例ハ教法ヲ廣メンガ爲メニハ職業  
 教育ヲ受ル者ヲシテ増殖セシムルヲ要スルノ時際はナリ  
 此際ニ在テハ他時ニ於ケル如ク若シ吾レ實ニ有用ナレバ吾施濟ハ人  
 世ノ法ヲ以テ上帝ノ指明スル所ノ道理ニ從テ管制スベシ  
 上帝管治ノ通理ハ吾人必其所有スル才性ヲ貴重スベキコトニ在リ而  
 シテ此定規ニ背キテ徒ニ施濟ヲ受レバ禍害ヲ致サマル罕ナルコト實

驗シテ知ルベシ此理明確ニシテ疑ヲ容レズ蓋人ニ教ヘテ他人ヲ恃デ  
 自ラ恃マザラシメ或ハ世人皆我ヲ助クルノ義務アリト思ハシムルハ  
 彼レヲ害スルコト至大ナレバナリ  
 故ニ此類ノ施濟ハ左ノ道理ニ從テ管制スベシ

甲 受者務テ自己ノ勞力ヲ用非テ其目的ヲ達スルニ足ルニ必要ナ  
 ルホドノ外ハ受ザルベシ

乙 金錢ヲ貸スハ之ヲ與ルニ勝ル

丙 授者受者ノ善心ヲ修養スルニ至好ナル方法ヲ以テ施濟ヲ行フ  
 ベシ

故ニ自己ノ身ヲ以テ私ニ助カスルコトノ實地ニ行ハル、トキハ公立

會社ニ基キ來ル者ヨリ功用アルコト多シ故ニ施濟ヲ行ハントスレバ  
之ヲ受ル地位ニ居ル者ヲシテ已亦之ヲ受ント欲セシムルノ旨趣ノ施  
濟ニアラザルヲ要スベシ且此ノ如キ會社ノ企圖ヲ設備スルニ常ニ注  
意スベキ者アリ夫レ少年ニ示スニ職業教育ノ目途ヲ以テスルニ因テ  
行ハレシ其平常生計ノ諸企圖ノ卒然ノ變化ハ人ノ德義ヲ試煉スル至  
嚴ノ方法ナリ

學術教育ノ爲メニスル共同ノ設備ハ仁愛ノ類目ニ列セズ夫ノ學術ノ  
修良ハ社會ノ全員ニ利益アルガ故ニ之ヲ修良スルハ全体ノ利益ノ爲  
メナリ然レドモ教師ノ其學術教育ノ器具タル理學、器械、書籍館及堂  
宇ヲ備ント欲スルモ容易ニ辨シ能ハザルヨリ已ムヲ得ズシテ全ク富

者ヲ限リテ之ヲ施スニ至ル故ニ社會ノ爲メニ善良ナル手段ハ共同ノ

資本ヨリ此設備ヲナシ以テ知識ヲ開達スルノ好機會ヲ衆人ノ執ルニ  
任スニ在リ然レドモ衆庶此職務ニ任ズルヲ怠ルトキハ一個人私ニ担  
當スルコト往々之アリ是其國ニ忠シ人ヲ愛スル大ナリト謂ベシ凡博  
厚ナル仁愛ノ最快樂ナル者ハ學術ノ光輝、教法ノ福惠ヲ後世ニ布衍  
スルコトニ如クアラズ

○第三篇 惡人ニ施スノ仁愛ヲ論ズ

今論シ來ル所ハ異種ノ元質ノ混合スル仁愛ニ在リテ吾邪惡ナル黨人  
ニ對スルノ職分ハ何タルヤノ問此ニ於テ生ズ夫レ惡人ハ事情ノ自然  
ニ出デ不幸ニシテ自ラ德義ノ歡樂ヲ失ヒ且既ニ管制スベカラザルノ

力ニ因テ之ヲシテ放縱ニシテ飽コトナキ嗜好ニ耽溺セシムル所ノ情  
欲ニ勢焰ヲ加ヘ當時良心ニ於テ罪惡ヲ認ルノ苦痛ヲ招キ而シテ經語  
ヲ以テ之ヲ言ヘバ疾惡及當然ノ日時アルヲ顧ズシテ疾惡ヲ蓄藏スル  
ナリ

然バ則吾輩ノ憐恤ヲ要スルハ吾ト同ジキ生造ヲ受タル此ノ如キ人物  
ヨリ甚シキ者ハアラズ

惡人ハ不幸ニシテ憐ムベキガ故ニ吾輩ノ仁愛ハ固ヨリ並ニ憐恤ヲ要  
スルノ名義當ニ然ルノミナラズ彼ハ亦邪惡ナリ而シテ吾輩ノ其邪惡  
ヲ視テ感發スル至當ノ念ハ非斥即道心ノ疾惡ノ念ニ在リ故ニ此ノ如  
キ際ニ臨デ混合ノ念自カラ生ズ一ハ其不幸ヲ憐ム仁愛ノ念一ハ其罪

犯ヲ忌ム道心ノ疾惡ノ念ナリ但此兩箇ノ念ハ相争フニ似タリト雖モ  
眞正ニ理解スレバ却テ相表裏シテ互ニ力ヲ添ル者タリ

吾ト同一生造ヲ受ル者ノ邪惡ナルモ吾之ガ爲メニ之ヲ愛憐スルノ義  
務ヲ怠ルヲ得ザルコト猶他ノ事情ニ處スルトキノゴトシ其貧困ニ迫  
リ、病ニ罹リ、或ハ誤惑ヲ免レザレバ吾レ之ヲ救ヒ、之ヲ憐ミ、之ヲ助  
ケ、之ヲ教ルノ職ニ任ズルハ正ニ彼レノ善良ナルトキニ於ケルニ異  
ナラズ上帝ハ善人惡人ヲシテ均ク其雨露ニ沾ハシム

然レドモ殊ニ彼レノ不幸ノ最恐ルベキ根原ハ其道徳ノ品行ニ在ルガ  
故ニ吾レ其邪惡ヲ疾ムニ從テ仁心益吾ヲ勸勵シテ彼ヲ提醒スルニ盡  
力セシムベシ此レ施濟ヲ行フノ實ニ至貴ナル者トス蓋德義ハ現世ニ

免レ難キ災害ヲ鎮ムルコト疑ナクシテ吾輩カ永遠ノ福祉ヲ求メ得ル  
ハ特ニ德義ヲ行フニ因レバナリ

然バ則吾レ仁愛ノ法ニ因リ左ノ事件ヲ以テ惡人ヲ提醒スベシ

甲 例ヲ示シ自身ノ親體ヲ盡シ言談ニ因リ及職務ヲ教ヘ且之ヲ奉  
行スルヲ勸勵スルニ因テ然リ

乙 道德ノ改好ヲ進ムル方法ノ最功用アルハ從來聖書ノ眞理ヲ訓  
誨スルニ在ルノ眞理ヲシテ人ノ良心ト合和セシムルハ吾重要ノ職ニ  
シテ救主ガ徒弟ニ命ズル所ノ者ナリ曰「汝遍ク世界ヲ經歷シテ福音  
ヲ衆人ニ説示スベシ」

丙 人皆吾兄弟ニシテ各道德ノ光ヲ要シ而シテ實驗シテ知り得ル如

ク此光ナケレバ皆邪惡ト不幸トヲ免レザルガ故ニ吾輩當ニ全部ノ人  
類ニ對シテ此職ヲ怠ルベカラズ博士シヨンソン氏此事ニ就キテガリ  
ク語ヲ以テ聖書ヲ譯シ其簡牘ニ載セタル意見ハ余ノ目的ニ適スルニ  
足ルヲ以テ其人口ニ膾炙スルヲ厭ハズ此ニ掲ク曰「上帝ノ意ニ從  
フコトハ幸福ヲ得ルニ必要ニシテ之ニ從ハント欲スレバ先ツ上帝ノ  
意ヲ知ラザルベカラズ則之ヲ知ルヲ勉メザル者ニシテ能ク他人ヲ愛  
スルコト己ノ爲メクストモ吾ハ信セス自ラ甘シテ終始昏愚ナル者  
ハ吾輩ニ對シテ其罪ノ深キ者ナリ辭スルヲ得ザルハ譬バ猶燈臺ノ火ヲ滅ス  
ル者ニ燈燭ノ燈臺ニ對スルガ如シ耶穌教門ハ最完全ナル仁徳ナリ而  
シテ他人ノ善ヲ以テハザル者ハ善ヲラズ他人ノ至善ヲ願ハザル者ハ惡

善タルヲ得ズ。西曆一千七百六十六年出版セシ一代記ニ見ユ  
 是ニ於テ知ルベシ惡人其邪惡ヲ以テ幸福ヲ失ヘバ則仁愛ノ心吾ヲ強  
 テ之ヲ提醒セシム而シテ此ノ如キ仁愛ハ至高ノ報賞ヲ賜フヲ約セリ  
 聖書ニ曰多人ヲシテ公義ニ遷ラシムル者ハ永久ニ星ノ如ク輝クベシ  
 若シ吾レ在天ノ父ヲ愛スレバ其子其方正神聖ナル法ヲ犯シ其善良ヲ  
 汚シ自己ノミナラス他ノ上帝ノ子ニ不幸ヲ致シテ自己及他人ヲシテ  
 彼レノ永久ノ恨怒ヲ受ケシムルヲ見テ悲哀スルコト必セリ蓋上帝ヲ  
 愛スルノ心吾ヲ勸勵シテ此惡事ヲ禁シ吾兄弟ニ吾共同ノ天父ニ事ヘ  
 之ヲ愛敬シ且今ヨリ後永ク上帝ノ順子トナルヲ教ヘシムベシ  
 且此意見ハ以テ道心ニ於テ其大ニ罪惡ニ傾クヲ惡ム者ヲ處スルニ用

井ルベシ我レ其愛スル者ノ舉動ノ不正ナルヲ惡ムコト益甚シケレバ  
 之ヲシテ善ニ歸セシムルヲ務ルコト益烈シカルベシ而シテ上帝ニ背  
 ク罪惡アルヲ知ル益明ナレバ其創造ヲ受ル者ニ彼ヲ愛シ且順フヲ教  
 ヘント欲スルノ念益厚カルベキハ疑ヲ容レズ此二個ノ意見ノ爲メニ  
 示ス完好ナル例ハ吾教主タル基督ノ品行中ニ著見ス吾輩彼レノ行爲  
 ト教訓トヲ觀テ一ハ其邪惡ヲ惡ム最甚シキヲ知リ一ハ人ヲシテ心身  
 二者ノ幸福ヲ得セシメント欲スルノ念アリテ其含忍ノ大ナルコト量  
 ルベカラザルヲ知ルナリ此レ上帝ノ吾輩ニ示シテ准則セシムルノ例  
 ニシテ之ヲ以テ吾黨人ノ德行ヲ進ムルコトハ其身体靈智及社會ノ幸  
 福ヲ増スガ爲メニ真正ナル手段タルヲ知ルベシ

## ○第四篇 犯罪者ニ施ス仁愛ヲ論ズ

此件ニ就テ福音ノ示教スル所ハ明白ナリ吾教主ハ惡ニ報ルニ善ヲ以テスルコト吾職務タルヲ訓ヘテ云「汝ノ敵飢レバ之ニ食ヲ與ヘ渴スレバ之ニ飲ヲ與フベシ」我レ吾敵ヲ愛シ吾ヲ咒詛スル者ヲ慈惠シ吾ヲ虐使シ侵凌スル者ノ爲メニ祈禱スベシ福音書ハ衆人ヲ愛スルコトヲ吾ニ命ジ而メ人此命ヲ背クヲ見テ我レモ亦尤ニ傲フヲ許サズ且他人ノ惡事ヲ行フハ即我が爲メニ某様ノ德行ヲ勉ムベキノ機會ヲ供ス惡人アレバ我之ニ示スニ非常ノ親愛善心ヲ以テシテ其惡心ヲ克服スルコト定メテ吾職分トナシ善ヲ以テ惡ニ克ツ之ヲ詳言スレバ眞誠ノ善心ヲ以テ犯罪者ヲ提陞シテ德義ノ地ニ復セシムルコト吾職分ナリ

此レ新約全書ノ教誨ナルコト疑ナシ又此事ハ吾人世ノ景況ノ示教スル所ナルコト明ニシテ少シク着意スレバ辨シ難キニ非ズ

不變ノ親愛ヲ以テ惡事ニ克ツハ至高ノ德行ニシテ恨ヲ以テ恨ニ報ルハ心神ノ卑陋ナルヲ人皆其良心ニ於テ確證ス吾輩本心ヨリ嘗テ吾ヲ害スル者ヲ許サレバ上帝ノ吾ニ許スヲ望ム能ハズ

復説シテ曰犯罪者ヲ遇スル此方法ハ諸様ノ惡心ヲ禁絶スル功用アルコト明ナリ

甲 人犯罪ヲ行フニ方リ我レ之ニ報イテ親愛ヲ施セバ彼レ終ニ復之ヲ行ハザルニ至ル

乙 此ノ如キ行爲ニ因テ犯罪者ノ中心善ニ遷リ而シテ再犯罪ヲ行ヒ

難カルベシ

丙 此行爲能ク被犯者ノ中心ナモ改良シ爲メニ彼ヲシテ爾後犯害  
 ナ行フコト益鮮カラシム

惡ヲ以テ惡ニ報イルハ之ニ反シテ其功用全ク相異ナリ邪惡ヲ增益  
 繁殖スルコト窮極ナク犯者被犯者ヲシテ共ニ益善ナラシメズシテ必  
 益惡ナラシメ犯者ハ再三惡ヲ爲スヲ免レズシテ被犯者ハ苟モ復讎ヲ  
 志スニ因リ益邪惡トナルノ甚シキ貴重スベキ動作ヲ行ヒ難カラザル  
 トキト雖モ故意ニ卑陋ノ所爲ニ出ヅルニ至ルナリ是ニ於テ吾ヲ害ス  
 ル者ニ對シテ存養スベキ心情及此心情ヨリ行フベキ舉動如何ヲ知ル  
 ベシ

然レドモ人ニ傷害ヲ加フルコトハ必シモ惡事ナラズシテ社會ノ平安  
 フ保ツガ爲メニ其力ヲ要スルコトアリ夫レ社會ハ善ヲ助ケ惡ヲ罰ス  
 ルガ爲メニ設立ス故ニ吾輩私怨ヲ挾マズシテ右ノ如キ犯者ヲ捕ヘテ  
 社會ノ裁判ニ付シテ可ナリ

毫モ私怨ヲ挾マズ惡意ヲ懷クナクシテ此ノ如クスルハ吾職分ナリ故  
 ニ使徒保羅ハ羅馬都人タル權理ニ倚テ保護ヲ託セリ

然レドモ社會ニ於テ人ノ權理ヲ害スル事件ヲ行ヘバ之ヲ裁斷スルニ  
 一個人ノ然ル者ニ於ケルト同一道理ヲ以テスベシ抑罪犯ハ之ヲ防ギ  
 且犯者ハ之ヲ提醒スルコト急務タリ極テ速ニ惡習ヲ洗除シ道德ノ理  
 法ヲ修善シテ其權力ヲ張り勤勞ノ風俗ヲ養成シ且社會ニ背逆スル者



ヲシテ竟ニ賢良有用ノ人タル地位ニ復セシムルノ工夫ヲ用井ルヲ要スジヨシ、ホーワルドハ一言ヲ以テ其實驗セシ所ヲ括シテ曰「惡人ヲ罰シテ之ヲ提醒スルヲ求メザレバ益ナキナリ」

又曰若シ傷害某社會ヨリ他ノ社會ニ行ハルレバ之ヲ處スルコト甚難キヲ覺ユ是時ニ當リテ甲乙各高等ノ權ヲ占ルガ故ニ孰レニ告テ裁斷ヲ求ムベキヲ知ラズ某國人ノ他國人ヲ害スルトキニ決テ戰爭ニ取ルヲ常トス之ヲ約言スレバ互ニカノ及ブ限リニ百方術ヲ盡シテ相加ルニ傷害ヲ以テスルノ意志ヲ告グ既ニシテ數十萬人格闘シテ互ニ屠殺スルヲ求メ及彼我ノ有ニ係ル所ニシテ幾年ノ辛苦ヲ以テ儲蓄セル財貨ノ地上ニ在リ海面ニ在ルヲ問ハズ手ノ觸レ目ノ見ルニ從テ破毀セ

ント欲スルノ念ヲ快クスルヲ務ム此交殺傷スルノ所爲ハ兇惡ノ心情ヲシテ無量ニ縱恣ナラシメ一方ノ力屈シテ復抗スル能ハザルニ至テ纔ニ止ム是ニ於テ弱者ハ論題ノ件ヲ舉ゲテ強者ノ處分スルニ任セテ講和乃成ルナリ此ノ如キ爭鬪ノ爲メニ創傷痛疾ヲ以テ生命ヲ失フノ大ナル酸鼻ニ堪ヘズ無罪ナル者敢テ争ハザル者及婦人兒子ノ横害ニ罹ルノ慘ナル之ヲ思想スル者ヲシテ股栗セシム而シテ攻伐ニ從事スル輩ノ道德ヲ害スルノ甚シキ彼レ固ヨリ殺傷ノ企圖ヲ以テ集合シ既ニ平生ノ管束ヲ除却シ又諸様ノ惡意邪慾ヲ逞クシテ忌憚スル所ナシ耶蘇教ヲ奉ズルノ國ニ在ルモ猶且他國ノ犯害ヲ行ヒシ者ヲ處スルニ此手段ヲ用井ルノ外ナキハ亦奇ト謂ハザルベケンヤ然レドモ須臾モ

此普遍殺傷ノ所爲ノ夫ノ平和ヲ好ム上帝ノ教戒ニ符合スルト思フ者  
蓋シ一人ナシ請ヒ問フ之ニ代フル他ノ手段ヲ設ル能ハザルヤ

(壹) 社會ノ職務ハ他ノ諸社會ト交接スルニ方リ至當ナル公義ノ例  
ヲ掲ゲテ之ニ示シ毎時ニ犯害ヲ行ハザランヲ務メ而シテ偶之ヲ行ヘ  
バ速ニ補償スルニ在リ

(貳) 邦國ノ職務ハ親愛慈惠ヲ他ノ諸邦國ニ施シ其飢饉及他ノ天災  
ニ罹ル者ヲ救濟シ謹デ爭端ヲ開カザルヲ務メ且全部ノ人類ノ爲メニ  
幸福ヲ願フコト自己ノ爲メニスル者ノ如クスルニ在リ

(參) 此道理ニ基キテ行フ邦國ハ他邦ノ侵害ヲ受ルコト稀ナリ然レ  
ドモ若シ侵害行ハレ若クハ某邦人邦國ノ法ニ背キテ我邦人ヲ害シ及

財ヲ竊ムコトアレバ我レ吾邦ノ全力ヲ以テ國家ノ居民ヲ保護申雪ス  
ルハ寧其職ニ非ズヤ

答曰是レ我職ナリ然レドモ是ガ爲メニ必シモ戦ヲ挑ムベカラズ之ニ  
勝ルノ方法ハ先ヅ我ニ行ハル、犯害ヲ補フヲ以テ務トナシ而シテ速  
ニ犯害セシ邦人ニ告ゲテ至當ノ償ヲ要ムルニ在リ蓋シ情欲ノ煽動方  
ニ沉溺スル時ニ之ヲ萬國ノ認メテ權理ヲ保護スル法トナス者ニ訴ル  
ハ決シテ干戈ヲ取ルヨリ善ニシテ大ナル結果アルコト常ナリ

然レドモ此手段ヲ用非ルモ益ナケレバ之ヲ奈何シテ可ナラン此ニ一  
國アリテ邦國ノ法ヲ守ラズ亦一個人ノ權理ヲ顧ミズシテ回避スルナ  
シト假想シ而シテ今同事件アリ自他ノ一個人ノ間ニ生ズレバ將ニ何

ノ方法ヲ以テ之ヲ處セントスルヤ答曰某人ノ行爲ヲ視ルニ權理ヲ保護スル法ヲ犯シテ忌憚セザルコト明ナレバ吾レ退避シテ復平生ノ如ク交通セザルベシ假令彼レ災厄ニ罹ルトキ吾レ之ヲ救フヲ辭セザルベキモ尙ホ然リ且務メテ之ヲシテ再吾ヲ犯害スルノ力ナカラシムルヲ要ス蓋邦國モ亦此同一工夫ヲ用弁レバ利益アルヲ覺ユ若シ他國我國人ヲ待スルニ當リ權理ヲ保護スル法則ヲ犯スモ可ナリト持張スレバ我レ之ヲ謝絶シテ交通セザルベシ既ニシテ萬邦皆此處置方ヲ行ヘバ我ヲ犯害セシ邦ハ全ク孤立ノ苦難ニ堪ヘズシテ終ニ幡然圖ヲ改メテ人世通法ノ理ニ從フノ必要ナルヲ知ルベシ

然レドモ此ニ極メテ甚處シ難キ事件アリ若シ某邦權理ヲ顧ミズシテ

掠奪ヲ好ムノ念、土地ヲ貪ルノ心、其他邪惡ノ情慾ニ出テ其近隣ノ未曾テ毫モ犯害セザル邦ヲ征服シ以テ方正ナル治法ヲ顛滅シテ之ニ代ヘテ猛戾ナル權勢ヲ設ケント欲スレバ之ヲ奈何答曰犯害ヲ行フ邦ハ道德ノ理法ニ背キ其人タルノ品行ヲ汚シ而シテ下等禽獸ノ如ク專身依ノ力ニ任セテ行フ者ハ我モ亦之ヲ遇スル禽獸ノ如クニ彼レ力ヲ以テ我ヲ犯セバ我レ力ヲ以テ防ギ其レヲ凶戾ノ志望ヲ遂ゲザラシムルヲ務ムベシ已ヲ得ザレバ全國ノ民力ヲ并セテ禁禦シ之ヲ極邊ニ驅逐シ而シテ我兒輩ヲシテ父ヨリ受ケタル自由ノ遺業ヲ全ク保有セシムベシ我ハ唯犯害ヲ禦クニ止ル目的ヲ遂クルノ後ハ劍ヲ室ニ藏ムルノミ而シテ其犯害ヲ行フ邦ノ今能ク善良ノ舉動ヲ行ヘバ我レ舊

ニ仍テ之ヲ遇スルコト兄弟ノ如クナルベシ

○標示

禽獸ニ對スル職分

吾今毫モ禽獸ニ對スル職分ニ論及セズシテ直ニ此書ノ局ヲ結ヘバ吾レト同シク上帝ノ創造ニ係ル者ノ一類ニ對シテ不公平ノ罪アルヲ免レズ

禽獸ハ知覺アル者ニシテ形体ノ艱苦ヲ覺ルコト蓋人類ト異ナラズ生ナガラニシテ自然ノ性ヲ受有ス此性ハ蓋人ニ屬スル者ヨリハ下等ナル靈智ニシテ其品種ハ人智ト異ナリ故ニ吾輩之ヲ了知スル能ハズ禽獸ノ人ト異ナルハ專其道德ノ才力ナキ故ニ在リ  
人之ニ對シテ同等ノ倫アラズ人ノ權理ハ高貴ニシテ禽獸ノ權理ヲ滅

セザルヲ得ズ故ニ人其便益ヲ増スガ爲メニ之ヲ使役シ及己ヲ得ザレバ之ヲ殺スモ罪ナシトス人ノ彼ヲ視ル此ノ如クナル權理ハ上帝ノ意志ニ出デ、人ニ賜與セラル者ナリ然レドモ彼レ人ト同シク上帝ノ造物タル限ニ人モ亦上帝ノ許ス所ト異ナルノ方法ヲ以テ之ヲ用井ルノ權理ナシ彼レ上帝ノ保護ヲ受ルハ猶人ニ於ケルゴトシ故ニ人之ヲ用井テ可ナル所以此ニ數件アリ

第一 己ヲ得ザル使用ノ爲メニ然リ人肉食ヲ以テ生命ヲ養フヲ望ムガ故ニ食ニ供スルガ爲メニ之ヲ殺スハ罪ナシトス

第二 例ハ車ヲ牽カシメ及騎乘スルガ爲メニ馬ヲ用井ル如ク勞力ノ爲メ或ハ無罪ノ方法ニ依テ身体ヲ娛樂スルガ爲メニ之ヲ用井テ可ナ

リ

第三 然レドモ此ノ如ク之ヲ用井ルノ際ニ尙仁恤ヲ以テ之ヲ遇シ之ニ與ルニ十分ノ食物及便安ノ居所ヲ以テスベシ若シ禽獸ヲ畜養スル能ハザレバ當ニ一頭ヲモ有タザルベシ而シテ之ヲ殺スニ方リテハ務メテ其苦痛少ラシムルヲ要ス

第四 何等ノ事故ニ托シ及理由ヲ引クモ之ヲ遇スル仁厚ナラザルヲ得ズ凡ソ兇惡慘酷ノ心情ノ發見スルハ禽獸ヲ待スル苛虐ナルヨリ更ニ明ナル者アラス此ニ由テ之ヲ見レバ遊獵及競馬ハ此罪ヲ免レザルニ似タリ人其射的ニ長スルヲ誇示セントシテ食用ニ供セザル禽獸ヲ銃射スルハ何ゾヤ禽獸ニシテ生物ヲ害セザル者ハ其形質ノ幸福ヲ安

然享有スルヲ許サレザルヤ彼レ之ヲ許サル、ヲ願ミズシテ之ヲ殺害スルハ惡事ノ責ヲ免レズ

第五 故ニ凡遊樂ノ中ニ就キテ鬪牛鬪雞ノ如キ禽獸ヲ苦ムルコトヨリ成ル者ハ徒ニ罪惡タルヲ免レズ上帝ハ此ノ如キ目途ノ爲メニ人ニ與フルニ禽獸ヲ使用スル權力ヲ以テセズ人相集リテ禽獸ノ互ニ相殺傷スルノ悲痛ヲ視テ娛樂ヲ取ルハ人性ノ顯ハレテ最凶惡ナル者ナリ人ヲシテ速ニ罪惡ニ慣染セシムルノ大ナルハ強悍慘酷ニ過グル者アルナシ

久保吉人 校

威氏修身學下冊大尾

正誤	葉數	行數	誤	訂
五一	二	蓄。生シ	蓄。生シ	
五四	四	今ニ	ニ今	
六七	二	難。モ	難。モ	
一四一	二	回。テ	因。テ	
一四五	五	ナザ與ヘル	ナ與ヘザル	
一五八	八	得。ヲテ	得テ	
一九一	四	カベラズ	ベカラズ	
二百一	四	享。ル	享。ル	
同	同	間。棲	間。接	

四五一	四五二	三八一	三七七	三六三	同	三五五	三三五	三三一	二五七	二三七
四	五	六	三	八	四	三	三	一	六	十
痛疾	受惠ハ	恩念。	管理。	處スノル	社會ハ。	保護セル	一個人約シテ	ヲ分	由ノ生ズ	己一人ノ一事
疾痛	受惠者ハ	恩愛。	道理。	處スルノ	社會ガ。	保護セラル	一個人ニ約シテ	職分	理由ノ生ズ	一人一己ノ事